

画面で見えるマニュアル

ネットワーク接続ハードディスク「LAN DISK」

HDL-Hシリーズ HDL-HRシリーズ



ファームウェア Ver.3.10 による主な変更点

■バックアップ / データコピーのジョブ追加方法を変更

【バックアップ】(8-75 ページ) 【データコピー】(8-82 ページ)

■ Microsoft ネットワーク共有設定に SMB プロトコル設定を追加

【方式】(16-162 ページ)

■各共有のゴミ箱を空にする機能を追加

【ゴミ箱を空にする】(5-56 ページ)

■情報・ログ表示に設定一覧表示を追加

【設定一覧を表示する】(13-118 ページ)

■通知設定に【テストメール送信】ボタンを追加

【通知設定】(12-102 ページ)

■ログをポップアップ表示させる機能を追加

【ポップアップ通知】(12-106 ページ)

もくじ

導入する	1-4
おすすめの使用環境	1-4
設置する	1-5
電源を入れる	1-6
導入用ソフトをインストールする	1-8
設定画面を開く	1-10

はじめて設定画面を開く場合... 1-11

IPアドレスを固定設定する場 合

NarSuS 登録をする	1-13
ファームウェアを手動更新する	1-16
かんたん設定	1-17
添付ソフトをインストールする	1-19
共有にアクセスする	1-20
電源を切る方法	1-22

RAID モード

本製品で設定できる RAID モード	2-23
現在の RAID モードを確認する	2-24
RAID モードを変更する	2-25
USB HDD をペアとして増設する [拡張ボリューム]	2-27
本製品の容量を増やす	2-30

暗号化ボリューム

暗号化ボリュームとは?	3-31
暗号化ボリュームを作成する	3-32
暗号化ボリュームにアクセスする	3-34
スペアキーを作成する	3-35
暗号化ボリュームを解除する	3-36
ロックキーを削除する	3-36
キーサーバー機能	3-37

機器を増設する

USB HDD に関するご注意	4-41
USB ポート1 (前面) の設定	4-42
USB HDD を増設する	4-43
USB HDD を取り外す	4-44
USB HDD をフォーマットする	4-45
プリンターをつなぐ	4-46
UPS をつなぐ	4-47
UPS によるネットワークシャットダウン設定を有効にする	4-49

共有フォルダー

共有フォルダーのアクセス権	5-50
共有フォルダー使用上のご注意	5-52

ネットワーク上での本製品の表示	5-52
共有を追加する	5-53
ゴミ箱機能	5-55
共有フォルダーを変更・削除する	5-57
ユーザーを変更・削除する	5-58
グループを変更・削除する	5-59
管理者が共有フォルダーへアクセスする	5-60
一括登録をする	5-61

使用量制限

使用量制限について (クォータ機能)	6-64
使用量制限を有効にする	6-65
ユーザーごとに使用量制限を設定する	6-65
グループごとに使用量制限を設定する	6-66
共有フォルダーごとに使用量制限を設定する	6-66

Active Directory・NT ドメインログオン

Active Directory ログオンとは	7-67
Active Directory へログオンする	7-68
NT ドメインへログオンする	7-70

バックアップ

バックアップについて	8-72
クイックコピー	8-73
バックアップ	8-75
データコピー	8-82
バックアップ結果を確認する	8-86
弊社製 EasySaver 4 LE を使う	8-86

ミラーリング

ミラーリングに使える USB HDD	9-87
USB HDD でミラーリングする	9-88

ハードディスクをチェックする

ハードディスクのチェック方法	10-93
アクティブリペアを実行する	10-95
チェックディスクを実行する	10-95

パッケージ (追加機能)

パッケージを追加 / 削除する	11-96
パッケージを更新する	11-97
パッケージの自動更新設定をする	11-99
パッケージ情報を通知する	11-99

通知機能

メール基本設定	12-100
通知設定	12-102

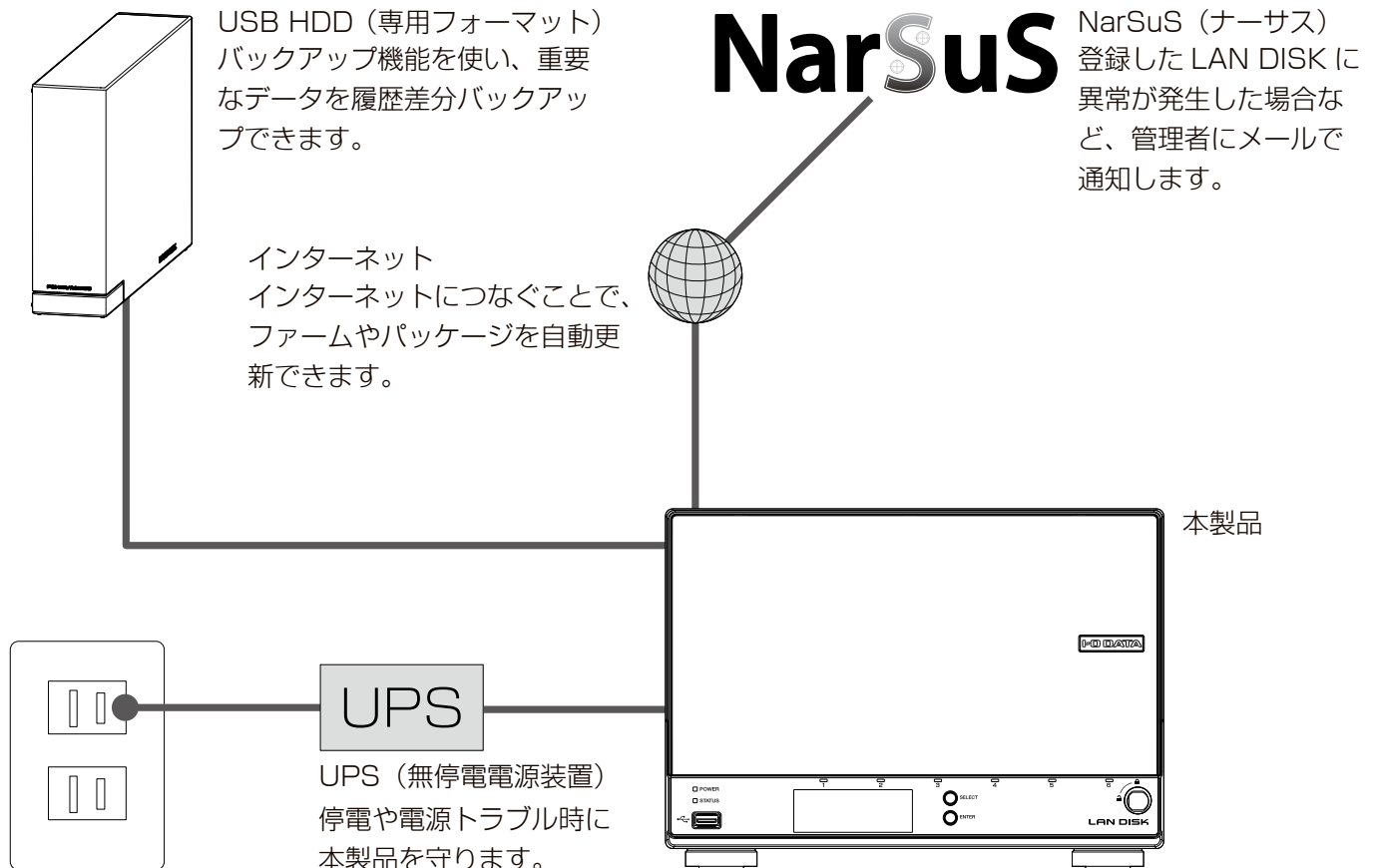
定期通知設定.....	12-104	本製品の IP アドレスについて.....	17-200
定期レポート設定.....	12-104	ファイルの保存について.....	17-200
SNMP 設定.....	12-105	カートリッジ取り付け・取り外し時のトラブル.....	17-201
ポップアップ通知.....	12-106	USB HDD とミラーリング使用時のトラブル.....	17-202
		クイックコピー機能について.....	17-203
システム管理.....	13-107	バックアップ、データコピー機能について.....	17-204
LAN DISK の名前を変更する.....	13-107	内蔵ディスク、USB HDD について.....	17-206
日付と時刻を設定する.....	13-107	タイムサーバー機能使用時のトラブル.....	17-207
ネットワークを設定する.....	13-108	NT ドメイン・Active Directory 使用時のトラブル.....	17-208
プロキシ設定をする.....	13-109	メール送信でのトラブル.....	17-209
管理者パスワードを変更する.....	13-109	CSV 一括登録でのトラブル.....	17-210
シャットダウン / 再起動する.....	13-110	パソコンのネットワーク設定について.....	17-211
起動スケジュールを設定する.....	13-110		
AC 電源連動設定をする.....	13-110	ランプが赤く光った時の対応.....	18-216
省電力機能を使う.....	13-111	STATUS ランプが赤く点灯・点滅したら.....	18-216
各ボタンを有効 / 無効にする.....	13-111		
ランプの明るさを設定する.....	13-112	HDD 故障時の対応.....	19-219
自己診断する.....	13-112	故障と思ったら.....	19-219
ファームウェアを更新する.....	13-113	カートリッジの交換方法.....	19-221
システムログを確認する.....	13-116	RAID が崩壊したときには.....	19-223
アクセスログを確認する.....	13-117		
設定一覧を表示する.....	13-118		
各種情報を確認する.....	13-119		
出荷時設定に戻す.....	14-124		
IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す.....	14-124		
本製品のすべての設定を出荷時設定に戻す.....	14-125		
資料.....	15-126		
動作環境.....	15-126		
各部の名称.....	15-128		
ランプの状態.....	15-134		
ブザーの状態.....	15-134		
出荷時設定一覧.....	15-135		
文字制限一覧.....	15-138		
ログ・お知らせ一覧.....	15-140		
設定画面のリファレンス.....	16-157		
ログイン画面.....	16-157		
メイン画面.....	16-157		
情報・ログ表示.....	16-158		
ネットワーク.....	16-163		
共有.....	16-164		
ユーザー&グループ.....	16-166		
ボリューム.....	16-169		
データバックアップ.....	16-170		
一括登録.....	16-172		
システム.....	16-173		
困ったときには.....	17-179		
ランプが赤く光ったら.....	17-182		
セットアップ時のトラブル.....	17-185		
本製品へのアクセス時のトラブル.....	17-192		
設定画面に関するトラブル.....	17-196		

導入する

本製品をネットワークに導入する方法を説明しています。

なお、本内容は本製品添付の『管理マニュアル』にも記載されています。

おすすめの使用環境



設置する

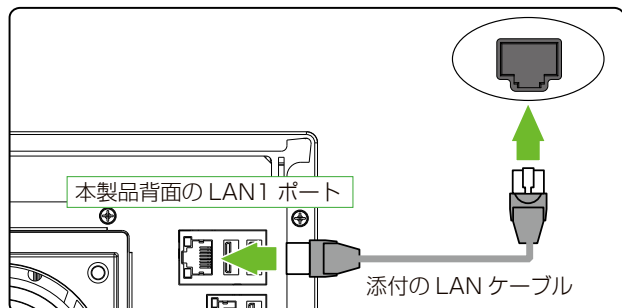
1 ネットワーク内のパソコン、ルーターなどが正常に動作していることを確認

2

HDL6-H (HDL4-HEX)

HDL2-H

ネットワーク機器の LAN ポート



※ HDL6-H の例。

設置時のご注意

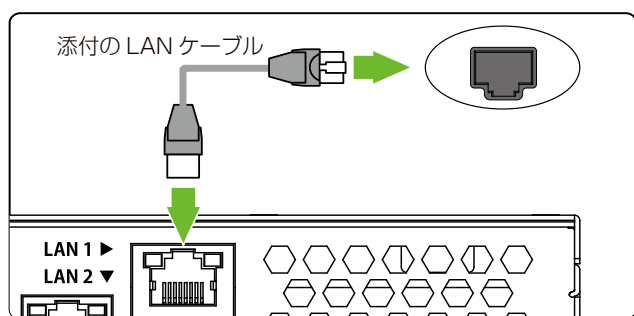
- 給電されている LAN ケーブル (Power over Ethernet) は絶対につながないでください。故障の原因になります。
- 側面・前面の吸気口、背面の排気口は塞がないように設置してください。

LAN2 ポート

LAN1 ポート側とは別のネットワークにつなぎます。例えば、バックアップ・レプリケーション用の別ネットワークとつなぎ、メインネットワークへバックアップによる負荷を掛けないようにします。

HDL4-HR

ネットワーク機器の LAN ポート

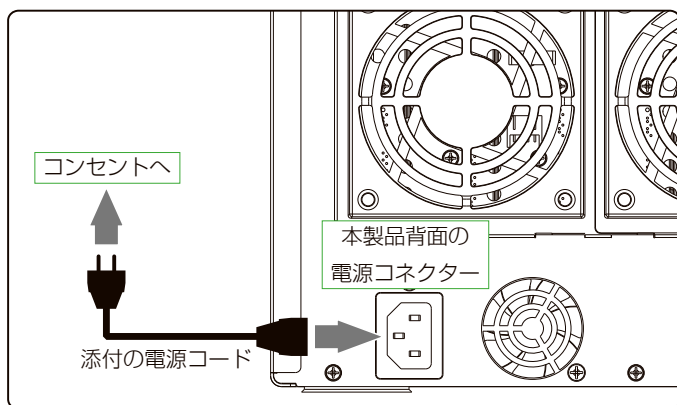


本製品背面の LAN1 ポート

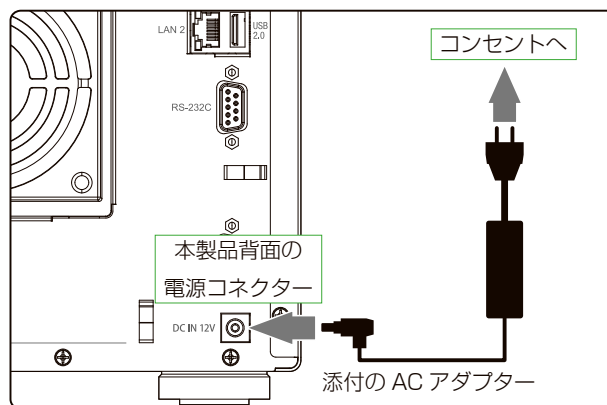
電源を入れる

1

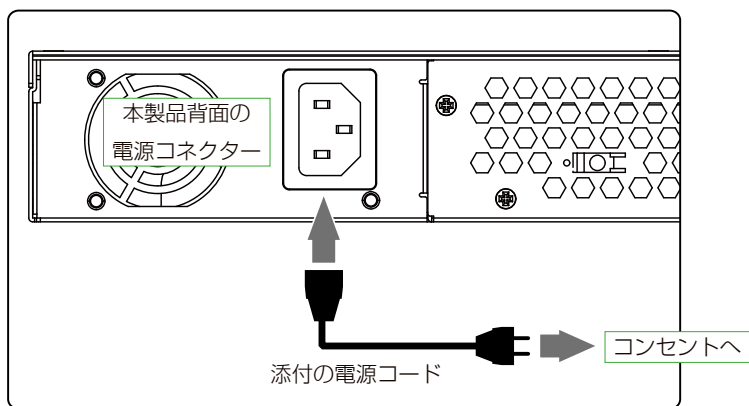
HDL6-H (HDL4-HEX)



HDL2-H



HDL4-HR

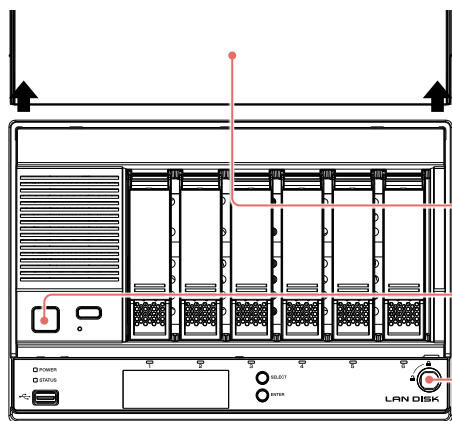


電源コード / AC アダプターの抜けを防ぐ

フックに電源コード / AC アダプターを固定しておくことをおすすめします。

HDL6-H (HDL4-HEX)

HDL2-H



※ HDL6-H の例。

①添付のロックキーでアンロック



②フロントパネルを上スライドして外す

③ POWER ボタンを押す

起動完了 [STATUS ランプが緑点灯か赤点灯 (赤点滅)] まで待ち、[\[導入用ソフトをインストールする\] \(1-8 ページ\)](#) へお進みください。

ご注意

フロントパネル内に入っている緩衝材は、梱包用です。

必ず外してお使いください。

そのままお使いになると故障の原因になります。

HDL4-HR



POWER ボタンを押す

起動完了 [STATUS ランプが緑点灯か赤点灯 (赤点滅)] まで待ち、[\[導入用ソフトをインストールする\] \(1-8 ページ\)](#) へお進みください。

ご注意

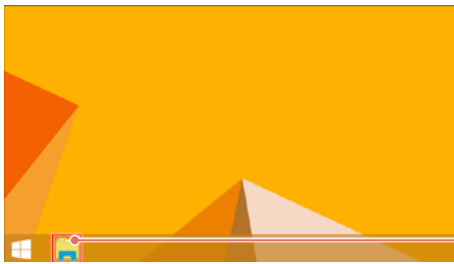
- STATUS ランプが赤点灯した場合は、困ったときにはの [\[ランプが赤く光ったら\] \(17-179 ページ\)](#) をご確認ください。
- 本製品の動作中に、シャットダウンを完了せずに、電源を切らないでください。故障やデータ消失の原因となります。特に、電源ケーブルを抜く、テーブルタップのスイッチを OFF にするなどにご注意ください。電源の切り方については、[\[電源を切る方法\] \(1-22 ページ\)](#) をご覧ください。
- 出荷時設定でファームウェア、パッケージの [自動更新] [更新通知] が有効のため、起動時にインターネットへの接続がおこなわれます。
- 出荷時設定で LAN2 ポートは有効に設定されています。LAN2 ポートがネットワークに接続していない場合、起動時にお知らせが表示されます。

導入用ソフトをインストールする

LAN DISK コネクトをインストールする (Windows のみ)

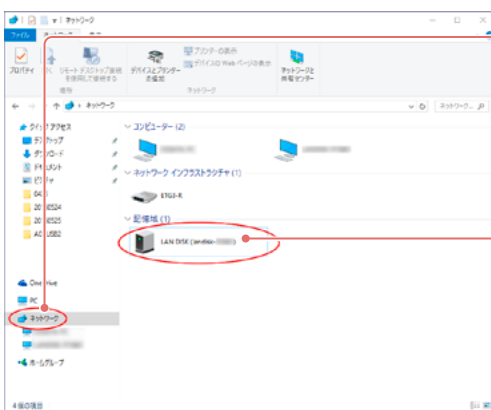
※ Mac で設定する場合は、[【Magical Finder をインストールする \(Windows/macOS\)】](#) (1-9 ページ) をご覧ください。

1



(エクスプローラー) をクリック

2



① [ネットワーク] をクリック

② 記憶域の [LANDISK-XXXXXX] をダブルクリック

※「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」と表示された場合は、再度アイコンをダブルクリックしてください。

「記憶域」や [LANDISK-xxxxxx] が表示されない場合

- 画面内の白いところを右クリックし、[グループで表示] → [カテゴリ] をクリックする または、[最新の情報に更新] をクリックする
- セキュリティソフトのファイアウォール機能を一時的に解除する
- 画面上部にネットワーク探索が無効と表示された場合は有効にする

LAN DISK コネクトをダウンロードする方法

以下の弊社 Web ページ「サポートライブラリ」から LAN DISK コネクトをダウンロードしてインストールできます。

<https://www.iodata.jp/r/5160>

3



[セットアップスタート] をクリック

4



画面下に表示された [実行] をクリック

※ユーザーアカウント制御が表示されたら、アクセスを許可（ブロックを解除）してください。

**LAN DISK コネクトがインストールされました。
[設定画面を開く] (1-10 ページ) へお進みください。**

Magical Finder をインストールする (Windows/macOS)

1

本製品と同じネットワークにつながっているパソコンに、添付のサポートソフトをセットします。

2

Windows の場合



[Magical Finder 起動]
をクリック

macOS の場合



① デスクトップのアイコンを開き、
[スタート画面.dmg] をダブルクリック



② [Magical Finder] をダブルクリック

メニューが表示されない (Windows)

- Windows 8 の場合
 - ① 画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックします。
 - ② メニューが表示されたら、[エクスプローラー] をクリックします。
 - ③ 本製品のアイコンをダブルクリックします。
- Windows 10、7、Vista の場合
[スタート] → [コンピューター] をクリックし、本製品のアイコンをダブルクリックします。

各種表示について

- Windows 8 の場合は、画面右上に表示されるメッセージをクリックします。
- 操作の選択画面が表示された場合、[HDL-H support soft menu] を選びます。
- 「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示された場合、[アクセスを許可する] または [ブロックを解除する] をクリックします。

認証画面が表示された場合

パソコンに設定してあるパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

MagicalFinder がインストールされました。

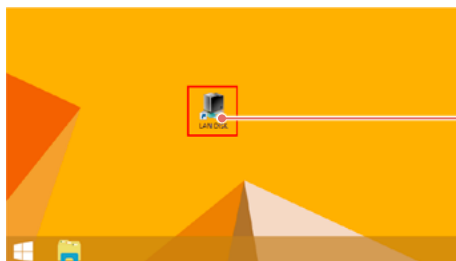
[設定画面を開く] (1-10 ページ) へお進みください。

設定画面を開く

LAN DISK コネクトで開く (Windows のみ)

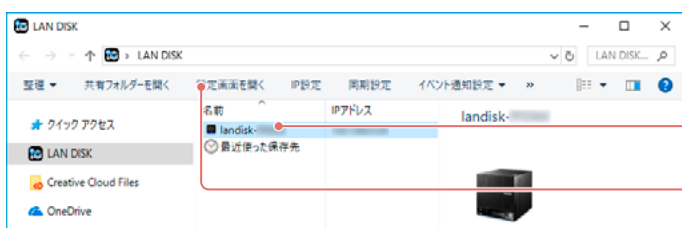
※ Mac で開く場合は、[【Magical Finder で開く \(Windows/macOS\)】 \(1-10 ページ\)](#) をご覧ください。

1



デスクトップ上の [LAN DISK] をダブルクリック

2



① [LANDISK-xxxxxx] を選ぶ

② [設定画面を開く] をクリック

※ IP アドレスを固定設定する場合は、次の管理者パスワードを設定してから、[【IP アドレスを固定設定する場合】 \(1-12 ページ\)](#) をご覧ください。

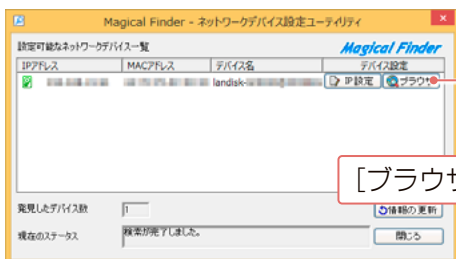
[【はじめて設定画面を開く場合】 \(1-11 ページ\)](#) へお進みください。

Magical Finder で開く (Windows/macOS)

1

MagicalFinder を起動する

2



[ブラウザ] をクリック

※ IP アドレスを固定設定する場合は、次の管理者パスワードを設定してから、[【IP アドレスを固定設定する場合】 \(1-12 ページ\)](#) をご覧ください。

[【はじめて設定画面を開く場合】 \(1-11 ページ\)](#) へお進みください。

はじめて設定画面を開く場合

はじめて設定画面を開いた時は、最初に管理者パスワードを設定し、初期設定へ進みます。

※初期設定の内容は、後で変更できます。

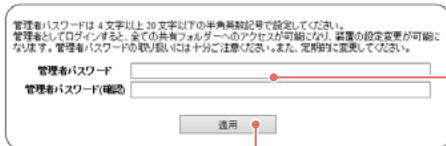
1



何も入力せずに [ログイン] をクリック

※管理者パスワードを設定している場合は、入力してから [ログイン] をクリックします。

2



①管理者パスワードを2回入力

※ 4 ~ 20 文字 (半角英数記号)

② [適用] をクリック

設定画面が開きます。

NarSuS 登録をしていない場合は、NarSuS 設定画面が表示されます。 ([\[NarSuS 登録をする\] \(1-13 ページ\)](#) 参照)

【ユーザーパスワード設定】

本製品に登録したユーザーのパスワードを変更する際にクリックします。

※管理者パスワードは変更できません。

はじめて設定画面を開く場合



※管理者パスワードについて詳しくは、[\[管理者パスワードを変更する\] \(13-109 ページ\)](#) をご覧ください。



③タブで切り替えて必要に応じて設定

※設定する場合は、すべて入力してから④へお進みください。

④ [設定を反映する] をクリック

※変更しない場合は、
[出荷時設定から変更しない] を
クリックします。

タブ (項目)	内容
名前	本製品の名前、説明、設置場所を設定できます。
ネットワーク	本製品の IP アドレス設定ができます。(IPv4 のみ)
Microsoft ネットワーク	本製品が参加するネットワークの設定ができます。
時刻	本製品の時刻設定ができます。
RAID	本製品の RAID モード、暗号化の設定ができます。
省電力	本製品の省電力設定ができます。
電源スケジュール	本製品の起動時刻、終了時刻のスケジュール設定ができます。

※初期設定は、初回起動時のみに表示されます。上記の設定は設定画面にて変更可能です。

設定を反映します。しばらく待った後、設定画面を開きなおしてください。

次に、NarSuS 設定画面が表示されます。 ([\[NarSuS 登録をする\] \(1-13 ページ\)](#) 参照)

IP アドレスを固定設定する場合

設定する IP アドレスについて

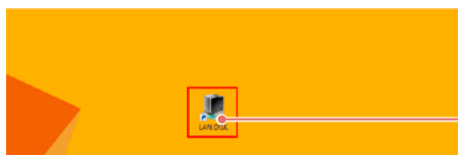
本製品の IP アドレスは、設定用パソコンの IP アドレスと同じセグメント上に設定します。

例) パソコンが 192.168.0.123 の場合、本製品は 192.168.0.200 などに設定

LAN DISK コネクトで設定する (Windows のみ)

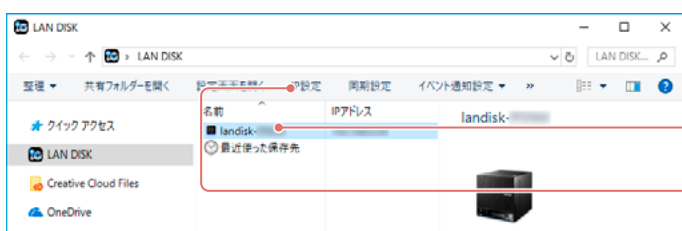
※ Mac の場合は、[\[Magical Finder で開く \(Windows/macOS\)\] \(1-10 ページ\)](#) をご覧ください。

1



デスクトップ上の [LAN DISK] をダブルクリック

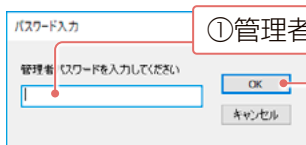
2



① [LANDISK-xxxxxx] を選ぶ

② [IP 設定] をクリック

3



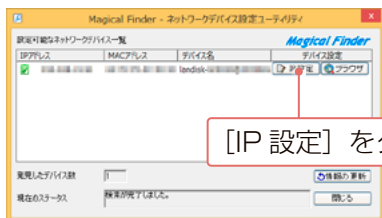
① 管理者パスワードを入力

② [OK] をクリック

画面の指示にしたがって IP アドレスを設定します。

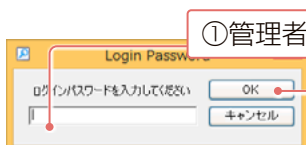
Magical Finder で設定する (Windows/macOS)

1



[IP 設定] をクリック

2



① 管理者パスワードを入力

② [OK] をクリック

画面の指示にしたがって IP アドレスを設定します。

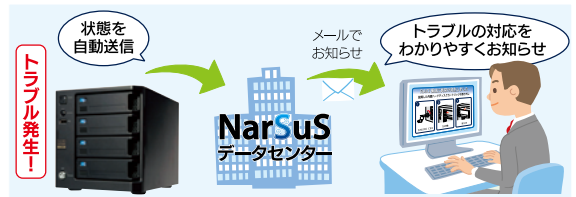
NarSuS 登録をする

NarSuS (ナーサス) とは？

NarSuS (ナーサス) は、対応 NAS (以降 LAN DISK) の稼働状態を把握し、安定運用を支援する、インターネットを介したクラウドサービスです。

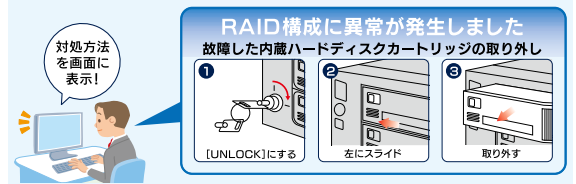
NarSuS の仕組み

LAN DISK からクラウド上の NarSuS データセンターに、稼働状態が自動送信されます。NarSuS はそれを受けて各種サービスを提供いたします。



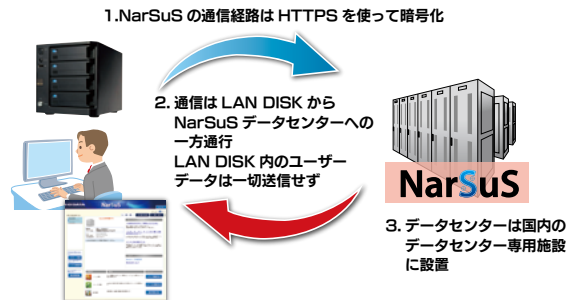
NarSuS の各種サービス

- イベントログの照会
RAID 構築状態やバックアップ設定などのシステム情報、ハードウェアの異常やスケジュール動作の完了などのイベント情報を表示します。
- 動作状況をグラフ表示
LAN DISK の温度、FAN の回転数、利用容量、CPU 負荷をグラフで表示します。
- トラブル時の対処方法を表示
万が一の障害時には、管理画面に対処方法が表示されます。表示に従って操作を進めれば、RAID 再構築や HDD 交換など、どなたでも迷わず対応を進めることが可能です。

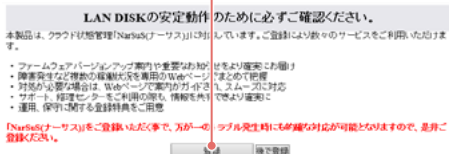


セキュリティへの配慮

- 通信は LAN DISK から NarSuS データセンターへの一方通行であり、NarSuS データセンターから LAN DISK に接続いたしません。
- LAN DISK から送信するデータは LAN DISK の稼働情報であり、LAN DISK 内のユーザーデータは一切送信いたしません。
- NarSuS の通信経路は HTTPS を使って暗号化されています。
- データセンターは国内のデータセンター専用施設に設置されており、情報セキュリティに十分な配慮を行っています。
- NarSuS を利用するためには、常時インターネットに接続しておく必要があります。
- Internet Explorer でご利用の場合、あらかじめ "https://www.narsus.jp" を [インターネットオプション] → [セキュリティ] から [信頼済みサイト] に登録しておいてください。
- NarSuS は、IPv4 ネットワークでのみ使えます。
- NarSuS 登録には、本製品のシリアル No、MAC アドレスが必要になる場合があります。本製品背面のシールに記載されていますので、事前にご確認ください。



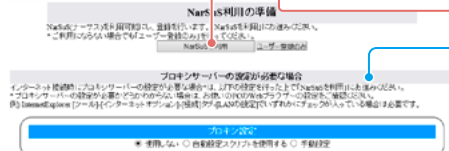
1 はじめて本製品の設定画面を開くと、NarSuS 登録の案内画面が表示されるので、[登録] をクリック



インターネット接続できない環境の場合
この後の手順が異なります。ここで [登録] をクリック後、**【インターネットに接続できない場合】(1-15 ページ)** をご覧ください。

【後で登録】 をクリックした場合
LAN DISK をいったんログアウトし、再度ログインすると設定画面が表示されます。

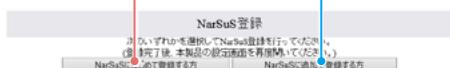
2 [NarSuS を利用] をクリック



プロキシサーバーの設定が必要な場合
NarSuS の登録には、インターネット接続を使います。インターネット接続時にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、ご利用のネットワーク管理者に設定等をご確認ください。

3

[NarSuS にはじめて登録する方] をクリック



4

画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

※本製品は LAN ポートが複数ありますが、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じます。

登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。以上で NarSuS 登録は完了です。

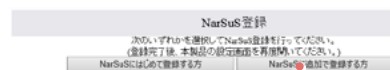
ご注意

- 設定に失敗した場合、以下を確認してください。
 - ・本製品がインターネット接続できる環境にあること
 - ・LAN ケーブルが抜けていないこと
 - ・プロキシサーバーの設定が必要な場合、正しく設定されていること
 - ・本製品の TCP/IP 設定を手動でおこなっている場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーのアドレスが正しく設定されていること
 - ・お使いの Web ブラウザーのキャッシュ (Cookie) をクリアした上で、再度試すこと
- 事前に【インターネットに接続できない場合】の手順で MAC アドレスが登録されている場合は、システムにより登録情報が引き継がれ、再度の入力は要求されません。

NarSuS に追加で登録する方法

すでに NarSuS に登録した製品がある場合は、こちらをクリックします。

1



[NarSuS に追加で登録する方] をクリック

2



左の手順4に進みます。

インターネットに接続できない場合

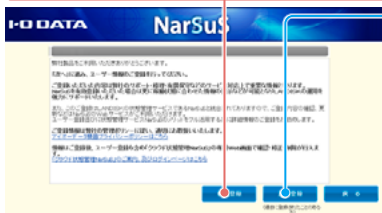
1

インターネットに接続できるパソコンなどから、Web ブラウザーで、以下の URL にアクセスします。

<https://www.narsus.jp/user-reg>

2

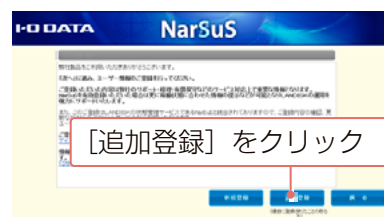
[新規登録] をクリック



追加登録

すでに NarSuS に登録した製品がある場合は、こちらをクリックします。

1



3

画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

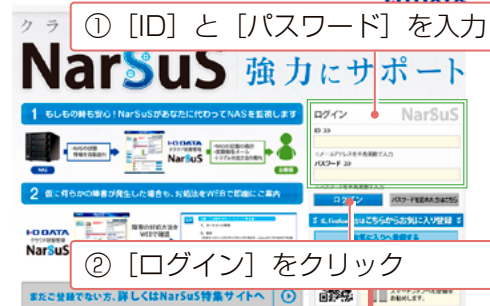
※本製品は LAN ポートが複数ありますが、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

4

表示された「利用コード」をメモ

登録通知が入力したメールアドレスに送付されます。
保管しておいてください。

2

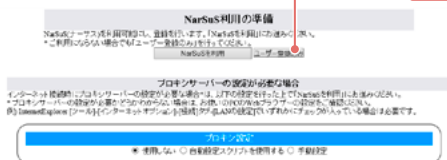


左の手順 3 に進みます。

5

ここから本製品の画面

[ユーザー登録のみ]
をクリック



プロキシサーバーの設定が必要な場合

本製品でインターネット接続しないため、設定は不要です。

6



①メモした利用コードを入力

② [保存] をクリック

ご注意

● NarSuS 登録に失敗した場合、お使いの Web ブラウザーのキャッシュ(Cookie)をクリアした上で、再度お試しください。

ファームウェアを手動更新する

本製品がインターネット接続されている環境では、以下は不要です。 [【かんたん設定】\(1-17 ページ\)](#) へお進みください。

本製品がインターネットに接続されていない環境では、手動で更新してください。

最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版に更新してご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合があります。

更新について

- ファームウェアを更新する際は、パソコンのファイアウォールの設定を解除してください。解除されていないと、正常に更新できない場合があります。
- ファームウェアの更新中は本製品の電源を切らないでください。更新中に電源を切ると、本製品が故障するおそれがあります。
- ファームウェアバージョンを以前のバージョンに戻すことはできません。

1

本製品の最新ファームウェアを入手する

- ①アイ・オー・データ機器サイトの「サポートライブラリ」にアクセス

<https://www.iodata.jp/lib/>

- ②本製品の型番から検索し、ファームウェアファイルをダウンロードする

2

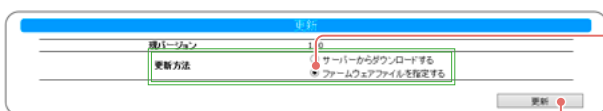
本製品の設定画面を開く ([【設定画面を開く】\(1-10 ページ\)](#) 参照)

3



[システム] → [ファームウェア] → [更新] をクリック

4

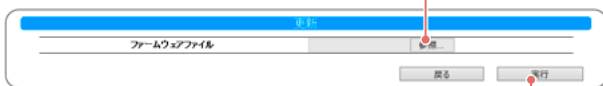


- ① [ファームウェアファイルを指定する] を選ぶ

- ② [更新] をクリック

5

- ①ファームウェアファイルを指定



- ② [実行] をクリック

画面の指示にしたがってください。

操作が完了したら、[【かんたん設定】\(1-17 ページ\)](#) へお進みください。

再起動やシャットダウンをする場合があります

ファームウェアの更新の際、再起動やシャットダウンをする場合があります。その場合は、その時点でファームウェアの更新は完了です。

ご注意

ファームウェアを更新後、設定画面が変更される場合がありますので、Web ブラウザーのキャッシュを消去してください。Internet Explorer の場合は、Web ブラウザー画面上で、キーボードの [Ctrl] キーを押しながら、[F5] キーを押します。Safari の場合は、Safari を起動し、メニューより [Safari] → [キャッシュを空にする] をクリックし、表示されるダイアログからキャッシュを空にします。

かんたん設定

かんたん設定では、本製品の基本的な以下の設定をおこないます。

- ・ 本製品のネットワーク上の名前設定（説明、設置場所）
- ・ IP アドレス設定
- ・ 時刻設定
- ・ 共有のアクセス設定

※初期設定で設定した内容については、かんたん設定で設定する必要はありません。

1 本製品の設定画面を開く（[【設定画面を開く】](#)（1-10 ページ）参照）



かんたん設定

[かんたん設定] をクリック

3

①本製品の名前、説明、設置場所を設定

② [進む] をクリック

4

①必要であれば、IP アドレスを手動で設定

② [進む] をクリック

5

①必要であれば、時刻設定を変更

② [進む] をクリック

6



①必要に応じて、アクセス設定を変更

② [確認] をクリック

共有のアクセス設定について

本製品や本製品につないだ USB HDD へのファイルの読み書き（アクセス）は、ネットワーク越しにおこないます。ネットワークから本製品の共有フォルダーを通して、ネットワーク上の複数台のパソコンでファイルを共有することができます。ここでは、[disk1] フォルダ、[usbx](x はポート番号) フォルダ、新規に作成した共有フォルダーを設定できます。各フォルダーについては、[【ネットワーク上での本製品の表示】\(5-52 ページ\)](#) をご覧ください。共有フォルダーを作成する場合は、[【共有を追加する】\(5-53 ページ\)](#) をご確認ください。

7



①内容を確認

② [適用] をクリック

STATUS ランプが点滅から点灯に変わったら、設定は完了です。

添付ソフトをインストールする

添付ソフトは、必要に応じてお使いください。本製品には以下のソフトを添付しております。

※ Windows 用です。使用方法など詳しくは、各ソフトのマニュアルをご覧ください。

Magical Finder		ネットワーク上の機器を検索し、IP アドレス設定や設定画面を開くことができます。
LAN DISK TOOLS	LAN DISK Admin	LAN DISK を複数台導入した場合の設定を一括で管理することができます。
	LAN DISK Backup Reader	本製品が故障し、専用フォーマットの USB HDD からバックアップファイルが読み出せない場合に、パソコンからデータを読み出すことができます。
	LAN DISK Restore	設定データをコピーして流用することで、複数台導入時の初期設定を省力化することができます。
	LAN DISK Key Server	ボリュームの暗号化機能により USB メモリーに保存されたキーをサーバー上に保存して、このサーバーをロックキーの代わりとして利用するソフトウェアです。本製品の起動の度にロックキーを接続する作業が不要になり、ロックキーを安全な場所に常に保存しておくことができます。
		メールソフト感覚の簡単操作で、ユーザーによるファイル更新を知ることができます。
Sight On		ファイル更新時にポップアップで通知します。
Easy Saver 4 LE		多彩な機能でカスタマイズして、バックアップを設定できます。
Sync With		フォルダー間を定期的に同期します。簡単なバックアップもできます。

インストールする

※使い方については、各ソフトの取扱説明書をご覧ください。

※弊社 Web サイトのサポートライブラリ (<https://www.iodata.jp/lib/>) からダウンロードすることもできます。

1

ネットワークにつなげられるパソコンに、添付 CD-ROM をセット

2

① [サポートソフトインストール] をクリック

② インストールしたいソフトのボタンをクリック

インストールが始まります。
画面の指示にしたがってください。

共有にアクセスする

本製品の共有フォルダーへのアクセス方法は、お使いの OS により異なります。

Mac からアクセスする場合

「AppleShare」パッケージを追加する必要があります。パッケージの追加方法は、[【パッケージ \(追加機能\)】 \(11-96 ページ\)](#) をご覧ください。
また、アクセス方法については、AppleShare パッケージ取扱説明書 (PDF) をご覧ください。

共有フォルダー「disk1」

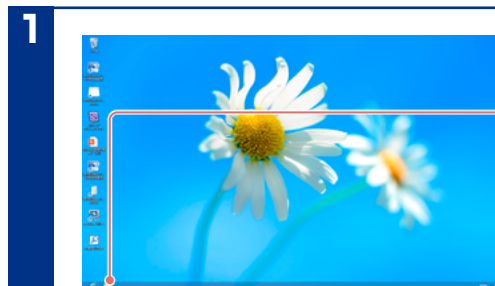
この共有フォルダーは本製品に最初から設定されています。

「disk1」内にファイルを書き込むことができます。また、「disk1」は他のユーザーと共有できます。

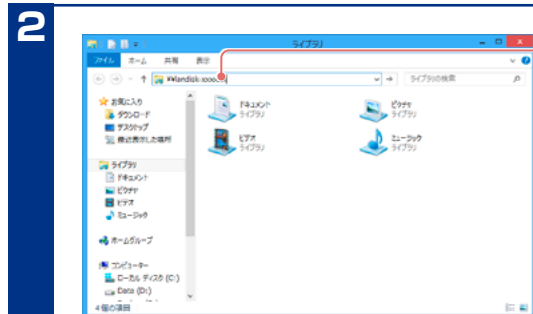
Windows 10、8、7の場合


Windows 8 の場合

デスクトップモードにします。



クイックバーの  をクリック



「\\landisk-xxxxxx」と入力し、 をクリック
※ xxxxxx は、LAN1 ポートの MAC アドレス下 6 桁です。
※本製品の [LAN DISK の名前] を変更した場合は、変更した名前を入力してください。

本製品の共有フォルダーが表示されます。

ご注意

本製品が見つからない場合は、[【本製品へのアクセス時のトラブル】 \(17-189 ページ\)](#) をご覧ください。

Windows Vista の場合



The screenshot shows the Windows Vista Start menu search interface. A search box at the top contains the text "¥landisk-xxxxxx". Below the search box, a list of search results is displayed, including "コンピュータ", "ネットワーク", "コントロールパネル", "ヘルプとサポート", and "ファイル名を指定して実行...". A red arrow points from the search box to the first instruction box. Another red arrow points from the search results to the second instruction box. A third red arrow points from the search results to the third instruction box. A red arrow points from the third instruction box to a green box at the bottom.

- ① [スタート] をクリック
- ② [検索の開始] に「¥landisk-xxxxxx」と入力
※ xxxxxx は、LAN1 ポートの MAC アドレス下 6 桁です。
※本製品の [LAN DISK の名前] を変更した場合は、変更した名前を入力してください。
- ③ 検索された [¥landisk-xxxxxx] をクリック

本製品の共有フォルダーが表示されます。

ご注意

本製品が見つからない場合は、[【本製品へのアクセス時のトラブル】 \(17-189 ページ\)](#) をご覧ください。

電源を切る方法

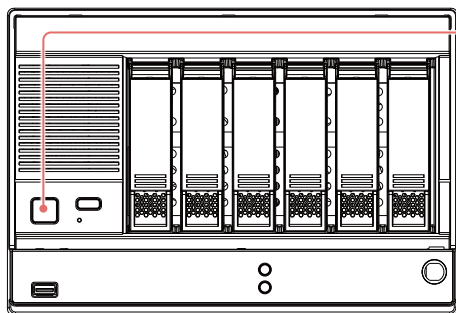
本製品の電源を切る場合は、以下のいずれかの手順にしたがってください。

ご注意

- USB HDD やプリンターを接続している場合は、本製品の電源を切ってから、USB HDD やプリンターの電源を切ってください。
- 長期間使わない場合は、電源コードをコンセントから外しておくことをおすすめします。

本製品の POWER ボタンから切る

1



※ HDL6-H の例。

POWER ボタンを約 1 秒押す

シャットダウン処理を開始します。
シャットダウンされると、POWER ランプは赤点
灯します。

POWER ボタンを 3 秒以上押さない

3 秒以上押した場合、強制的に電源を切った状態となり、再起
動後にボリューム再構築が発生するおそれがあります。

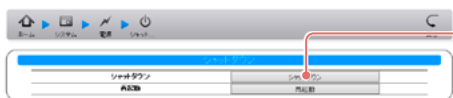
本製品の設定画面から切る

1



[システム] → [電源] → [シャットダウン] を
クリック

2



[シャットダウン] をクリック

シャットダウン処理を開始します。
シャットダウンされると、POWER ランプは赤点
灯します。

RAID モード

本製品で設定できる RAID モード

本製品は、出荷時 [拡張ボリューム] で構成されています。

本製品の設定画面で他の RAID モードに変更できます。本製品では以下の RAID モードに設定することができます。

※カートリッジをそれぞれ別の HDD として使うことはできません。

RAID モード	HDL6-H	HDL2-H	HDL4-HR/HDL4-HEX
拡張ボリューム (出荷時設定)	●内蔵ディスク全容量の 3/6 を利用できます。 ●再構築は使われている容量のみおこなわれます。(再構築が速い) ●2 台の HDD をペアにして、ファイル単位でミラーリングをおこないます。	●内蔵ディスク全容量の 1/2 を利用できます。	●内蔵ディスク全容量の 2/4 を利用できます。
RAID 6	●内蔵ディスク全容量の 4/6 を利用できます。 ●2 台の HDD に障害が発生しても復旧できます。	(設定できません)	●内蔵ディスク全容量の 2/4 を利用できます。 ●2 台の HDD に障害が発生しても復旧できます。
RAID 5	●内蔵ディスク全容量の 5/6 を利用できます。 ●1 台の HDD に障害が発生しても復旧できます。	(設定できません)	●内蔵ディスク全容量の 3/4 を利用できます。 ●1 台の HDD に障害が発生しても復旧できます。
RAID 1	(設定できません)	●内蔵ディスク全容量の 1/2 を利用できます。 ●1 台の HDD に障害が発生しても復旧できます。	(設定できません)
RAID 0	●内蔵ディスクの全容量を利用できます。 ●アクセス速度が最も速くなります。 ●データの保護機能はありません。		

RAID モード	拡張ボリューム	RAID 6	RAID 5	RAID 1	RAID 0
例)HDL6-H6	約 3TB	約 4TB	約 5TB	(設定できません)	約 6TB
例)HDL2-H6	約 3TB	(設定できません)	(設定できません)	約 3TB	約 6TB
例)HDL4-H4R	約 2TB	約 2TB	約 3TB	(設定できません)	約 4TB
例)HDL4-H4EX	約 2TB	約 2TB	約 3TB	(設定できません)	約 4TB
データの保護機能	高 ● RAID 崩壊なし ●ペアを構成している HDD が同時に故障すると、当該ペア内のデータが欠損	高 ●最大 2 台故障に対応 ●3 台故障で RAID 崩壊	中 ●1 台故障に対応 ●2 台故障で RAID 崩壊	中 ●1 台故障に対応 ●2 台故障で RAID 崩壊	なし ●1 台故障で RAID 崩壊

拡張ボリュームとは？(出荷時には拡張ボリュームに設定されています)

- 動作** それぞれ 2 台の HDD でペアを構成し、ファイル単位でミラーリングします。
そのようなペアが複数集まり、1つのドライブとして構成されます。
- 故障時** ペアが A と A' で構成されている場合、仮に A が故障した場合は A' が補完します。
A を交換すると、A' から A へ再構築処理を実施します。この時、使われている容量分のみで再構築するため、処理が速く完了します。
- 容量** ペアの容量を全て合計したものが本製品の容量となります。
なお、各ペアの容量を同一サイズにする必要はありません。

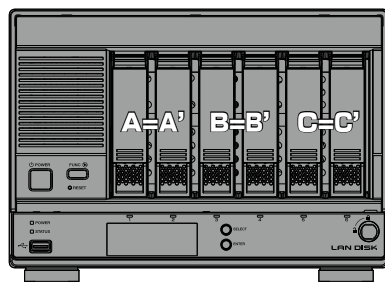
構成 **HDL6-H** カートリッジが6つあるため、ペアが3つできます。
また、USB ポート 3 と 4 でもペアを作ることができます。
※ USB HDD を片方だけつないだ場合、本製品の容量は増加しますが、USB HDD に関する冗長性はありません。

HDL2-H カートリッジが2つあるため、ペアが1つできます。
また、USB ポート 3 と 4 でもペアを作ることができます。
※ USB HDD を片方だけつないだ場合、本製品の容量は増加しますが、USB HDD に関する冗長性はありません。

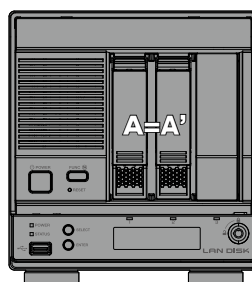
HDL4-HR カートリッジが4つあるため、ペアが2つできます。

HDL4-HEX また、USB ポート 3 と 4 でもペアを作ることができます。
※ USB HDD を片方だけつないだ場合、本製品の容量は増加しますが、USB HDD に関する冗長性はありません。

HDL6-H



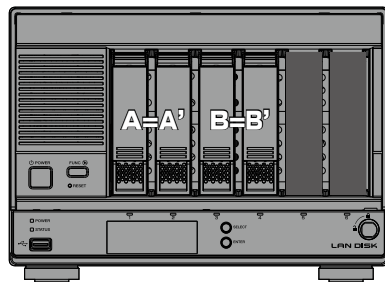
HDL2-H



HDL4-HR



HDL4-HEX



現在の RAID モードを確認する

1



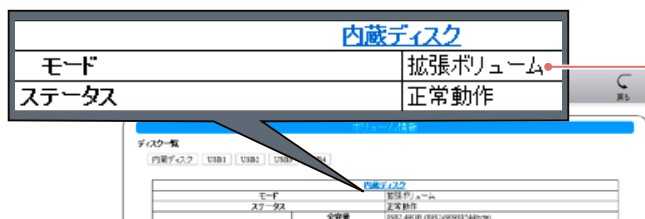
情報・ログ表示



ボリューム情報

[情報] → [ボリューム情報] をクリック

2



[内蔵ディスク] の [モード] を確認

RAID モードを変更する

ご注意

- RAID モードを変更する場合は、カートリッジがすべて取り付けられていることを確認してください。
- 内蔵ディスクはすべてフォーマットされます。カートリッジ内にデータが保存されている場合は、RAID モード変更前にバックアップしてください。
- RAID モードを変更すると、RAID の再構築処理をおこないます。RAID モードの変更処理は数分で終わりますが、再構築完了までに時間がかかります。(かかる時間の目安については、右記参照)
- 再構築中でも本製品は使えますが、以下の操作はできません。また、再構築中は、データ保護はされません。
 - スケジュールシャットダウン
 - アクティブリペア
- RAID 5 では、1 台の故障のみ対応しており、障害復旧時に追加故障が発生した場合、全データを消失してしまいます。なるべく、拡張ボリュームや RAID 6 などでお使いいただくことをおすすめします。
- 「ログ拡張」パッケージを追加している場合は、パッケージを削除してから、変更してください。

RAID 再構築完了までの所要時間

- 以下の時間は、6TB モデルの場合です。この時間は製品の容量に応じて、およそ比例した時間を必要とします。お使いのモデルにあわせ目安としてください。

変更する RAID モード	RAID 再構築完了までの時間
拡張ボリューム	約2分
RAID 6	4 時間半～7 時間半
RAID 5	4 時間半～7 時間半
RAID 1	7 時間半～9 時間
RAID 0	約2分

※内蔵ディスクを暗号化（[【暗号化ボリューム】\(3-31 ページ\)](#)参照）していた場合や、再構築中に設定変更やファイル操作をおこなった場合は、上記以上の時間を必要とします。

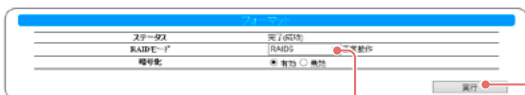
※ RAID モードの所要時間は、他の RAID モードから変更し、設定画面にてモード変更処理が完了した後、再構築が完了するまでの時間です。ただし、拡張ボリューム、RAID 0 では再構築はおこなわれません。モード変更のみにかかる時間で

1



[ボリューム] → [内蔵] → [フォーマット] をクリック

2



① [RAIDモード] で RAID モードを選ぶ

シリーズ名	対応 RAID モード	
HDL6-H シリーズ	拡張ボリューム	
HDL4-HR シリーズ	RAID 6	RAID 5
HDL4-HEX シリーズ	RAID 1	RAID 0
HDL2-H シリーズ	拡張ボリューム	
	RAID 6	RAID 5
	RAID 1	RAID 0

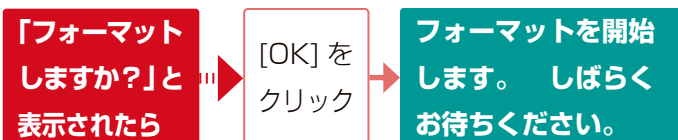
※ HDL4-HEX の場合、末尾に (4 台) と追記されます。

HDL4-HEX をアップグレードした場合

- カートリッジを 2 台追加した場合は、以下を選択できます。6 台のモードに変更した後に、カートリッジ 5、6 を取り外した場合、再度 4 台用のモードに変更する必要があります。
 - ・ 拡張ボリューム (6 台) *
 - ・ RAID 6 (6 台)
 - ・ RAID 5 (6 台)
 - ・ RAID 0 (6 台)
- ※ 余裕時設定の場合、自動組込されるため設定不要です。自動組込については、[【HDL4-HEX の拡張ボリューム自動組込について】\(2-26 ページ\)](#) をご確認ください。

② [実行] をクリック

3



以上で RAID モードの変更は完了です。

ご注意

- 再構築が完了しないと RAID によるデータ保護はされません。

RAID 再構築完了までの参考事項

- RAID の再構築が完了するまでに、時間がかかる場合がありますが、本製品へのアクセスは可能です。
- 現在の構築状態は、液晶表示か [ボリューム情報] で確認できます。内蔵ディスクの [ステータス] に「正常動作」と表示されたら再構築完了です。
 - ※ 情報を更新する場合は、再度 [ボリューム情報] を開き直してください。

HDL4-HEX の拡張ボリューム自動組込について

HDL4-HEX にカートリッジを 2 台追加した場合、出荷時設定では拡張ボリュームに自動で組み込まれます。

次の操作で、カートリッジを追加した際に自動組込をしないようにできます。

1



ボリューム



内蔵



ボリューム拡張

[ボリューム] → [内蔵] → [ボリューム拡張] を
クリック

2



① [無効] を選ぶ

② [適用] をクリック

これで自動組込はしない設定になりました。

自動組込を [無効] にした後で追加のカートリッジを組み込むには、カートリッジを増設した後に [組込] をクリックします。

USB HDD をペアとして増設する [拡張ボリューム]

本製品を RAID モード「拡張ボリューム」でお使いの場合、USB HDD を2台、拡張ボリュームのペアとして増設できます。そうすることで、本製品の容量を増やすことができます。

拡張ボリュームのペア

【拡張ボリュームとは?】(2-24 ページ) をご覧ください。

準備する

USB HDD を2台準備します。

USB HDD は、[LAN DISK バックアップ・増設用ハードディスク対応一覧](#) からお選びください。

※対応 USB HDD 以外の HDD をご利用の場合、サポート対象外となります。

増設の流れ

① USB ポート3, 4のモードを切り替える

USB HDD のペアは、USB ポート3, 4に増設できます。出荷時の USB ポート3, 4の動作モードは「共有モード」に設定されています。

そのため、「拡張ボリュームモード」にモード変更が必要です。

② USB HDD をつなぐ

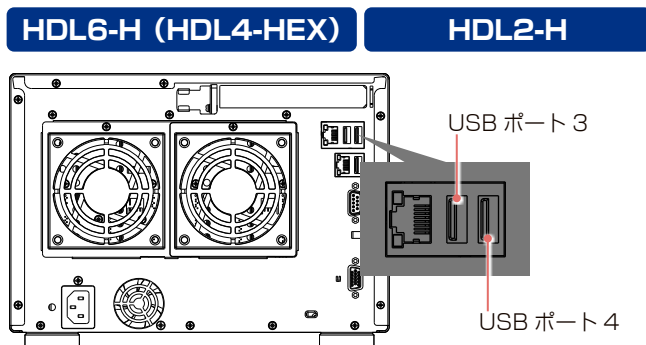
最初につないだ USB HDD が認識されてから、次の USB HDD をつなぎます。

※つないだ USB HDD は拡張ボリューム用にフォーマットされます。

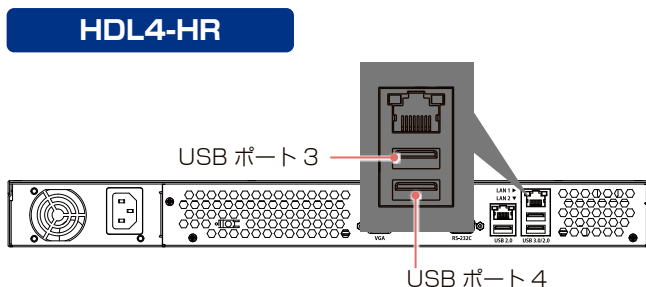
最新のファームウェア/パッケージをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版に更新してご利用ください。

最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。



※ HDL6-H(HDL4-HEX) の例。HDL2-Hも USB ポート位置は同じです。



異なる容量の USB HDD 2台をつなぐ

手順内で USB HDD を順につなぎますが、先に容量が小さい USB HDD をつないでください。容量が小さい USB HDD を後でつなぐと、ペアが構成されません。

なお、増える容量は、容量が小さい USB HDD によるものとなります。

USB HDD を1台だけつなぐ

USB HDD を1台だけ拡張ボリュームとしてつないだ場合、本製品の容量は増加しますが、ペアが構成されません。

そのため、RAID 対応などの冗長性を持った USB HDD をつなぐことをおすすめします。

USB ポート 3, 4 のモードを切り替える

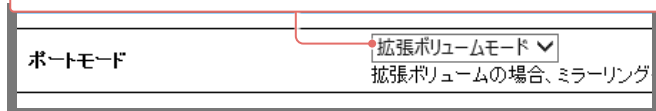
1



[ボリューム] → [USB3] → [モード設定] をクリック

2

① [ポートモード] の [拡張ボリュームモード] を選ぶ



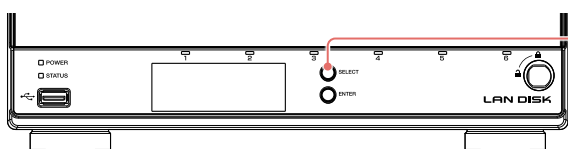
② [適用] をクリック



3

HDL6-H (HDL4-HEX)

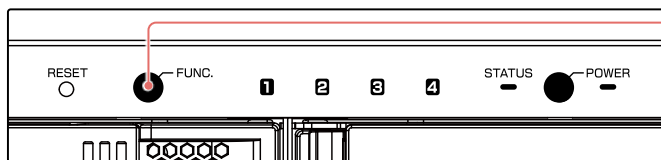
HDL2-H



※ HDL6-H の例。HDL2-H のボタンは液晶表示の左側にあります。

ブザーが鳴り続くので、SELECT ボタンを押し、ブザーを止める

HDL4-HR



ブザーが鳴り続くので、FUNC. ボタンを押し、ブザーを止める

4

手順 1 ~ 3 を参考に、USB ポート 4 も「拡張ボリュームモード」に変える

※ USB HDD を 1 台だけつなぐ場合は、手順 4 は不要です。

USB HDD をつなぐ

1 本製品の電源が入っていることを確認

2 USB HDD の電源を ON にする
 ※ USB HDD の電源の入れ方については、USB HDD の取扱説明書をご覧ください。
 ※ USB HDD に電源連動機能がある場合は、本製品につないだ時に USB HDD の電源が入ります。

3 本製品の USB ポート 3 に USB HDD をつなぐ

しばらく STATUS ランプが緑点滅します。
 緑点灯に戻るまでお待ちください。
 「ピー」と鳴り、緑点灯になれば、本製品の容量が増加しています。

4 本製品の USB ポート 4 に USB HDD をつなぐ
 ※ USB HDD を 1 台だけつなぐ場合は、手順 4 は不要です。

しばらく STATUS ランプが緑点滅します。
 緑点灯に戻るまでお待ちください。
 「ピー」と鳴り、緑点灯になれば、USB ポート 3, 4 の USB HDD でミラーリングされています。

ご注意

- 下記状況では、USB HDD をつながないでください。
 - ・ STATUS ランプが点滅中 (設定画面操作中)
 - ・ HDD ランプが点滅中 (本製品にアクセス中)
 - ・ USB HDD のランプが点滅中等 (USB HDD にアクセス中)
 ※ 本製品の電源が入っている状態でつなげられます。
- USB HDD につなぐ時や取り外す時は、共有サービスが停止するため、共有へのアクセスはできません。

「ピーピーピー」と鳴ったら…

さらに、STATUS ランプが赤く点灯した場合は、つないだ USB HDD にデータが入っています。このまま使っても問題ないか確認してください。問題なければ、[【USB ポート 3, 4 のモードを切り替える】\(2-28 ページ\)](#) を参考に、USB ポート 3 のモードをもう一度「拡張ボリュームモード」に指定し、[適用] をクリックしてください。

「ピーピーピー」と鳴ったら…

取り付けた USB HDD について、以下が考えられます。

- つないだ USB HDD にデータが入っています。このまま使っても問題ないか確認してください。問題なければ、[【USB ポート 3, 4 のモードを切り替える】\(2-28 ページ\)](#) を参考に、USB ポート 4 のモードをもう一度「拡張ボリュームモード」に指定し、[適用] をクリックしてください。
- 先につないだ USB HDD より容量が小さいことが考えられます。その場合、「容量不足」となり、後につないだ USB HDD は使われません。先につないだ USB HDD と同じかそれ以上の容量を持つ USB HDD をつないでください。

USB HDD がつながっているかを確認する



情報・ログ表示



ボリューム情報

[情報] → [ボリューム情報] をクリック

USB HDD の状況が表示されます。
 確認したい HDD をクリックすると、詳細情報が表示されます。

本製品の容量を増やす

この方法は、RAID モードが「**拡張ボリューム**」(出荷時設定) の場合のもので

他の RAID モードでは、この操作はできません。場合によっては、RAID 崩壊のおそれがあります。

操作内容

ペアになっているカートリッジ / USB HDD を順番に交換し、最終的に両方を交換することで、本製品の容量を増やします。

拡張ボリュームのペア


【[拡張ボリュームとは?](#)】(2-24 ページ) をご覧ください。

準備する

- 現在のディスク容量より大きい NAS 交換用 HDD または USB HDD を 2 台準備します。
 - ・NAS 交換用 HDD は、[NAS 交換ハードディスク対応表](#) からお選びください。
 - ・USB HDD は、[LAN DISK バックアップ・増設用ハードディスク対応一覧](#) からお選びください。
 - ※ NAS 交換用 HDD または対応 USB HDD 以外の HDD をご利用の場合、サポート対象外となります。
- 交換する内蔵ディスクまたは USB HDD のペアを決めます。

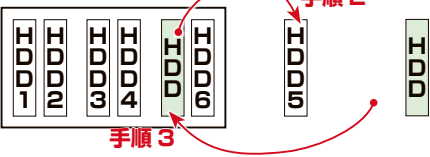
交換方法

※ HDL6-H で、内蔵ディスク 5 と 6 を交換する場合の手順例

- 

ボリューム → 内蔵 → 取り外し

[ボリューム] → [内蔵] → [取り外し] をクリックし、ペアの片方を選んで実行する
※ USB HDD の場合は、[ボリューム] → [USBx] → [取り外し] をクリック
- 交換するペアの片方を取り外す
([【カートリッジの交換方法】](#) (19-218 ページ) 参照)

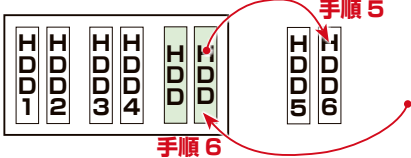


手順 2
手順 3
- 容量の大きいカートリッジ / USB HDD を取り付ける
([【カートリッジの交換方法】](#) (19-218 ページ) 参照)

再構築が開始されます。
再構築が終わるまでお待ちください。

STATUS ランプが赤点減します
ペアの片方を取り外すと「構成異常」になり、冗長性がなくなります。速やかに交換してください。

構築状況を確認する
液晶表示か [ボリューム情報] で確認できます。
内蔵ディスクの [ステータス] に「正常動作」と表示されたら再構築完了です。
※情報を更新する場合は、再度 [ボリューム情報] を開き直してください。
- 手順 1 を参考に、交換するペアのもう片方を選んで実行する
- 交換するペアの残りを取り外す



手順 5
手順 6
- 容量の大きいカートリッジ / USB HDD を取り付ける

再構築が開始されます。再構築が終われば、本製品の容量が増えます。

暗号化ボリューム

暗号化ボリュームとは？

暗号化ボリューム機能は、本製品の内蔵ディスク、専用フォーマットの USB HDD を丸ごと暗号化する機能です。専用の鍵（ロックキー）をつながない限り、暗号化されたディスク領域にアクセスすることはできませんので、万一本製品を丸ごと、あるいはカートリッジの盗難にあった場合でも、記録された情報の漏洩を防ぐことができます。

暗号化には AES 方式（256bit）を使い、安全に処理されます。

暗号化は、内蔵ボリュームが正常動作していれば、動作モードに関わらず設定できます。

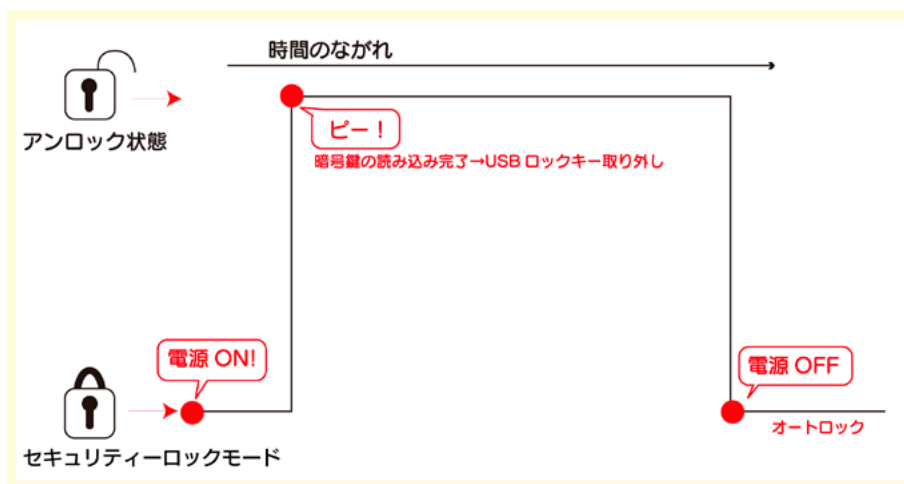
設定時に必要なもの

- ・ 64MB 以上の容量を持つ USB メモリー（製品添付の USB メモリー）

ご注意

- ロックキーとして使う USB メモリーに記録されているデータはすべて消去されます。
- 暗号化されている USB メモリーはご利用いただけません。弊社製 ED-HB シリーズの場合は、アンロックした状態で挿入してください。

暗号化ボリュームのイメージ



ご注意

- 内蔵ディスクに暗号化ボリューム設定をした場合、本製品にロックキーをつながずに起動すると、本製品は「セキュリティロックモード」で起動します。「セキュリティロックモード」では、すべての共有サービスは停止し、共有フォルダー上に保存されたデータにアクセスできません。「セキュリティロックモード」は、ロックキーを本製品につなぐことで解除することができます。
※本製品の起動 / 再起動時には再びロックキーが必要です。
スケジュール起動 / 終了する場合はご注意ください。
- 「セキュリティロックモード」は内蔵ディスクの暗号化が解除されていない場合のモードです。USB HDD の暗号化だけが解除されていない場合は「セキュリティロックモード」になりません。この場合、暗号解除されるまで USB HDD にはアクセスできません。
- 本製品の暗号化ボリューム機能はディスクを丸ごと暗号化します。
ファイル単位、フォルダー単位の暗号化については、市販のアプリケーションをご利用ください。
- 暗号化に利用するキーはロックキー内にもみ存在します。（本製品内には保存されません。）万一ロックキーが壊れたり、紛失した場合、暗号化ボリュームにアクセスできなくなります。必ず「マスターキー」と「スペアキー」の複数のロックキーを用意し、万一に備えて「マスターキー」を安全な場所に保管しておいてください。スペアキーの作り方は、[【スペアキーを作成する】（3-35 ページ）](#) をご覧ください。
- 暗号化されるのは内蔵ディスクおよび専用フォーマットの USB HDD 上のデータのみとなります。
専用フォーマット以外の USB HDD は暗号化されません。そのため、バックアップ機能で専用フォーマット以外の USB HDD 上、または、ネットワーク上の本製品からバックアップされたファイルは、暗号化されていない状態のファイルとなりますのでご注意ください。

暗号化ボリュームを作成する

ご注意

- 以下の設定をおこなうと、暗号化する内蔵ディスク上のデータ、USB HDD 上のデータ、本製品につないだ USB メモリー内のデータがすべて消去されます。必要なデータがある場合は、あらかじめバックアップした上で実行してください。
- ロックキーに保存される鍵データは、ボリューム設定するたびに新規に生成されますので、本製品を複数使う場合は、それぞれに専用のロックキーを用意する必要があります。
- ロックキーをパソコンにつなぎ、フォーマット、ファイルやフォルダーのコピー、削除、リネームなどをおこなわないでください。鍵ファイルを削除すると、暗号化されたボリュームにアクセスできなくなります。他の USB メモリーと混同しないように大切に保管してください。

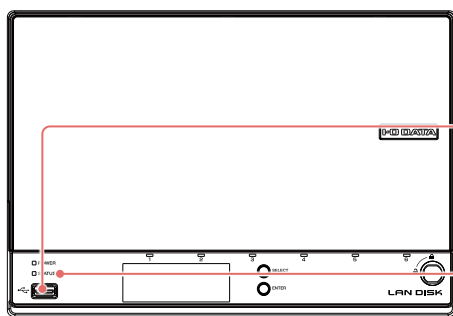
内蔵ディスクを暗号化する

1



[ボリューム] → [内蔵] → [フォーマット] をクリック

2

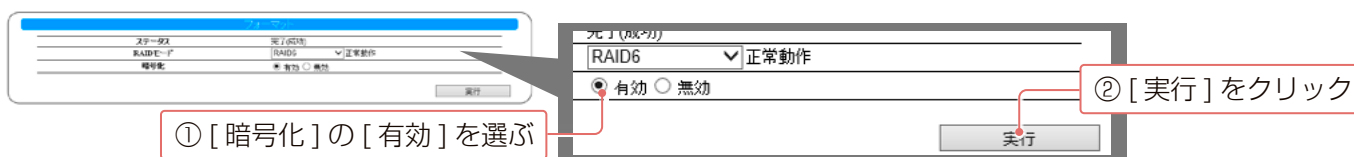


① ロックキーにする USB メモリーを、本製品前面の USB ポート 1 につなぐ

② STATUS ランプの緑点滅が終わるまで待つ

※ HDL6-H の例。

3

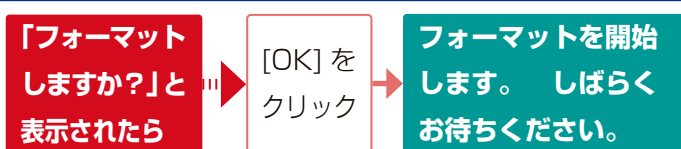


① [暗号化] の [有効] を選ぶ

② [実行] をクリック

※ [RAID を変更しない] を選択すると、RAID の再構築をせずに暗号化することができます。

4



以上で暗号化ボリュームが作成されます。

RAID 再構築完了までの参考事項

- RAID の再構築が完了するまでに、時間がかかる場合がありますが、RAID 構築自体はバックグラウンドで実行されているため、本製品へのアクセスは可能です。
- 現在の構築状態は、液晶表示か [ボリューム情報] で確認できます。内蔵ディスクの [ステータス] に「正常動作」と表示されたら再構築完了です。
※情報を更新する場合は、再度 [ボリューム情報] を開き直してください。

ご注意

- RAID 変更をおこなった場合、つづけて再構築がおこなわれます。再構築が完了しないと RAID によるデータ保護はされません。
- ロックキーは紛失しないよう、必ず安全な場所に保管しておいてください。

ロックキーを保存する (Key Server 機能)

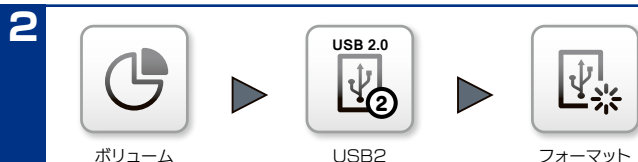
- 「LAN DISK Key Server」は、ロックキーに保存されたキーをサーバー上に保存して、このサーバーをロックキーの代わりとして利用するソフトウェアです。本製品の起動の度にロックキーをつなぐ作業が不要になり、ロックキーを安全な場所に保管できます。弊社商品ページからダウンロードしてください。設定方法については、「LAN DISK Key Server」の電子マニュアルをご覧ください。

USB HDD を暗号化する

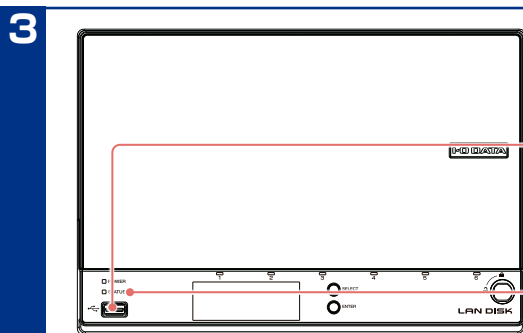
1 暗号化する USB HDD を USB ポート 2 ~ 4 につなぐ (【USB HDD を増設する】(4-43 ページ) 参照)

ご注意

- 暗号化する USB HDD は、本製品専用フォーマットにする必要があります。
- USB ポート 1 はロックキーをつなぐポートとして予約されているため、暗号化できません。また、暗号化された USB HDD を USB ポート 1 につないでも、アンロックできません。



[ボリューム] → [USBx] → [フォーマット] をクリック
※ [USBx] の x は、暗号化する USB HDD をつないだ USB ポート番号です。



①ロックキーにする USB メモリーを、本製品前面の USB ポート 1 につなぐ

② STATUS ランプの緑点滅が終わるまで待つ

※ HDL6-H の例。

4 ① [フォーマット形式] の [専用フォーマット] を選ぶ



② [暗号化] の [有効] を選ぶ

③ [実行] をクリック



ご注意

- ロックキーは紛失しないよう、必ず安全な場所に保管しておいてください。

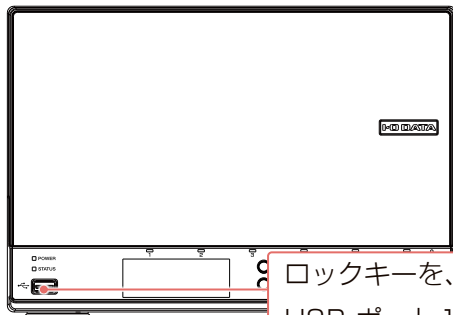
以上で暗号化ボリュームが作成されます。

暗号化ボリュームにアクセスする

1

本製品の電源を OFF にします。
【電源を切る方法】(1-22 ページ) 参照

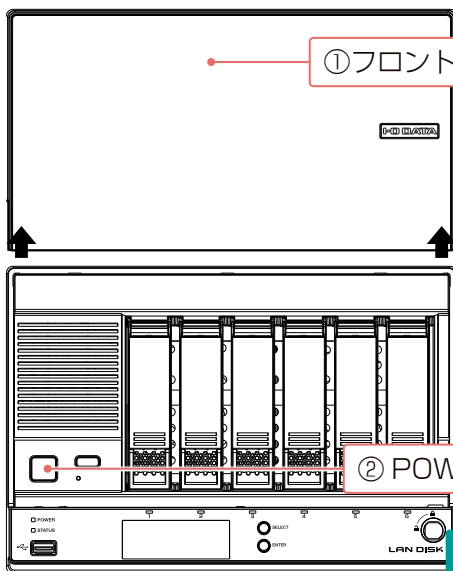
2



ロックキーを、本製品前面の
USB ポート 1 につなぐ

※ HDL6-H の例。

3



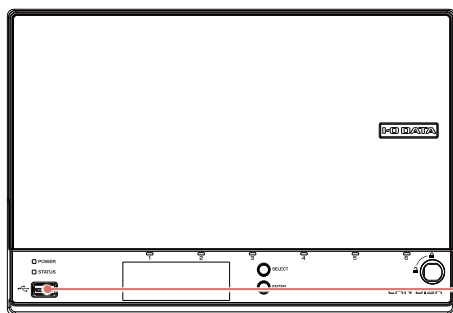
① フロントパネルを取り外す

※ HDL4-HR の場合、
この手順はありません。

② POWER ボタンを押す

電源 ON

4



本製品の起動が完了したら

ロックキーを、USB ポート 1 から取り外す

以上で暗号化ボリュームにアクセスできます。

「セキュリティロックモード」を解除するには

- 内蔵ディスクに暗号化ボリューム設定をした場合、本製品にロックキーをつながずに起動すると、本製品は「セキュリティロックモード」で起動します。「セキュリティロックモード」では、すべての共有サービスは停止し、共有フォルダー上に保存されたデータにアクセスできません。「セキュリティロックモード」は、ロックキーを本製品につなぐことで解除することができます。※次回起動 / 再起動時には再びロックキーが必要です。特にスケジュール起動 / 終了する場合はご注意ください。
- 「セキュリティロックモード」は内蔵ディスクの暗号化が解除されていない場合のモードです。USB HDD の暗号化だけが解除されていない場合は「セキュリティロックモード」になりません。
- 「セキュリティロックモード」を解除するには、以下のいずれかの操作をおこなう必要があります。
 - 方法 1 : ロックキーを USB ポート 1 につなぐ正しいロックキーをつないだ場合、本製品は正常動作に戻り、共有フォルダー上に保存されたデータにアクセスできるようになります。解除後、ロックキーは取り外してください。※次回本製品の起動時、または再起動時には再びロックキーが必要です。
 - 方法 2 : RAID モードを再設定するセキュリティロックモードから RAID の再設定は可能です。ただし再設定の際、保存データは消去されます。

Key Server 機能使用時のアクセス方法

- 「LAN DISK Key Server」がインストールされたパソコンが起動してから、本製品を起動してください。


スペアキーを作成する

※本製品のキーサーバー機能でもロックキーを生成できます。方法は、[【本製品のロックキーを生成する】](#) (3-39 ページ) をご覧ください。

スペアキーを作るには、USB メモリーが必要です

- 64MB 以上の容量を持つ USB メモリーをご用意ください。
- USB メモリーにあらかじめ記録されているデータはすべて消去されます。
- 暗号化されている USB メモリーはご利用いただけません。弊社製 ED-HB シリーズの場合は、アンロックした状態で挿入してください。

1



ボリューム ロックキー ロックキー複製

[ボリューム] → [ロックキー] → [ロックキー複製] をクリック


2



※ HDL6-H の例。

ロックキー（マスターキー）を、本製品前面の USB ポート 1 につなぐ

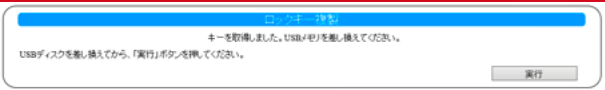
3



[複製] をクリック

4

「キーを取得しました。USB メモリーを差し換えてください。」と表示されたら



↓



本製品前面の USB ポート 1 につないだ
ロックキー（マスターキー）を、
新しい USB メモリーに差し換える

5



[実行] をクリック

以上で、スペアキーが作成されました。

ご注意

- ロックキーはなくさないでください。また、防犯上、安全な場所に保管してください。

暗号化ボリュームを解除する

1

【内蔵ディスクを暗号化する】(3-32 ページ) または
【USB HDD を暗号化する】(3-33 ページ) を開く

【暗号化】の【有効】を選ぶところを、
【無効】に読み替えて、操作する

2

「フォーマット
しますか?」と
表示されたら

[OK] を
クリック

フォーマットを開始
します。しばらく
お待ちください。

ご注意

- 暗号化ボリュームを一般の RAID ボリュームに戻すと、暗号化ボリュームに保存されていたすべてのデータを消失します。
必要なデータがある場合は、あらかじめバックアップした上で実行してください。
- RAID 変更をおこなった場合、つづけて再構築がおこなわれます。再構築が完了しないと RAID によるデータ保護はされません。

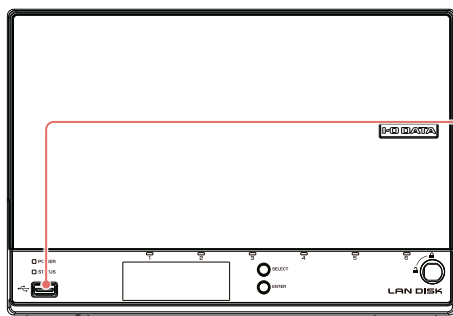
以上で暗号化は解除されます。

ロックキーを削除する

ご注意

- ロックキーを削除すると、暗号化ボリュームにアクセスできなくなります。必ず暗号化ボリュームの解除後に実行してください。
(【暗号化ボリュームを解除する】(3-36 ページ) 参照)

1



※ HDL6-H の例。

削除するロックキーを、
本製品前面の USB ポート 1 につなぐ

2



ボリューム



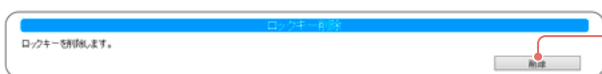
ロックキー



ロックキー削除

[ボリューム] → [ロックキー] → [ロックキー削除]
をクリック

3



[削除] をクリック

ロックキーのキー情報を削除しました。

STATUS ランプが緑点灯になったら、そのまま取り外しできます。

取り外した USB メモリーは、フォーマットしてからご利用ください。

キーサーバー機能

添付ソフト「LAN DISK Key Server」をご利用いただくと、キーサーバーが HDL-H シリーズと通信して安全にロックキー情報を交換できますので、毎回ロックキーを利用しなくても暗号化ボリュームにアクセスできるようになります。複数台の HDL-H シリーズのロックキーをまとめて管理する場合に便利です。

また、キーサーバーは最大 3 台まで設定可能です。キーサーバーを複数台利用すると冗長性が上がります。


事前にキーサーバーとするパソコンに「LAN DISK Key Server」をインストールしてください

- LAN DISK Key Server Ver. 1.20 以降をご使用ください。
- あらかじめ HDL-H シリーズの暗号化処理をおこない、ロックキーを準備しておいてください。

キーサーバーを設定する

キーサーバー機能を利用する場合は、使用するキーサーバーを有効にします。

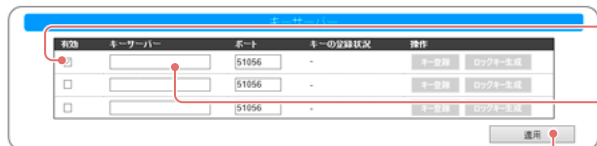
1



ボリューム ロックキー キーサーバー

[ボリューム] → [ロックキー] → [キーサーバー] をクリック

2



① [有効] にチェックをつける

② [キーサーバー] (必要に応じて [ポート]) を入力
[キーサーバー] には、「LAN DISK Key Server」をインストールしたパソコンの名前または IP アドレスを入力します。
※ポート未入力の場合は、51056 になります。「LAN DISK Key Server」で利用するポート番号を変更している場合、変更したポート番号に合わせて設定してください。

③ [適用] をクリック

これでキーサーバー機能が設定されました。

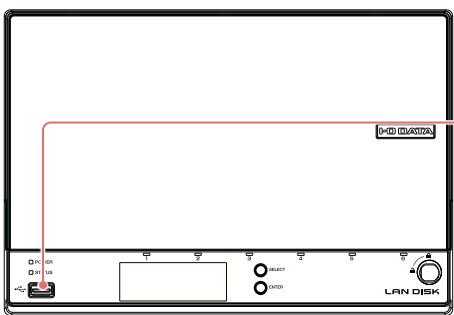
キーサーバーへ本製品のキーを登録する

キーサーバーに本製品のキーの情報を登録します。
あらかじめキーサーバー側で登録している場合は不要です。

事前にキーサーバーとするパソコンの「LAN DISK Key Server」で以下の設定をします

- [連携許可設定] で [許可する] に設定を変更しておきます。
設定方法は、【LAN DISK Key Server 画面で見るマニュアル】をご確認ください。

1



キーサーバーに登録するロックキーを、
本製品前面の USB ポート 1 につなぐ

※本製品用のロックキー以外は登録できません。

※ HDL6-H の例。


2



ボリューム → ロックキー → キーサーバー

[ボリューム] → [ロックキー] → [キーサーバー]
をクリック

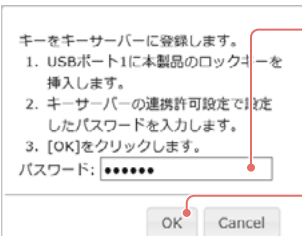
3



[キー登録] をクリック

※キーサーバーを設定していない場合、設定してください。([キーサーバーを設定する] (3-37 ページ) 参照)

4



キーをキーサーバーに登録します。
1. USBポート1に本製品のロックキーを挿入します。
2. キーサーバーの連携許可設定で設定したパスワードを入力します。
3. [OK]をクリックします。

パスワード: ●●●●●●

① LAN DISK Key Server の連携許可設定で登録したパスワードを入力

② [OK] をクリック

これでキーサーバーに本製品のキーが登録されました。

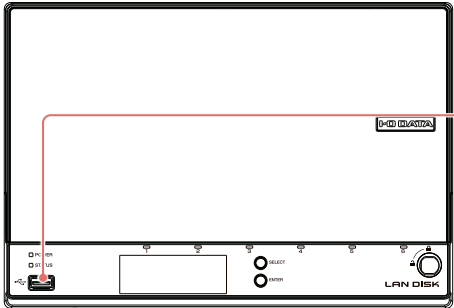
本製品のロックキーを生成する

キーサーバーに登録したキーからロックキーを生成します。

事前にキーサーバーとするパソコンの「LAN DISK Key Server」の設定をします

- 「ロックキーを登録する場合」と「ロックキーを生成する場合」は、[連携許可設定] で [許可する] に設定を変更しておきます。設定方法は、【LAN DISK Key Server 画面で見るマニュアル】をご確認ください。

1



ロックキーにする USB メモリーを、
本製品前面の USB ポート 1 につなぐ

※接続した本製品用以外のロックキーを生成できません。

※ HDL6-H の例。


2



ボリューム → ロックキー → キーサーバー

[ボリューム] → [ロックキー] → [キーサーバー]
をクリック

3




① 生成するキーの [有効] にチェックをつける

② [適用] をクリック


※キーサーバーを設定していない場合、設定してください。(【[キーサーバーを設定する](#)】(3-37 ページ) 参照)

4



[ロックキー生成] をクリック

5



キーサーバーに登録された本製品のキーから、ロックキーを生成します。

1. USBポート1にロックキーにするUSBメモリーを挿入します。
2. キーサーバーの連携許可設定で設定したパスワードを入力します。
3. [OK]をクリックします。

パスワード: [masked]

① LAN DISK Key Server の連携許可設定で登録したパスワードを入力

② [OK] をクリック

これでロックキーが生成されました。

ロックキーの対象機器を変更する

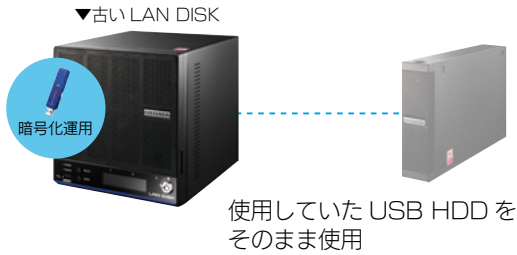
他の HDL-H シリーズで利用していたロックキーを本機用に変更する機能です。

変更後のロックキーは本機専用となり、元の HDL-H シリーズでは使用できなくなりますのでご注意ください。

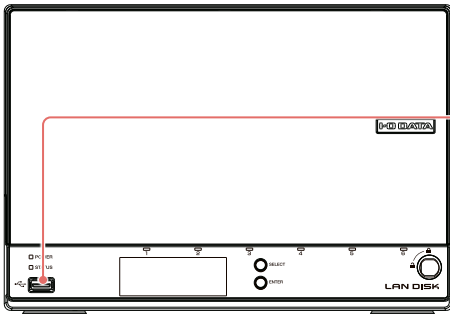
※ 通常本操作は必要ありません。HDL-H シリーズの入れ替えが必要になった場合などにご利用ください。

用途例

環境	古い LAN DISK に USB HDD を接続し、暗号化して運用
用途	USB HDD とロックキーをそのまま新しい LAN DISK で使う
方法	新しい LAN DISK に入れ替え、ロックキーの対象機器を変更する



1



※ HDL6-H の例。

対象を変更するロックキーを、
本製品前面の USB ポート 1 につなぐ

2



ボリューム



ロックキー



対象変更

[ボリューム] → [ロックキー] → [対象変更] を
クリック

3



[対象変更] をクリック

これでロックキーの対象が変更されました。

機器を増設する

ご注意

●増設できる機器については、弊社ホームページをご覧ください。

■ USB HDD

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm>

■ UPS

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/ups.htm>

USB HDD に関するご注意

本製品で共有モードに設定してあるポートに、フォーマット済みの USB HDD を接続した場合、USB HDD 全体を共有フォルダーとして使うことができます。

ポートに対する共有フォルダー名とポートの初期状態は以下のようになります。

ポート名	共有フォルダー名	ポートの初期状態
USB ポート 1	usb1	クイックコピー [※]
USB ポート 2	usb2	共有
USB ポート 3	usb3	共有
USB ポート 4	usb4	共有

※共有モードで使うためには設定が必要です。ポートの設定については、[【USB ポート 1 \(前面\) の設定】\(4-42 ページ\)](#) をご覧ください。

対応フォーマット以外ではご利用いただけません。

本製品のミラーリング機能を使って作成されたミラーディスクを含みます。

使うことができるフォーマット形式と読み書き制限については以下をご覧ください。

対応フォーマット形式	FAT ^{※1}	NTFS	専用 ^{※4}
本製品に接続して使う	読み書き可	読み込みのみ可	読み書き可
パソコンに接続して使う ^{※2}	読み書き可	読み書き可	読み込みのみ可 ^{※3}

※1 FAT 形式のフォーマットでは、2TB 以上の容量を使うことはできません。

本製品で 2TB より大きい容量の USB HDD を FAT 形式でフォーマットする場合は、2TB のパーティションを作成してフォーマットされます。

また、FAT32 形式のフォーマットでは、1 ファイル 4GB 以上のファイルを扱うことができません。

なお、exFAT は非対応です。

※2 2TB より大きい容量の USB HDD は Windows Vista 以降でのみご利用になれます。

※3 添付の「LAN DISK Backup Reader」を使う必要があります。

(インストール方法は [【添付ソフトをインストールする】\(1-19 ページ\)](#) 参照)

※4 弊社製 HDL-XR シリーズ、HDL-XV シリーズで専用フォーマットした USB HDD も、本製品で使うことができます。

(本製品で専用フォーマットした USB HDD は、弊社製 HDL-XR シリーズ、HDL-XV シリーズでは使えません。)

USB ポート 1 (前面) の設定

出荷時の USB ポート 1 の動作モードは、[クイックコピーモード] に設定されています。

この場合、増設する HDD を USB ポート 1 に接続してもそのままでは共有ディスクとして使えません。

USB ポート 1 で USB HDD を使えるようにするには、以下の手順で、動作モードを [共有モード] に変更する必要があります。

クイックコピーモードとは？

本製品前面の FUNC ボタンの機能です。([\[クイックコピー\] \(8-73 ページ\) 参照](#))

クイックコピーモードでは、USB メモリーやデジタルカメラを [USB ポート 1] につないだ後、前面の FUNC ボタンを押すと、自動的に USB メモリーやデジタルカメラのデータを、あらかじめ指定した本製品の共有フォルダー内にコピーすることができます。

クイックコピーモードは、本製品前面の [USB ポート 1] でのみ機能します。また、USB ポート 1 の動作モードがクイックコピーモードとなっている場合のみ機能します。

1



ボリューム



USB1

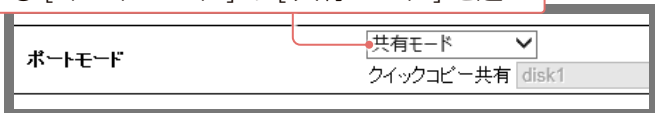


モード設定

[ボリューム] → [USB1] → [モード設定] を
クリック

2

① [ポートモード] の [共有モード] を選ぶ



② [適用] をクリック



USB HDD を増設する

ご注意

- つなぐ USB HDD の容量やフォーマット形式の違いについては、[【USB HDD に関するご注意】\(4-41 ページ\)](#) をご覧ください。
- 本製品の USB ポートには、USB ハブをつながないでください。
- バスパワーで動作する HDD は使えません。必ずセルフパワーでご利用ください。
- FAT/NTFS 形式の USB HDD は、そのまま使えます。(NTFS 形式の USB HDD は、読み込みのみ可能です)
本製品で FAT32/専用形式にフォーマットすることもできます。(NTFS 形式については、Windows パソコンでフォーマットしてください。)
- 未フォーマットや Mac OS でフォーマットした USB HDD を本製品につなぐと、STATUS ランプが赤く点灯し、ブザーが鳴ります。
Windows パソコンか、本製品でフォーマットしてください。ただし、USB HDD 内のデータはすべて消去されます。
- 弊社製 HDL-XR シリーズ、HDL-XV シリーズで専用フォーマットした USB HDD をお使いの場合、1 フォルダーに作成可能なフォルダー数は、31998 個までです。

USB HDD をつなぐ

1

本製品の電源が入っていることを確認

2

USB HDD の電源を ON にする

- ※ USB HDD の電源の入れ方については、USB HDD の取扱説明書をご覧ください。
- ※ USB HDD に電源連動機能がある場合は、本製品につないだ時に USB HDD の電源が入ります。

ご注意

- 下記状況では、USB HDD をつながないでください。
 - ・ STATUS ランプが点滅中 (設定画面操作中)
 - ・ HDD ランプが点滅中 (本製品にアクセス中)
 - ・ USB HDD のランプが点滅中等 (USB HDD にアクセス中)※本製品の電源が入っている状態でつなげられます。
- ブザーが「ピーピーピー」と鳴り、STATUS ランプが赤く点灯した場合は、つないだ USB HDD が FAT/NTFS/専用形式ではありません。
- USB HDD につなぐ時や取り外す時は、共有サービスが停止するため、共有へのアクセスはできません。

3

本製品の USB ポートに USB HDD をつなぐ

USB HDD がつながっているかを確認する



情報・ログ表示



ボリューム情報

[情報] → [ボリューム情報]
をクリック

USB HDD の状況が表示されます。
確認したい HDD をクリックすると、
詳細情報が表示されます。

USB HDD にアクセスする

ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示する

一覧に共有フォルダー **[usb x]** が表示されます。

※ x には USB HDD をつないだ本製品の [USB ポート] 番号が表示されます。

ディスク	内蔵 ディスク	USB ポート接続			
		USB1	USB2	USB3	USB4
表示	disk 1	usb1	usb2	usb3	usb4

ご注意

- NTFS フォーマットの USB HDD は、読み込み専用です。
書き込むことはできません。
- HDD を複数パーティションに分割していた場合は、先頭のパーティションのみしか表示されません。

USB HDD を取り外す

ご注意

- ファイルコピー中に、USB ポートにつないだ機器の接続や取り外しをしたり、本製品や USB HDD の電源を切らないでください。コピーの処理が正常におこなわれません。
- USB HDD をバックアップ先に指定している場合、USB HDD を取り外すとバックアップできません。
- 取り外しは、ここに記載されているように操作してください。
本製品動作中（USB HDD にアクセスされている最中）に記載を無視して取り外すと、データの破損や本製品や USB HDD の故障の原因になります。
- 本製品をシャットダウンし、本製品の電源を切った後に取り外すこともできます。
- Windows と Mac OS で共有して利用していた場合
Windows パソコンに直接つないで USB HDD 内を見ると、見覚えの無いファイル、フォルダーが見える場合があります。
これは、Mac OS でフォルダーを作成したりファイルをコピーした際は、作成したファイル（フォルダー）の他に、別のファイル（フォルダー）が作成されるためです。このファイル（フォルダー）には、Mac OS ユーザー用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。

1



[ボリューム] → [USBx] → [取り外し] をクリック
※ [USBx] の x は、取り外す USB HDD の接続ポート番号です。

2



[実行] をクリック

3

「取り外し処理が完了しました」と表示されたら

取り外し処理をおこなったポートの USB HDD を取り外す

ご注意

- USB HDD の接続・取り外し中は、共有サービスが停止するため、共有へのアクセスはできません。

USB HDD をフォーマットする

ご注意

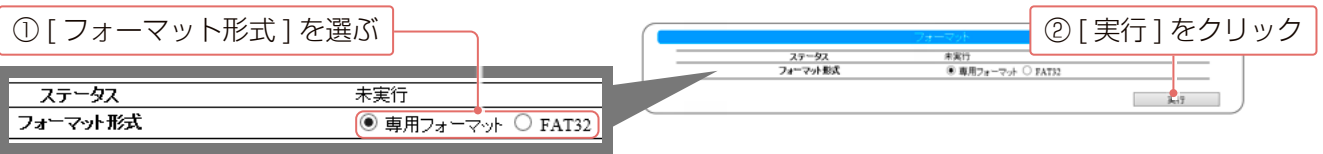
- フォーマットするとデータはすべて消去されます。
USB HDD 内に必要なデータがある場合は、事前にバックアップしてください。
- フォーマット中は、絶対に電源を切らないでください。
- 本製品で USB HDD を NTFS 形式にすることはできません。Windows パソコンに直接接続してフォーマットしてください。
フォーマットの方法については、USB HDD の取扱説明書を参照してください。
※ただし、NTFS 形式の USB HDD を本製品に接続した場合、読み取りのみ可能となり、書き込みはできなくなります。
- 2TB より大きい容量の HDD を、本製品で FAT32 フォーマットした場合、2TB のパーティションでフォーマットします。すべての領域を使うには、専用形式でフォーマットしてください。
- USB HDD のフォーマット開始時やフォーマットの終了時は、共有サービスが停止するため、共有へのアクセスはできません。本製品にアクセスしていないことを確認してから実行してください。

1

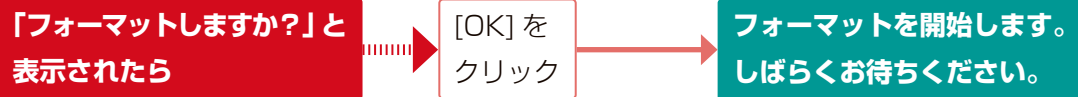


[ボリューム] → [USBx] → [フォーマット] をクリック
※ [USBx] の x は、フォーマットする USB HDD の接続ポート番号です。

2



3



フォーマット時間の目安

- USB 2.0 専用フォーマット時間 → 約 2 時間 30 分
(弊社製 RHD4-UX12TRW(RAID 0))
- USB 3.0 専用フォーマット時間 → 約 30 分
(弊社製 HDS2-UT6.0(RAID 0))

プリンターをつなぐ

ご注意

- 本製品の電源の ON/OFF に関係なく、プリンターの電源を ON/OFF することができます。
本製品は、プリンターのホットプラグに対応しています。
ただし、プリンターの電源を ON にした後、印刷可能となるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 本製品につないだプリンターは、本製品の電源が入っている状態でも取り外すことができます。プリンターを使っていないことを確認後、本製品から USB ケーブルを取り外してください。
- Windows パソコンのみ共有プリンターとして使えます。macOS では使えません。
- 本製品でプリンターを使うすべてのパソコンにプリンタードライバーをインストールする必要があります。
(詳細はプリンターの取扱説明書を参照してください。)
- プリンターの双方向機能には対応しておりません。
- 複合機（プリンター機能以外にスキャナーやリーダーライターの機能などを有するもの）をお使いの場合、プリンター機能のみ対応します。
- Microsoft Windows Printing System(WPS) 専用プリンター、プリンターメーカーが独自に採用しているプリンティングシステムのプリンターでは、その仕様上プリントサーバー機能はご利用いただけません。
- 本製品にプリンターは 1 台のみ、つなげることができます。
- 本製品の内蔵ディスクに空き容量が必要です。本製品を通して印刷時、プリントデータを本製品の内蔵ディスクにスプールするため、スプールデータ用の空き容量が必要になります。印刷できなかった場合は、不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。
- プリンターの機種によっては、ご利用いただけない場合もあります。

プリンターをつなぐ

1

本製品の電源が入っていることを確認

2

プリンターの電源を入れ、プリンターが起動したことを確認

3

本製品の **USB ポート 2** にプリンターをつなぐ

プリンターがつながっているかを確認する

- ① [情報・ログ表示] → [システム情報] をクリック
- ② [プリンター] 欄が [接続済] になっていることを確認
 - ※ [未接続] と表示されている場合は、以下をお試しください。
 - ・プリンターが正しく起動していること
 - ・しばらく時間をおいてから、再度確認する

プリンターのバッファをクリアする

1



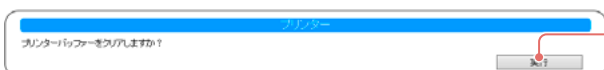
システム



プリンターバッファークリア

[システム] → [プリンターバッファークリア] をクリック

2



[実行] をクリック

UPS をつなぐ

UPS をつなぐ

1

UPS の電源を入れ、UPS が起動することを確認

便利な使いかた

- UPS 警告や定期的な再警告（1 時間ごと）をメールで通知できます。（[【通知機能】（12-100 ページ）](#) 参照）
- 停電から復旧した際に本製品を自動起動させられます。（[【AC 電源連動設定をする】（13-110 ページ）](#) 参照）

2

本製品の USB ポートまたは RS-232C ポートに UPS をつなぐ

※ RS-232C ポートにつなぐ場合は、必ず本製品の電源を OFF の状態にしてからつないでください。USB ポートにつなぐ場合は、本製品の電源が ON の状態でもつなげられます。

UPS がつながっているかを確認する

- ① [情報・ログ表示] → [システム情報] をクリック
- ② [UPS 接続状態] が [正常] になっていることを確認
 - ※ [正常] と表示されていない場合は、それぞれ下のような状況が考えられます。
 - 【未接続】 【通信不能】**
 - UPS が本製品に正しく接続されていない
 - 【バッテリー動作】**
 - 停電状態で UPS のバッテリーによる動作状態

ご注意

- 本製品を UPS のバックアップ出力コンセントに、正しくつないでください。
- UPS と「つないだ後、取り外す」「取り外した後つなぐ」際は、「つなぐ」「取り外す」後 30 秒以上間隔をあけてください。
- 停電時、UPS のバッテリー残容量が約 30% 以下となった場合は、「停電後のシャットダウン」にて設定された時間よりも早くシャットダウンします。
- 本製品は停電時のシャットダウンの際、UPS にシャットダウン信号を送ってシャットダウンします。UPS はシャットダウン信号を受信して数分後に電源出力コンセントの出力を停止しますので、次をお守りください。
 - ・ 停電中には本製品の電源を手動で入れないでください。
 - ・ 停電から復帰した場合でも、UPS がシャットダウン処理中の場合もあります。本製品の電源を入れるときは、UPS がシャットダウン処理から復帰しているかをご確認ください。

UPS 警告を有効にする

本製品と UPS の接続状態を監視し、次の状態を STATUS ランプやブザーでお知らせします。

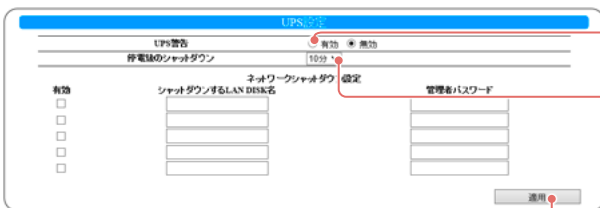
- ・ システム起動時に、UPS がつながっていない状態
- ・ システム稼働中に、UPS 接続ケーブルが抜けた状態

1



[システム] → [電源] → [UPS 設定] をクリック

2



① [UPS 警告] の [有効] を選ぶ

② 必要に応じて、[停電後のシャットダウン] から時間を選ぶ
※ 1 分、5 分、10 分から選べます。初期設定は 10 分です。

② [適用] をクリック

対応 UPS のステータス情報を NarSuS で確認する

ご注意

- 対応 UPS は以下の弊社 Web ページを参照ください。
<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/ups.htm>
- NarSuS が認識できる UPS は 1 台のみです。
- 本機能は、LAN DISK H シリーズと対象 UPS が USB 接続時のみ対応です。

NarSuS のみで確認可能になる項目

製品名	○
バッテリー稼働開始日	○ ※ 1
バッテリー残量	○ ※ 2
F/W Version	○
シリアル番号	○
UPS 内部温度	○
バッテリー状態 (バッテリー劣化情報)	○

※ 1 未設定の場合は NarSuS へ UPS 情報が最初に通知された日が表示されます。

※ 2 通知時点 (NarSuS の定期通知やイベント通知のタイミング) でのバッテリー残量を表示します。

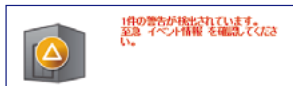
NarSuS で UPS 情報を確認する

NarSuS にアクセスして、UPS 情報を確認します。

NarSuS について詳しくは、NarSuS ヘルプをご覧ください。

https://www.iodata.jp/lib/manual/narsus_help_lib/

初回セットアップ時に以下の警告が最大一日表示されますが、問題ありません。



※ 定期通知データ受信後に自動的に状態表示に戻ります。
2 日以上継続する場合は、UPS を再接続してください。

▼ イベント情報



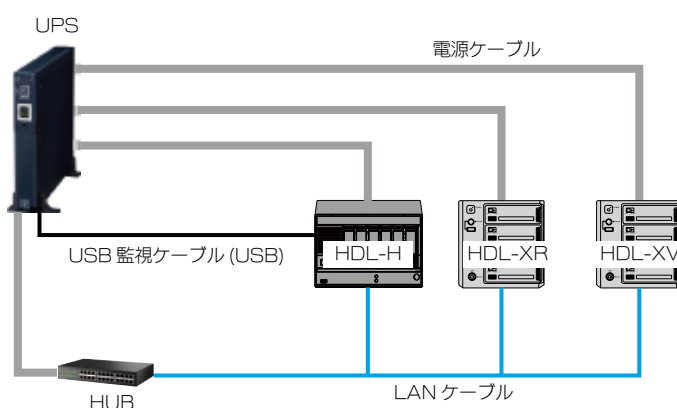
UPS によるネットワークシャットダウン設定を有効にする

UPS をつなぐと、停電時に本製品を自動的にシャットダウンすることができます。

ひとつの UPS に複数の LAN DISK シリーズの電源をつないでいる環境において、ネットワークシャットダウン機能を設定すると、UPS とつないでいない LAN DISK シリーズも停電時にシャットダウンすることができます。(最大 5 台)

右の例では、HDL-H に [UPS 監視ケーブル (USB)] をつなぎ、UPS を監視しています。

停電時には、HDL-H からのシャットダウンコマンドを受けて、HDL-XR、HDL-XV もシャットダウンを実行します。



ご注意

- ネットワークシャットダウン (スレープ) の LAN DISK シリーズは、ファームウェアバージョンが対応している必要があります。ネットワークシャットダウン (スレープ) 対応機器の情報については、弊社製品ホームページをご覧ください。

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/function.htm>

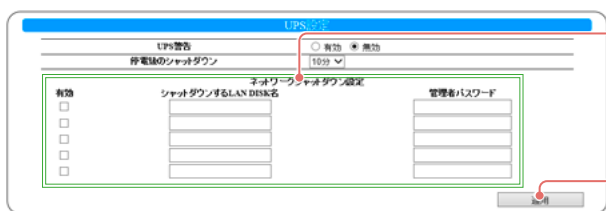
- 停電時、ハブなどのネットワーク機器が正しく動作しないなどの要因で、ネットワークシャットダウン設定をおこなった HDL-H シリーズから、ネットワークシャットダウン (スレープ) 対応機器へのネットワークアクセスができない場合、ネットワークシャットダウンは実行できません。ネットワークシャットダウンする場合、ネットワーク経路上のすべてのネットワーク機器について、UPS による電源保護をする必要があります。

1



[システム] → [電源] → [UPS 設定] をクリック

2



① [ネットワークシャットダウン設定] を入力し、入力した行の [有効] にチェックをつける

② [適用] をクリック

項目名	説明
有効	ネットワークシャットダウン設定を有効にします。
シャットダウンする LAN DISK 名	停電時にシャットダウンする [LAN DISK 名] (または IP アドレス) を入力します。
管理者パスワード	シャットダウンする LAN DISK の管理者パスワードを入力します。

共有フォルダー

共有フォルダーのアクセス権

各共有フォルダーに対し、ユーザー・グループごとに権限を設定することができます。

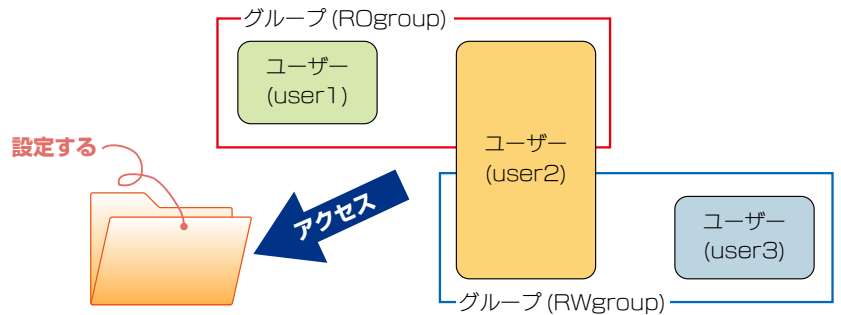
アクセス権限の優先順位について

- アクセス権限は、「読み取り」と「読み書き」を設定できますが、「読み書き」が優先されます。
※グループとユーザーによる優先順位の違いはありません。
- 共有フォルダーを読み取り専用の設定にした場合は、ユーザーやグループの設定に関係なく、読み取りのみとなります。

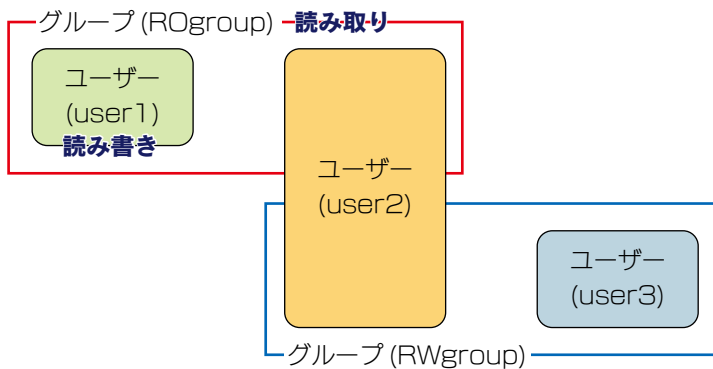
詳細アクセス権の設定例

あるフォルダーに、以下のグループやユーザーに対する詳細アクセス権を設定する場合
(※ user2 が重複していることに注意)

グループ名	所属するユーザー
ROgroup	user1,user2
RWgroup	user2,user3



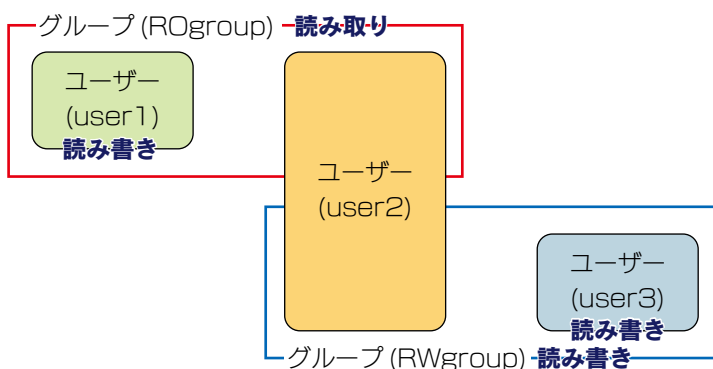
例 1 グループ全体を読み取り権限に設定するが、グループ内の特定ユーザーのみを読み書き権限とする場合



ユーザー名	権限			最終結果
	ユーザー	ROgroup		
user1	読み書き	読み取り		読み書き
user2	-			読み取り

※ user1 は、ユーザーの読み書き指定が優先され、読み書きのアクセスとなります。

例 2 ユーザーおよびユーザーが属するグループに異なるアクセス権を付与した場合



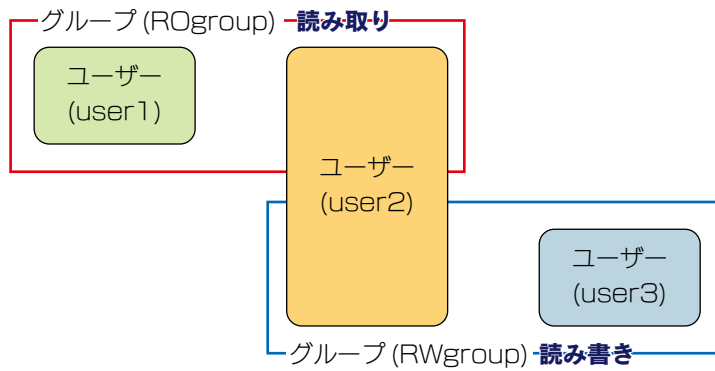
ユーザー名	権限				最終結果
	ユーザー	ROgroup	RWGroup		
user1	読み書き	読み取り	-		読み書き
user2	-		読み書き		読み書き
user3	読み書き	-			読み書き

※ user1 は、ユーザーの読み書き指定が優先され、読み書きのアクセスとなります。

※ user2 は、RWgroup グループの読み書き指定が優先され、読み書きのアクセスとなります。

共有を作成する（つづき）

例 3 グループ全体を読み取り権限に設定するが、グループ内の特定ユーザーのみを読み書き権限とする場合



ユーザー名	権限			最終結果
	ユーザー	ROgroup	RWGroup	
user1	—	読み取り	—	読み取り
user2	—		読み書き	読み書き
user3	—	—	読み書き	読み書き

※ user2 は、RWgroup グループの読み書き指定が優先され、読み書きのアクセスとなります。

例 4 共有フォルダーの読み取り専用チェックをつけた場合

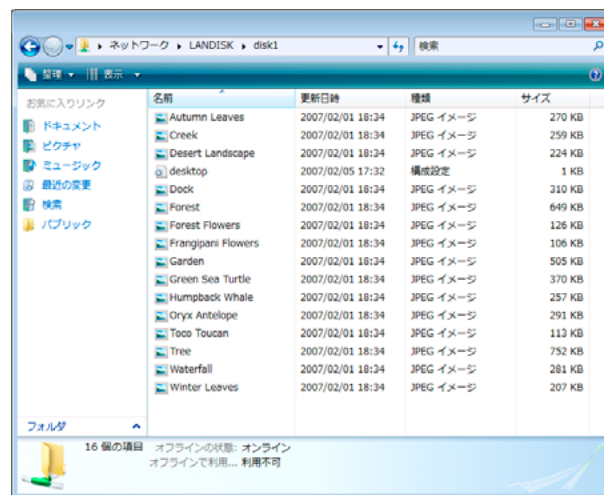
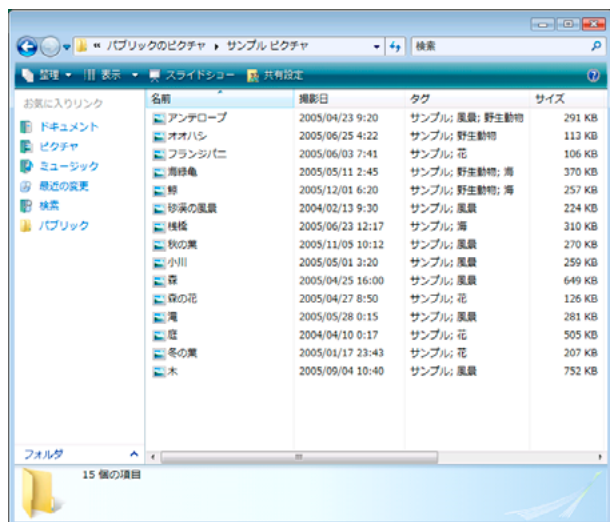
4 ユーザー、グループに対してどのような設定を実施しても、共有フォルダーの読み取り専用チェックをつけると、許可されたユーザーによるアクセスは読み取りとなります。

共有フォルダー使用上のご注意

ご注意

- Windows 7、Vista の「ファイルのバックアップ」機能について
付属の「ファイルのバックアップ」機能で、バックアップの保存先として本製品の共有フォルダーを指定することはできません。
- 本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、OS により制限があります。
- 作成するユーザーは、そのユーザーのパソコンでのログインユーザーと同じ [ユーザー名]、[パスワード] で設定してください。
フォルダーアクセス時にユーザー名、パスワードを入力してアクセスする使い方はサポート対象外となります。
- サブフォルダーには、アクセス権を設定できません。
- Windows 7、Vista 上の表示と共有フォルダー上の表示の違いに関する注意

標準インストールされるサンプルピクチャーフォルダーのファイルは、Windows 7、Vista 上では画面例 (左) のように表示されています。画面例左のサンプルピクチャーを共有フォルダー上にコピーすると、画面例 (右) のように全く名前が異なって表示されます。



実際のファイル名は、LAN DISK 共有フォルダーで表示されるアルファベット文字のファイル名で正しいようですが、Windows 7、Vista 上のサンプルピクチャーのフォルダーは実ファイル名を表示しない設定になっています。

このように名前=ファイル名ではないフォルダー表示設定が可能ですので、注意してください。

ネットワーク上での本製品の表示

本製品や本製品につないだ USB HDD へのファイルの読み書き (アクセス) は、ネットワーク上からおこないます。ネットワーク上から本製品に作成した、または作成されている共有フォルダーを通して、ネットワーク上の複数台のパソコンでファイルを共有することができます。

共有フォルダー名	説明
disk1	本製品出荷時にすでに作成されている内蔵ディスクの共有フォルダーです。 初期設定では管理者のみアクセスできます。
LAN DISK Manual	画面で見るマニュアル (PDF) が保存されています。 ※ 存在しない場合はファームウェアの更新時、パッケージの追加時に自動的に作成されます。
LAN DISK Log	ログ記録用フォルダーです。追加したパッケージなどによりログファイルが保存されます。 ※この共有フォルダーは削除できません。初期設定では管理者のみアクセスできます。
usbx (x はポート番号)	本製品の USB ポートにつないだ USB HDD で、FAT、NTFS、専用形式の場合は、共有フォルダーが表示されます。 初期設定では管理者のみアクセスできます。 ※ usb1 ボリュームを共有モード (FAT/NTFS/専用) に設定時に、USB HDD を [USB ポート 1] につないだ場合は、[usb1] と表示されます。
プリンタと FAX (プリンタ)	削除できません。

共有を追加する

ユーザーを追加する

1

ユーザーがネットワークにログオンする際の
[ユーザー名] と [パスワード] をメモする

ユーザーに関する事項

- [ユーザー & グループ] → [ユーザー] → [一覧] で、ユーザーが追加されていることを確認できます。
- ユーザーは 300 まで登録できます。
- 使える文字には、制限があります。
【文字制限一覧】(15-138 ページ) 参照

2



[ユーザー & グループ] → [ユーザー] → [追加]
をクリック

3

①手順1のメモを参考に、
ユーザー名とパスワード
(確認含む) を入力

② [追加] を
クリック

ユーザー名	メモしたユーザー名を入力します。
パスワード	メモしたパスワードを入力します。 (確認) にも、同じパスワードを入力します。
フルネーム	追加するユーザーに関する情報を入力できます。
コメント	
プライマリグループ	指定したグループのメンバーとして追加されます。 また、使用量制限をする際、追加するユーザーの使用量を、指定したグループの使用量としてもカウントするようになります。
使用量制限値	使用量制限をする際の制限する値を指定できます。 出荷時設定は無効です。 → 【使用量制限】(6-64 ページ)
情報	ユーザー追加に関する追加情報を表示します。

グループを追加する

グループに対してアクセス権を設定すると、グループに属するすべてのユーザーに同一の権限を設定することができます。

1



[ユーザー&グループ] → [グループ] → [追加] をクリック

グループに関する事項

- [ユーザー & グループ] → [グループ] → [一覧] で、グループが追加されていることを確認できます。
- グループは 100 まで登録できます。
- 1 グループには、ユーザーを 300 まで登録できます。
- 使える文字には、制限があります。
【文字制限一覧】(15-138 ページ) 参照

2

名前	作成するグループ名を入力します。
使用量制限値	登録するユーザーが「共有フォルダー上で使える容量」を制限できます。 出荷時設定は無効です。 → 【文字制限一覧】(15-138 ページ)
ユーザー登録設定	作成するグループにユーザーを登録します。 [未登録ユーザーリスト] でユーザーを選び、[選択] をクリックすると、グループに登録されます。 ※登録したユーザーを選び、[除外] をクリックすると、グループから除外されます。
情報	グループ追加に関する追加情報を表示します。

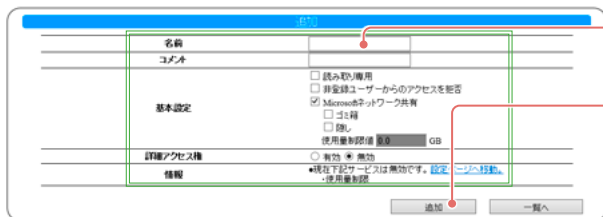
共有フォルダーを追加する

1



[共有] → [フォルダー] → [追加] をクリック

2



①共有フォルダーを設定

② [追加] をクリック

共有フォルダーに関する事項

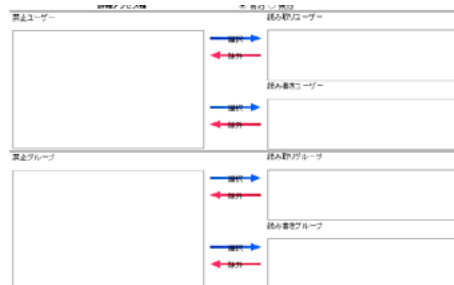
- 使える文字には、制限があります。

【文字制限一覧】(15-138 ページ) 参照

共有フォルダーの作成可能数

- 「usbx」や「LAN DISK Log」などの削除不可能な共有を除いて最大 300 まで作成できます。

名前	共有フォルダーの名前を入力します。この名前が、ネットワーク上に表示される本製品の名前の下に表示されます。	
コメント	Windows 用です。ネットワーク上の共有フォルダーのコメントとして表示されます。	
基本設定	読み取り専用	共有フォルダーを読み取り専用を設定します。詳細アクセス権で「読み書き」で設定した場合でも、読み取り専用となります。
	非登録ユーザーからのアクセスを拒否	本製品に登録されていないユーザーからの共有フォルダーに対するアクセスを拒否します。
	Microsoft ネットワーク共有	Windows からこのフォルダーにアクセスする場合にチェックします。
	ゴミ箱	Windows (Microsoft ネットワーク共有) でのみ利用できます。ゴミ箱機能を使うかどうかを指定します。→ 【ゴミ箱機能】(5-55 ページ)
	隠し	隠しを設定した共有フォルダーは、「¥¥LAN DISK 名」で検索してもエクスプローラーに表示されません。「¥¥LAN DISK 名 ¥ 共有フォルダー名」で検索すると表示されます。
	使用量制限値	共有フォルダーに対し、容量制限を設定することができます。出荷時設定は無効です。→ 【使用量制限】(6-64 ページ)
詳細アクセス権設定	「読み取り」「読み書き」のアクセス権を個別に設定することができます。	
	禁止ユーザーや禁止グループを選択し、[選択] をクリックすると、そのユーザーやグループが該当するアクセス権に追加されます。	
	該当するアクセス権のユーザーやグループを選択し、[除外] をクリックすると、そのユーザーやグループが禁止ユーザー、禁止グループに追加されます。	
情報	共有フォルダー追加に関する追加情報を表示します。	



ゴミ箱機能

ゴミ箱機能を使うと、その共有フォルダーからファイルを削除しても、すぐにファイルがなくなり、いったん [trashbox] フォルダーに保管されます。

ご注意

- [trashbox] フォルダー内のファイルは、自動的に消去されません。
定期的に [trashbox] フォルダー内のファイルを削除されることをおすすめします。
そのままにしておくと、ファイルを削除するたびにファイルがたまり、ディスクの使用領域が減っていきます。
また、通信速度の低下やバックアップ失敗につながる場合があります。
- [trashbox] フォルダー内のファイルを削除すると、該当ファイルはハードディスクから完全に消去されますのでご注意ください。
- ご利用のアプリケーションによっては、その動作中にファイル作成→削除を繰り返すものがあります。結果、[trashbox] フォルダー内のファイルが大幅に増えている場合がありますので、定期的に [trashbox] フォルダー内を確認することをおすすめします。
- ゴミ箱機能を無効にした場合には、[trashbox] フォルダーは削除され、[trashbox] 内のファイルは完全に消去されます。

ゴミ箱機能を有効にする

- 1 [共有] → [フォルダー] → [変更] をクリック
- 2 ゴミ箱機能を有効にする共有フォルダーを選ぶ
- 3 [Microsoft ネットワーク共有] にチェックを入れ、[ゴミ箱] にチェックを入れる
- 4 [変更] をクリック

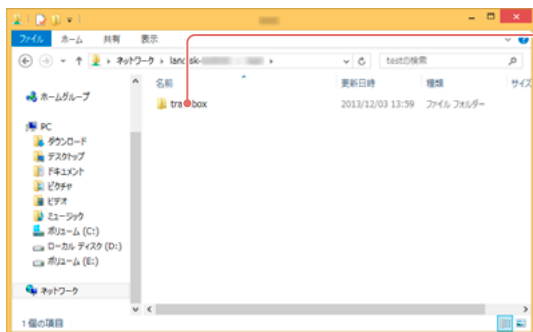
指定した共有フォルダーのゴミ箱機能が有効になりました。

[trashbox] フォルダーからファイルを取り戻す

1

ネットワーク上から本製品の共有フォルダーにアクセスします。

2



[trashbox] フォルダーを開く

3

削除したファイルがありますので、必要なファイルを元の共有フォルダーに移動（またはコピー）します。

これで、元の共有フォルダーにファイルを取り戻しました。

ゴミ箱を空にする

1

[共有] → [フォルダー] → [一覧] をクリック

2

操作の [ゴミ箱を空にする] をクリック
→ 該当フォルダーのゴミ箱が空になります。

共有フォルダーを変更・削除する

共有フォルダーを変更する

1



共有 フォルダー 変更

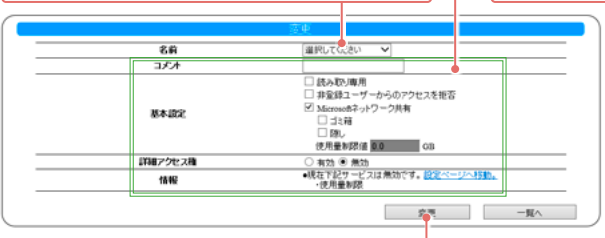
[共有] → [フォルダー] → [変更] をクリック

ご注意

- ファイル数の多い共有フォルダーを変更すると、変更が完了するまでに時間がかかる場合があります。また、変更が完了するまでこのフォルダーにはアクセスできません。

2

①変更する共有フォルダーを選ぶ ②設定を変更



③ [変更] をクリック


各項目について

- 【共有フォルダーを追加する】(5-54 ページ) をご覧ください。

以上で、共有フォルダーの設定が変更されました。

共有フォルダーを削除する

1



共有 フォルダー 削除

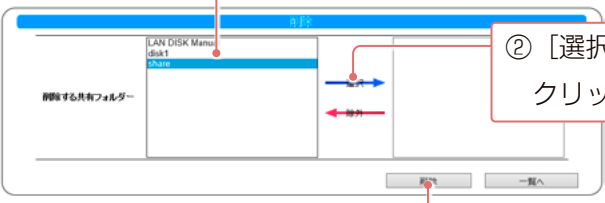
[共有] → [フォルダー] → [変更] をクリック

ご注意

- 共有フォルダーを削除すると、共有フォルダー内のデータも同時に削除されます。必要なデータはあらかじめバックアップしてください。
- 削除する共有フォルダー内のファイルを編集などに使っている場合、削除後、保存先が見つからないなどのエラーとなります。削除前に、削除する共有フォルダーにアクセスしているユーザーがいないかご確認ください。

2

①削除する共有フォルダーを選ぶ ② [選択] をクリック



③ [削除] をクリック

一覧からも変更・削除できます

[共有] → [フォルダー] → [一覧] を開き、共有フォルダーの右にある [変更]、[削除] をクリックします。

名前	基本設定	操作
LAN DISK Manual		変更 削除
disk1		変更 削除
usb1		変更
usb2		変更
usb3		変更
usb4		変更

追加へ

ユーザーを変更・削除する

ユーザーを変更する

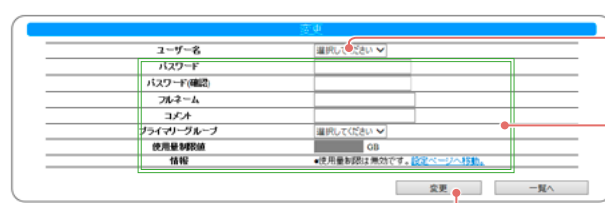
1



ユーザー&グループ ユーザー 変更

[ユーザー & グループ] → [ユーザー] → [変更] をクリック

2



①変更するユーザーを選ぶ

②設定を変更

③ [変更] をクリック

各項目について

- [【ユーザーを追加する】](#) (5-53 ページ) をご覧ください。

以上で、ユーザーの設定が変更されました。

ユーザーを削除する

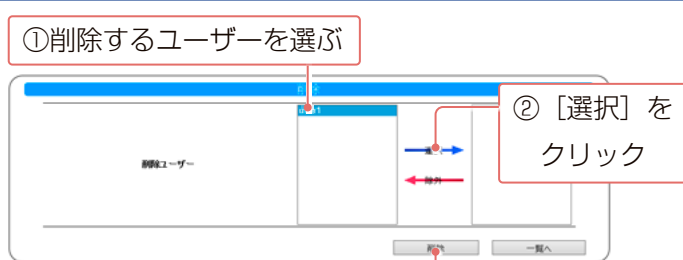
1



ユーザー&グループ ユーザー 削除

[ユーザー & グループ] → [ユーザー] → [削除] をクリック

2



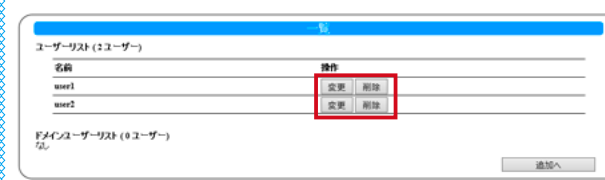
①削除するユーザーを選ぶ

② [選択] をクリック

③ [削除] をクリック

一覧からも変更・削除できます

[ユーザー & グループ] → [ユーザー] → [一覧] を開き、ユーザー名の右にある [変更]、[削除] をクリックします。



ユーザーリスト (2ユーザー)	
名前	操作
user1	変更 削除
user2	変更 削除

ログインユーザーリスト (0ユーザー)

追加へ

以上で、ユーザーの削除は完了です。

グループを変更・削除する

グループを変更する

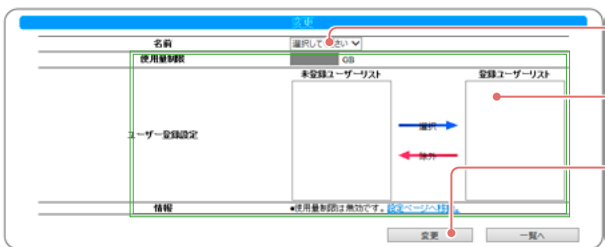
1



ユーザー&グループ グループ 変更

[ユーザー & グループ] → [グループ] → [変更] をクリック

2



① 変更するグループを選ぶ

② 設定を変更

③ [変更] をクリック


各項目について

- [【グループを追加する】](#) (5-53 ページ) をご覧ください。

以上で、グループの設定が変更されました。

グループを削除する

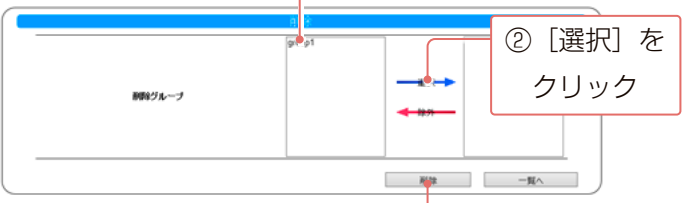
1



ユーザー&グループ グループ 削除

[ユーザー & グループ] → [グループ] → [削除] をクリック

2




① 削除するグループを選ぶ

② [選択] をクリック

③ [削除] をクリック

一覧からも変更・削除できます

[ユーザー & グループ] → [グループ] → [一覧] を開き、グループ名の右にある [変更]、[削除] をクリックします。



グループリスト (1グループ)	
グループ名	group
操作	[変更] [削除]

ドメイングループリスト (0グループ)
なし

追加へ

以上で、グループの削除は完了です。

管理者が共有フォルダーへアクセスする

ネットワークに、ユーザー名「admin」、本製品の管理者パスワードのユーザーでログオンすると、すべての共有フォルダーにアクセスできます。(Windows のみ)

※管理者は、管理者以外の他のユーザー専用・グループ専用として作成した共有フォルダーにもアクセスできます。

ご注意

●このアクセスをする場合は本製品をワークグループモードでご利用ください。ドメインモードでは、すべてのユーザーにアクセスを許可した共有フォルダーのみアクセスできます。

1

[【管理者パスワードを変更する】\(13-109 ページ\)](#) を参照し、管理者パスワードを設定します。

※管理者パスワードが空白のままだと、管理者権限で、共有フォルダーにアクセスできません。

※すでに設定済みの場合は設定の必要はありません。

2

Windows 上で、以下の [ユーザー名] [パスワード] のログオンユーザーを作成します。

ユーザー名 : admin

パスワード : 手順 1 で設定したパスワード

各 Windows でのユーザー作成手順

3

以下のユーザーでネットワークにログオンします。

ユーザー名 : admin

パスワード : 手順 1 で設定したパスワード

4

共有フォルダーにアクセスします。

アクセス方法は、[【共有にアクセスする】\(1-20 ページ\)](#) をご覧ください。

以上で、管理者から共有フォルダーへアクセスできました。

Windows 10

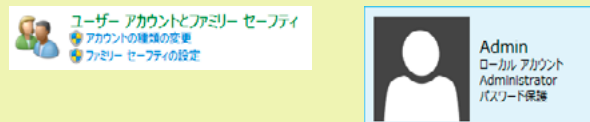
[スタート] → [コントロールパネル] → [アカウントの種類の変更] → [PC 設定で新しいユーザーを追加] でユーザーアカウントを作成します。



Windows 8

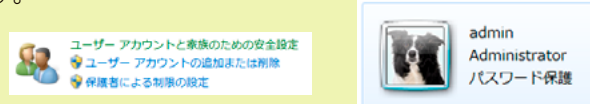
① 画面左下で右クリック
② [コントロールパネル] をクリック

② [ユーザーアカウントとファミリー セーフティ] → [ユーザーアカウント] で、ユーザーアカウントを作成します。



Windows 7

[スタート] → [コントロールパネル] → [ユーザーアカウントと家族のための安全設定] → [ユーザーアカウントの追加または削除] でユーザーアカウントを作成します。



Windows Vista

[スタート] → [コントロールパネル] → [ユーザーアカウントと家族のための安全設定] → [ユーザーアカウントの追加または削除] でユーザーアカウントを作成します。



一括登録をする

ユーザー・グループ・共有フォルダーのリスト (CSV ファイル) を作成し、本製品に読み込ませると、一括登録をすることができます。

※ HDL-XR シリーズ用の一括登録用 CSV ファイルも使えます。

CSV ファイルを準備する

● CSV ファイルの要件

- ・各要素をカンマ (,) で区切っていること。
- ・文字コードが UTF-8, Shift-JIS であること。
- ※上記以外のレコードが存在する場合はエラーとなり、正常に処理できません。

● 設定書式

最初に英字で設定項目を表した後、要素が続きます。

設定項目	書式
ユーザー	追加 adduser, 名前, パスワード, 使用量制限, プライマリーグループ, フルネーム, コメント
	変更 moduser, 名前, パスワード, 使用量制限, プライマリーグループ, フルネーム, コメント
	削除 deluser, 名前
グループ	追加 addgroup, 名前, 使用量制限, グループメンバー
	変更 modgroup, 名前, 使用量制限, グループメンバー
	削除 delgroup, 名前
共有フォルダー	追加 addshare, 名前, コメント, RO ユーザー, RO グループ, RW ユーザー, RW グループ, 読取専用, * バックアップ, * バックアップパスワード, MicroSoft ネットワーク共有, ゴミ箱, 隠し, 使用量制限, *AppleShare, *Ftp, * リモートアクセス, ゲストユーザー禁止, *DLNA, *TimeMachine
	変更 modshare, 名前, コメント, RO ユーザー, RO グループ, RW ユーザー, RW グループ, 読取専用, * バックアップ, * バックアップパスワード, MicroSoft ネットワーク共有, ゴミ箱, 隠し, 使用量制限, *AppleShare, *Ftp, * リモートアクセス, ゲストユーザー禁止, *DLNA, *TimeMachine
	削除 delshare, 名前

※ * は、出荷時状態で対応外である項目です。弊社製 HDL-XR シリーズ用 csv と互換とするために実装しています。

AppleShare, TimeMachine, Ftp 等はパッケージを追加すると対応できます。

対応外項目は無視された形で共有設定がなされ、対応外項目を示すエラーシステムログは 1 回の一括登録につき各項目 1 度のみ出力されます。

※設定項目「グループ」内のグループメンバーで、複数のメンバーを指定する場合は、" " で囲み、ユーザー名ごとに、で区切ります。

● 設定書式カスタマイズ

設定する項目や順序を定義できます。

※項目定義レコードを記述しない場合、デフォルトで上記設定書式と同じ順序で設定レコードを認識します。

※各項目の設定形式と指定しない場合のデフォルト値を“設定形式 / デフォルト値”の形で示しています。

※決められたフィールド名以外の文字を記述した場合、エラーとなり設定されません。

・ユーザー設定項目定義

行頭に "#user_config" という文字列がある場合、そのレコードをユーザ項目定義レコードとして処理します。

例) #user_config, Name, Password, Limit, PrimaryGroup, FullName, Comment

▼フィールド名と設定項目の対応

フィールド名	設定項目	設定形式	デフォルト値
Name	名前	文字列	(指定必須)
Password	パスワード	文字列	(空)
Limit	使用量制限	数字文字列 (小数点以下第 1 位可)	0
PrimaryGroup	プライマリーグループ	文字列	(空)
FullName	フルネーム	文字列	(空)
Comment	コメント	文字列	(空)

一括登録をする (つづき)

・グループ設定項目定義

行頭に "#group_config" という文字列がある場合、そのレコードをグループ項目定義レコードとして処理する。

例) #group_config,Name,Limit,Member

▼フィールド名と設定項目の対応

フィールド名	設定項目	設定形式	デフォルト値
Name	名前	文字列	(指定必須)
Limit	使用量制限	数字文字列 (小数点以下第 1 位可)	0
Member	所属ユーザ (形式:" で囲み、ユーザごとに、で区切る)	" で囲み、ユーザごとに、で区切る	(空)

・共有フォルダー設定項目定義

行頭に "#share_config" という文字列がある場合、そのレコードを共有フォルダー項目定義レコードとして処理する。

例) #share_config,Name,Comment,RoUser,RoGroup,RwUser,RwGroup,ReadOnly,Win,Trash,Hidden,Limit,NoGuest

▼フィールド名と設定項目の対応

フィールド名	設定項目	設定形式	デフォルト値
Name	名前	文字列	(指定必須)
Comment	コメント	文字列	(空)
RoUser	読み取りユーザー	" で囲み、ユーザー名ごとに、で区切る	(空)
RoGroup	読み取りグループ	" で囲み、グループごとに、で区切る	(空)
RwUser	読み書きユーザー	" で囲み、ユーザーごとに、で区切る	(空)
RwGroup	読み書きグループ	" で囲み、グループごとに、で区切る	(空)
ReadOnly	読み取り専用	1-> 有効,0-> 無効,空-> 無効	無効
Win	ネットワーク共有	1-> 有効,0-> 無効,空-> 無効	無効
Trash	ゴミ箱	1-> 有効,0-> 無効,空-> 無効	無効
Hidden	隠し共有	1-> 有効,0-> 無効,空-> 無効	無効
Limit	使用量制限	数字文字列 (小数点以下第 1 位可)	0
NoGuest	ゲストユーザ禁止	1-> 有効,0-> 無効,空-> 無効	無効

*上記フィールドを一部のみ定義した場合、未定義のフィールドは定義したフィールド以降に不特定の順序で内部で定義されます。

● CSV ファイルの記述例

ケース 1

ユーザー追加	User1 を追加	Group1 をプライマリーグループに設定
	User2 を追加	Group1 をプライマリーグループに設定
	User3 を追加	特記事項なし
グループ追加	Group1 を追加	グループのメンバーとして User1,User2 を設定
	Group2 を追加	グループのメンバーとして User3 を設定
共有フォルダー追加	AllShare を追加	登録済のユーザーのみがアクセス可能な設定
	UrwGro を追加	User1,User3 に読み書き権限、Group1 に読み取り権限を設定

▼上記設定内容の CSV ファイル

```

adduser,User1,password1,,Group1,,コメント
adduser,User2,password2,,Group1,,コメント
adduser,User3,password3,,

addgroup,Group1,,"User1,User2"
addgroup,Group2,,User3

addshare,AllShare,全員,,,,0,0,,1,0,0,,1,1,1,1,1,
addshare,UrwGro,混在,,Group1,"User1,User3",,0,0,,1,0,0,,1,1,0,0,,1
    
```

ケース 2

ユーザー追加	User1 を追加	パスワードを password1 とし、その他項目はデフォルト値
グループ追加	Group1 を追加	使用量制限を 100.0GB とし、その他項目はデフォルト値
共有フォルダー追加	AllShare を追加	コメントを全員とし、その他項目はデフォルト値

▼上記設定内容の CSV ファイル

```

adduser,User1,password1

addgroup,Group1,100.0

addshare,AllShare,全員
    
```

一括登録をする（つづき）

ケース3

ユーザー追加	User1 を追加	使用量制限を 100.0GB とし、その他項目はデフォルト値
	User2 を追加	全項目デフォルト値
	User3 を追加	全項目デフォルト値
グループ追加	Group1 を追加	グループメンバーを User1 とし、その他項目はデフォルト値
	Group2 を追加	全項目をデフォルト値
共有フォルダー追加	Share1 を追加	User2、User3 に読み書き権限を設定し、 Group1 に読み取り権限を設定し、 Windows 共有を有効にし、その他項目はデフォルト値
	Share2 を追加	全項目デフォルト値

▼前ページ（ケース3）設定内容の CSV ファイル

```
#user_config,Name,Limit
adduser,User1,100.0
adduser,User2
adduser,User3

#group_config,Name,Member
addgroup,Group1,User1
addgroup,Group2

#share_config,Name,RwUser,RoGroup,Win
addshare,Share1,"User2,User3",Group1,1
addshare,Share2
```

既存のユーザー、グループ、共有フォルダーを一括編集 / 一括削除する場合

既存のユーザー、グループ、共有フォルダー（以下、共有）を一括編集する場合は、書式の先頭要素を adduser、addgroup、addshare ではなく、moduser、modgroup、modshare とします。

名称要素に既存の編集したいユーザー、グループ、共有の名称を指定し、一括追加と同一の書式で編集内容を記述します。

また、存在しないユーザー、グループ、共有の名称を指定した場合は、記述した内容で新規のユーザー、グループ、共有が作成されます。

既存のユーザー、グループ、共有を一括削除する場合は、書式の先頭要素を adduser、addgroup、addshare ではなく、deluser、delgroup、delshare とします。名前の項目に既存の削除したいユーザー、グループ、共有フォルダーの名称のみを記述します。

一括登録をする

1



一括登録



CSV一括登録

[一括登録] → [CSV一括登録] をクリック

2

① [参照] をクリックし、CSV ファイルを選ぶ



② [適用] をクリック

STATUS ランプが点滅

STATUS ランプが点灯で完了

一括登録の結果確認

- [情報・ログ表示] → [システムログ] でご確認ください。
※エラーが表示される場合は、[【CSV一括登録でのトラブル】](#) (17-207 ページ) をご覧ください。

以上で、一括登録されました。

使用量制限

使用量制限について（クォータ機能）

本製品に作成した共有フォルダーを使うユーザー、グループ、共有フォルダーごとに使用量の制限を設定することができます。

また、[メール通知設定] をすると、特定のユーザー、グループ、共有フォルダーの使用率が設定した値を超えるとメールにて通知することができます。

※プライマリーグループが未設定のユーザーによる書き込みは、どのグループの使用量にも加算されません。

※ユーザー "admin" による共有フォルダーへの書き込みは使用量制限を設定できず、使用量制限にカウントもされません。

使用量制限により計算される使用量について

本製品に作成した共有フォルダーの設定により、コピーされたファイルの使用量は以下のように加算されます。

- 共有フォルダー使用量制限が有効な共有フォルダーの場合
どのユーザーがファイルを保存しても、共有フォルダー使用量として加算します。
ユーザー使用量、およびグループ使用量には加算されません。
- 共有フォルダー使用量制限が無効、詳細アクセス権設定が有効な共有フォルダーの場合
ファイルを保存したユーザーの使用量、およびユーザーに設定したプライマリーグループの使用量として加算します。

ご注意

- OS やアプリケーションによって、データ容量の計算方法が違います。そのため、設定した制限設定値に満たない容量しか使用していなくても、ファイルの書き込みができなくなる場合があります。
- 使用量制限を有効に設定する際や制限設定値を設定する際、登録されているユーザー数・グループ数・ファイル数により、設定に時間がかかる場合があります。
- ユーザー使用量設定、グループ使用量設定、共有フォルダー使用量設定は、共有フォルダー USB 共有に対しては無効です。
- フォルダー使用量制限を設定した共有フォルダーは、詳細アクセス権の設定をおこなっても、共有フォルダーにアクセスしたユーザーの使用量、プライマリーグループの使用量は加算されません。
- フォルダー使用量制限を設定した共有フォルダーは、Microsoft ネットワーク共有サービスからのみアクセスできます。

使用量制限を有効にする

1



[システム] → [サービス設定] をクリック

2



① [使用量制限] を [有効] にする

② [適用] をクリック

以上で、使用量制限は有効に設定されました。

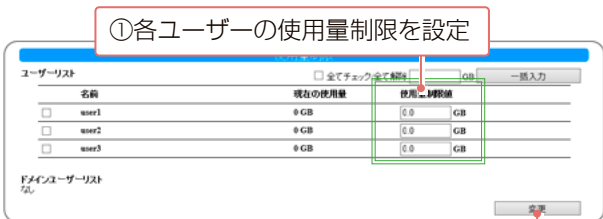
ユーザーごとに使用量制限を設定する

1



[ユーザー & グループ] → [ユーザー] → [使用量制限] をクリック

2



①各ユーザーの使用量制限を設定

② [変更] をクリック

ご注意

- 制限設定値は半角数値のみ小数点 1 位まで設定できます。
- 使用量制限値に [0] を設定した場合、使用量制限が無制限設定になります。

一括入力する

①一括入力するユーザーにチェック

②使用量制限を設定



③ [一括入力] をクリック

以上で、使用量制限は設定されました。

グループごとに使用量制限を設定する

1



[ユーザー & グループ] → [グループ] → [使用量制限] をクリック

2

①各グループの使用量制限を設定

名前	現在の使用量	使用量制限値
group1	0 GB	0.0 GB
group2	0 GB	0.0 GB
group3	0 GB	0.0 GB

② [変更] をクリック

ご注意

- 制限設定値は半角数値のみ小数点 1 位まで設定できます。
- 使用量制限値に [0] を設定した場合、使用量制限が無制限設定になります。
- グループ使用量は、使用量制限を指定したグループを、プライマリグループに設定しているユーザーの書き込みのみ、使用量として加算します。グループ使用量機能を利用するには、あらかじめ使用量制限を設定するグループに所属するユーザーのプライマリグループを、そのグループに設定しておく必要があります。

一括入力する

①一括入力するグループにチェック

②使用量制限を設定

名前	現在の使用量	使用量制限値
group1	0 GB	1 GB
group2	0 GB	1 GB
group3	0 GB	1 GB

③ [一括入力] をクリック

以上で、使用量制限は設定されました。

共有フォルダーごとに使用量制限を設定する

1



[ユーザー & グループ] → [フォルダ] → [使用量制限] をクリック

2

①各フォルダの使用量制限を設定

② [変更] をクリック

名前	現在の使用量	使用量制限値
LAN DISK Manual	0.0 GB	0.0 GB
disk1	0.0 GB	0.0 GB

一括入力する場合

①一括入力するフォルダにチェック

②使用量制限を設定

名前	現在の使用量	使用量制限値
LAN DISK Manual	0.0 GB	0.0 GB
disk1	0.0 GB	0.0 GB

③ [一括入力] をクリック

ご注意

- 制限設定値は半角数値のみ小数点 1 位まで設定できます。
- 使用量制限値に [0] を設定した場合、使用量制限が無制限設定になります。
- USB HDD には設定できません。

以上で、使用量制限は設定されました。

Active Directory・NT ドメインログオン

Active Directory ログオンとは

Active Directory が構築された Windows ネットワークに本製品が参加できる機能です。

Active Directory 管理のユーザー情報、グループ情報を利用して本製品上の共有フォルダーにアクセス権限が設定できます。

本製品へユーザー登録をおこなわずに済むので、ユーザー情報が一元管理できるほか、Active Directory 管理下のユーザーが一度認証すれば同じ Active Directory 内の機器へ認証無しにアクセスできる一元認証機能が利用可能になります。

ご注意

- NT ドメイン・Active Directory ログオン機能は、ドメインユーザー数 1000 人、およびグループ数 1000 グループの環境で動作確認をおこなっております。それ以上の規模のドメインでは、本製品の応答が著しく遅くなったり、正常に動作できないことがあります。
- Mac では利用できません。
- Windows Server 2008 以降の場合は、NT ドメインは利用できません。
- アクセス権を設定した共有フォルダーは、Active Directory、NT ドメインへ参加方法を切り替えると、本製品で設定していたユーザー、グループで利用できなくなります。

また、参加方法を元に戻すと、ドメインモード（Active Directory、NT ドメイン）で設定したユーザー、グループでアクセス権を設定した共有フォルダーを利用できなくなります。

そのため、各参加方法の切り替えをおこなう際は、あらかじめ共有フォルダーのアクセス権を無効（すべてのユーザーでアクセスできるよう）にしておくか、切り替え前にデータをバックアップしてください。

Active Directory へログオンする

1

ドメインコントローラーとなっているパソコンの時刻と、本製品の日付と時刻の設定を合わせる

[【日付と時刻を設定する】](#) (13-107 ページ) 参照

ご注意

●ドメインコントローラーの時刻と本製品の時刻が、5分以上離れていると、ログオンに失敗します。

2

参加するドメインコントローラーの「ドメイン名 (フル DNS 名)」、「ドメイン名 (NetBIOS 名)」を確認し、メモする

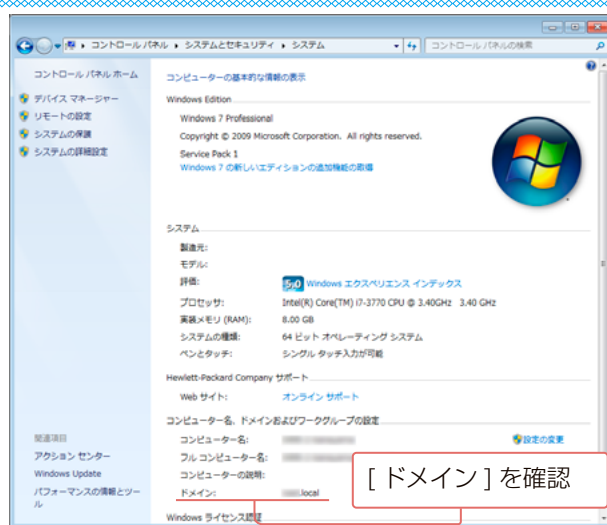
ドメイン名の確認方法

「ドメイン名 (フル DNS 名)」、「ドメイン名 (NetBIOS 名)」はすでに Active Directory に参加しているパソコンから確認できます。(以下は Windows 7 の例)

① [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] を開きます。

② [システムとセキュリティ] → [システム] を開きます。

③ [ドメイン] に表示されている文字列を確認します。
この文字列が「ドメイン名 (フル DNS 名)」になります。
ここで「ドメイン名 (フル DNS 名)」が [domain.local] の場合は「ドメイン名 (NetBIOS 名)」は「DOMAIN」となります。



3

参加するドメインコントローラーの「ドメインコントローラーの名前」を確認し、メモする

4

Administrator パスワードを変更します。

※ Active Directory の仕様により、Administrator パスワードが 1 度も変更されていない場合、ログオンは失敗します。

5

本製品の LAN1 ポートに Active Directory の構成されたネットワークへの LAN ケーブルを接続

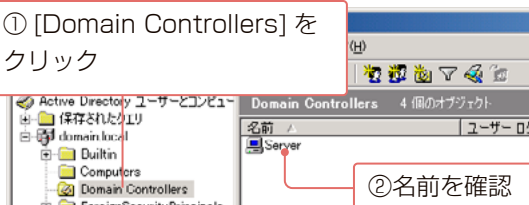
ドメインコントローラーの名前の確認方法

「ドメインコントローラー」の名前は、ドメインコントローラーから確認します。(以下は Windows Server 2003 の例)

① [スタート] → [管理ツール] → [Active Directory ユーザーとコンピュータ] を開きます。

② 左のツリー表示より、[Domain Controllers] をクリックし、右側に表示されるものが「ドメインコントローラーの名前」になります。

① [Domain Controllers] をクリック



6



ネットワーク



LAN 1



IPv4

本製品設定画面を開き、

[ネットワーク] → [LAN1] → [IPv4] をクリック

Active Directory へログオンする (つづき)

7

① [IP アドレス]、[サブネットマスク] を設定

② 共通設定の [設定方法] で [手動で設定する] を選ぶ

③ [デフォルトゲートウェイ]、[DNS サーバー] を設定

④ [適用] をクリック

IP アドレス	ドメインコントローラーにアクセス可能な適切な値を設定してください。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
DNS サーバー	ドメインコントローラーの IP アドレスを入力します。Active Directory の名前解決が行える DNS サーバーがドメインコントローラーと別のサーバーにて構築されている場合は、その DNS サーバーの IP アドレスを入力します。

8

ユーザー&グループ → Microsoft ネットワーク設定

[ユーザー&グループ] → [Microsoft ネットワーク設定] をクリック

9

① Active Directory について設定

② [適用] をクリック

設定方法	ActiveDirectory を選択します。
ドメイン名 (NetBIOS 名)	手順2でメモした [ドメイン名 (NetBIOS 名)] を入力します。
ドメイン名 (フル DNS 名)	手順2でメモした [ドメイン名 (フル DNS 名)] を入力します。
ドメインコントローラーの名前	手順3でメモした [ドメインコントローラーの名前] を入力します。
管理者名	Active Directory の Administrator 権限を持ったユーザー名を入力します。
管理者パスワード	[管理者名] で指定したユーザーのパスワードを入力します。
WINS サーバー	WINS サーバーがネットワーク内にある場合は、その WINS サーバーの IP アドレスを入力します。

以上で、設定は完了です。

ユーザーやグループが取得されているかをご確認ください。([ユーザー & グループ] → [ユーザー] または [グループ] → [一覧])

ご注意

- ログインに失敗する場合は、[【Active Directory への参加ができない】 \(17-205 ページ\)](#) をご覧ください。
- サーバーに本製品の名前と同じコンピューターがすでに登録されている場合は、登録されているコンピューターをいったん削除し、再度手順1から設定を行ってください。
- ドメインコントローラーに IPv6 で接続する場合、本製品が参照する DNS サーバーにドメインコントローラーの IPv6 PTR レコード (逆引きレコード) を登録しておく必要があります。

NT ドメインへログオンする

ここでは、本製品で NT ドメインログオン機能を使う手順について説明します。

NT ドメインログオン機能を利用する場合は、前もってサーバー（ドメインコントローラー）へ本製品の登録が必要です。

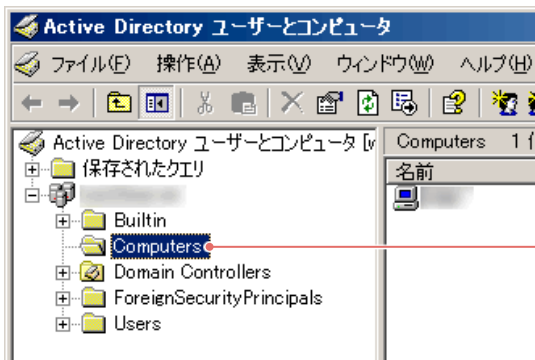
ここでは、Windows Server 2003 の例を示します。

Windows Server 2003 に本製品を登録後、本製品のドメインを設定します。

1

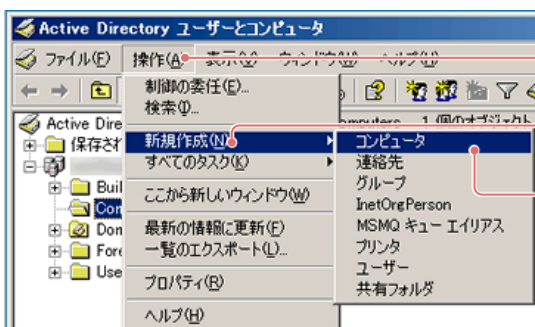
サーバー（ドメインコントローラー）で、[スタート]→[プログラム]→[管理ツール]→[Active Directory ユーザーとコンピュータ]をクリック

2



[Computers] をクリック

3

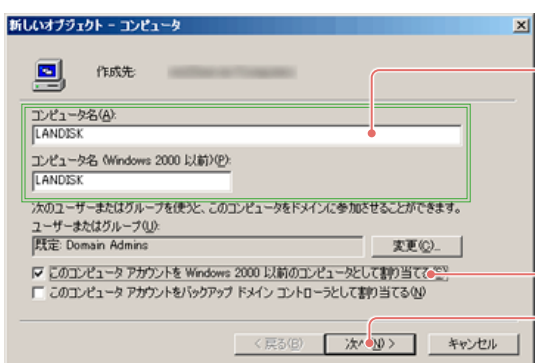


[操作]

[新規作成]

[コンピュータ]
をクリック

4

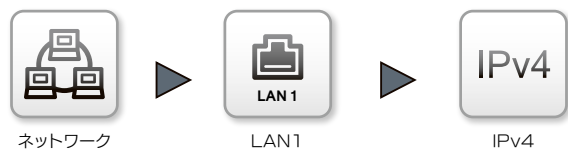


① [コンピュータ名] に本製品の名前を入力

② [このコンピュータアカウントを...] にチェック

③ [次へ] をクリック

5



本製品設定画面を開き、[ネットワーク]→[LAN1]→[IPv4] をクリック

NT ドメインへログオンする (つづき)

6

① [IP アドレス]、[サブネットマスク] を設定

② 共通設定の [設定方法] で [手動で設定する] を選ぶ

③ [デフォルトゲートウェイ]、[DNS サーバー] を設定

④ [適用] をクリック

IP アドレス	ドメインコントローラーにアクセス可能な適切な値を設定してください。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
DNS サーバー	ドメインコントローラーの IP アドレスを入力します。ドメインコントローラーへの名前解決が行える DNS サーバーがドメインコントローラーと別のサーバーにて構築されている場合は、DNS サーバーの IP アドレスを入力します。

7



ユーザー & グループ



Microsoft ネットワーク設定

[ユーザー & グループ] → [Microsoft ネットワーク設定] をクリック

8

① NT ドメインについて設定

② [適用] をクリック

設定方法	NT ドメインを選択します。
ドメイン名	ドメイン名を入力します。
ドメインコントローラーの名前	ドメインコントローラーの名前を入力します。
WINS サーバー	WINS サーバーがネットワーク内にある場合は、WINS サーバーの IP アドレスを入力します。

以上で、設定は完了です。

ユーザーやグループが取得されているかをご確認ください。([ユーザー & グループ] → [ユーザー] または [グループ] → [一覧])

ご注意

- ドメインユーザー名、ドメイングループ名に本製品で使うことができない文字が含まれている場合は、そのドメインユーザー / ドメイングループは、共有の作成時表示されません。
詳しくは、[【文字制限一覧】 \(15-138 ページ\)](#) をご確認ください。
- NT ドメイン機能をお使いになる場合は、Active Directory は「混在モード」の必要があります。ネイティブモードの場合は本製品の「Active Directory 機能」をお使いください。
- サーバーに本製品の名前と同じコンピューターがすでに登録されていた場合は、登録されているコンピューターをいったん削除し、再度手順 1 から設定をおこなってください。

バックアップ

バックアップについて

万一に備えて定期的にバックアップすることをおすすめします。本製品では、以下のバックアップ方法があります。

クイックコピー	本製品前面の FUNC ボタンの機能です。クイックコピーでは、USB メモリーやデジタルカメラを USB ポート 1 に接続した後、前面の FUNC ボタンを押すと、自動的に USB メモリーやデジタルカメラのデータをあらかじめ指定されている本製品の共有フォルダー内にコピーすることができます。 クイックコピー機能は、本製品前面の USB ポート 1 でのみ機能します。また、USB ポート 1 の動作モードが [クイックコピーモード] となっている場合のみ機能します。
バックアップ	本製品の内蔵ディスクまたは増設した USB HDD やネットワーク上の共有フォルダーへバックアップする機能です。 ・ユーザー、グループの情報や、各共有フォルダーのアクセス権設定などは保存することができません。 ・ジョブは 7 個まで登録できます。 <div data-bbox="279 716 1492 985" style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"><h3>履歴差分バックアップについて</h3><p>ファイルやフォルダー単位のバックアップに最適です。フルバックアップしたときのように、バックアップした時点でのファイルやフォルダーの構造が日付ごとに丸ごと残ります。 フルバックアップとは違い、アイオー独自の差分バックアップ方式を使っているため、容量は最小です。</p><p>①スケジュール設定で毎日の会計ファイルをバックアップ ②万が一、誤って更新したり削除してしまっても… ③過去に戻ってファイルを復旧可能です</p><p>フルバックアップ 差分バックアップ 差分バックアップ</p><p>差分データのみが保存されるので容量が節約でき、時間も短縮!</p></div> ※バックアップ先が、本製品の内蔵ディスクまたは専用フォーマットされた増設 USB HDD の場合のみ、履歴差分バックアップをおこないます。FAT32 形式の増設 USB HDD やネットワーク上の共有フォルダーをバックアップ先として設定した場合は、毎回フルバックアップとなります。
データコピー	データコピー元共有フォルダー内のファイルを同一のツリー構成そのままデータコピー先共有フォルダーへコピーする機能です。古い LAN DISK のデータをそのまま新しい LAN DISK へ移行できるため、LAN DISK の入れ替え時のデータ移行に便利です。 ・ユーザー、グループの情報や、各共有フォルダーのアクセス権設定などは保存することができません。 ・ジョブは 20 個まで登録できます。

ご注意

- [クイックコピー]、[バックアップ]、[データコピー] はデータのためのバックアップです。
本製品のシステムも含めてバックアップする場合は、ミラーリングしたディスクを保管する方法があります。[【ミラーリング】\(9-87 ページ\)](#)
- 複数のジョブを同時に実行することはできません。
バックアップ実行中に異なるバックアップジョブを実行した場合は、現在実行中のバックアップジョブが終了してから実行されます。
- バックアップ中、ファイル共有などが遅くなる場合があります。
- バックアップ元には [この装置上] および [ネットワーク上] の共有フォルダーを 300 個まで指定できます。
- ネットワーク経由のバックアップは、ネットワーク上の任意の Windows 共有をバックアップ元、先に指定できます。
- バックアップ元ディスクとバックアップ先ディスクは別々にすることをおすすめします。万一、ディスクが故障した場合でもどちらかのデータを取り出すことができます。
- バックアップ中はバックアップ元やバックアップ先にアクセスしないでください。データ不整合、バックアップ失敗の原因となります。
- USB HDD にバックアップする場合は、事前に USB HDD を接続しておいてください。
- ネットワーク (ルーター) を超えてバックアップする場合
 - ・バックアップ設定では、バックアップ元を装置名または IP アドレスで指定してください。
 - ・本製品はバックアップ通信に「TCP: 139 番」「TCP: 445 番」を使います。バックアップ元の本製品を接続しているルーターが NAT 設定されている場合は、「TCP: 139 番」「TCP: 445 番」宛の通信がバックアップ元の本製品に届くように、ポートフォワード設定が必要です。
 - ・バックアップ通信は暗号化を行っていませんので、VPN 環境下でのご利用をおすすめします。
- ネットワーク経由でのバックアップでは、その時のネットワーク上のパソコンやトラフィックなどの通信状態により、正常に完了しないことがあります。正常にバックアップされたことを、毎回確認することをおすすめします。
- バックアップ先に指定する [この装置上] の専用フォーマットの共有フォルダーは、読み取り専用で設定されファイル共有サービスからの書き込みができなくなります。
- コピー先が FAT32 形式の場合、ファイルシステムの制限のため、ファイルサイズが 4GB 以上のファイルはコピーできません。
- コピー先に NTFS 形式の USB HDD を選ばないでください。NTFS 形式の USB HDD に書き込みはできません。

クイックコピー

使えるデジタルカメラや USB メモリー

使えるデジタルカメラや USB メモリーは以下のものです。

- ・ USB マスストレージクラスの転送に対応し、かつ、そのモードに設定されているデジタルカメラ
 - ・ FAT または NTFS 形式のデジタルカメラ、または USB メモリー
- ※最新の対応機器については、弊社製品ホームページをご覧ください。

ご注意

- クイックコピーは [USB ポート 1] でのみ利用できます。他の USB ポートではご利用いただけません。
- コピー先のディスクに空き容量が充分あることをご確認ください。
- [USB ポート 1] で USB HDD を使うために、[USB ポート 1] の設定を変更した場合は、クイックコピーの設定に戻す必要があります。 ([\[USB ポート 1 \(前面\) の設定\] \(4-42 ページ\)](#) 参照)
- すでに [USB ポート 1] に USB 機器をつないでいる場合は、その USB 機器の取り外し処理をおこなう必要があります。

USB メモリーのデータをコピーする

1

本製品前面の USB ポート 1 に USB メモリーをつなぐ

STATUS ランプが点滅し、しばらくすると点灯

2

本製品前面の FUNC ボタンを "ピッ" と音がするまで押す

コピーを開始します。(STATUS ランプが点滅)

3

"ピッピッピッ" と音が鳴り、STATUS ランプが点灯

コピー完了です。そのまま USB メモリーを取り外せます。

ご注意

ブザーが「ピーピーピー」と鳴り、STATUS ランプが赤点滅し、エラーになる場合は、SELECT ボタンを押して STATUS ランプが緑点灯に変わることを確認し、以下をご覧ください。
[\[ログにクイックコピーのエラーが表示された\] \(17-200 ページ\)](#)

データのコピー先について

データは、コピー先に指定された共有フォルダー（出荷時は [disk 1]）の下に、自動で作成される [QuickCopy] フォルダー内にコピーされます。さらにその下に「実行時の [日付] フォルダー」を作成し、そのフォルダーにファイルがコピーされます。複数の USB メモリーなどをコピーする場合でも、「実行時の [日付] フォルダー」で区別されますので、上書きされることはありません。

クイックコピー（つづき）

コピーしたデータを確認する

1

ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示

2

[disk 1] フォルダを開く
※出荷時の設定です。データのコピー先を変更した場合は、そちらを開いてください。

【QuickCopy】フォルダが表示されます

QuickCopy	クイックコピー時に自動で作成されるフォルダです。
年月日・時刻	[QuickCopy] フォルダ内に、バックアップを開始した年月日・時刻を元にして、自動で作成されるフォルダです。 [20131231000000] の場合は、2013年12月31日00時00分00秒にバックアップを開始したことになります。

クイックコピーの結果を確認する

[LAN DISK Log] 共有内の [QuickCopy] フォルダ以下にクイックコピーの結果を記録します。

※ [LAN DISK Log] には初期値で管理者権限がかかっています。管理者 (admin) でアクセスしてください。(ユーザー名:admin パスワード:設定画面に入る際の管理者パスワード)

[(クイックコピー実行日時)_summary.log] というファイル名のログファイルで内容を確認してください。

[失敗した場合は (クイックコピー実行日時)_failed.log] というファイル名のログファイルで、内容を確認してください。

バックアップ

※以下の設定の前に、[8-72 ページ](#)の【ご注意】をご確認ください。

バックアップを設定する

1




データバックアップ バックアップ 追加

[データバックアップ] → [バックアップ] → [追加] をクリック


2

バックアップ設定の[ジョブ名]を任意で入力する



3


保存する[履歴数]を設定する



4

自動でバックアップする場合、[スケジュール設定]をする

① [有効] にチェックをつける

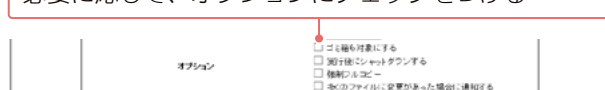


② バックアップする曜日を選ぶ (複数指定が可能)

③ バックアップする時刻を設定する (24時間制で指定)
例) 午後9時の場合 [21:00]

5

必要に応じて、オプションにチェックをつける



ゴミ箱もバックアップする	ゴミ箱もバックアップします。
バックアップ後にシャットダウン	バックアップ後に本製品の電源を切ります。
強制フルコピー 多くのファイルに変更があった場合に通知する	すべてのファイルをコピーします。 フォルダー直下のファイルがすべて更新 / 削除された場合、または、各種類のファイルについて半数以上のファイルが更新 / 削除された場合、システムログに警告レベルでを保存します。 ※それぞれ 10 ファイル以上ある場合に警告の対象となります。

ご注意

- USB HDDにバックアップする場合は、事前に専用フォーマットをおこなってください。 [\[USB HDDをフォーマットする\]](#) (4-45 ページ)
- バックアップ先が、本製品の内蔵ディスクまたは専用フォーマットされた増設USB HDDの場合のみ、履歴差分バックアップをおこないます。
FAT32形式の増設USB HDDやネットワーク上の共有フォルダーをバックアップ先として設定した場合は、毎回フルバックアップとなります。

バックアップ先容量の目安について

本製品のバックアップ対象のデータ量と履歴数により、バックアップ先 USB HDD の容量を調整することをおすすめします。

【参考】履歴 10 回 (月～金の 2 週分) を残す場合
条件：バックアップ対象のデータ量が 100GB で、毎日 10GB ずつ更新されるとします。

このとき、バックアップ先に保存されるデータ量は、最大 190GB となります。(初回フルバックアップ 100GB + 10GB × 9 回 (更新数))

以降は、最大履歴数の 10 回を維持し続けます。

この場合、バックアップ対象のデータ量が増えても、本製品 + 1TB の容量の USB HDD をバックアップ先にすることで十分の容量だといえます。

他のスケジュールと重なった場合

一つのジョブのスケジュール動作中に、別のジョブの開始スケジュール時刻となった場合、後者のジョブが待機状態となり、その前のジョブが完了した後に続けて開始されます。

不正ファイル操作検知機能について

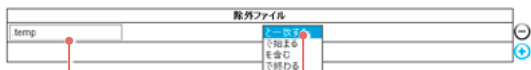
[多くのファイルに変更があった場合に通知する] オプションは、ランサムウェア対策に有効です。

万一ランサムウェアに感染してしまった場合、バックアップしておいた安全なデータに戻ることが一つの対策となりますが、履歴差分バックアップでも、時間経過とともに感染してしまったデータしか残っていないといったことになってしまいます。

このオプションを有効にしておくと、警告ログの通知で何らかの異常が発生している可能性が認識でき、ランサムウェア感染前の状態に素早くリカバリーするために使用できます。

6

バックアップしないファイルの条件を設定



①後の指定方法によりファイル名やファイル名の一部を入力

②指定方法を選ぶ

設定例

例) .temp ([で終わる] の場合)

この場合、xxx.temp という名前のファイルはバックアップされません。



除外ファイルの設定を追加する場合にクリックします。⊖ をクリックするとその除外ファイル設定は削除されます。

7

[バックアップ元] を設定する



以下 [対象種別] により設定内容が異なります。

ローカル	本製品の内蔵ディスクまたは外付けディスクを選びます。
ローカル (全ての共有フォルダー)	本製品の内蔵ディスク全体を選びます。 ※ただし、外付けディスクは対象外です。
Microsoft ネットワーク共有	ネットワーク上のパソコンや他の LAN DISK の共有フォルダーなどを選びます。



バックアップ元の設定を追加する場合にクリックします。⊖ をクリックするとそのバックアップ元設定は削除されます。

[対象種別] が [ローカル] の場合

共有フォルダー	内蔵ディスク内の共有フォルダーを選びます。
サブフォルダー	サブフォルダー名を入力します。フォルダーを限定しない場合は、空欄にします。

[対象種別] が [Microsoft ネットワーク共有] の場合

UNC	共有フォルダーを以下のようにを入力します。 例) ¥¥LANDISK-xxxxxx¥disk1
ユーザー名*	バックアップ元がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているユーザー名を入力します。
パスワード**	バックアップ元がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているパスワードを入力します。

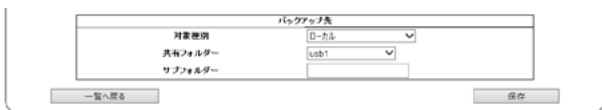
* バックアップ元共有フォルダーにアクセス制限がかかっていない場合は、任意の文字列 (guest など) を入力してください。

ご注意

- 設定するWindows共有フォルダーがリストに表示されない場合は、項目左側のテキストボックスに直接"¥¥ホスト名¥共有フォルダー名"の形式で入力してください。ホスト名の代わりにIPv4形式やIPv6(コロン区切り)形式でも設定できますが、その際の対象機器側IPアドレスは固定設定にしてください。英語版キーボードをご使用の場合やmacOSの場合は、¥マークではなく"¥¥ホスト名¥共有フォルダー名"で入力してください。(バックslashは日本語入力がOFFの状態ではキーボードの「ろ」キーを押すと入力できます)
- macOSからアクセスする共有フォルダーをバックアップする場合、フォルダー・ファイル名に「¥/*?*<>」を使わないでください。使った場合、バックアップに失敗します。

8

[バックアップ先] を設定する



以下 [対象種別] により設定内容が異なります。

<input type="checkbox"/> ローカル	本製品の内蔵ディスクまたは外付けディスクを選びます。
Microsoft ネットワーク共有	ネットワーク上のパソコンや他の LAN DISK の共有フォルダーなどを選びます。

[対象種別] が [ローカル] の場合

共有フォルダー	内蔵ディスク内の共有フォルダーを選びます。
サブフォルダー	サブフォルダー名を入力します。フォルダーを限定しない場合は、空欄にします。

[対象種別] が [Microsoft ネットワーク共有] の場合

UNC	共有フォルダーを以下のようにを入力します。 例) ¥¥LANDISK-xxxxxx¥disk1
ユーザー名*	バックアップ先がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているユーザー名を入力します。
パスワード*	バックアップ先がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているパスワードを入力します。

* バックアップ先共有フォルダーにアクセス制限がかかっていない場合は、任意の文字列 (guest など) を入力してください。

ご注意

- バックアップ先には、1 ジョブにつき 1 つの共有のみ指定できます。
- バックアップ先に指定する本製品の共有フォルダーは読み取り専用を設定されます。ファイルの削除、書き込みをするためには、管理者 (admin) でアクセスする必要があります。

9

画面下の [保存] をクリック



スケジュール設定をおこなった場合は、設定したスケジュールでバックアップを開始します。
今すぐバックアップをおこなう場合は、次ページをご覧ください。

バックアップ (つづき)

今すぐバックアップする

1



[データバックアップ] → [バックアップ] → [一覧] をクリック

2

有効	ジョブ名	ステータス	スケジュール	実行	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	backup1	未実行	曜日: 日月火水木 曜: 曜 時刻: 時刻	バックアップ開始 バックアップ停止	実行 初期
<input type="checkbox"/>	backup2	未実行	曜日: 日月火水木 曜: 曜 時刻: 時刻	バックアップ開始 バックアップ停止	実行 初期

設定したスケジュールでバックアップする

実行するバックアップジョブの有効にチェックをつけます。

実行するバックアップジョブの右にある
[バックアップ開始] をクリック

3

以下のジョブを実行します。

ジョブ名	backup1
ステータス	未実行

[開始] [停止] [一覧]

[開始] をクリック

バックアップが
開始 (STATUS ラ
ンプが点滅)

“ピピピピ”
(STATUS ランプが
点灯)

バックアップ完了

ご注意

- ブザーが「ピーピーピー」と鳴り、STATUSランプが赤点滅する場合は、SELECTボタンを押してSTATUSランプが緑点灯に変わることを確認します。その後 [【エラーのログが表示された、バックアップ \(データコピー\) を実行するとブザーが鳴りエラーとなる】](#) (17-202 ページ) をご覧ください。
- エラーが発生した場合は、バックアップの [ジョブ名] フォルダ内の [_hdl-h_backup_log] フォルダをご確認ください。
[【バックアップしたデータを確認する】](#) (8-80 ページ) 参照

バックアップ（つづき）

バックアップ中のジョブを停止する

1



[データバックアップ] → [バックアップ] → [一覧] をクリック

2

有無	ジョブ名	ステータス	スケジュール	実行	設定	ジョブ
<input type="checkbox"/>	backup1	本実行	曜日: 日月火水木 時刻:	バックアップ開始	バックアップ終了	停止
<input type="checkbox"/>	backup2	本実行	曜日: 時刻: 23:55	バックアップ開始	バックアップ終了	停止

停止するバックアップジョブ
の右にある [停止] をクリック

複数のバックアップジョブを停止する

停止するバックアップジョブにチェックをつけ、上の [停止] をクリックします。

バックアップを再度開始する場合

[バックアップ開始] をクリックすると、バックアップを最初から開始します。

ご注意

- 現在バックアップ中のジョブのみ停止できます。

バックアップしたデータを確認する

1

ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示



バックアップ先に設定した共有フォルダーを開く

2

バックアップのジョブ名のフォルダーを確認します。

[ジョブ名]

→[年月日・時刻]

→[バックアップ元ホスト名]

→[バックアップ元ホストの共有名]

ジョブ名	バックアップ設定時に指定した [ジョブ名] のフォルダーです。
年月日・時刻	バックアップを開始した年月日・時刻を元にして、自動で作成されるフォルダーです。 [20131231000000] の場合は、2013年12月31日00時00分00秒に開始しています。
バックアップ元ホスト名	バックアップ元で選ばれたホスト名のフォルダーです。本製品上を選択した場合は「localhost」となります。
バックアップ元ホストの共有名	バックアップ元で選択された共有名のフォルダーです。バックアップ元にサブフォルダーを指定した場合、共有名の後に「_」で区切られてサブフォルダー名が追加されます。

ご注意

- [LAN DISK Log] 共有の [Backup] の [ジョブ名] 以下にバックアップの結果を記録します。失敗した場合は「(バックアップ実行日時)_failed.log」というファイル名のログファイルが生成されますので、内容を確認してください。
- バックアップデータを見せないようにしたい場合は、[【バックアップ、データコピー先のデータを見せないようにできますか?】\(17-201 ページ\)](#) をご覧ください。
- バックアップ先の共有フォルダーは読み込み専用で設定されています。そのためデータを取り出すことはできますが、書き込むことはできません。
※ 管理者 (admin) でアクセスすれば、データの読み書きができます。(ユーザー名: admin パスワード: 設定画面に入る際の管理者パスワード)

履歴差分バックアップできていない?

- バックアップ先が、本製品の内蔵ディスクまたは専用フォーマットされたUSB HDDでない場合、履歴差分バックアップされません。
- 履歴差分バックアップされていますが、データを見やすいように全てのファイルが表示されています。履歴差分バックアップされていないファイルは、以前のバックアップフォルダから参照されていますので、容量を消費しません。

バックアップの結果を確認する

[LAN DISK Log] 共有の [Backup] の [ジョブ名] 以下にバックアップの結果を記録します。

※ [LAN DISK Log] には初期値で管理者権限がかかっています。管理者 (admin) でアクセスしてください。(ユーザー名: admin パスワード: 設定画面に入る際の管理者パスワード)

「(バックアップ実行日時)_summary.log」というファイル名のログファイルで内容を確認してください。

失敗した場合は「(バックアップ実行日時)(full または diff)_failed.log」というファイル名のログファイルで、内容を確認してください。(full はフルバックアップ、diff は履歴差分バックアップしたことを表します)

■ ログファイルの内容と対処: ログ内容を「Error」で検索し、検索に掛かった場合は対処をご覧ください。

ログ内容	意味	対処
NoSpaceError	バックアップ先の容量が足りません。	バックアップ先の容量を確保してください。
NoEntryError	フォルダーやファイルが見つかりません。	バックアップ中にファイル・フォルダーの変更・削除・場所の移動をおこなわないでください。
ExistsError	以下のうちいずれかに該当します。 ・バックアップ元にあるファイルと同名のフォルダーがバックアップ先に存在します。 ・バックアップ元にあるフォルダーと同名のファイルがバックアップ先に存在します。	同名のファイル、フォルダーのうち片方の名称を変更してください。
TimeOutError	ネットワーク上のバックアップ元への接続がタイムアウトしました。	バックアップ元や本製品のネットワーク設定を確認してください。
DisableFileSystemError	バックアップ先が対象フォーマットではありません。	バックアップ先が専用フォーマットまたは FAT32 フォーマットであるか確認してください。
NotShareModeError	対象のボリュームが共有モードではありません。	対象のボリュームが共有モードであるか確認してください。
UnMountedError	対象のボリュームがマウントされていません。	バックアップ先のボリューム (USB HDD) の再起動や接続やり直しをお試しください。
ShareNotExistsError	対象の共有フォルダーが存在していません。	対象の共有フォルダーが存在しているか確認してください。
PermissionError	ファイルやフォルダーのアクセス権がありません。	対象のファイルやフォルダーのアクセス権の変更や再作成をしてください。
NameTooLongError	以下のうちいずれかに該当します。 ・ファイル名やフォルダー名の長さが 255 バイトより大きい。 ・ファイルやフォルダーのパス長が 4095 バイトより大きい。	対象のファイル、フォルダーの名前またはパス長を変更してください。

バックアップ (つづき)

バックアップからデータを復元する

1



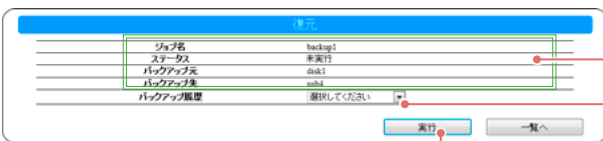
[データバックアップ] → [バックアップ] → [一覧] をクリック

2



復元するバックアップジョブの右にある [復元] をクリック

3



① 内容を確認する

② [バックアップ履歴] で復元するバックアップの日時を選ぶ

③ [実行] をクリック

復元について

- 復元先に同じ名前のファイルが存在する場合は上書きされます。
- バックアップに存在しないファイルが復元先にあった場合でも、そのファイルは削除などされません。
- 復元先が読み取り専用の場合、復元できません。

復元が開始される (STATUS ランプが点滅)

“ピッピッピ” (STATUS ランプが点灯)

復元完了 (ステータスに [完了 (成功)] と表示される)

復元の結果を確認する

[LAN DISK Log] 共有の [Restore] の [ジョブ名] 以下に復元の結果を記録します。

※ [LAN DISK Log] には初期値で管理者権限がかかっています。管理者 (admin) でアクセスしてください。(ユーザー名: admin パスワード: 設定画面に入る際の管理者パスワード)

「(復元実行日時)_summary.log」というファイル名のログファイルで内容を確認してください。

失敗した場合は「(復元実行日時)_failed.log」というファイル名のログファイルで、内容を確認してください。

■ ログファイルの内容と対処: ログ内容を「Error」で検索し、検索に掛かった場合は対処をご覧ください。

ログ内容	意味	対処
NoSpaceError	復元先の容量が足りません。	復元先の容量を確保してください。
NoEntryError	フォルダーやファイルが見つかりません。	復元中にファイル・フォルダーの変更・削除・場所の移動をおこなわないでください。
ExistsError	以下のうちいずれかに該当します。 ・復元元にあるファイルと同名のフォルダーが復元先に存在します。 ・復元元にあるフォルダーと同名のファイルが復元先に存在します。	同名のファイル、フォルダーのうち片方の名称を変更してください。
TimeOutError	ネットワーク上の復元元への接続がタイムアウトしました。	復元元や本製品のネットワーク設定を確認してください。
DisableFileSystemError	復元先が対象フォーマットではありません。	復元先が専用フォーマットまたは FAT32 フォーマットであるか確認してください。
NotShareModeError	対象のボリュームが共有モードではありません。	対象のボリュームが共有モードであるか確認してください。
UnMountedError	対象のボリュームがマウントされていません。	復元先のボリューム (USB HDD) の再起動や接続やり直しをお試しください。
ShareNotExistsError	対象の共有フォルダーが存在していません。	対象の共有フォルダーが存在しているか確認してください。
PermissionError	ファイルやフォルダーのアクセス権がありません。	対象のファイルやフォルダーのアクセス権を変更してください。
NameTooLongError	以下のうちいずれかに該当します。 ・ファイル名やフォルダー名の長さが 255 バイトより大きい。 ・ファイルやフォルダーのパス長が 4095 バイトより大きい。	対象のファイル、フォルダーの名前またはパス長を変更してください。

データコピー

※以下の設定の前に、[8-72 ページ](#)の【ご注意】をご確認ください。

データコピーを設定する

1



[データバックアップ] → [データコピー] → [追加] をクリック

2

データコピー設定の[ジョブ名]を任意で入力する



3

自動でデータコピーする場合、[スケジュール設定]をする

① [有効] にチェックをつける



② データコピーする曜日を選ぶ
(複数指定が可能)

③ データコピーする時刻を設定
する(24時間制で指定)
例) 午後9時の場合 [21:00]

他のスケジュールと重なった場合

一つのジョブのスケジュール動作中に、別のジョブの開始スケジュール時刻となった場合、後者のジョブが待機状態となり、その前のジョブが完了した後に続けて開始されます。

4

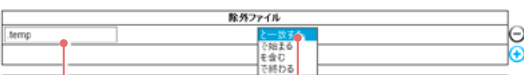
必要に応じて、オプションにチェックをつける



ゴミ箱もコピーする	ゴミ箱もデータコピーします。
データコピー後シャットダウン	データコピー後に本製品の電源を切ります。
強制フルコピー	すべてのファイルをコピーします。
データコピー元のないファイルを削除する	コピー先にのみ存在するファイルを削除します。

5

データコピーしないファイルがある場合、[除外ファイル]を設定する



① 後の指定方法によりファイル名やファイル名の一部を入力

② 指定方法を選ぶ

設定例

例) .temp ([で終わる] の場合)

この場合、xxx.temp という名前のファイルはバックアップされません。



除外ファイルの設定を追加する場合にクリックします。⊖ をクリックするとその除外ファイル設定は削除されます。

[データコピー元]を設定する

以下 [対象種別] により設定内容が異なります。

ローカル	本製品の内蔵ディスクまたは外付けディスクを選びます。
Microsoft ネットワーク共有	ネットワーク上のパソコンや他の LAN DISK の共有フォルダーなどを選びます。

[対象種別] が [ローカル] の場合

共有フォルダー	内蔵ディスク内の共有フォルダーを選びます。
サブフォルダー	サブフォルダー名を入力します。フォルダーを限定しない場合は、空欄にします。

[対象種別] が [Microsoft ネットワーク共有] の場合

UNC	共有フォルダーを以下のようにを入力します。 例) ¥¥LANDISK-xxxxxx¥disk1
ユーザー名*	データコピー元がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているユーザー名を入力します。
パスワード**	データコピー元がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているパスワードを入力します。

※ データコピー元共有フォルダーにアクセス制限がかかっていない場合は、任意の文字列 (guest など) を入力してください。

ご注意

- 設定する Windows 共有フォルダーがリストに表示されない場合は、項目左側のテキストボックスに直接 "¥¥ ホスト名 ¥ 共有フォルダー名" の形式で入力してください。ホスト名の代わりに IPv4 形式や IPv6 (コロン区切り) 形式でも設定できますが、その際の対象機器側 IP アドレスは固定設定にしてください。英語版キーボードをご使用の場合や macOS の場合は、¥マークではなく "¥¥ ホスト名 ¥ 共有フォルダー名" で入力してください。(バックslashは日本語入力が OFF の状態でキーボードの「ろ」キーを押すと入力できます)
- macOS からアクセスする共有フォルダーをデータコピーする場合、フォルダー・ファイル名に「¥/:?*"<>」を使わないでください。使った場合、データコピーに失敗します。

[データコピー先]を設定する

以下 [対象種別] により設定内容が異なります。

ローカル	本製品の内蔵ディスクまたは外付けディスクを選びます。
Microsoft ネットワーク共有	ネットワーク上のパソコンや他の LAN DISK の共有フォルダーなどを選びます。

[対象種別] が [ローカル] の場合

共有フォルダー	内蔵ディスク内の共有フォルダーを選びます。
サブフォルダー	サブフォルダー名を入力します。フォルダーを限定しない場合は、空欄にします。

[対象種別] が [Microsoft ネットワーク共有] の場合

UNC	共有フォルダーを以下のようにを入力します。 例) ¥¥LANDISK-xxxxxx¥disk1
ユーザー名*	データコピー先がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているユーザー名を入力します。
パスワード**	データコピー先がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているパスワードを入力します。


※ データコピー先共有フォルダーにアクセス制限がかかっていない場合は、任意の文字列 (guest など) を入力してください。

画面下の [保存] をクリック

データコピー（つづき）

今すぐデータコピーする

1



データバックアップ → データコピー → 一覧

[データバックアップ] → [データコピー] → [一覧] をクリック

2




有効	ジョブ名	ステータス	スケジュール	実行	設定
<input type="checkbox"/>	datacopy1	-	曜日: 月 時間: 23:55	データコピー開始 停止	実行 削除
<input type="checkbox"/>	datacopy2	-	曜日: 月 時間: 23:55	データコピー開始 停止	実行 削除

設定したスケジュールでデータコピーする
実行するバックアップジョブの有効にチェックをつけます。

実行するデータコピージョブの右にある
[データコピー開始] をクリック

3



以下のジョブを実行します。

ジョブ名	datacopy1
ステータス	未実行

[実行] をクリック

データコピーが
開始 (STATUS ラ
ンプが点滅)

“ピピピピ”
(STATUS ランプが
「点灯」)

データコピー完了

ご注意

- ブザーが「ピーピーピー」と鳴り、STATUSランプが赤点滅する場合は、SELECTボタンを押してSTATUSランプが緑点灯に変わることを確認します。その後 [【エラーのログが表示された、バックアップ（データコピー）を実行するとブザーが鳴りエラーとなる】（17-202 ページ）](#) をご覧ください。
- エラーが発生した場合は、データコピーしたフォルダー内の[LAN DISK Log] 共有の [DataCopy] の [ジョブ名] フォルダーをご確認ください。
[【コピーしたデータを確認する】（8-85 ページ）](#) 参照

データコピー（つづき）

コピーしたデータを確認する

1

ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示

データコピー先に設定した共有フォルダーを開く

2

データコピー元と同じ構成のフォルダーが作成されていることを確認

データコピーの結果を確認する

[LAN DISK Log] 共有の [Data Copy] の [ジョブ名] 以下にデータコピーの結果を記録します。

※ [LAN DISK Log] には初期値で管理者権限がかかっています。管理者（admin）でアクセスしてください。（ユーザー名：admin パスワード：設定画面に入る際の管理者パスワード）

「(データコピー実行日時)_summary.log」というファイル名のログファイルで内容を確認してください。

失敗した場合は「(データコピー実行日時)_failed.log」というファイル名のログファイルで、内容を確認してください。

■ログファイルの内容と対処：ログ内容を「Error」で検索し、検索に掛かった場合は対処をご覧ください。

ログ内容	意味	対処
NoSpaceError	データコピー先の容量が足りません。	データコピー先の容量を確保してください。
NoEntryError	フォルダーやファイルが見つかりません。	データコピー中にファイル・フォルダーを変更しないようにしてください。
ExistsError	以下のうちいずれかに該当します。 ・データコピー元にあるファイルと同名のフォルダーがデータコピー先に存在します。 ・データコピー元にあるフォルダーと同名のファイルがデータコピー先に存在します。	同名のファイル、フォルダーのうち片方の名称を変更してください。
TimeOutError	ネットワーク上のデータコピー元への接続がタイムアウトしました。	データコピー元や本製品のネットワーク設定を確認してください。
DisableFileSystemError	データコピー先が対象フォーマットではありません。	データコピー先が専用フォーマットまたは FAT32 フォーマットであるか確認してください。
NotShareModeError	対象のボリュームが共有モードではありません。	対象のボリュームが共有モードであるか確認してください。
UnMountedError	対象のボリュームがマウントされていません。	データコピー先のボリューム（USB HDD）の再起動や接続やり直しをお試しください。
ShareNotExistsError	対象の共有フォルダーが存在していません。	対象の共有フォルダーが存在しているか確認してください。
PermissionError	ファイルやフォルダーのアクセス権がありません。	対象のファイルやフォルダーのアクセス権を変更してください。
NameTooLongError	以下のうちいずれかに該当します。 ・ファイル名やフォルダー名の長さが 255 バイトより大きい。 ・ファイルやフォルダーのパス長が 4095 バイトより大きい。	対象のファイル、フォルダーの名前またはパス長を変更してください。

バックアップ結果を確認する



情報・ログ表示



システムログ

[情報・ログ表示] → [システムログ] をクリック

メッセージ欄にバックアップ結果が表示されます。

ログの内容

[【ログ・お知らせ一覧】](#) (15-140 ページ) をご覧ください。

弊社製 EasySaver 4 LE を使う

弊社製 EasySaver 4 LE を使って、パソコンのデータを本製品にバックアップしたり、逆に本製品のデータをパソコンにバックアップしたりすることができます。詳細は、EasySaver 4 LE の取扱説明書を参照してください。

本製品添付のサポートソフト CD-ROM からインストールできません。

インストール方法は、[【添付ソフトをインストールする】](#) (1-19 ページ) をご覧ください。

ご注意

- EasySaver 4 LE を使ってバックアップする場合、バックアップ元（先）に使う本製品、あるいは、USB HDD を事前にネットワークドライブに割り当てておく必要があります。
[【\(Windows\) ネットワークドライブの割り当て方法がわからない】](#) (17-208 ページ)

ミラーリング

ミラーリングとは、ファイルやフォルダー構造を、別の HDD にまったく同じ構成で複製する機能です。

ミラーリングに使える USB HDD

本製品と USB HDD でミラーリングを構築することができます。

ミラーリングとして増設できる USB HDD (ミラーディスク) は、以下の通りです。

※最新の対応機器については、弊社ホームページ (<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm>) をご覧ください。

ミラーリングで使える動作確認済みの USB HDD

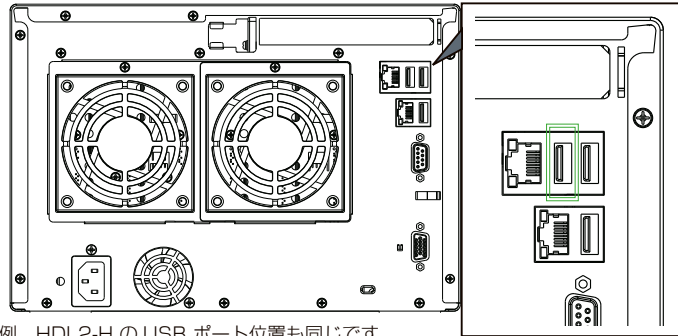
以下の弊社製 USB HDD が対応しています。
・ RHD4-UXRW シリーズ ・ HDCL-UT シリーズ ・ HDS2-UT シリーズ*
※電源モード「ON」でご利用ください。

ミラーリングで接続する本製品のポート

背面の USB 3.0 ポート (USB ポート3) に接続する必要があります。
※ USB ポート 1、2、4 に接続してもミラーリングを構築することはできません。

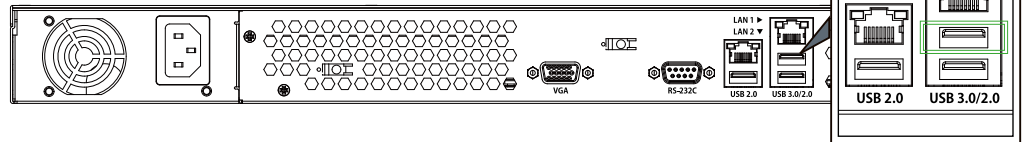
HDL6-H (HDL4-HEX)

HDL2-H



※ HDL6-H の例。HDL2-H の USB ポート位置も同じです。

HDL4-HR



すでに USB ポート3に、ミラーリングを構築する以外の USB HDD を接続している場合は、取り外す必要があります。**【USB HDD を取り外す】(4-44 ページ)**

ミラーリングに必要な USB HDD の容量

※記載の容量以上の USB HDD をご利用ください。

■ HDL6-H6 とミラーリングをする場合

RAID 6 および暗号化 RAID 6.....約 4TB
RAID 5 および暗号化 RAID 5.....約 5TB
RAID 0 および暗号化 RAID 0.....約 6TB

■ HDL2-H6 とミラーリングをする場合

RAID 1 および暗号化 RAID 1.....約 3TB
RAID 0 および暗号化 RAID 0.....約 6TB

■ HDL4-H4R、HDL4-H4EX とミラーリングをする場合

RAID 6 および暗号化 RAID 6.....約 2TB
RAID 5 および暗号化 RAID 5.....約 3TB
RAID 0 および暗号化 RAID 0.....約 4TB

ご注意

●ミラーリングを構築するには、内蔵ディスクが次のミラーリング可能な RAID モードである必要があります。

RAID 6、RAID 5、RAID 1、RAID 0、
暗号化 RAID 6、暗号化 RAID 5、暗号化 RAID 1、
暗号化 RAID 0

●ミラーリング実行中に USB ケーブルが抜けたり、USB HDD の電源が切れたりすると、最悪の場合 RAID 崩壊に至ることがあります。ケーブルをしっかり接続し USB ケーブルフックを利用してケーブルが抜けないように固定してください。

USB HDD でミラーリングする

ミラーリングする

1 本製品の電源が入っていることを確認（POWER ランプが緑点灯）

2 USB HDD の電源を入れる

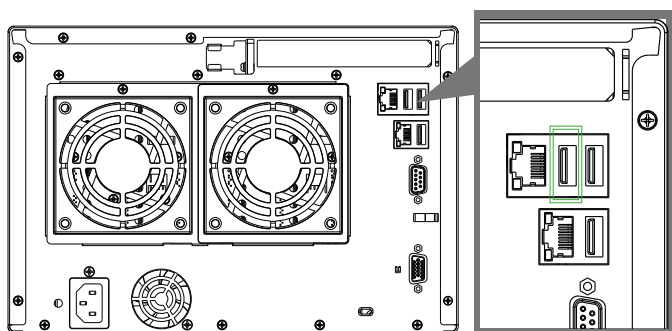
USB HDD の電源連動機能

つなぐ USB HDD に電源連動機能がある場合は、手順3で本製品につないではじめて電源が入ります。USB HDD の電源連動機能については、USB HDD の取扱説明書をご覧ください。

3 本製品背面の USB ポート 3 に USB HDD をつなぐ

HDL6-H (HDL4-HEX)

HDL2-H



※ HDL6-H (HDL4-HEX) の例。HDL2-H の USB ポート位置も同じです。

ご注意

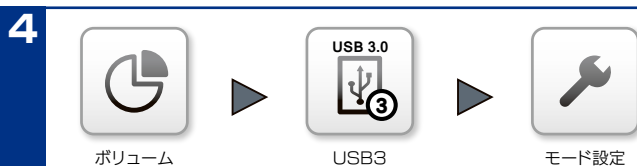
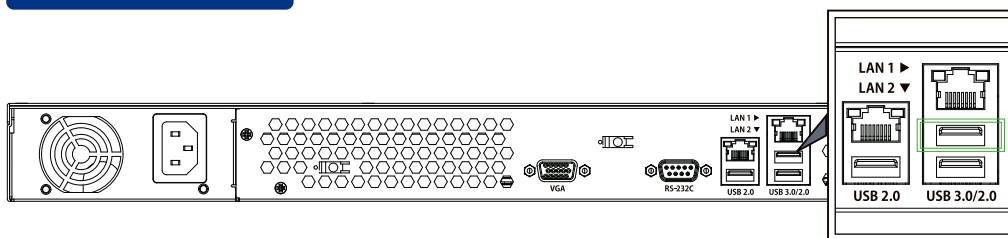
本製品は、電源が入っている状態で USB HDD をつなげられます。ただし、本製品のランプが点滅中には、USB HDD をつなげないでください。

STATUS ランプが点滅中……………設定画面操作中

HDD ランプが点滅中……………本製品にアクセス中

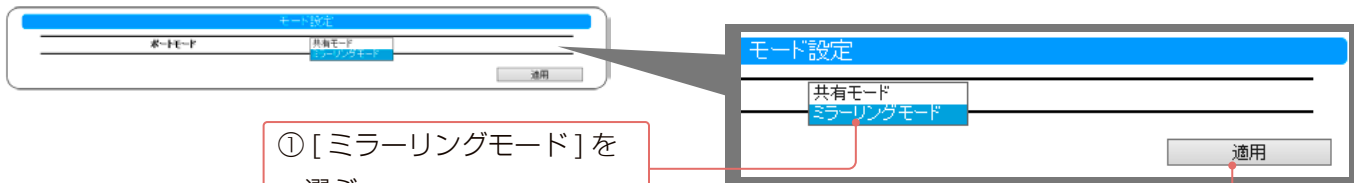
※本製品にすでに別の USB HDD をつないでいる場合には、その USB HDD のランプをご確認ください。

HDL4-HR



[ボリューム] → [USB 3] → [モード設定] をクリック

5



① [ミラーリングモード] を選ぶ

② [適用] をクリック

**ミラーリングの構築を開始
(STATUSランプが緑点灯、
HDDランプがすべて青点滅)**

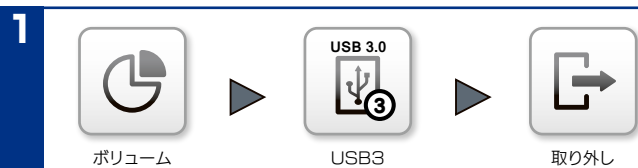
ご注意
ミラーリングの途中で本製品の電源を切るとミラーリングは完了しません。ミラーリングが完了したことを確認してから本製品の電源を切ってください。

構築状況の確認
[情報・ログ表示] → [ボリューム情報] で、[USB3] の [ステータス] から確認できます。
構築中…………… [ミラーリング (再構築中 xx%)]
(xx は再構築の進捗率)
構築完了…………… [ミラーリング]
※再確認する場合は、[情報・ログ表示] → [ボリューム情報] を開きなおしてください。

「ピーピーピー」と鳴ったら…
さらに、STATUSランプが赤く点灯した場合は、つないだ USB HDD にデータが入っています。このまま使っても問題ないか確認してください。問題なければ、USBポート3のモードをもう一度「ミラーリングモード」に指定し、[適用] をクリックしてください。

ミラーディスクを保管する

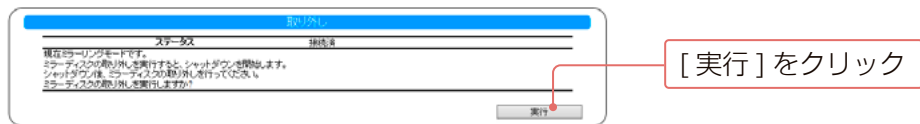
ミラーリング運用中に USB HDD を取り外すことができます。



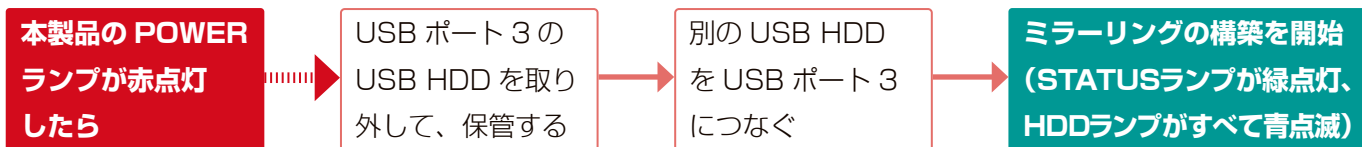
[ボリューム] → [USB 3] → [取り外し] をクリック

ミラーディスクの保管について
取り外した USB HDD は、取り外した時点のミラーリング上に作成した「共有データ」、「登録ユーザー」、「グループ情報」、「ネットワーク設定」などすべての設定情報が記録されたミラーディスクとして保管できます。
本製品につなぐ USB HDD を定期的に変換することで、ミラーリングをおこないながら、ミラーリングしたディスク上に作成した共有データ、すべての設定情報を一定期間バックアップとして保管するといった運用もできます。

2



3



保管したミラーディスクから復旧する

1

本製品の電源が切れていることを確認
(POWER ランプが赤点灯)

ご注意

本製品の電源が入っている場合は、POWER ボタンを押して、電源を切ります。

ご注意

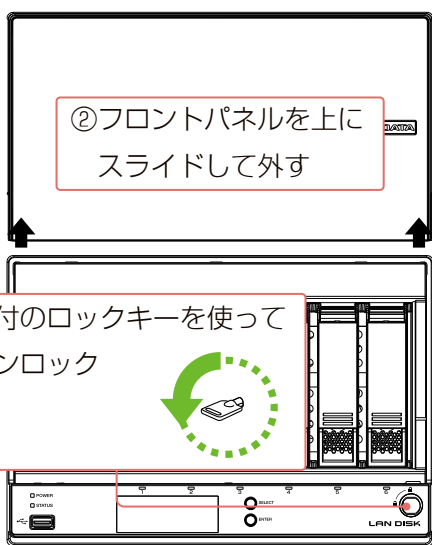
ミラーリングの再構築には、目安として RAID 6 構成の HDL6-H6 において約 2 1 時間要します。
(ディスク容量および処理中の本製品の使用状況にもよります)
再構築中はミラーリングによるデータ保護が有効ではありませんので、ご注意ください。

2

HDL6-H (HDL4-HEX)

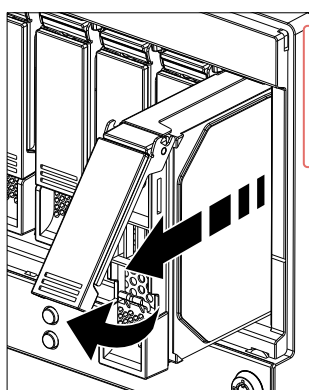
② フロントパネルを上
にスライドして外す

① 添付のロックキーを使って
アンロック



HDL2-H

③ カートリッジをすべて取り外す。
(どのカートリッジからでも取り外し
できます。)



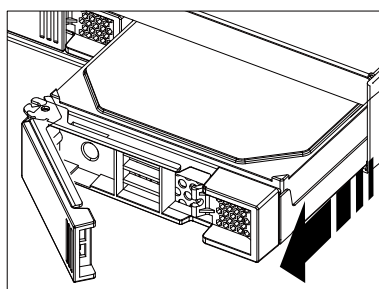
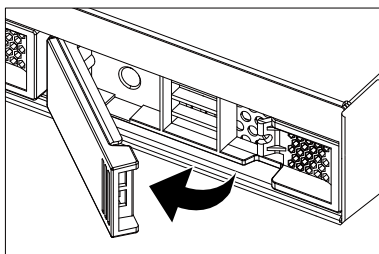
※HDL6-H の例。HDL2-H では一番右のカートリッジ
挿入位置は使いません。

カートリッジの取り出し方

カートリッジの取っ手を手前に引きます。
その後、カートリッジを引き抜きます。

HDL4-HR

カートリッジをすべて取り外す。
(どのカートリッジからでも取り外しできます。)



カートリッジの取り出し方

カートリッジの取っ手を手前に引きます。
その後、カートリッジを引き抜きます。

USB HDD でミラーリングする (つづき)

3

ミラーディスクの電源を入れる

ミラーディスクの電源連動機能

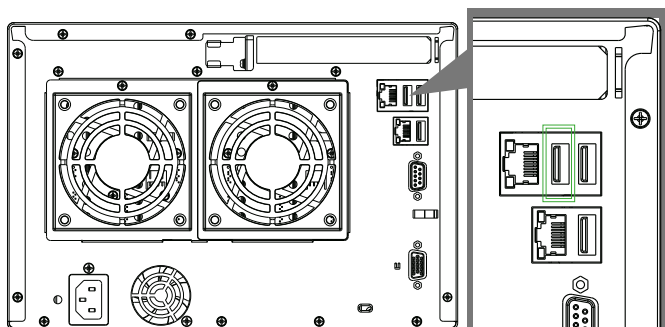
つなぐミラーディスクに電源連動機能がある場合は、手順5で本製品の電源を入れてはじめて電源が入ります。ミラーディスクの電源連動機能については、ミラーディスクの取扱説明書をご覧ください。

4

本製品背面のUSBポート3にミラーディスクをつなぐ

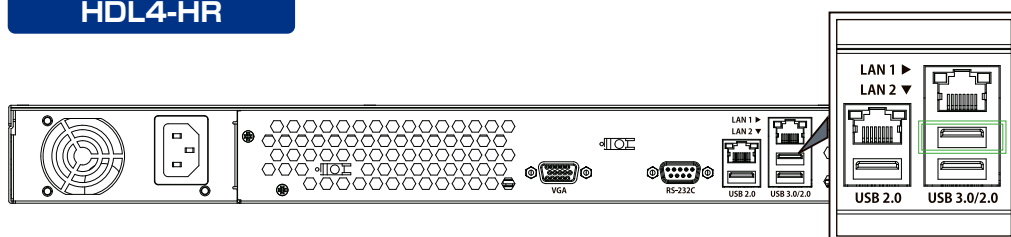
HDL6-H (HDL4-HEX)

HDL2-H

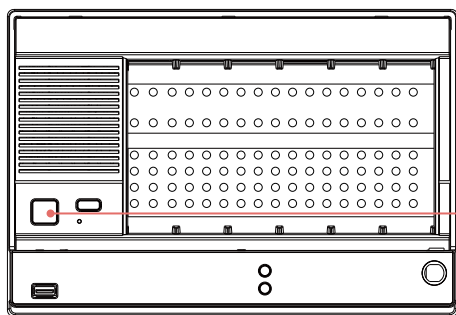


※ HDL6-H (HDL4-HEX) の例。HDL2-H のUSBポート位置も同じです。

HDL4-HR



5



すべてのカートリッジが取り外されていることを確認

POWER ボタンを押す

ご注意

●ブザーを止めるには、前面の SELECT ボタンを押してください。ブザーが約 1 秒間に 1 回鳴る場合は、USB HDD から起動できていますが、ブザーが約 1 秒間に 2 回鳴る場合は、USB HDD から起動できていない可能性があります。

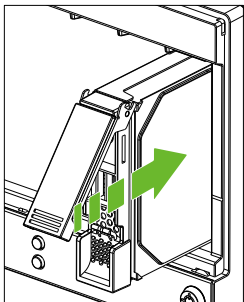
[【ミラーディスクの取り外し】をおこなった USB HDD から起動できない】 \(17-188 ページ\)](#)

STATUS ランプが緑点滅→赤点滅に変わり、ブザーが約 1 秒に 1 回鳴り続ける

※問題ありません。これはカートリッジが取り外されており、ミラーリングが「異常状態」で起動したためです。

6

HDL6-H (HDL4-HEX)
HDL2-H



※HDL6-H の例。
HDL2-H、HDL4-HEX では一番右のカートリッジ挿入位置は使いません。

①カートリッジを**1台**取り付ける
(取り付ける順番はありません)

②取り付け状況を確認する

HDD ランプ：青点灯

STATUS ランプ：緑点滅→赤点滅

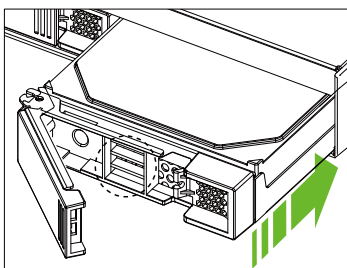
※しばらく待っても上のようにならない場合は、カートリッジの取り付けを確認してください。

すべて取り付ける
まで繰り返す

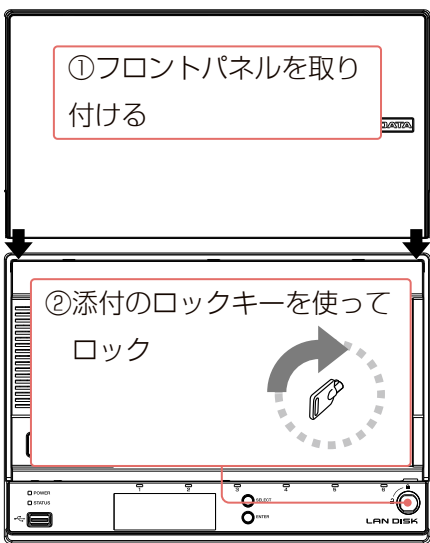
ご注意

ランプを確認せず、同時に複数台取り付けないでください。
正しく構築できなくなるおそれがあります。

HDL4-HR



7



※ HDL4-HR の場合この操作はありません。
手順8へお進みください。

①フロントパネルを取り
付ける

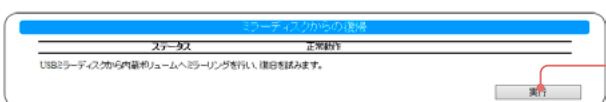
②添付のロックキーを使って
ロック

8



[ボリューム] → [内蔵] → [ミラーディスク
からの復帰] をクリック

9



[実行] をクリック

システムの復旧が開始され
ます

ハードディスクをチェックする

ハードディスクのチェック方法

ハードディスクのチェックを定期的に行うと、ハードディスクのエラー発生を早期に発見し対処できます。チェックには、アクティブリペア、チェックディスクの2つの方法があります。

アクティブリペア

アクティブリペアでは、ハードディスク（内蔵ディスクまたはミラーリングしている USB HDD）の一部に不良セクターが発見された場合、他の正常なハードディスクからデータを読み込んで異常のあるハードディスクに書き込み、ハードディスク不良によるデータ損失を未然に防止する機能です。

アクティブリペアには、以下の特徴があります。

- ・ハードディスクに何らかのリードエラーが発生している場合、検出あるいは修復をおこなうことができます。
 - ・アクティブリペア中、設定画面その他の動作が遅くなる場合があります。
 - ・アクティブリペア実行中は、外部からの操作等をおこなっていない状態でも、対象ハードディスクのランプがアクセス中の青点滅状態になります。
 - ・アクティブリペア結果をメール送信できます。
 - ・アクティブリペアは、バックグラウンドで処理するため、アクティブリペア中に他の操作をおこなうことができます。ただし、アクティブリペア中に電源ボタンで本製品の電源を切った場合、処理が中断されます。
 - ・アクティブリペア中にスケジュールシャットダウン時刻になってもアクティブリペアが完了するまでスケジュールシャットダウンは開始されません。
 - ・アクティブリペア実行中に、スケジュールバックアップ開始時刻になった場合、スケジュールバックアップは開始されますが、アクティブリペアとバックアップの所要時間が長くなります。アクティブリペア時間とスケジュールバックアップが同時実行されないように設定することをおすすめします。
 - ・アクティブリペアには、以下の時間がかかります。※目安の時間です。
- | | |
|----------------|---|
| 拡張ボリューム、RAID 0 | 約 2 分 30 秒 (システム領域のみ対象) |
| RAID 6 | 約 5 時間 (HDL6-H6) ~ 約 30 時間 (HDL6-H36) |
| RAID 5 | 約 4.5 時間 (HDL6-H6) ~ 約 27 時間 (HDL6-H36) |
| RAID 1 | 約 6 時間 (HDL2-H4) ~ 約 14 時間 (HDL2-H12) |
- ・スケジュールを設定して指定した時間にアクティブリペアを実行することができます。
 - ・本製品は、アクティブリペアのスケジュール実行を有効に設定しており、毎月最初の土曜日の午前 0 時 00 分よりアクティブリペアが自動的に開始されます。
 - ・アクティブリペアのスケジュール実行時刻に本製品の電源が OFF の場合、アクティブリペアのスケジュール実行は行われませんので、スケジュール実行時刻には本製品を起動しておいてください。
 - ・アクティブリペアのスケジュール実行は、月に 1 回のみ動作するよう設定できます。

ご注意

- アクティブリペアは、以下のハードディスクのみチェック可能です。

システム領域	すべての RAID モード
データ領域	RAID 状態が正常な以下のハードディスク <ul style="list-style-type: none">- 内蔵ディスク (RAID 6、RAID 5、RAID 1 の各モード時のみ)- ミラーリングしている USB HDD

- RAID 崩壊モードの場合、アクティブリペアは実行できません。

チェックディスク

チェックディスクには、以下の特徴があります。

- ・チェックディスクは、ファイルシステムに論理的な障害が発生していないか検査し、修復をおこないます。
- ・チェックディスク中に電源を切らないでください。完了するまでお待ちください。
- ・チェックディスク中に以下の操作はできません。
 - 各種設定変更
 - ファームウェア更新
 - パッケージ追加、削除、更新
 - スケジュールシャットダウン
 - アクティブリペア
 - バックアップ
 - データコピー
 - クイックコピー
- ・購入初期の正常な本製品の場合は約1分で完了します。※非常に時間がかかる場合があります。
- ・専用フォーマットのUSB HDDのチェックディスクは、フォーマット直後でも5分以上かかります。容量や転送速度、お使用の状態により、非常に時間がかかる場合があります。

ご注意

チェックディスクは、以下のハードディスクに対して実行できます。

- ・内蔵ディスク
- ・USB HDD（専用フォーマット形式）

FAT形式やNTFS形式のUSB HDDについては、パソコンにUSB HDDをつないでチェックディスクをおこなってください。

方法は、各OSのヘルプ等をご確認ください。

アクティブリペアを実行する

1



[ボリューム] → [内蔵] → [アクティブリペア] をクリック

2

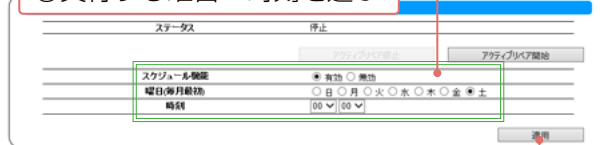


[アクティブリペア開始] をクリック

アクティブリペアが実行されます。
結果はログ情報やメール通知により
知ることができます。

スケジュール設定をする場合

①実行する曜日・時刻を選ぶ



②クリック

メール通知機能を利用する

メール通知機能を利用する方法については、[【通知機能】\(12-100ページ\)](#) をご参照ください。

チェックディスクを実行する

1



[ボリューム] → [内蔵] → [チェックディスク] をクリックします。

※ USB HDD の場合は、[ボリューム] → [USBx] → [チェックディスク] をクリックします。

2



[実行] をクリック

チェックディスクが実行されます。
結果はログ情報やメール通知により
知ることができます。

メール通知機能を利用する

メール通知機能を利用する方法については、[【通知機能】\(12-100ページ\)](#) をご参照ください。

ご注意

- チェックディスクを中断することはできません。チェックディスク中に電源を切るなどして中断しないでください。システムが破損するおそれがあります。
- FAT/NTFS でフォーマットされている USB HDD はチェックディスクできません。(直接パソコンに接続し、Windows 上などでエラーチェックをおこなってください。)

パッケージ (追加機能)

パッケージを追加 / 削除する

本製品の機能を追加パッケージにて拡張することができます。(パッケージごとに追加・削除・更新できます。)

※追加されたパッケージに関する取扱説明書は共有フォルダー「LAN DISK Manual」に保存されています。

(共有フォルダー「LAN DISK Manual」が存在しない場合は自動的に作成されます。)

インターネット接続ができない場合は、下記弊社ホームページの説明にしたがってパッケージを追加してください。

https://www.iodata.jp/product/nas/info/landisk/hdl-h_package.htm

パッケージを追加する

1



システム



パッケージ管理

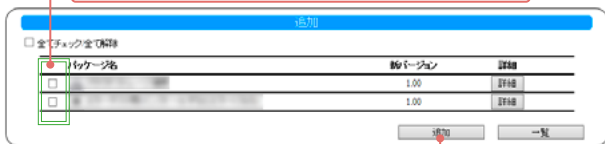


追加

[システム] → [パッケージ管理] → [追加] をクリック

2

①追加したいパッケージにチェック



② [追加] をクリック

各パッケージの詳細情報

各パッケージの [詳細] をクリックすると、それぞれの詳細情報が表示されます。

パッケージを削除する

1



システム



パッケージ管理



一覧

[システム] → [パッケージ管理] → [一覧] をクリック

2

①削除したいパッケージにチェック



② [削除] をクリック

パッケージごとの削除

各パッケージの [削除] をクリックすると、それぞれのパッケージが削除されます。

パッケージを更新する

本製品は自動的にパッケージを更新（アップデート）する設定になっています。

パッケージの更新には、新しい機能の追加のほかにも本製品の修正など、重要な更新が含まれます。必ず最新のパッケージを適用して本製品を使ってください。

ご注意

- パッケージを更新する際は、パソコンのファイアウォールの設定を解除してください。解除されていないと、正常に更新できない場合があります。
- パッケージの更新中は本製品の電源を切らないでください。更新中に電源を切ると、本製品を破損するおそれがあります。
- 正しくパッケージを更新するために、本製品にアクセスしているユーザーがいらないことを確認してください。または、パソコンと本製品を1対1で接続して実行してください。
- パッケージバージョンを以前のバージョンに戻すことはできません。
- パッケージのアップデートをしても設定やデータは消えませんが、万一のため大切なデータのバックアップは必ずお取りください。

手動でパッケージを更新する方法

手動更新の前に

- 本製品は初期設定で自動的にパッケージを更新するようになっておりますので、通常は以下の手順をおこなう必要はありません。
- ランディスクの再起動は発生しませんが、更新中は共有フォルダーへのアクセスなどが停止する場合があります。業務時間外やアクセスのない時間帯におこなってください。

● インターネット接続環境の場合

1



システム



パッケージ管理



一覧

[システム] → [パッケージ管理] → [一覧] をクリック

2

[更新] をクリック



※ 最新バージョンに更新のあるパッケージのみ [更新] ボタンが表示されます。

画面上に「更新に成功」と表示されたら更新完了です。

● インターネット未環境の場合（オフライン環境）

1

空の USB メモリーを用意する

- ※ FAT32 でフォーマットされた USB メモリーをご用意ください。
- ※ 暗号化対応のセキュリティ USB メモリーはご利用いただけません。

2

以下の弊社 Web ページにアクセスし、更新するパッケージをダウンロードする

https://www.iodata.jp/product/nas/info/landisk/hdl-h_package.htm

3

ダウンロードしたファイルを展開（解凍）する

- ※ 展開すると該当する商品のフォルダーが作成されます。
- 例) HDL2-H シリーズの場合「hdl2-h」フォルダー

4

展開（解凍）したフォルダーごと、USB メモリーにコピーする

5

4. の USB メモリーを本製品の USB ポートに挿す

- ※ 前面の USB ポートまたは USB ポート 1 に接続する場合は、USB ポートのモードを共有モードにしてください。

6



システム



パッケージ管理



一覧

[システム] → [パッケージ管理] → [一覧] をクリック

7

[更新] をクリック



- ※ 最新バージョンに更新のあるパッケージのみ [更新] ボタンが表示されます。

画面上に「更新に成功」と表示されたら更新完了です。

パッケージの自動更新設定をする

すでに適用したパッケージの更新が見つかった場合に、自動的に更新する設定をおこないます。

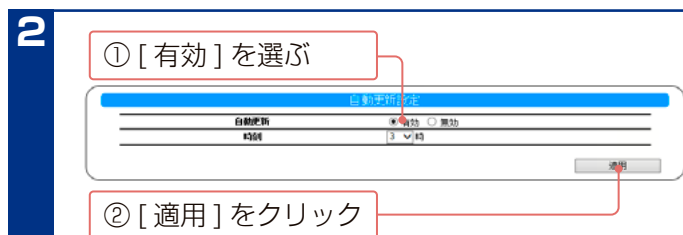
※出荷時設定では、有効に設定されています。

最新のパッケージをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版に更新してご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。



[システム] → [パッケージ管理] → [自動更新設定] をクリック



時刻

更新チェックする時刻を選びます。
パッケージの自動更新時刻と更新通知時刻は共通となります。
※仕様により、設定した時刻から 1 時間以内で動作します。

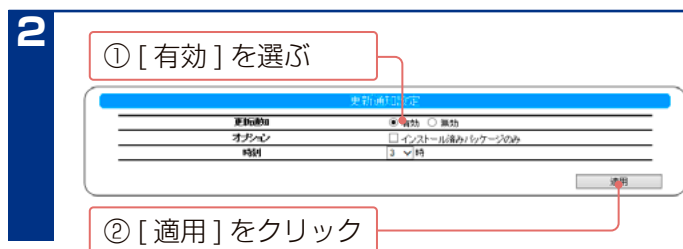
パッケージ情報を通知する

定期的に新しいパッケージの更新チェックをおこないます。(出荷時設定で [有効] に設定されています。)

一日一回チェックをおこない更新されていれば、お知らせ、液晶表示、STATUS ランプで通知します。



[システム] → [パッケージ管理] → [更新通知設定] をクリック



インストール済みパッケージのみ

チェックをつけると、インストール済みパッケージの更新時のみ通知します。

時刻

更新チェックする時刻を選びます。
パッケージの自動更新時刻と更新通知時刻は共通となります。
※仕様により、設定した時刻から 1 時間以内で動作します。

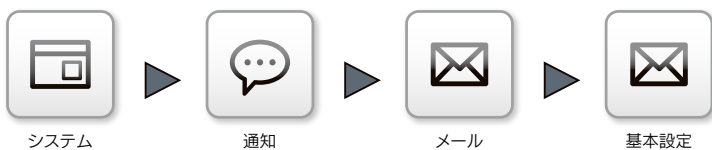
通知機能

メール基本設定

各種情報をメール送信するための設定をおこないます。

本製品でメール通知機能を利用するには、メール基本設定が正しく設定されていることが必要です。

1



[システム] → [通知] → [メール] → [基本設定] をクリック

2

①基本設定項目を入力

② [適用] をクリック

SMTP サーバー	メール送信に利用する SMTP サーバーを設定します。 プロバイダーや会社から指定されたサーバー名を入力してください。	
SMTP ポート	メール送信に利用する TCP ポート番号を指定します。(初期値：25) ご利用のプロバイダがセキュリティ上の理由で 25 番ポートでのメール送信を遮断している場合は、適切な番号に変更してください。	
SSL 暗号化通信	SSL 暗号化通信の有効 / 無効を設定します。 [有効]に設定すると、SMTPS でメールを送信します。([無効]の場合は SMTP)	
差出人メールアドレス	送信するメールアドレスの差出人を設定することができます。 送信メールサーバーが差出人チェックを実行している場合や、どこから送られてきているのかを明確にしたい場合などに設定します。	
メールエンコード	送信するメールのエンコードを選択します。受信するメーラーの設定に合わせてください。	
認証	指定する SMTP サーバーがサポートしている認証方式を設定してください。	
	認証なし	設定はありません。
	POP before SMTP	POP サーバー、POP ポート、ユーザー名、パスワードを入力します。
	SMTP AUTH(PLAIN)	ユーザー名、パスワードを入力します。
	SMTP AUTH(LOGIN)	ユーザー名、パスワードを入力します。
	SMTP AUTH(CRAM-MDS)	ユーザー名、パスワードを入力します。

※ Gmail をご利用の場合は、別の設定が必要です。[【Gmail を利用する場合】\(12-101 ページ\)](#) をご覧ください。

Gmail を利用する場合

次の本製品と Gmail の設定をおこなってください。

● Gmail のアカウント設定 ※次の手順は 2015 年 6 月時点のものです。最新の各手順は Gmail のヘルプをご覧ください。

次の設定 1 または 2 のどちらかを設定します。

・設定 1 : [安全性の低いアプリの許可] を有効に設定

Google アカウントでログイン後、[アカウント情報] の [ログインとセキュリティ] から、[接続済みのアプリとサイト] の [安全性の低いアプリの許可] を有効にします。

・設定 2 : 2 段階認証プロセスを設定

※ 2 段階認証プロセスを設定すると、他の Google アプリ用のパスワードの生成や設定など更に作業が必要になる場合があります。

① Google アカウントでログイン後、[アカウント情報] の [Google へのログイン] から、[パスワードとログイン方法] の [2 段階認証プロセス] を有効に設定します。

② Google アカウントでログイン後、[アカウント情報] の [Google へのログイン] から、[パスワードとログイン方法] の [アプリのパスワード] で、本製品用のパスワードを生成します。

●本製品のメール基本設定

SMTP サーバー	smtp.gmail.com	
SMTP ポート	587	
SSL 暗号化通信	有効	
差出人メールアドレス	任意のメールアドレス (通常は Gmail のメールアドレス) ※送信されたメールの From: は Gmail のメールアドレスになります。	
メールエンコード	UTF-8 または ISO-2022JP	
認証	認証	SMTP AUTH(PLAIN) または SMTP AUTH(LOGIN)
	ユーザー名	Google アカウントのユーザー名
	パスワード	Google アカウントのパスワード (2 段階認証の場合、接続用に生成したパスワード)

通知設定

通知をするイベントを設定します。

メール通知イベントについては、[【ログ・お知らせ一覧】](#)（15-140 ページ）を確認してください。

また、本製品でメール通知機能を利用するには、メール基本設定が正しく設定されていることが必要です。



2

① 設定項目を入力

② [適用] をクリック

有効	チェックをつけると、エラー発生時および定期通知時に、メールを送信します。
メールアドレス	送信先のメールアドレスを入力します。
詳細設定	チェックすると、[メール基本設定] の内容と同じ設定項目を設定できます。 この設定は、[メール基本設定] より優先されます。 (宛先によって異なる設定が必要な場合に使用) ※設定を変更したい項目のみ設定してください。 空白項目は、[メール基本設定] のものとなります。
通知項目	チェックを付けた項目に該当するイベントが発生した場合、メールによる通知をおこないます。 以下の【送信されるメールについて】をご覧ください。
テストメール送信	[メール基本設定] が設定済みの場合、クリックするとテストメールが送信されます。

ご注意

[ボリューム使用量警告] と [使用量制限警告] は定期通知設定の「定期通知」を有効にしないとメール通知されません。
[定期レポート] は定期レポート設定の「定期レポート」を有効にしないとメール通知されません。

送信されるメールについて

通知項目により以下の内容のメールが送信されます。

通知項目	メール内容「本文例」
システムイベント	システムログのカテゴリーが次のもの以外で、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 ・バックアップ ・データコピー ・クイックコピー ・レプリケーション ・ログ ・温度 ・FAN ・ディスク ・アクティブリペアー ・RAID ・ロックキー ・ボリューム ・RAID ボリューム ・ボリューム使用量 ・使用量制限 ・UPS 「2015/11/06 23:00:11 新しいパッケージが公開されています。」
システムログ	機器のシャットダウン・再起動時、およびシステムログの内部記録サイズが一定以上となった際に、それまでに記録されているシステムログの最新分の内容が送信されます。 「2015/10/26 06:31:18 情報:LAN1:LAN1 がリンクしました。」
アクセスログ	機器のシャットダウン・再起動時、およびアクセスログの内部記録サイズが一定以上となった際に、それまでに記録されているアクセスログの最新分の内容が送信されます。 「2014-02-26 11:59:46 shingoy 1001-1617A(172.16.93.70): connect(ok): 開発部 開発部」
バックアップ・データコピー	システムログのカテゴリーが「バックアップ」「データコピー」「クイックコピー」「レプリケーション」のいずれかで、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 「2015/11/06 23:00:11 週次バックアップの差分バックアップを開始しました。」

次ページへつづきます。

送信されるメールの内容（つづき）


通知項目により以下の内容のメールが送信されます。

通知項目	メール内容「本文例」
温度・FAN エラー	システムログのカテゴリが「温度・FAN」で、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 「2015/11/12 13:38:00 装置温度が異常です。装置の設置環境を見直してください。システムを強制終了します。」
定期レポート	機器であらかじめ設定したタイミングで定期的送信されます。 「ボリューム使用量レポート 内蔵ボリューム： 全容量： 11158 GB (11981608009728 byte) 使用量： 0 GB (673304576 byte) 0.0% ユーザー： gx620: 制限設定値： - GB 使用量： 0.0 GB (-%) グループ： gx620_G: 制限設定値： - GB 使用量： 0.0 GB (-%)」 フォルダー： disk1: 制限設定値： - GB 使用量： 0.0 GB (-%)
UPS 警告	システムログのカテゴリが「UPS」で、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 「2015/11/12 13:38:00 UPS が接続されていません。」
ディスク情報	システムログのカテゴリが「ディスク」「アクティブリペアー」「RAID」「ロックキー」「ボリューム」「RAID ボリューム」のいずれかで、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 「2015/11/12 13:38:00 内蔵ディスク 1 が故障しました。交換してください。」
ボリューム使用量警告	システムログのカテゴリが「ボリューム使用量」で、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 「2015/11/12 13:38:00 内蔵ボリュームの使用率が 90%を超えました。」
使用量制限警告	システムログのカテゴリが「使用量制限」で、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 「2015/11/12 13:38:00 使用量制限の警告使用率 90%を超えました。」

定期通知設定

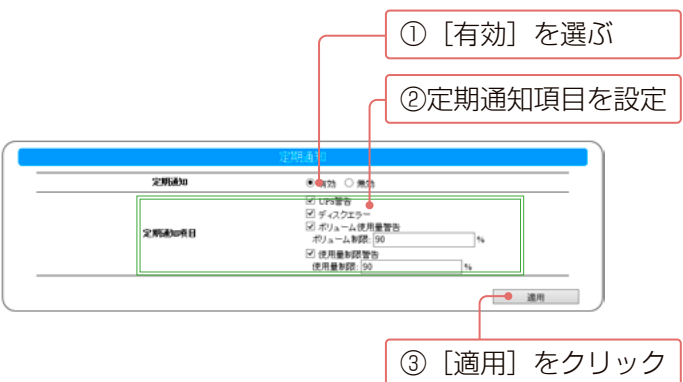
対象として設定した項目について定期的に状態を確認する機能です。

1



[システム] → [通知] → [定期通知] をクリック

2




有効	チェックをつけると、エラー発生時および定期通知時に、メールを送信します。
通知項目	チェックをつけた項目に該当するエラーが発生している場合、1時間ごとにブザー、STATUSランプ、メールによる再通知をおこないます。エラーを解決すると警告は止まります。エラー内容は、 [ログ・お知らせ一覧] (15-140 ページ) を確認してください。
UPS 警告	UPS の状態を確認
ディスクエラー	ディスクエラーの状態を確認
ボリューム使用量警告	ボリューム使用量が設定した値に達したかどうかを確認
使用量制限警告	使用量制限が設定した値に達したかどうかを確認

定期レポート設定

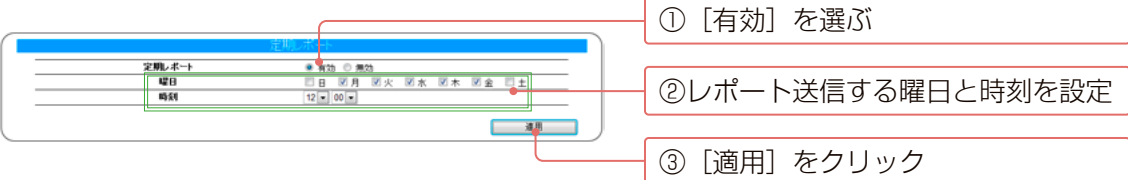
指定日時にレポートメールを送信する機能です。

1



[システム] → [通知] → [定期レポート] をクリック

2



送信されるメールの内容

メール本文は以下の部分から構成されます。

- ・内蔵ボリュームの合計容量・使用量
- ・ユーザーごとの使用量制限設定・使用量
- ・グループごとの使用量制限設定・使用量
- ・共有フォルダーごとの使用量制限設定・使用量

※ユーザー・グループ・共有フォルダーの各使用量制限設定をしていない場合は、その部分の使用量は 0 になります。

▼メール例

```
ボリューム使用量レポート

内蔵ボリューム:
  全容量: xxxxx GB (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx byte)
  使用量: xxx GB (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx byte) xx%
ユーザー:
  xxxxx:
  制限設定値: xx GB
  使用量: xx GB (xx%)
  .
  .
```


SNMP 設定

SNMP トラップを有効にする



2

① [有効] を選ぶ
② 項目を設定
③ [適用] をクリック

ポート番号	ポート番号を入力します。
送信先 ホスト	IPv4 アドレス、 IPv6 アドレス、 コンピューター名の いずれかを入力します。

SNMP トラップ機能

SNMP トラップ機能を有効にした場合、お知らせに表示される「エラー」や「警告」の状態が発生すると、以下内容の SNMP トラップが送信されます。

バージョン	:	2c
コミュニティ	:	public
トラップ OID	:	1.3.6.1.4.1.4615.8.1.2.1

上記トラップには、メッセージコードと追加情報が付加されます。

メッセージコード

OID	:	1.3.6.1.4.1.4615.8.1.1.1.1
型	:	INTEGER(整数値)
値	:	お知らせに表示されるメッセージに対応するメッセージコード

追加情報

OID	:	1.3.6.1.4.1.4615.8.1.1.1.2
型	:	STRING(文字列)
値	:	お知らせメッセージに埋め込まれる追加情報 (エンコード:UTF-8) 追加情報がない場合は、空文字となる。

メッセージコード・追加情報とお知らせに表示されるメッセージの対応は、[【ログ・お知らせ一覧】 \(15-140 ページ\)](#) をご覧ください。追加情報は「ログ・お知らせ一覧」のメッセージの %s に埋め込まれる情報です。

MIB 情報については、弊社ホームページ「サポートライブラリ」でダウンロードしてください。

①以下にアクセスし、本製品の型番でアクセスします。

<https://www.iodata.jp/lib/>

②「ソフトウェアダウンロード」の「SNMP MIB 情報」をクリックします。

ポップアップ通知

LAN DISK コネクトやネットワーク管理ソフト IO Navi がインストールされたパソコンで本製品のログをポップアップ表示させる機能です。設定画面では、表示させるログのレベルが設定できます。

1



システム



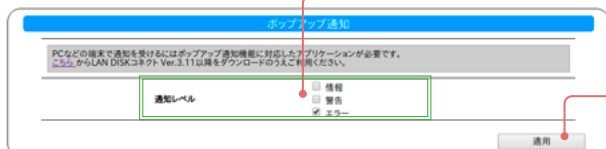
通知



ポップアップ通知

[システム] → [通知] → [ポップアップ通知] をクリック

2



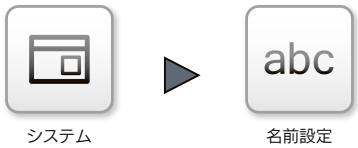
①通知レベルを選ぶ

② [適用] をクリック

システム管理

LAN DISK の名前を変更する


1



システム 名前設定

[システム] → [名前設定] をクリック

2



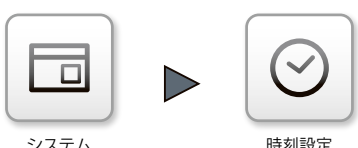
LAN DISKの名前	LAN DISKの説明	LAN DISKの設置場所
landisk-	HDL-H series	

① [LAN DISK の名前] を設定する

② [適用] をクリック

日付と時刻を設定する


1



システム 時刻設定

[システム] → [時刻設定] をクリック

2



① [同期] を選ぶ

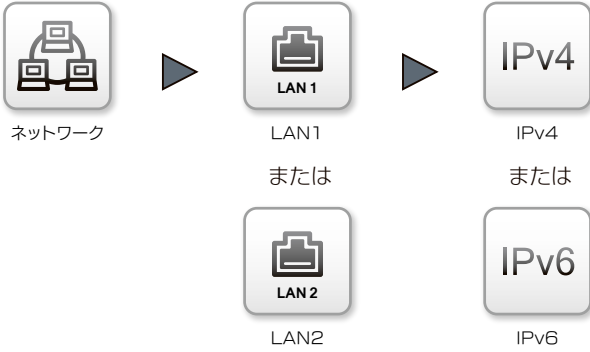
② [適用] をクリック

同期について
インターネットに接続できる環境にある場合は、[同期] を選んだ場合、設定の適用と同時に同期を開始します

手動で設定する
①で[手動] を選ぶと、年月日時分を入力して設定することができます。

ネットワークを設定する

1



[ネットワーク] → (設定する LAN ポート) → (設定するプロトコル) をクリック

2

▼ IPv4 の場合



① IPv4 または IPv6 を設定

② 共通項目を設定

③ [適用] をクリック

IPv4	IP アドレス設定方式	本製品の IP アドレスの設定方法を選択します。		
		自動で取得する	本製品の IP アドレスを DHCP サーバーから自動で取得します。	
		手で設定する	本製品の IP アドレスを手動で設定します。	
		無効 (LAN2 のみ)	IPv4 設定を無効にします。	
	IP アドレス	IP アドレスを入力します。		
	サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。		
	フレームサイズ	フレームサイズを設定できます。		
Wake On LAN	有効	Wake On LAN を有効にする場合に選択します。		
	無効	Wake On LAN を無効にする場合に選択します。		

IPv6	IP アドレス設定方式	本製品の IP アドレスの設定方法を選択します。	
		無効	IPv6 設定を無効にします。
		自動で取得する	本製品の IP アドレスを DHCP サーバーから自動で取得します。
	手で設定する	本製品の IP アドレスを手動で設定します。	
	IP アドレス	IP アドレスを入力します。	
	プレフィックス長	プレフィックス長を設定できます。	
	フレームサイズ	フレームサイズを設定できます。	

共通設定	設定方法	デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレスの設定方法を選択します。	
		自動で取得する	デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレスを DHCP サーバーから自動で取得します。
		手で設定する	デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレスを手動で設定します。
	優先インターフェイス	優先する LAN ポートを選択します。	
		LAN1	LAN1 ポートを優先にします。
		LAN2	LAN2 ポートを優先にします。
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。	
	DNS サーバー	DNS サーバーアドレスを入力します。	

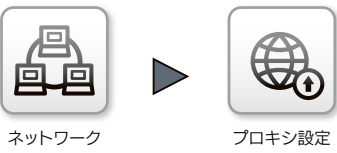
ご注意

- IPv4 と IPv6 のいずれか、または両方を同時に利用できます。
- 次の機能は IPv6 通信に対応していません。 [NarSuS]、[Wake On LAN]
- 本製品に IPv6 で接続するには、お使いの OS が IPv6 に対応している必要があります。また、接続方法は OS やアプリケーションにより異なります。

プロキシ設定をする

インターネットに接続する際に、プロキシを利用する必要がある場合に設定します。

1

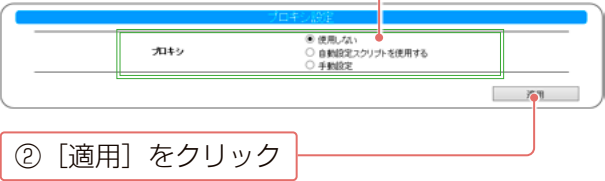


ネットワーク プロキシ設定

[ネットワーク] → [プロキシ設定] をクリック

2

①項目を設定



② [適用] をクリック

使用しない	プロキシ設定を利用しません。
自動設定スクリプトを利用する	自動設定スクリプトファイルの URL を入力します。 ※指定する URL については、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。
手動設定	プロキシサーバーの [アドレス] と [ポート] を入力します。 ※指定するアドレス、ポートについては、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。

管理者パスワードを変更する

管理者は本製品の全設定や、すべての共有（全員共有、ユーザー共有、グループ共有）にアクセスできる権限を持っています。

※すべての共有にアクセスできるのは Windows パソコンからのみです。他の人にパスワードが漏れないようしっかり管理し、定期的にパスワードを変更してください。

※管理者パスワードは以下の場合に使います。

- ・本製品の設定画面を開く場合
- ・「Magical Finder」から IP 設定画面を開く場合
- ・管理者として共有フォルダーにアクセスする際のパスワード
- ・「LAN DISK Admin」使用時、対象機器の情報を取得・設定する場合
- ・「LAN DISK Restore」使用時、対象機器の情報を取得・復元する場合
- ・「SightOn」使用時、対象機器の共有フォルダーを監視対象とする場合

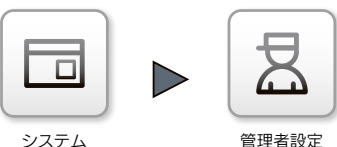
ご注意

●パスワードは忘れないようしっかり管理してください。
設定したパスワードを忘れた場合、本製品の RESET ボタンを押すと、管理者パスワードとネットワーク設定が出荷時設定に戻ります。

[【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】
\(14-124 ページ\)](#)

また、RESET ボタンは有効・無効に設定することができます。
[【各ボタンを有効 / 無効にする】 \(13-111 ページ\)](#)

1




システム 管理者設定

[システム] → [管理者設定] をクリック

2

①新しいパスワードを2回入力 ※ 4 ~ 20 文字 (半角英数記号)



② [適用] をクリック

その他の設定項目

メール	必要に応じてメールアドレスを設定できます。 ここで設定したメールアドレスは、[システム] → [通知] → [メール] → [通知設定] の送信先メールアドレスの既定値となります。
ログインタイムアウト時間	操作がおこなわれなかった場合に、自動的にログアウトする時間を設定します。

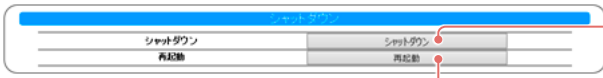
シャットダウン / 再起動する

1



[システム] → [電源] → [シャットダウン] をクリック

2



シャットダウンする場合は、[シャットダウン] をクリック

再起動する場合は、[再起動] をクリック

起動スケジュールを設定する

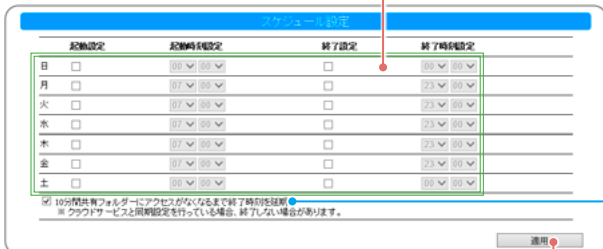
1



[システム] → [電源] → [スケジュール設定] をクリック

2

① それぞれ起動・終了を設定したい曜日をチェックし、時刻を設定します。



② [適用] をクリック

ご注意

- 起動スケジュール設定を使う場合は、電源コンセントに常につないだ状態（電源を切った場合は POWER ランプが赤点灯の状態：スタンバイ状態）にしておいてください。
- 起動スケジュールによる終了（シャットダウン）に関して、指定した終了時間にアクティブリペア、バックアップ、データコピー、再構築がおこなわれている場合、処理が完了するまで終了しません。
- 本製品の時刻を正しく設定してください。

[10分間共有フォルダーへアクセスがなくなるまで終了時刻を延期]

以下の条件を満たすまでシャットダウンを延期する機能です。

- ・ 過去 10 分間内蔵ディスクのデータ領域へのアクセスがない
- ・ 過去 10 分間 USB HDD へのアクセスがない

※クラウドサービスと同期設定していると、終了しない場合があります。

AC 電源連動設定をする

停電などでコンセントからの電源供給が途絶え、復帰したときに自動的に電源 ON にする機能です。

1



[システム] → [電源] → [AC 電源連動設定] をクリック

2

① [有効] を選ぶ ② [適用] をクリック



ご注意

- 停電から復旧して 10 分経過後でも本製品が自動起動しない場合は、POWER ボタンを押して起動してください。

省電力機能を使う

電力消費を抑えるため、一定時間アクセスがなければ内蔵ディスクの回転を停止します。また、本製品の省電力機能に対応している USB HDD を使うと、USB HDD も同時に省電力モードに設定することができます。

1



[システム] → [電源] → [省電力設定] をクリック

ご注意

- 設定時間内に HDD にアクセスしなくても、本製品のシステムが HDD にアクセスした場合は、停止しません。
- HDD 停止中にアクセスしなくても、本製品システムからのアクセスによりディスクがスピニングアップする場合があります。
- 冷却ファンは停止しません。
- 本製品を DHCP クライアントモードでお使いの場合、IP アドレスを更新する際に、内蔵ディスクがスピニングアップします。また、ネットワークの通信中やシステム処理のためにディスクアクセスすることがあります。DHCP サーバーのリース時間を長く設定すると、アドレス更新によるスピニングアップ間隔も長くできます。
- 定期的には本製品にアクセスするソフトウェア（例：弊社製 LAN DISK Admin、SightOn など）をお使いの場合、本製品の省電力機能を有効にしても、HDD が停止しない場合があります。

2

① 停止までの時間を設定

② 各ボリュームで [有効] を選ぶ



③ [適用] をクリック

各ボタンを有効 / 無効にする

1



[システム] → [ボタン] → (設定したいボタン) をクリック

2

▼ FUNC ボタンの場合



① [有効] [無効] を選ぶ

② [適用] をクリック

▼ RESET ボタンの場合



① [有効] [無効] を選ぶ

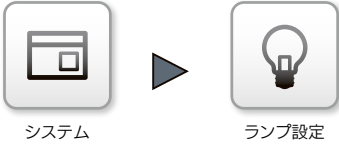
② [適用] をクリック

ご注意

RESET ボタンを無効に設定した場合、RESET ボタンによるネットワーク設定の初期化、および管理者パスワードのリセット機能が無効になります。設定した管理者パスワードを忘れた場合、本製品の設定画面を開くことができなくなります。管理者パスワードは厳重に管理してください。

ランプの明るさを設定する

1



[システム] → [ランプ設定] をクリック

2

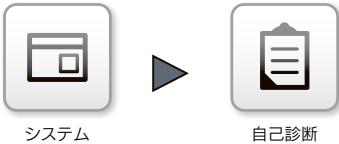


① ランプの明るさを選ぶ

② [適用] をクリック

自己診断する

1



[システム] → [自己診断] をクリック

2



① 診断する項目をチェック

② [実行] をクリック

Ping	以下の形式で入力した送信先ホストへのネットワーク通信が可能かを確認します。 IPv4 アドレス or IPv6 アドレス (コロン区切り) or ホスト名
Traceroute	以下の形式で入力した送信先ホストへのネットワーク通信経路を確認します。 IPv4 アドレス or IPv6 アドレス (コロン区切り) or ホスト名
サービス	本製品の各サービス (ファイル共有 / NarSuS / UPS 警告等) の稼働状態を確認します。
デバイス	本製品に接続されている機器 (内蔵ディスク / USB HDD / USB UPS / シリアル UPS / USB プリンター) の各情報を確認します。
キーサーバー	本製品に設定したキーサーバーと接続 / 認識できることを確認します。
SNMP トラップ	本製品に設定した SNMP トラップ先ホストと接続 / 認識できることを確認します。
ネットワークシャットダウン	本製品に設定したネットワークシャットダウン相手ホストと接続 / 認識できることを確認します。
メール	本製品に設定したメール送信先アドレスへメール送信できることを確認します。
バックアップ	本製品に設定したバックアップジョブのバックアップ元 / 先と接続 / 認識できることを確認します。
データコピー	本製品に設定したデータコピージョブのデータコピー元 / 先と接続 / 認識できることを確認します。

ファームウェアを更新する

ファームウェアの更新（アップデート）には、新しい機能の追加のほかにも本製品の修正など、重要な更新が含まれます。必ず最新のファームウェアを適用して本製品を使ってください。

本製品がインターネットに接続できる環境にある場合は、ファームウェアの自動更新機能を有効に設定しておくことをおすすめします。（出荷時設定：有効）

本製品がインターネットに接続できない場合は、ファームウェアを弊社ホームページよりダウンロードできます。

ご注意

- ファームウェアを更新する際は、パソコンのファイアウォールの設定を解除してください。解除されていないと、正常に更新できない場合があります。
- ファームウェアの更新中は本製品の電源を切らないでください。更新中に電源を切ると、本製品を破損するおそれがあります。
- 正しくファームウェアを更新するために、本製品にアクセスしているユーザーがいないことを確認してください。または、パソコンと本製品を1対1で接続して実行してください。
- ファームウェアバージョンを以前のバージョンに戻すことはできません。
- ファームウェアのアップデートをしても設定やデータは消えませんが、万一のため大切なデータのバックアップは必ずお取りください。
- ファームウェア更新時、本製品は再起動します。更新完了までの約10分間は、本製品にアクセスすることはできません。

インターネットに接続できる場合の手動更新方法

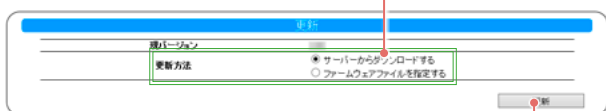
1



[システム] → [ファームウェア] → [更新] をクリック

2

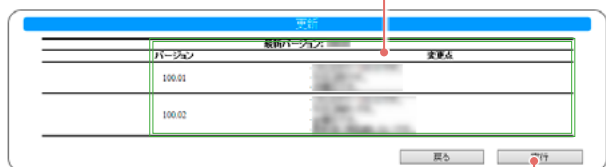
① [サーバーからダウンロードする] を選ぶ



② [更新] をクリック

3

① 更新内容を確認



② [実行] をクリック

ファームウェアの更新が開始されます。

「ピッピッ」となり、
STATUS ランプが緑点灯すれば、完了です。

再起動やシャットダウンをする場合があります

ファームウェアの更新の際、再起動やシャットダウンをする場合があります。その場合は、その時点でファームウェアの更新は完了です。

複数の本製品をまとめて更新する

添付の管理ツール「LAN DISK Admin」でまとめて更新できます。詳しくは、LAN DISK Admin 取扱説明書をご覧ください。

ご注意

ファームウェアを更新後、設定画面が変更される場合がありますので、Web ブラウザーのキャッシュを消去してください。Internet Explorer の場合は、Web ブラウザー画面上で、キーボードの [Ctrl] キーを押しながら、[F5] キーを押します。Safari の場合は、Safari を起動し、メニューより [Safari] → [キャッシュを空にする] をクリックし、表示されるダイアログからキャッシュを空にします。

インターネットに接続できない場合の手動更新方法

1

以下にアクセスし、本製品の最新ファームウェアを入手する

<https://www.iodata.jp/lib/firmware/>

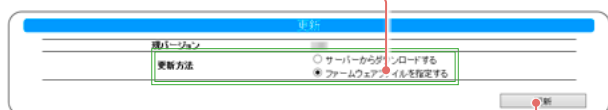
2



[システム] → [ファームウェア] → [更新] をクリック

3

① [ファームウェアファイルを指定する] を選ぶ



② [更新] をクリック

4

① ダウンロードしたファイルを指定する



② [実行] をクリック

ファームウェアの更新が開始されます。

「ピピピピ」となり、
STATUS ランプが緑点灯すれば、完了です。

再起動やシャットダウンをする場合があります

ファームウェアの更新の際、再起動やシャットダウンをする場合があります。その場合は、その時点でファームウェアの更新は完了です。

複数の本製品をまとめて更新する

添付の管理ツール「LAN DISK Admin」でまとめて更新できます。詳しくは、LAN DISK Admin 取扱説明書をご覧ください。

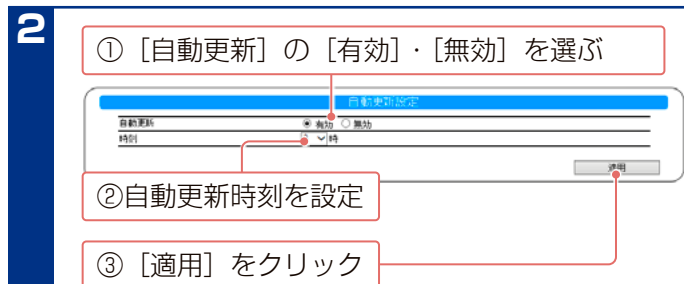
ご注意

ファームウェアを更新後、設定画面が変更される場合がありますので、Web ブラウザーのキャッシュを消去してください。Internet Explorer の場合は、Web ブラウザー画面上で、キーボードの [Ctrl] キーを押しながら、[F5] キーを押します。Safari の場合は、Safari を起動し、メニューより [Safari] → [キャッシュを空にする] をクリックし、表示されるダイアログからキャッシュを空にします。

ファームウェアの自動更新設定をする



[システム] → [ファームウェア] → [自動更新設定]
をクリック



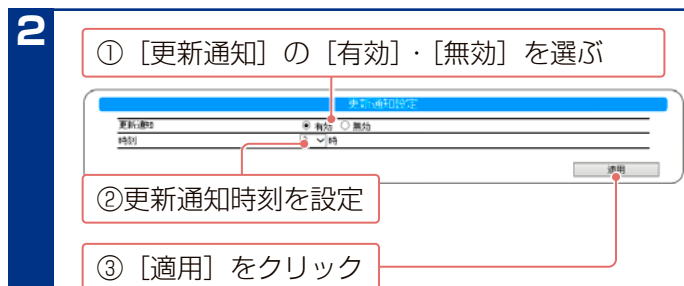
自動更新について

- 自動更新時刻と更新通知時刻は共通となります。
- 実際の自動更新は設定した時刻から1時間以内で行われます。

ファームウェアの更新通知設定をする



[システム] → [ファームウェア] → [更新通知設定]
をクリック



更新通知について

- 更新通知時刻と自動更新時刻は共通となります。
- 実際には、設定した時刻から1時間以内で自動更新されます。

システムログを確認する



情報・ログ表示



システムログ

[情報・ログ表示] →
[システムログ] をクリック

システムログが表示されます。
上から新しい順に100件表示されます。



フィルタリング設定	フィルタリングの設定ができます。 [日時]、[レベル]、[カテゴリ] をそれぞれ設定し、[適用] をクリックすると保存されます。
ダウンロード	ログを .csv 形式でダウンロードします。
ソート	ログの並べ替え方法を指定できます。
フィルタリング	設定したフィルタリングの有効 / 無効を設定します。
日時	ログを記録した日時を表示します。
レベル	ログの警告レベルを表示します。
カテゴリ	ログのカテゴリを表示します。
メッセージ	ログの内容を表示します。

ご注意

ログ情報は、以下のような状況のときに古いログから削除されます。

- ・ログのサイズが一定のサイズを超えた場合
- ・本製品をシャットダウンした場合

※システムログをメール送信する設定については、[【通知機能】\(12-100 ページ\)](#) をご覧ください。

※システムログの一覧は、[【ログ・お知らせ一覧】\(15-140 ページ\)](#) をご覧ください。

アクセスログを確認する

本製品に対してどのような操作を行ったかを記録することができます。


ファイルの参照・作成・編集などのアクセス記録がリアルタイムに記録されます。

また、管理者宛にメールでログを一括転送するように設定できますので、監査記録として利用することができます。

※アクセスログは Microsoft ネットワーク共有で通信したときのみ記録されます。


アクセスログを有効にする

1



システム


▶



サービス設定

[システム] → [サービス設定] をクリック


2



① [アクセスログ] の [有効] を選ぶ


② [適用] をクリック

アクセスログを確認する



情報・ログ表示

▶



アクセスログ

[情報・ログ表示] → [アクセスログ] をクリック


アクセスログが表示されます。

アクセスログのダウンロード

表示されたアクセスログの [ダウンロード] をクリックすると、アクセスログをダウンロードできます。

ご注意

アクセスログをメール送信する場合は、[システム] → [通知] → [メール] → [通知設定] で設定します。詳しくは、[\[通知機能\] \(12-100 ページ\)](#) をご覧ください。



アクセスログの読み方

日時

操作したユーザー

操作したホスト名

ユーザーのパソコンの IP アドレス

操作結果
ok: 成功
fail(xxxx) : 失敗

操作したフォルダーとファイル

2015/12/04 10:10:10, user1, host1, xxx.xxx.xxx.xxx, connect, ok, disk1, test.txt

操作内容 connect クライアント PC が共有フォルダーに接続した disconnect クライアント PC が共有フォルダーの接続を解除した open_read 対象ファイルを読み込みモードで開いた open_write 対象ファイルを書き込みモードで開いた	close ファイルが閉じられた mkdir フォルダー作成時 rmdir フォルダー削除時 rename ファイル / フォルダーの名前が変更された unlink ファイル削除時
--	--

設定一覧を表示する

本製品の設定情報一覧を表示します。Web ブラウザーのプリント機能などを利用して一括で情報を出力することができます。



情報・ログ表示



設定一覧

[情報・ログ表示] →
[設定一覧] をクリック

設定一覧が表示されます。

名前設定	
LAN DISK の名前	lanck-
LAN DISK の説明	
LAN DISK の設置場所	

時刻設定	
時刻	有効
NTPサーバー	ntp.nict.jp
同期のタイミング	起動時
時刻	有効
時刻	-

管理者設定	
パスワード	30文字
メールアドレス	
ログアウトタイムアウト時間	10分

設定一覧のダウンロード

[ダウンロード] をクリックすると、設定一覧をダウンロードできます。

各種情報を確認する

メイン画面を確認する



▼上部リンク

マニュアル	弊社 Web サイトの【画面で見るマニュアル】を開きます。(インターネット接続が必要です。)
メロディ (開始)	本製品のメロディを鳴らします。メロディが鳴っている間はメロディ (停止) ボタンとなります。
ログアウト	設定画面からログアウトし、トップページに戻ります。

▼通知エリア (左)

通知	警告などを表示します。
はじめて設定	はじめて設定をおこなっていない場合のみ表示されます。(【かんたん設定】(1-17 ページ) 参照)


▼通知エリア (右)

LAN DISK の名前	LAN DISK の名前を表示します。
バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
IP アドレス	本製品の LAN1 の IPv4 アドレスを表示します。
MAC アドレス	本製品の LAN1 の MAC アドレスを表示します。
RAID の状態	本製品の RAID の状態を表示します。
使用容量 / 全容量	現在の内蔵ディスクの使用容量と全容量を表示します。 ※本製品のシステム用に、約 6G バイト使われています。ご了承ください。

▼下部アイコン


ホーム	クリックすると、メイン画面に戻ります。
表示されているアイコンをクリックすると、そのページにジャンプします。	
戻る	クリックすると、上位メニューに戻ります。

お知らせを確認する



情報・ログ表示

▶



お知らせ

【情報・ログ表示】 →
【お知らせ】 をクリック

お知らせが表示されます。閉じると、警告レベルのお知らせは消去されます。

お知らせ

レベル	メッセージ
警告	LAN2がリンクしていません。(608-0000)
警告	バックアップ公開サーバーへの接続に失敗しました。(3609-0000)
警告	ファームウェア公開サーバーへの接続に失敗しました。(3709-0000)
警告	NarSuSサーバーへの接続に失敗しました。(3109-0000)

クリア

レベル	お知らせのレベルを表示します。【ログ・お知らせ一覧】(15-140 ページ) をご覧ください。
メッセージ	お知らせの内容です。【ログ・お知らせ一覧】(15-140 ページ) をご覧ください。
【クリア】 ボタン	レベルが「エラー」のお知らせを消去します。

システム情報を確認する



情報・ログ表示



システム情報

[情報・ログ表示] →
[システム情報] をクリック

システム情報が表示されます。項目名を
クリックすると、設定画面が表示されます。

システム情報	
製品	PNL6M18
システムのバージョン	1.00
時刻	2013.12.12 10:20:29
時刻の同期	有効 時間サーバー:ntp.nict.jp
有効なサービス	本製品が提供しているサービスを表示します。 NetScp アプセルロジ Microsoftソフトウェア
RAIDモード	RAID0
クイックコピー	有効
バックアップスケジュール	無効
データコピースケジュール	無効
省電力モード	無効
ランプの明るさ	明
起動スケジュール	無効
温度	44°C
FANの回転数	1602rpm
プリンター	接続済
UPS警告	無効
UPS接続状態	接続済
UPSバッテリー残量	4.180%

製品	本製品の型番です。
システムのバージョン	本製品のファームウェアバージョンです。
時刻	現在の時刻です。
時刻の同期	本製品の時刻をタイムサーバーから取得するかどうかについて表示します。
有効なサービス	本製品が提供しているサービスを表示します。
RAIDモード	本製品の RAID モードを表示します。
クイックコピー	クイックコピー機能の有効 / 無効を表示します。
バックアップスケジュール	バックアップスケジュールの有効 / 無効を表示します。
データコピースケジュール	データコピースケジュールの有効 / 無効を表示します。
省電力モード	省電力モードの有効 / 無効を表示します。
ランプの明るさ	現在のランプの明るさです。
起動スケジュール	起動スケジュールの有効 / 無効を表示します。
温度	本製品の温度を表示します。
FANの回転数	FANの回転数を表示します。
プリンター	プリンターの接続状態を表示します。
UPS警告	UPS警告機能の有効 / 無効を表示します。
UPS接続状態	UPSの接続状態を表示します。
UPSバッテリー残量	UPSのバッテリー状態を表示します。

ネットワーク情報を確認する



情報・ログ表示



ネットワーク情報

[情報・ログ表示] →
[ネットワーク情報] をクリック

ネットワーク情報が表示されます。項目名をクリックすると、設定画面が表示されます。

ネットワーク情報			
LAN DISKの名前	lanDisk-0c0930		
LAN DISKの説明	IDX_H-series		
LAN DISKの設置場所			
LAN1	IPアドレス設定方式	自動で取得する (DHCP)	IPv4 有効
	IPアドレス	192.168.31.91	-
	サブネットマスク / プレフィックス長	255.255.255.0	-
	Wake On LAN	有効	-
	フレームサイズ	1500byte	-
	MACアドレス	34:76:e3:0c:00:30	-
LAN2	リンク状態	100Mbps	-
	IPアドレス設定方式	自動で取得する (DHCP)	IPv4 有効
	IPアドレス	-	-
	サブネットマスク / プレフィックス長	-	-
	Wake On LAN	有効	-
	フレームサイズ	1500byte	-
共通	MACアドレス	34:76:e3:0c:00:31	-
	設定方法	LAN1優先で自動で取得する	-
	デフォルトゲートウェイ	192.168.31.254	-
	DNSサーバー	192.168.31.254	-
プロキシ	プロキシ 使用しない		
Microsoft ネットワーク	ワークグループ		
	ワークグループ名	WORKGROUP	
	WINSサーバー		

LAN DISK の名前	本製品に設定している名前です。この名前は、Windows ネットワークに接続しているクライアントから本製品を指定する場合などに利用します。	
LAN DISK の説明	本製品に設定している説明文です。ネットワークで本製品を詳細表示した際に表示されます。	
LAN DISK の設置場所	本製品の設置場所を入力できます。	
LAN1、LAN2	IP アドレス設定方式	本製品の IP アドレスを自動取得するか (DHCP 機能) を表示します。
	IP アドレス	本製品に設定している IP アドレスです。 DHCP 機能が有効の場合は、DHCP サーバーから自動取得したアドレスが表示されます。 (LAN1 ポートの DHCP 取得失敗時) 192.168.0.200 (LAN2 ポートの DHCP 取得失敗時) 192.168.10.200
	サブネットマスク / プレフィックス長	本製品に設定しているサブネットマスクです。IP アドレスとの組み合わせにより、通信できるネットワークが決まります。DHCP 機能を有効にしている場合は、DHCP サーバーから取得したサブネットマスク値が表示されます。 (DHCP 取得失敗時) 255.255.255.0
	Wake On LAN	Wake On LAN の有効 / 無効を表示します。
	フレームサイズ	本製品が通信する際に送り出す 1 回分のデータの最大値を指定します。 ※ネットワーク上すべての製品が 1000BASE-T でジャンボフレームに対応している場合のみご利用いただけます。 ※ネットワーク上のすべての機器が同一の値でないと通信できません。設定をご確認ください。
	MAC アドレス	本製品の MAC アドレスです。出荷時点で本製品に書き込まれており、変更はできません。
	リンク状態	現在のリンクスピードを表示しています。
共通	設定方法	デフォルトゲートウェイと DNS サーバーアドレスの情報取得方法を表示します。
	デフォルトゲートウェイ	本製品に設定しているデフォルトゲートウェイです。
	DNS サーバーアドレス	本製品に設定している DNS サーバーアドレスです。
プロキシ	プロキシ設定の有効 / 無効を表示します。	

▼ Microsoft ネットワーク

ワークグループ設定時	ワークグループ名	本製品に設定しているワークグループ名です。
NT ドメイン設定時	ドメイン名	本製品で設定している NT ドメイン名です。
	ドメインコントローラーの名前	本製品で設定している NT ドメインコントローラーの名前です。
ActiveDirectory設定時	ドメイン名 (NetBIOS 名)	本製品で設定している Active Directory のドメイン名 (NetBIOS 名) です。
	ドメイン名 (フル DNS 名)	本製品で設定している Active Directory のドメイン名 (フル DNS 名) です。
	ドメインコントローラーの名前	本製品で設定している Active Directory のドメインコントローラーの名前です。
WINS サーバーアドレス	本製品に設定している WINS サーバーアドレスです。この設定により、ルーターで区切られたネットワークにおいても名前による Windows ネットワーク共有サービスが受けられます。通常、ご家庭でご利用になる場合は設定の必要はありません。	

ボリューム情報を確認する



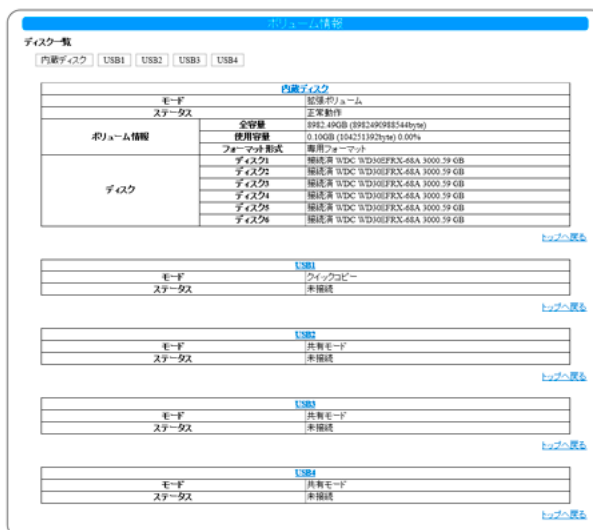
情報・ログ表示



ボリューム情報

[情報・ログ表示] →
[ボリューム情報] をクリック

ボリューム情報が表示されます。項目名をクリックすると、設定画面が表示されます。



モード	本製品の動作モードを表示します。
-----	------------------

▼内蔵ディスクのステータス

ステータス	内蔵ディスクの動作状態を表示します。状態により複数表示される場合があります。	
正常動作	内蔵ディスクは正常に動作しています。	
構成異常	一部の内蔵ディスクが故障か接続されていない状態です。 [ディスク] の表示を確認し、故障したディスクの交換をしてください。	
RAID 崩壊	内蔵ディスクを RAID として機能させることができない状態です。 [ディスク] の表示を確認し、故障したディスクを交換し、復旧作業をおこなってください。	
アクティブリペア中	内蔵ディスクがアクティブリペア中です。	
停止中	内蔵ディスクを停止した状態です。	
マウント失敗	内蔵ディスクのマウントに失敗した状態です。	
チェックディスク中	内蔵ディスクがチェックディスク中です。	
フォーマット中	内蔵ディスクがフォーマット中です。	
未フォーマット	内蔵ディスクは未フォーマット状態です。	
セキュリティロック中	内蔵ディスクがセキュリティロックされた状態です。ロックキーで解除されます。	
処理中	内蔵ディスクに対して他の操作中を実行中です。	

※各状態について再構築が実行されている場合、(再構築(*%))と進捗が表示されます。

ボリューム情報	全容量	内蔵ディスク全体の容量を表示します。 1Kbyte = 1000byte で算出しています。		
	使用容量	現在使っている容量を表示します。		
	フォーマット形式	内蔵ディスクのフォーマット形式を表示します。		
ディスク	内蔵ディスクを構成するカートリッジの一覧を次の形式で表示します。(番号 状態 ディスク名 容量)			
	状態	未接続	カートリッジが接続されていません。カートリッジの交換が可能な状態です。	
		接続済	本製品で正常に認識されています。	
		容量不足	内蔵ディスクに組み込むために必要なサイズより小さなサイズのカートリッジです。適切な容量のカートリッジに交換する必要があります。	
		故障	読み書きエラーや S.M.A.R.T. 診断エラーが発生したカートリッジです。新しいカートリッジに交換する必要があります。	
異常	起動時に故障と判定されましたが、アクセスに成功したため、RAID 崩壊を防ぐため RAID に組み込まれたカートリッジです。(他にも故障したカートリッジがあります) まずデータをバックアップした後、このカートリッジおよび他の故障したカートリッジを新しいカートリッジに交換してください。			
ディスク名	ディスクのモデルナンバーを表示します。			
容量	ディスク容量を表示します。1Kbyte = 1000byte で算出しています。			

各種情報を確認する (つづき)

▼ USB のステータス

ステータス	USB 機器の動作状態を表示します。状態により複数表示される場合があります。	
未接続		USB HDD が接続されていないか、取り外し処理をおこなったか、あるいは正常に認識されていない状態です。USB 機器を接続していない場合、USB 機器を接続できません。
使用中		USB HDD が正常にマウントされています。取り外す場合は、USB HDD の取り外し処理をおこなってください。
取り外し済		USB HDD は取り外し処理済です。USB HDD の取り外しができます。
ロックキー		暗号化用のロックキーが接続されています。ロックキーは本体から取り外すことができます。
セキュリティロック中		暗号化された USB HDD のセキュリティロックが解除されていない状態です。使うには暗号化フォーマット時に利用したロックキーを接続してください。
マウント失敗		USB HDD のマウントに失敗しています。USB HDD の取り外しは可能です。
待機中		ミラーに追加したボリュームにデータが入っているため、手動でのミラーリング開始操作を待っている状態です。USB HDD の取り外しは可能です。
容量不足		USB HDD が接続されており、正常に認識されていますが、RAID に組み込めない状態です。接続した USB HDD の容量がミラーリングするために必要な容量より小さい場合に表示されます。 適切な容量の USB HDD と交換してください。USB HDD の取り外しは可能です。
チェックディスク中		USB HDD をチェックしている状態です。取り外す場合は、USB HDD の取り外し処理をおこなってください。
フォーマット中		USB HDD をフォーマットしている状態です。取り外す場合は、USB HDD の取り外し処理をおこなってください。
故障		USB HDD が故障しています。USB HDD の取り外しは可能です。
未フォーマット		USB HDD が未フォーマット状態です。USB HDD の取り外しは可能です。
ミラーリング		ミラーリングモードに設定され、正常に動作しています。USB HDD は取り外さないでください。
ミラーリング (異常)		ミラーリングモードに設定され、USB HDD のみで動作している状態です。故障したカートリッジを交換し、USB HDD からミラーリングをおこなってください。USB HDD は取り外さないでください。
ミラーリング (再構築中 (*%))		ミラーリングモードに設定され、再構築を実行中です。USB HDD は取り外さないでください。

出荷時設定に戻す

IP アドレス、 管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す

万一、本製品に設定した IP アドレスや、本製品設定時の管理者パスワードを忘れてしまった場合にする手順です。初期化される項目は下記の3つのみです。(以下の表以外のすべての設定情報は変更されません。)

IP アドレス	LAN1 ポートの IP アドレスが [自動に取得する (DHCP)] に戻ります。 IP アドレスを手動設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。
管理者パスワード	[未設定] に戻ります。 最初から設定し直す必要があります。
フレームサイズ	[未使用: 1500byte] に戻ります。

ご注意

- 内蔵ディスクや USB HDD 内のデータは残ります。(消去されません。)
- 初期化処理中は、本製品の電源を切らないでください。
- ネットワークに接続したまま実行できます。
- RESET ボタンを無効に設定してある場合は、この機能を利用できません。
この場合、パスワードも戻すことができませんので、管理者パスワードがわからなくなった場合の対応がおこなえなくなります。

1

本製品の電源が入っていることを確認
(POWER ランプが緑点灯)

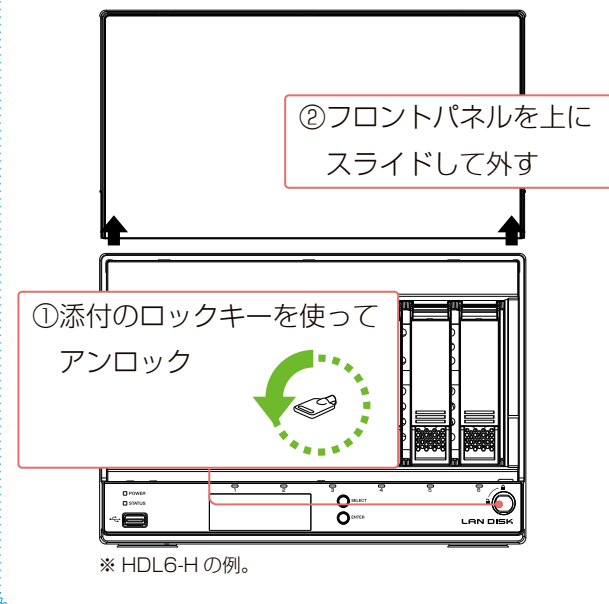
ご注意

HDD ランプが点滅中には、初期化しないでください。

2

HDL6-H (HDL4-HEX)、HDL2-H の場合

事前にフロントパネルを取りはずします。



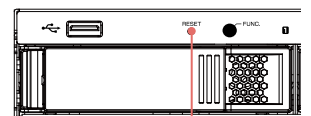
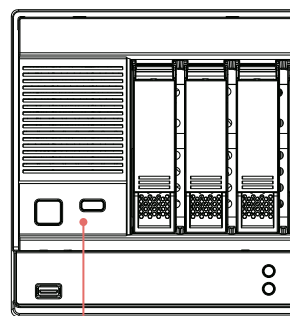
再度設定をやり直してください

IP アドレスや管理者パスワードなどが初期値になっています。

HDL6-H (HDL4-HEX)

HDL2-H

HDL4-HR



RESET ボタンを針金などの先の細いもので約 4 秒押す

STATUS ランプが点滅し、「ピッ」と鳴ります。

STATUS ランプが 緑点灯 または 赤点灯 すれば完了です。

緑点灯..... DHCP サーバーあり
赤点灯..... DHCP サーバーなし

本製品のすべての設定を出荷時設定に戻す

設定画面から、本製品のすべての設定を初期化し、内蔵ディスクをフォーマットします。

初期化される項目は次のとおりです。

- ・ 本製品のすべての設定
- ・ 内蔵ディスクの全データ

ご注意

- 事前に本製品内のデータをバックアップしてください。
(USB HDD のデータも事前にバックアップしてください。)
- USB HDD のデータは消去されませんが、取り外しておくことをおすすめします。
- カートリッジはすべて接続しておく必要があります。
- 初期化をおこなうと、以前の RAID モードに関係なく、拡張ボリュームにフォーマットされます。
- 動作モードもすべて初期設定に戻ります。
USB HDD をミラーリングモードでご利用の場合、先にミラーディスクの保管をおこなってください。
- 「ログ拡張」パッケージを追加している場合は、パッケージを削除してから、初期化してください。

1



システム

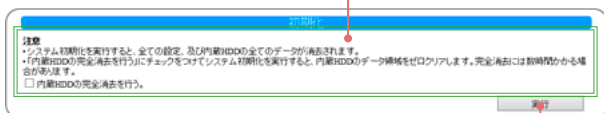


初期化

[システム] → [初期化] をクリック

2

① 注意を読む



② [実行] をクリック

再度設定をやり直してください

すべての設定が初期値になっています。

「内蔵 HDD の完全消去」について

[内蔵 HDD の完全消去を行う] をチェックした場合、内蔵ディスク全体に 0 を書き込んだ後、フォーマットします。0 を全体に書き込むことにより、一般のツールから内容の復元処理をすることが難しくなりますので、ファイル断片からの情報漏れに強くなります。本製品を廃棄や譲渡される場合におすすめします。

※目安の時間

完全消去	約 14 時間 (HDL6-H6 の場合)
非完全消去	約 4 分

ご注意

- 結果画面が表示された後、自動的に本製品が再起動しますが、再起動後もシステム初期化処理を続行しています。
STATUS ランプが緑点灯または赤点灯状態になるまでそのまましばらくお待ちください。
- システム初期化処理中に電源を切ったり、カートリッジを取り外したりすると、本製品が正常に起動しなくなります。
STATUS ランプが緑点灯または赤点灯状態になるまで、何も操作しないでください。

最新情報については…

本製品の動作環境や仕様についての最新情報は、以下の弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.iodata.jp/>

動作環境

本製品は、「LAN インターフェイスを搭載し、TCP/IP が正常に動作するパソコン」に対応しています。以下の OS でお使いの場合のみ、サポート対象とさせていただきます。

対応機種

LAN インターフェイスを搭載し、TCP/IP 通信が正常に動作する Windows パソコン、Mac

対応 OS

Windows 10	Windows 8.1 ^{*1}	Windows 8 ^{*1}
Windows 7	Windows Vista	
Windows Server 2016 ^{*3*7}		
Windows Server 2012 ^{*2*5}		Windows Server 2012 R2 ^{*2*5}
Windows Server 2008 ^{*3*5}		Windows Server 2008 R2 ^{*3*5}
Windows Server 2003 SP1 ^{*4*5}		Windows Server 2003 R2 ^{*4*5}
macOS 10.5 ~ 10.13 ^{*6}		

※ 1 設定画面はデスクトップモードでご利用ください。

※ 2 フルインストールのみ対応しています。

※ 3 Standard/Enterprise のみ対応、Server Core モードには対応していません。

※ 4 Standard (32 ビット) / Enterprise (32 ビット) のみ対応。

※ 5 本製品上に作成した共有フォルダーへのアクセス、および NT ドメインログオン・Active Directory ログオン機能のみ対応し、Web ブラウザーによる設定画面操作、プリントサーバー機能等はサポート対象外です。

※ 6 内蔵ボリュームの容量が 16TB を超える場合、OS X 10.7.x では Time Machine 機能をご利用いただけません。

OS X のバージョンを 10.8 以降にアップデートするか、内蔵ボリュームが 16TB を超えない RAID モードに設定してください。

※ 7 デスクトップエクスペリエンスのみ対応しています。

Windows XP をご使用の場合

HDL6-H シリーズ、HDL2-H シリーズの操作については、サポート対応させていただきますが、OS に起因する技術的問題が発生した場合、調査および解決することができない場合があります。ご了承ください。

設定に必要な Web ブラウザー

Microsoft Edge

Internet Explorer バージョン 8.0 ~ 11.0

Safari バージョン 4.0 ~ 8.0

※サーバー OS からの設定画面利用はサポート対象外となります。

対応外付け機器

動作確認済み機器については、以下の弊社ホームページの製品情報をご覧ください。

■ USB HDD

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm>

■ UPS

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/ups.htm>

■ その他周辺機器

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/peripheral.htm>

ご注意

- バスパワーモードの USB HDD は、本製品では利用できません。必ずセルフパワーモードでご利用ください。
- プリンターの双方向機能には対応しておりません。
- デジタルカメラは USB マスストレージクラスの転送に対応している必要があります。
- USB ハブは利用できません。
- 省電力設定の対応機器は、以下の弊社ホームページをご覧ください。（省電力設定の動作確認機種以外には省電力設定を有効にしないでください。）

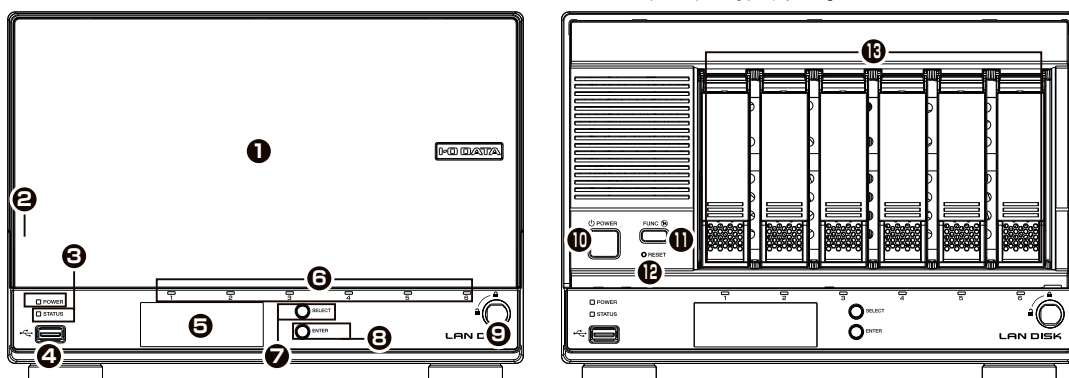
<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm>

各部の名称

前面

HDL6-H (HDL4-HEX)

▽フロントパネル取り外し時



① フロントパネル	カートリッジや POWER ボタンの誤操作を防ぎます。
② POWER ランプ	本製品の電源の状態を示します。(【ランプの状態】(15-134 ページ) 参照)
③ STATUS ランプ	本製品のステータスを示します。(【ランプの状態】(15-134 ページ) 参照)
④ USB ポート 1	増設用 USB 機器を接続します。(USB 2.0) クイックコピー、ロックキー運用時に使います。 (【バックアップ】(8-72 ページ)、【暗号化ボリューム】(3-31 ページ) 参照)
⑤ 液晶表示	操作の状態や結果を表示します。
⑥ HDD ランプ	各 HDD の状態を示します。(1~6番) (【ランプの状態】(15-134 ページ) 参照)
⑦ SELECT ボタン	液晶の表示を切り替えます。 ブザー音を停止します。
⑧ ENTER ボタン	液晶のお知らせを表示します。
⑨ キーロック	フロントパネルをロック / アンロックします。
⑩ POWER ボタン	電源を ON/OFF します。
⑪ FUNC ボタン	クイックコピーを使います。(【バックアップ】(8-72 ページ) 参照)
⑫ RESET ボタン	本製品の管理者パスワードと LAN1 ポートの設定を出荷時設定に戻します。
⑬ カートリッジ挿入位置	カートリッジを挿入します。(6か所)

液晶表示と操作について

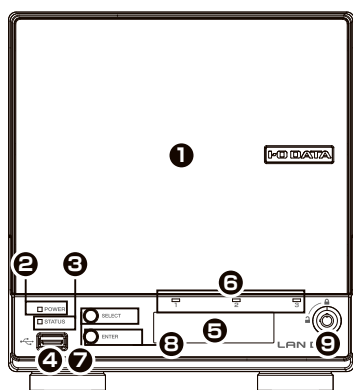
SELECT ボタンを“ピッ”と音が鳴るまで押すと、以下の順で情報を表示します。

- ①お知らせ あり / なし
- ②製品型番 / バージョン / LAN DISK の名前
- ③ LAN1 ポートの IP アドレス、MAC アドレス
- ④ LAN2 ポートの IP アドレス、MAC アドレス
- ⑤空き容量 / 全容量
- ⑥現在の日時

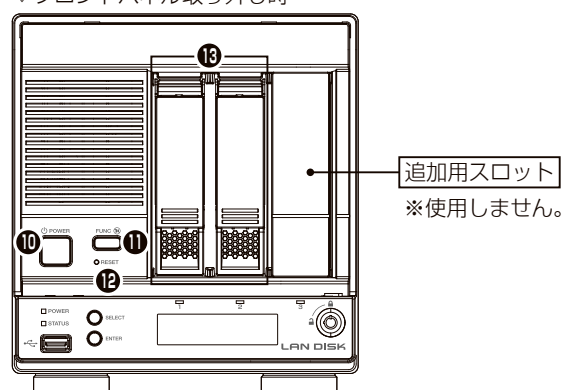
①で「お知らせ あり」と表示されているときに、ENTER ボタンを“ピッ”と音が鳴るまで押すと、お知らせの内容が簡易表示されます。
SELECT ボタンで他のお知らせ表示、ENTER ボタンで「お知らせ あり / なし」の表示に戻ります。

各部の名称 (つづき)

HDL2-H



▽フロントパネル取り外し時



① フロントパネル	カートリッジや POWER ボタンの誤操作を防ぎます。
② POWER ランプ	本製品の電源の状態を示します。(【ランプの状態】(15-134 ページ) 参照)
③ STATUS ランプ	本製品のステータスを示します。(【ランプの状態】(15-134 ページ) 参照)
④ USB ポート 1	増設用 USB 機器を接続します。(USB 2.0) クイックコピー、ロックキー運用時に使います。 (【バックアップ】(8-72 ページ)、【暗号化ボリューム】(3-31 ページ) 参照)
⑤ 液晶表示	操作の状態や結果を表示します。
⑥ HDD ランプ	各 HDD の状態を示します。(1~3番) (【ランプの状態】(15-134 ページ) 参照)
⑦ SELECT ボタン	液晶の表示を切り替えます。 ブザー音を停止します。
⑧ ENTER ボタン	液晶のお知らせを表示します。
⑨ キーロック	フロントパネルをロック / アンロックします。
⑩ POWER ボタン	電源を ON/OFF します。
⑪ FUNC ボタン	クイックコピーを使います。(【バックアップ】(8-72 ページ) 参照)
⑫ RESET ボタン	本製品の管理者パスワードと LAN1 ポートの設定を出荷時設定に戻します。
⑬ カートリッジ挿入位置	カートリッジを挿入します。(2 か所)

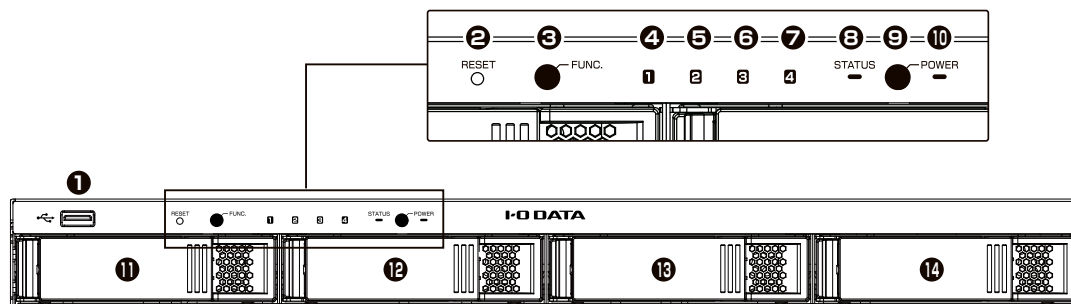
液晶表示と操作について

SELECT ボタンを“ピッ”と音が鳴るまで押すと、以下の順で情報を表示します。

- ①お知らせ あり / なし
- ②製品型番 / バージョン / LAN DISK の名前
- ③ LAN1 ポートの IP アドレス、MAC アドレス
- ④ LAN2 ポートの IP アドレス、MAC アドレス
- ⑤空き容量 / 全容量
- ⑥現在の日時

①で「お知らせ あり」と表示されているときに、ENTER ボタンを“ピッ”と音が鳴るまで押すと、お知らせの内容が簡易表示されます。
SELECT ボタンで他のお知らせ表示、ENTER ボタンで「お知らせ あり / なし」の表示に戻ります。

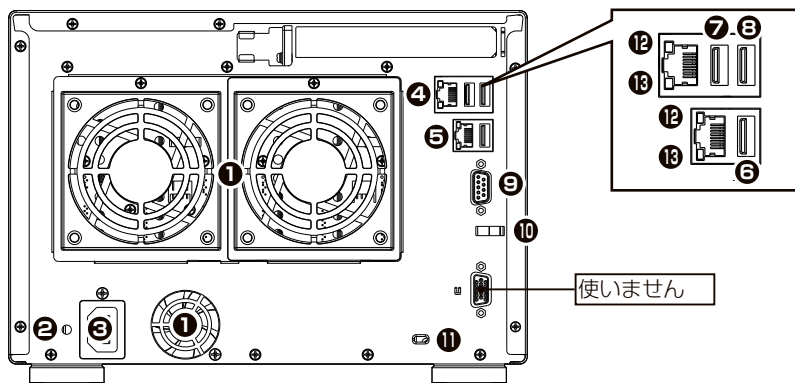
HDL4-HR



① USB ポート 1	増設用 USB 機器を接続します。(USB 2.0) クイックコピー、ロックキー運用時に使います。 (【バックアップ】 (8-72 ページ) 、 【暗号化ボリューム】 (3-31 ページ) 参照)
② RESET ボタン	本製品の管理者パスワードと LAN1 ポートの設定を出荷時設定に戻します。
③ FUNC ボタン	ブザーを停止するときに押します。
④ HDD ランプ 1	各 HDD の状態を示します。
⑤ HDD ランプ 2	(【ランプの状態】 (15-134 ページ) 参照)
⑥ HDD ランプ 3	
⑦ HDD ランプ 4	
⑧ STATUS ランプ	本製品のステータスを示します。 (【ランプの状態】 (15-134 ページ) 参照)
⑨ POWER ボタン	電源を ON/OFF します。
⑩ POWER ランプ	本製品の電源の状態を示します。 (【ランプの状態】 (15-134 ページ) 参照)
⑪ HDD 1	カートリッジを挿入します。
⑫ HDD 2	
⑬ HDD 3	
⑭ HDD 4	

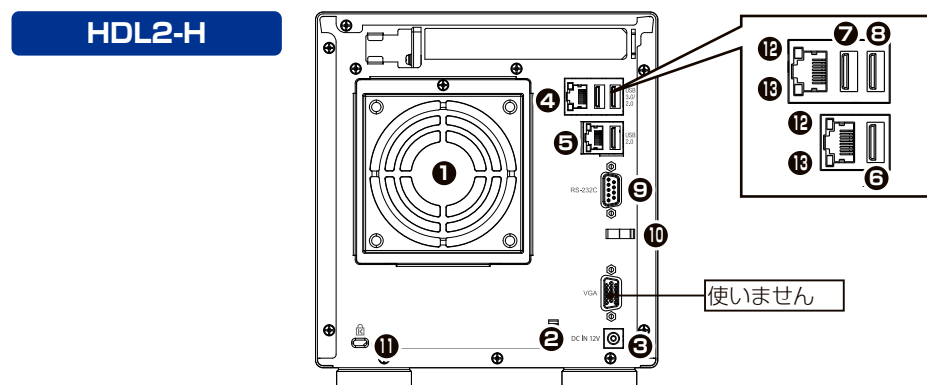
背面

HDL6-H (HDL4-HEX)



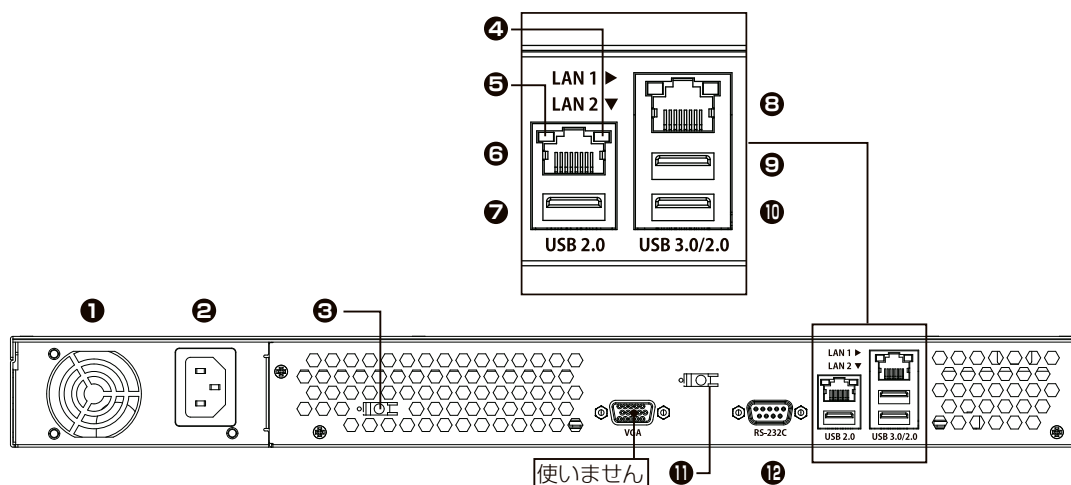
① ファン	冷却用ファンです。ふさがないでください。	
② 電源コードフック	抜け防止用です。	
③ 電源コネクタ	電源コードを引っかけて使います。	
④ LAN 1 ポート	添付の LAN ケーブルをつなぎます。	
⑤ LAN 2 ポート	添付の LAN ケーブルをつなぎます。	
⑥ USB ポート 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増設用 USB 機器をつなぎます。(USB 2.0) ・ プリンターはこちらにつなぎます。 	
⑦ USB ポート 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増設用 USB 機器をつなぎます。(USB 3.0) ・ ミラーリング機能使用時にミラーディスクをつなぎます。 (【ミラーリング】(9-87 ページ) 参照) ・ RAID モードが拡張ボリュームの場合、USB HDD をつなぎ、USB ポート 4 とペアを構成できます。 	
⑧ USB ポート 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増設用 USB 機器をつなぎます。(USB 3.0) ・ RAID モードが拡張ボリュームの場合、USB HDD をつなぎ、USB ポート 3 とペアを構成できます。 	
⑨ RS-232C ポート	対応 UPS をつなぎます。	
⑩ USB ケーブルフック	USB ケーブルの抜け防止用です。 フックに USB ケーブルを引っかけて使います。	
⑪ セキュリティスロット	盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。	
⑫ ACT/LINK ランプ	橙点灯	LINK 中
	橙点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
⑬ 1000/100/10 ランプ	橙点灯	1000BASE-T で接続中
	緑点灯	100BASE-TX で接続中
	消灯	未接続、または 10BASE-T で接続中

各部の名称 (つづき)



① ファン	冷却用ファンです。ふさがないでください。	
② 電源コードフック	抜け防止用です。	
③ 電源コネクタ	AC アダプターを引っかけて使います。	
④ LAN 1 ポート	添付の LAN ケーブルをつなぎます。	
⑤ LAN 2 ポート	添付の LAN ケーブルをつなぎます。	
⑥ USB ポート 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増設用 USB 機器をつなぎます。(USB 2.0) ・ プリンターはこちらにつなぎます。 	
⑦ USB ポート 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増設用 USB 機器をつなぎます。(USB 3.0) ・ ミラーリング機能使用時にミラーディスクをつなぎます。 (【ミラーリング】(9-87 ページ) 参照) ・ RAID モードが拡張ボリュームの場合、USB HDD をつなぎ、USB ポート 4 とペアを構成できます。 	
⑧ USB ポート 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増設用 USB 機器をつなぎます。(USB 3.0) ・ RAID モードが拡張ボリュームの場合、USB HDD をつなぎ、USB ポート 3 とペアを構成できます。 	
⑨ RS-232C ポート	対応 UPS をつなぎます。	
⑩ USB ケーブルフック	USB ケーブルの抜け防止用です。 フックに USB ケーブルを引っかけて使います。	
⑪ セキュリティスロット	盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。	
⑫ ACT/LINK ランプ	橙点灯	LINK 中
	橙点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
⑬ 1000/100/10 ランプ	橙点灯	1000BASE-T で接続中
	緑点灯	100BASE-TX で接続中
	消灯	未接続、または 10BASE-T で接続中

HDL4-HR



① ファン	冷却用ファンです。ふさがないでください。
② 電源コネクタ	電源コード / AC アダプターをつなぎます。
③ 電源コードフック	抜け防止用です。電源コードを引っかけて使います。
④ ACT/LINK ランプ (LAN 1/LAN 2 共通)	橙点灯 LINK 中 橙点滅 データを送受信中 消灯 未接続
⑤ 1000/100/10 ランプ (LAN 1/LAN 2 共通)	橙点灯 1000BASE-T で接続中 緑点灯 100BASE-TX で接続中 消灯 未接続、または 10BASE-T で接続中
⑥ LAN 2 ポート	添付の LAN ケーブルをつなぎます。
⑦ USB ポート 2	増設用 USB 機器をつなぎます。(USB 2.0) プリンターをつなぎます。
⑧ LAN 1 ポート	添付の LAN ケーブルをつなぎます。
⑨ USB ポート 3	増設用 USB 機器をつなぎます。(USB 3.0) ミラーリング機能のため、ミラーディスクをつなぎます。 (【ミラーリング】(9-87 ページ) 参照)
⑩ USB ポート 4	増設用 USB 機器をつなぎます。(USB 3.0) RAID モードが拡張ボリュームの場合、USB HDD をつなぎ、USB ポート 3 とペアを構成できます。
⑪ USB コードフック	抜け防止用です。USB ケーブルを引っかけて使います。
⑫ RS-232C ポート	対応 UPS をつなぎます。

ランプの状態

POWER ランプ	消灯	コンセントにつないでいない
	赤点灯	電源は切（コンセントにつないでいる）
	緑点灯	電源は入
STATUS ランプ	緑点灯	正常状態
	緑点滅	システム処理中
	赤点灯	警告レベルのお知らせがある状態
	赤点滅	エラーレベルのお知らせがある状態
HDD ランプ	青点灯（点滅）	正常状態（アクセス中は点滅する）
	赤点灯	RAID 崩壊時、該当 HDD は正常
	赤点滅	該当 HDD が故障
	消灯	該当 HDD が未接続

ブザーの状態

「ピー」× 1回 鳴る	<ul style="list-style-type: none">●正常に起動した●内蔵カートリッジや USB HDD を正常に取り付けた●クイックコピー / ボリューム設定変更 / などに成功した
「ピー」× 3回 鳴る	<ul style="list-style-type: none">●DHCP サーバーから IP アドレスを取得できなかった DHCP サーバー設置、固定 IP 設定などネットワークを検討●内蔵カートリッジを取り付けたが、問題があった 故障や容量不足●USB HDD を取り付けたが、問題があった 故障や容量不足、フォーマット形式に対応していない また、拡張ボリュームモードやミラーリングモードでは、USB HDD にデータが入っている●対応していないデジタルカメラやメモリーをつないだ（クイックコピーモード）●クイックコピーに失敗した ログを確認●設定変更 / 操作に失敗した
「ピッ」× 3回 鳴る	<ul style="list-style-type: none">●フォーマット / チェックディスク / バックアップ / クイックコピーが正常終了した
「ピッ、ピッ」と鳴り続く	<ul style="list-style-type: none">●RAID の構成に問題が発生している 内蔵カートリッジの故障など
「ピーポー」と鳴り続く	<ul style="list-style-type: none">●RAID が崩壊した 内蔵カートリッジの故障など
「ドレミ」と鳴り続く	<ul style="list-style-type: none">●UPS が接続されていない / 停電状態（UPS 警告が有効）
「ピピッ」と鳴り続く	<ul style="list-style-type: none">●警告対象が、使用量制限値に達した（使用量警告が有効）

出荷時設定一覧

※バージョンアップによる変更点は赤文字で示しております。

システムバージョン 3.10 (出荷時期による)

カテゴリ	設定項目	初期設定内容	備考			
ネットワーク	IPv4	LAN1	IP アドレス設定方式	自動で取得する (DHCP)	DHCP サーバーから取得 (取得不可の場合、 192.168.0.200)	
			IP アドレス	(設定なし)		
			サブネットマスク	(設定なし)		DHCP サーバーから取得
			フレームサイズ	1500		
		Wake On LAN	有効			
		LAN2	IP アドレス設定方式	自動で取得する (DHCP)	DHCP サーバーから取得 (取得不可の場合、 192.168.0.200)	
			IP アドレス	(設定なし)		
			サブネットマスク	(設定なし)		DHCP サーバーから取得
			フレームサイズ	1500		
		共通設定	設定方法	自動で取得する		
	優先インターフェース		LAN1			
	デフォルトゲートウェイ		(設定なし)	DHCP サーバーから取得		
	DNS サーバー		(設定なし)	DHCP サーバーから取得		
	IPv6		LAN1	IP アドレス設定方式	無効	入力補助のため「64」と表示される
				IP アドレス	(設定なし)	
		プレフィックス長		(設定なし)		
		フレームサイズ		1500		
		LAN2	IP アドレス設定方式	無効	入力補助のため「64」と表示される	
			IP アドレス	(設定なし)		
			プレフィックス長	(設定なし)		
フレームサイズ			1500			
共通設定		設定方法	自動で取得する			
		優先インターフェース	LAN1			
	デフォルトゲートウェイ	(設定なし)	DHCP サーバーから取得			
	DNS サーバー	(設定なし)	DHCP サーバーから取得			
	プロキシ設定		プロキシ	使用しない		
	共有	フォルダー	LAN DISK Manual	コメント	画面で見るマニュアル	
基本設定				・読み取り専用 ・Microsoft ネットワーク共有		
disk1			コメント	HDL-H RAID share		
			基本設定	・Microsoft ネットワーク共有		
usb1			コメント	HDL-H usb1 share		
			基本設定	・Microsoft ネットワーク共有		
usb2			コメント	HDL-H usb2 share		
			基本設定	・Microsoft ネットワーク共有		
usb3			コメント	HDL-H usb3 share		
			基本設定	・Microsoft ネットワーク共有		
usb4			コメント	HDL-H usb4 share		
			基本設定	・Microsoft ネットワーク共有		
方式			Microsoft ネットワーク共有設定	Microsoft ネットワーク	有効	
			SMB プロトコル	-	SMB1,SMB2,SMB3 を使用する	
ユーザー & グループ	ユーザー	-	登録済みユーザーなし			
	グループ	-	登録済みグループなし			
	Microsoft ネットワーク設定	設定方法	ワークグループ			
		ワークグループ名	WORKGROUP			
	WINS サーバー	(設定なし)				

出荷時設定一覧 (つづき)

カテゴリ	設定項目		初期設定内容	備考	
ボリューム	内蔵	フォーマット	RAID モード	拡張ボリューム	
			暗号化	無効	
		アクティブリペア	スケジュール機能	有効	
			曜日 (毎月最初) 時刻	土 0:00	
	usb1		ポートモード クイックコピー共有	クイックコピーモード disk1	
	usb2		ポートモード	共有	
	usb3		ポートモード	共有	
	usb4		ポートモード	共有	
	ロックキー		キーサーバー機能	無効	
			キーサーバー 1 ホスト	(設定なし)	
			キーサーバー 1 ポート	(設定なし)	入力補助のため「51056」 と表示される
キーサーバー 2 ホスト キーサーバー 2 ポート			(設定なし) (設定なし)	入力補助のため「51056」 と表示される	
サービス	使用量制限		無効		
	UPS 警告		無効		
	ファームウェア自動更新		有効		
	ファームウェア更新通知		有効		
	パッケージ自動更新		有効		
	パッケージ更新通知		有効		
	SNMPトラップ		未設定		
	NarSuS		未設定		
	アクセスログ		無効		
Microsoft ネットワーク		有効			
データバックアップ	バックアップ		バックアップジョブなし		
	データコピー		データコピージョブなし		
システム	名前設定	LAN DISK の名前	landisk-***** (***** は製品の LAN1 ポートの MAC アドレス 下 6 桁が表示される)		
		LAN DISK の説明	HDL-H series		
		LAN DISK の設置場所	(設定なし)		
	時刻設定	時刻設定	同期		
		NTP サーバー	ntp.nict.jp		
		同期のタイミング	起動時		
	管理者設定	パスワード	(設定なし)		
		メール	(設定なし)		
		ログインタイムアウト時間	10 分		
	電源	スケジュール設定	起動・終了設定	(設定なし)	
		AC 電源連動設定	AC 電源連動設定	無効	
			UPS 設定	UPS 警告	無効
				停電後のシャットダウン ネットワークシャットダウン設定	10 分 (設定なし)
		省電力設定	時間設定	30 分	
			内蔵ディスク	有効	
			USB 1 ボリューム	無効	
	USB 2 ボリューム		無効		
	ボタン	FUNC ボタン設定	FUNC ボタン	有効	
		リセットボタン設定	リセットボタン	有効	
		ランプ設定	LED の明るさ	LED の明るさ	明
			通知	NarSuS	NarSuS
	定期通知	定期通知		有効	
		項目		定期通知 UPS 警告	有効
				ディスクエラー	有効
				ボリューム使用量警告	無効
				使用量制限警告	無効
	定期レポート	定期レポート		無効	
曜日	(設定なし)				
時刻	(設定なし)				

出荷時設定一覧 (つづき)

カテゴリ	設定項目		初期設定内容	備考		
システム	メール	基本設定	SMTP サーバー	(設定なし)		
			SMTP ポート	25		
			SSL 暗号化通信	無効		
			差出人メールアドレス	(設定なし)		
			メールエンコード	ISO-2022-JP		
		認証	認証なし			
		通知設定		登録済みメールアドレスなし		
		SNMP	SNMP	SNMP トラップ	無効	
				ポート番号	162	
				送信先ホスト	(設定なし)	
	パッケージ	自動更新設定	自動更新	有効		
			時刻	2 ~ 4 のいずれか		
		更新通知設定	更新通知	有効		
			インストール済みパッケージのみ	有効		
	ファームウェア	自動更新設定	自動更新	有効		
時刻			2 ~ 4 のいずれか			
更新通知設定		更新通知	有効			
		時刻	2 ~ 4 のいずれか			

文字制限一覧

各設定項目の文字制限

各項目には、以下の使う文字についての制限があります。(表は次ページ参照)

項目名	文字数		使える文字		使うことができない文字列
	最小	最大	半角	全角	
管理者パスワード	4	20	表 1	×	
LAN DISK の名前	1	15	表 6	×	・ハイフンから始まる文字列 ・数字のみの文字列
LAN DISK の説明	0	半角 48 全角 48	表 4	○	
LAN DISK の設置場所	0	半角 48 全角 48	表 4	○	
ユーザー名	1	20	表 2	×	・ハイフンから始まる文字列 ・数値のみの文字列 ・既存のユーザー名と大文字小文字のみが異なる文字列
ユーザーフルネーム	0	半角 48 全角 48	表 4	○	
ユーザーコメント	0	半角 48 全角 48	表 4	○	
ユーザーパスワード	0	20	表 1	×	
グループ名	1	20	表 2	×	・ハイフンから始まる文字列 ・数値のみの文字列 ・既存のグループ名と大文字小文字のみが異なる文字列
共有フォルダー	1	半角 27 全角 9	表 4	○	・ドル記号で終わる文字列 ・半角スペースで始まる文字列 ・半角スペースで終わる文字列 ・半角スペースが連続する文字列 ・# で始まる文字列
共有フォルダーコメント	0	半角 48 全角 48	表 4	○	
ワークグループ名	1	15	表 2	×	LAN DISK の名前と同じ文字列
NT ドメイン名	1	15	表 2	×	LAN DISK の名前と同じ文字列
NT ドメインコントローラー名	1	15	表 2	×	LAN DISK の名前と同じ文字列
ドメイン名 (NetBIOS 名)	1	15	表 3	×	LAN DISK の名前と同じ文字列
ドメイン名 (フル DNS 名)	1	155	表 3	×	ピリオドで区切られた各フィールドが 64 文字以上の文字列
ドメイン管理者名	1	20	表 3	×	
ドメイン管理者パスワード	0	20	表 1	×	
ドメインコントローラーの名前	1	155	表 3	×	ピリオドで区切られた各フィールドが 64 文字以上の文字列
メール基本設定・メールアドレス	5	50	表 5	×	・記号で始まる文字列 ・記号で終わる文字列 ・@ の後ろにピリオドが含まれない文字列
メール基本設定 - 認証設定 (ユーザー名)	1	155	○	○	
メール基本設定 - 認証設定 (パスワード)	0	20	○	○	

共有フォルダー使用時の文字制限

共有フォルダーに保存できるファイル名、フォルダー名には以下の制限があります。

・半角 255 文字 (全角 85 文字) までとなります。

※使う文字種によっては上記の数値よりも少なくなる場合があります。

・使える名前は、クライアント OS により制限されます。

※特に Windows と macOS が混在した環境でお使いの場合、macOS から「¥/*?<>|」を使った名前を作成しないことを推奨します。

【表：使える半角文字】

※グレーの文字は使えません。

▼表 1

[空白]	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_		
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{ } ~				

▼表 2

[空白]	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_		
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{ } ~				

▼表 3

[空白]	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_		
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{ } ~				

▼表 4

[空白]	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_		
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{ } ~				

▼表 5

[空白]	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_		
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{ } ~				

▼表 6

[空白]	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_		
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{ } ~				

ログ・お知らせ一覧

※レベルが [情報] のメッセージコードは、システムログには表示されません。

※ SNMP トラップで送信されるメッセージコードには "-" は含まれません。

※ メール通知、NarSuS 通知、SNMP トラップは、[システム] → [通知] で有効に設定されている場合のみ通知されます。

※ 液晶表示は、HDL6-H、HDL2-H のみの機能です。

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
名前設定	200-0000	情報	設定を変更しました。	-	名前設定の設定変更が正常完了	-	-	-	-
	203-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	204-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	名前設定の設定変更失敗	-	-	-	-
日付と時刻	300-0000	情報	設定を変更しました。	-	時刻設定の設定変更が正常完了	-	-	-	-
	300-0001	情報	NTP サーバーと時刻を同期しました。	-	NTP サーバーと時刻同期に成功	あり	-	-	-
	303-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	304-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	時刻設定の設定変更失敗	-	-	-	-
	309-0000	警告	NTP サーバーと時刻を同期できませんでした。	時刻同期失敗	NTP サーバーと時刻同期に失敗	あり	-	-	あり
ネットワーク	400-0000	情報	設定を変更しました。	-	ネットワーク設定変更が正常完了	-	-	-	-
	403-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	404-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	ネットワークの設定変更失敗	-	-	-	-
LAN1	500-0000	情報	LAN1 - DHCP 成功 - アドレス: IPアドレス 更新間隔: xx 秒	-	DHCP サーバーからの IP アドレスの取得に成功	あり	-	-	あり
	500-0001	情報	LAN1 がリンクしました。	-	ネットワークに接続	あり	-	-	あり
	508-0000	警告	LAN1 がリンクしていません。	リンクなし	ネットワークから切断	あり	-	-	あり
	509-0000	警告	LAN1 - DHCP 失敗 - アドレス: IPアドレス	DHCP 失敗	DHCP サーバーからの IP アドレスの取得に失敗し、IP アドレスを一時的に割り当て	あり	-	-	あり
LAN2	600-0000	情報	LAN2 - DHCP 成功 - アドレス: IPアドレス 更新間隔: xx 秒	-	DHCP サーバーからの IP アドレスの取得に成功	あり	-	-	あり
	600-0001	情報	LAN2 がリンクしました。	-	ネットワークに接続	あり	-	-	あり
	608-0000	警告	LAN2 がリンクしていません。	リンクなし	ネットワークから切断	あり	-	-	あり
	609-0000	警告	LAN2 - DHCP 失敗 - アドレス: IPアドレス	DHCP 失敗	DHCP サーバーからの IP アドレスの取得に失敗し、IP アドレスを一時的に割り当て	あり	-	-	あり
管理者	700-0000	情報	管理者情報を変更しました。	-	管理者情報の設定変更が正常完了	-	-	-	-
	703-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	704-0000	警告	管理者情報の変更失敗しました。	-	管理者情報の変更失敗	-	-	-	-
ユーザー	800-0000	情報	ユーザー名 のパスワードを変更しました。	-	ユーザーのパスワード変更が正常完了	-	-	-	-
	800-0001	情報	ユーザー名 を追加しました。	-	ユーザーの追加が正常完了	-	-	-	-
	800-0002	情報	ユーザー名 を削除しました。	-	ユーザーの削除が正常完了	-	-	-	-
	800-0003	情報	ユーザー名 の設定を変更しました。	-	ユーザーの設定変更が正常完了	-	-	-	-
	803-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	804-0000	警告	ユーザー名 のパスワード変更失敗しました。	-	ユーザーのパスワード変更失敗	-	-	-	-
	804-0001	警告	ユーザー名 の追加失敗しました。	-	ユーザーの追加失敗	-	-	-	-
	804-0002	警告	ユーザー名 の削除失敗しました。	-	ユーザーの削除失敗	-	-	-	-
	804-0003	警告	ユーザー名 の設定変更失敗しました。	-	ユーザーの設定変更失敗	-	-	-	-
	804-0004	警告	ユーザー名 は既に存在します。	-	Web 管理以外からの追加で、指定されたユーザーがすでに存在	-	-	-	-
	804-0005	警告	ユーザー名 は存在しません。	-	Web 管理以外からの設定変更で、指定されたユーザーが存在しない	-	-	-	-
グループ	900-0000	情報	グループ名 を追加しました。	-	グループの追加が正常完了	-	-	-	-
	900-0001	情報	グループ名 を削除しました。	-	グループの削除が正常完了	-	-	-	-
	900-0002	情報	グループ名 の設定を変更しました。	-	グループの設定変更が正常完了	-	-	-	-
	903-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	904-0000	警告	グループ名 の追加失敗しました。	-	グループの追加失敗	-	-	-	-
	904-0001	警告	グループ名 の削除失敗しました。	-	グループの削除失敗	-	-	-	-

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージ コード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール 通知	NarSuS 通知	SNMP トラップ
グループ (つづき)	904-0002	警告	グループ名 の設定変更に失敗しました。	-	グループの設定変更に失敗	-	-	-	-
	904-0003	警告	グループ名 は既に存在します。	-	Web 管理以外からの追加で、指定されたグループがすでに存在	-	-	-	-
	904-0004	警告	グループ名 は存在しません。	-	Web 管理以外からの設定変更で、指定されたグループが存在しない	-	-	-	-
	904-0005	警告	これ以上グループを作成できません。 (グループ名)	-	ユーザー数が最大数に達した	-	-	-	-
共有	1000-0000	情報	共有フォルダー名 を追加しました。	-	共有フォルダーの追加が正常完了	-	-	-	-
	1000-0001	情報	共有フォルダー名 を削除しました。	-	共有フォルダーの削除が正常完了	-	-	-	-
	1000-0002	情報	共有フォルダー名 の設定を変更しました。	-	共有フォルダーの設定変更が正常完了	-	-	-	-
	1003-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	1004-0000	警告	共有フォルダー名 の追加に失敗しました。	-	共有フォルダーの追加に失敗	-	-	-	-
	1004-0001	警告	共有フォルダー名 の削除に失敗しました。	-	共有フォルダーの削除に失敗	-	-	-	-
	1004-0002	警告	共有フォルダー名 の設定変更に失敗しました。	-	グループの設定変更に失敗	-	-	-	-
	1004-0003	警告	共有フォルダー名 は既に存在します。	-	Web 管理以外からの追加で、指定された共有フォルダーがすでに存在	-	-	-	-
	1004-0004	警告	共有フォルダー名 は存在しません。	-	Web 管理以外からの設定変更で、指定された共有フォルダーが存在しない	-	-	-	-
	1004-0005	警告	これ以上共有フォルダーを作成できません。 (共有フォルダー名)	-	共有フォルダー数が最大数に達した	-	-	-	-
使用量 制限	1100-0000	情報	設定を変更しました。	-	使用量制限の設定変更が正常完了	-	-	-	-
	1100-0001	情報	各使用量制限の使用率は正常値です。	-	各使用量制限の使用率が警告値を超えていない	あり	-	あり	あり
	1103-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	1104-0000	警告	設定変更に失敗しました。	-	使用量制限の設定変更に失敗	-	-	-	-
	1104-0001	警告	セキュリティロックモードのため情報取得 できませんでした。	情報取得 失敗	セキュリティロックモードのため使用 量を取得できない	あり	あり	-	あり
	1104-0002	エラー	使用量制限情報を取得できません。	情報取得 失敗	何らかの異常状態のため使用量制限 情報を取得できない	あり	あり	あり	あり
	1104-0003	警告	RAID 崩壊状態のため情報取得できません でした。	情報取得 失敗	RAID 崩壊状態のため使用量を取得 できない	あり	あり	-	あり
	1110-0000	エラー	使用量制限の警告使用率 xx%を超えま した。	警告使用 率超過	使用量制限対象のいずれかの使用率 が警告値を超えた	あり	あり	あり	あり
	1110-0001	警告	ユーザー (ユーザー名) の使用率が xx% を超えました。	ユーザー 使用率超過	ユーザーの使用率が使用量制限の警 告値を超えた	あり	あり	-	あり
	1110-0002	警告	グループ (グループ名) の使用率が xx% を超えました。	グループ 使用率超過	グループの使用率が使用量制限の警 告値を超えた	あり	あり	-	あり
	1110-0003	警告	共有フォルダー (共有フォルダー名) の使 用率が xx%を超えました。	共有使用 率超過	共有フォルダーの使用率が使用量制 限の警告値を超えた	あり	あり	-	あり
1110-0004	警告	ドメインユーザー (ドメインユーザー名) の使 用率が xx%を超えました。	ユーザー 使用率超過	ドメインユーザーの使用率が使用量 制限の警告値を超えた	あり	あり	-	あり	
1110-0005	警告	ドメイングループ (ドメイングループ名) の使 用率が xx%を超えました。	グループ 使用率超過	ドメイングループの使用率が使用量 制限の警告値を超えた	あり	あり	-	あり	
ポリュ ーム使用量	1200-0000	情報	内蔵ポリュームの使用率は正常値です。	-	内蔵ディスク使用量の使用率が警告 値を超えていない	あり	-	あり	あり
	1204-0000	警告	セキュリティロックモードのため情報取得 できませんでした。	情報取得 失敗	セキュリティロックモードのため使 用量を取得できない	あり	あり	-	あり
	1204-0001	エラー	内蔵ポリュームの使用率を取得できませ ん。異常がないかポリューム情報を確認し てください。	情報取得 失敗	何らかの異常状態のため内蔵ディス クの使用率を取得できない	あり	あり	あり	あり
	1204-0002	警告	RAID 崩壊状態のため情報取得できません でした。	情報取得 失敗	RAID 崩壊状態のため使用量を取得 できない	あり	あり	-	あり
	1210-0000	エラー	内蔵ポリュームの使用率が xx%を超えま した。	警告使用 率超過	内蔵ディスクの使用率が警告値を超 えた	あり	あり	あり	あり
Microsoft ネット ワーク	1300-0000	情報	設定を変更しました。	-	Microsoft ネットワークの設定変更 が正常完了	-	-	-	-
	1303-0001	警告	システムが処理中です。しばらく待ってか らもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理 を実行できない	-	-	-	-
	1304-0000	警告	設定変更に失敗しました。	-	Microsoft ネットワークの設定変更 に失敗	-	-	-	-
一括登録	1400-0000	情報	開始しました。	-	一括登録を開始	-	-	-	-
	1400-0001	情報	完了しました。	-	一括登録を正常完了	-	-	-	-
	1403-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってか らもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理 を実行できない	-	-	-	-

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
一括登録 (つづき)	1406-0000	警告	ファイルサイズが20MBを超えています。	-	20MB超のファイルが指定された	-	-	-	-
	1406-0001	警告	ファイルが不正です。	-	不正なファイルが指定された	-	-	-	-
	1407-0000	警告	コマンド名 ・ 対象名 の設定が不正です	-	設定値として不正な値が指定された	-	-	-	-
	1407-0001	警告	コマンド名 ・ 項目名 の項目は対応外です	-	一括登録の対応外の項目が指定された	-	-	-	-
	1407-0002	警告	コマンド名 ・ 項目名 の項目が指定されていない箇所があります	-	必要な項目が指定されていない箇所がある	-	-	-	-
バックアップ	1500-0000	情報	ジョブ名 を追加しました。	-	ジョブの追加が正常完了	-	-	-	-
	1500-0001	情報	ジョブ名 を削除しました。	-	ジョブの削除が正常完了	-	-	-	-
	1500-0002	情報	ジョブ名 を変更しました。	-	ジョブの変更が正常完了	-	-	-	-
	1500-0010	情報	開始しました。	-	Web管理からバックアップ開始	あり	-	-	-
	1500-0011	情報	実行を開始しました。	-	バックアップスケジュールに対して実際に処理を開始	あり	-	-	-
	1500-0012	情報	完了しました。	-	バックアップが正常完了	-	-	-	-
	1500-0013	情報	ジョブ名 が待機状態となりました。	-	バックアップジョブが待機状態	-	-	-	-
	1500-0014	情報	ジョブ名 を開始しました。	-	バックアップジョブを開始	-	あり	あり	あり
	1500-0015	情報	ジョブ名 が完了しました。	-	バックアップジョブを正常完了	-	あり	あり	あり
	1500-0016	情報	バックアップ元: UNC を開始しました。	-	バックアップ元からのバックアップを開始	-	-	-	-
	1500-0017	情報	バックアップ元: UNC が完了しました。	-	バックアップ元からのバックアップを正常完了	-	-	-	-
	1500-0018	情報	ジョブ名 のフルバックアップを開始しました。	-	ジョブ1つのフルバックアップが開始された。	-	あり	あり	あり
	1500-0019	情報	ジョブ名 の差分バックアップを開始しました。	-	ジョブ1つの差分バックアップが開始された。	-	あり	あり	あり
	1500-0020	情報	停止を開始しました。	-	Web管理からバックアップが停止された。	あり	-	-	-
	1500-0021	情報	ジョブ名 を停止しました。	-	Web管理からバックアップが停止された。	-	あり	あり	あり
	1500-0022	情報	完了しました。(一部のジョブは停止しました)	-	バックアップが完了したが、一部のジョブは停止している。	-	あり	あり	あり
	1500-0030	情報	復元を開始しました。	-	Web管理から復元開始	あり	-	-	-
	1500-0031	情報	復元が完了しました。	-	復元が正常完了	-	-	-	-
	1500-0032	情報	ジョブ名 の復元が待機状態となりました。	-	復元が待機状態	-	-	-	-
	1500-0033	情報	ジョブ名 の復元を開始しました。	-	バックアップジョブの復元を開始	-	あり	あり	あり
	1500-0034	情報	ジョブ名 の復元が完了しました。	-	バックアップジョブの復元が完了	-	あり	あり	あり
	1500-0035	情報	バックアップ元: UNC への復元を開始しました。	-	バックアップ先からの復元を開始	-	-	-	-
	1500-0036	情報	バックアップ元: UNC への復元が完了しました。	-	バックアップ先からの復元が完了	-	-	-	-
	1503-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	1503-0001	警告	システムが処理中です。処理を中止しました。	システム ビジー	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	あり	あり	あり	あり
	1504-0000	警告	ジョブ名 の追加に失敗しました。	-	ジョブの追加に失敗	-	-	-	-
	1504-0001	警告	ジョブ名 の削除に失敗しました。	-	ジョブの削除に失敗	-	-	-	-
	1504-0002	警告	ジョブ名 の変更に失敗しました。	-	ジョブの変更に失敗	-	-	-	-
1504-0003	警告	これ以上ジョブを作成できません。 (ジョブ名)	-	ジョブ数が最大数に達した	-	-	-	-	
1504-0010	警告	バックアップ元が指定されていません。バックアップ設定を確認してください。	要設定 確認	バックアップ元が指定されていない状態でバックアップが開始された	あり	あり	あり	あり	
1504-0011	警告	バックアップ先が対象フォーマットではありません。	-	バックアップ先のボリュームが対象のフォーマットでない	-	-	-	-	
1504-0012	警告	UNC の設定が不正です。	-	共有フォルダーがバックアップ用に設定されていない	-	-	-	-	
1504-0013	警告	UNC のボリュームがマウントされていません。	-	共有フォルダーが存在するボリュームがマウントされていないためバックアップできない	-	-	-	-	
1504-0014	警告	UNC は存在しません。	-	共有フォルダーが存在しない	-	-	-	-	
1504-0015	警告	UNC への接続に失敗しました。	-	共有フォルダーにアクセスできない	-	-	-	-	
1504-0016	警告	UNC へのアクセス権限がありません。	-	共有フォルダーへのアクセス権限がない	-	-	-	-	
1504-0017	警告	UNC に空きがありません。	-	共有フォルダーに空きがない	-	-	-	-	
1504-0018	警告	バックアップに失敗しました。	失敗	バックアップに失敗	あり	あり	あり	あり	

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
バックアップ (つづき)	1504-0019	警告	バックアップ元: UNC が失敗しました。	-	バックアップ元からのバックアップに失敗	-	-	-	-
	1504-0020	警告	ジョブ名 が一部失敗しています。	ジョブ失敗	バックアップジョブの一部に失敗	あり	あり	あり	あり
	1504-0030	警告	ジョブ名 のログファイルが作成できませんでした。	-	バックアップログファイルが作成できない	-	-	-	-
	1504-0031	警告	復元に失敗しました。	復元失敗	復元に失敗	あり	あり	あり	あり
	1504-0032	警告	復元対象 UNC の設定が不正です。	-	共有フォルダーが復元用に設定されていない	-	-	-	-
	1504-0033	警告	復元先が対象フォーマットではありません。	-	復元先のボリュームが対象のフォーマットでない	-	-	-	-
	1504-0034	警告	復元対象 UNC のボリュームがマウントされていません。	-	共有フォルダーが存在するボリュームがマウントされていないため復元できない	-	-	-	-
	1504-0035	警告	復元対象 UNC は存在しません。	-	共有フォルダーが存在しない	-	-	-	-
	1504-0036	警告	復元対象 UNC への接続に失敗しました。	-	復元対象の共有フォルダーにアクセスできない	-	-	-	-
	1504-0037	警告	復元対象 UNC へのアクセス権限がありません。	-	復元対象の共有フォルダーへのアクセス権限がない	-	-	-	-
	1504-0038	警告	復元対象 UNC に空きがありません。	-	復元対象の共有フォルダーに空きがない	-	-	-	-
	1504-0039	警告	バックアップ元: UNC への復元が失敗しました。	-	バックアップ先からの復元に失敗した	-	-	-	-
	1504-0040	警告	ジョブ名 への復元が一部失敗しています。	ジョブ復元失敗	バックアップジョブの復元の一部に失敗	あり	あり	あり	あり
	1504-0041	警告	バックアップを停止できませんでした。	-	バックアップを停止できなかった。	-	-	-	-
	1504-0042	警告	ジョブ名 を停止できませんでした。	停止失敗	ジョブの停止に失敗しました	あり	あり	あり	あり
	1504-0043	警告	復元を停止できませんでした。	-	復元を停止できなかった。	-	-	-	-
	1504-0044	警告	ジョブ名 の復元を停止できませんでした。	停止失敗	ジョブの復元の停止に失敗しました	あり	あり	あり	あり
	1504-0045	警告	フォルダー名 内のファイルが全て変更または削除されました。	-	フォルダー内のファイルが全て変更または削除された	あり	あり	あり	あり
	1504-0046	警告	ファイル種別 ファイルの半数以上が変更または削除されました。	-	特定の種別のファイルが半数以上、変更または削除された	あり	あり	あり	あり
	1504-0047	警告	複数のフォルダー内でファイルが全て変更または削除されました。バックアップログファイルを確認してください。	-	複数のフォルダー内でファイルが全て変更または削除された。	あり	あり	あり	あり
データコピー	1600-0000	情報	ジョブ名 を追加しました。	-	ジョブの追加が正常完了	-	-	-	-
	1600-0001	情報	ジョブ名 を削除しました。	-	ジョブの削除が正常完了	-	-	-	-
	1600-0002	情報	ジョブ名 を変更しました。	-	ジョブの変更が正常完了	-	-	-	-
	1600-0010	情報	開始しました。	-	Web 管理からデータコピーが開始	あり	-	-	-
	1600-0011	情報	実行を開始しました。	-	データコピースケジュールに対して実際に処理を開始	あり	-	-	-
	1600-0012	情報	完了しました。	-	データコピーが正常完了	-	-	-	-
	1600-0013	情報	ジョブ名 が待機状態となりました。	-	データコピージョブが待機状態	-	-	-	-
	1600-0014	情報	ジョブ名 を開始しました。	-	ジョブのデータコピーが開始	-	あり	あり	あり
	1600-0015	情報	ジョブ名 が完了しました。	-	ジョブのデータコピーが正常完了	-	あり	あり	あり
	1603-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	1603-0001	警告	システムが処理中です。処理を中止しました。	システムビジー	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	あり	あり	あり	あり
	1604-0000	警告	ジョブ名 の追加に失敗しました。	-	ジョブの追加に失敗	-	-	-	-
	1604-0001	警告	ジョブ名 の削除に失敗しました。	-	ジョブの削除に失敗	-	-	-	-
	1604-0002	警告	ジョブ名 の変更に失敗しました。	-	ジョブの変更に失敗	-	-	-	-
	1604-0003	警告	これ以上ジョブを作成できません。 (ジョブ名)	-	ジョブ数が最大数に達した	-	-	-	-
	1604-0010	警告	データコピー元が指定されていません。データコピー設定を確認してください。	要設定確認	データコピー元が指定されていない状態でデータコピーが開始	あり	あり	あり	あり
	1604-0011	警告	データコピー先が対象フォーマットではありません。	-	データコピー先のボリュームが対象のフォーマットでない	-	-	-	-
1604-0012	警告	UNC の設定が不正です。	-	共有フォルダーがデータコピー用に設定されていない	-	-	-	-	
1604-0013	警告	UNC のボリュームがマウントされていません。	-	共有フォルダーが存在するボリュームがマウントされていないためデータコピーできない	-	-	-	-	

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ	
データコピー (つづき)	1604-0014	警告	UNC は存在しません。	-	共有フォルダーが存在しない	-	-	-	-	
	1604-0015	警告	UNC への接続に失敗しました。	-	共有フォルダーにアクセスできない	-	-	-	-	
	1604-0016	警告	UNC へのアクセス権限がありません。	-	共有フォルダーへのアクセス権限がない	-	-	-	-	
	1604-0017	警告	UNC に空きがありません。	-	共有フォルダーに空きがない	-	-	-	-	
	1604-0018	警告	データコピーに失敗しました。	失敗	データコピーに失敗	あり	あり	あり	あり	
	1604-0019	警告	ジョブ名 が失敗しています。	ジョブ失敗	ジョブの一部のデータコピーに失敗	あり	あり	あり	あり	
	1604-0020	警告	データコピーを停止できませんでした。	-	データコピーを停止できなかった。	-	-	-	-	
	1604-0021	警告	ジョブ名 を停止できませんでした。	停止失敗	ジョブの停止に失敗しました	あり	あり	あり	あり	
	クイックコピー	1700-0000	情報	開始しました。	-	クイックコピーを開始	あり	-	-	-
		1700-0001	情報	完了しました。	-	クイックコピーを正常完了	-	-	-	-
1703-0000		警告	システムが処理中です。処理を中止しました。	システムビジー	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	あり	-	-	-	
1704-0000		警告	クイックコピーに失敗しました。	失敗	クイックコピーに失敗	あり	-	-	あり	
1704-0001		警告	UNC の設定が不正です。	-	共有フォルダーがクイックコピー用に設定されていない	-	-	-	-	
1704-0002		警告	UNC のボリュームがマウントされていません。	-	共有フォルダーが存在するボリュームがマウントされていないためクイックコピーできない	-	-	-	-	
1704-0003		警告	UNC は存在しません。	-	共有フォルダーが存在しない	-	-	-	-	
1704-0004		警告	UNC に空きがありません。	-	共有フォルダーに空きがない	-	-	-	-	
1704-0005		警告	クイックコピー先が対象フォーマットではありません。	-	クイックコピー先のボリュームが対象のフォーマットでない	-	-	-	-	
RAID		1800-0001	情報	RAID を強制復帰しました。	-	強制的な RAID の構成処理が成功	-	-	-	-
	1800-0002	情報	RAID が正常状態に復帰しました。	正常状態復帰	RAID の状態が構成異常などから正常状態に復帰	あり	あり	あり	あり	
	1800-0003	情報	USB3 ボリュームからミラーリングを開始しました。	-	USB ポート 3 の USB HDD から内蔵ディスクへミラーリングを開始	-	-	-	-	
	1800-0004	情報	USB3 ボリュームへミラーリングを開始しました。	-	内蔵ディスクから USB ポート 3 の USB HDD へのミラーリングを開始	-	-	-	-	
	1800-0005	情報	USB3 ボリュームを拡張ボリュームに組み込みました。	-	USB ポート 3 の USB HDD が拡張ボリュームに組み込まれた	-	-	-	-	
	1800-0006	情報	USB4 ボリュームを拡張ボリュームに組み込みました。	-	USB ポート 4 の USB HDD が拡張ボリュームに組み込まれた	-	-	-	-	
	1800-0010	情報	内蔵ボリューム - 再構築を開始しました。	内蔵：再構築開始	内蔵ディスクの再構築が開始	-	あり	あり	あり	
	1800-0011	情報	内蔵ボリューム - 再構築進捗 xx%	-	内蔵ディスクの再構築が進行中	-	-	-	-	
	1800-0012	情報	内蔵ボリューム - 再構築を完了しました。	内蔵：再構築完了	内蔵ディスクの再構築が完了	-	あり	あり	あり	
	1800-0020	情報	ミラーリング - 再構築を開始しました。	ミラー：再構築開始	ミラーリングの再構築が開始	-	あり	あり	あり	
	1800-0021	情報	ミラーリング - 再構築進捗 xx%	-	ミラーリングの再構築が進行中	-	-	-	-	
	1800-0022	情報	ミラーリング - 再構築を完了しました。	ミラー：再構築完了	ミラーリングの再構築が完了	-	あり	あり	あり	
	1800-0030	情報	RAID6 への変更が完了しました。	-	RAID 6 への変更が正常完了	-	-	-	-	
	1800-0031	情報	RAID5 への変更が完了しました。	-	RAID 5 への変更が正常完了	-	-	-	-	
	1800-0032	情報	RAID0 への変更が完了しました。	-	RAID 0 への変更が正常完了	-	-	-	-	
	1800-0033	情報	拡張ボリュームへの変更が完了しました。	-	拡張ボリュームへの変更が正常完了	-	-	-	-	
	1800-0034	情報	RAID モードの変更が完了しました。	-	RAID モードの変更が正常完了	-	-	-	-	
	1800-0035	情報	RAID 1 への変更が完了しました。	-	RAID 1 への変更が正常完了	-	-	-	-	
	1800-0036	情報	拡張ボリューム (6 台) への変更が完了しました。	-	RAID モードの拡張ボリューム (6 台) への変更が正常に完了した。	-	-	-	-	
	1800-0038	情報	拡張ボリューム (4 台) への変更が完了しました。	-	RAID モードの拡張ボリューム (4 台) への変更が正常に完了した。	-	-	-	-	
	1800-0043	情報	RAID 6(6 台) への変更が完了しました。	-	RAID モードの RAID 6(6 台) への変更が正常に完了した。	-	-	-	-	
	1800-0045	情報	RAID 6(4 台) への変更が完了しました。	-	RAID モードの RAID 6(4 台) への変更が正常に完了した。	-	-	-	-	
	1800-0049	情報	RAID 5(6 台) への変更が完了しました。	-	RAID モードの RAID 5(6 台) への変更が正常に完了した。	-	-	-	-	
	1800-0051	情報	RAID 5(4 台) への変更が完了しました。	-	RAID モードの RAID 5(4 台) への変更が正常に完了した。	-	-	-	-	
	1800-0061	情報	RAID 0(6 台) への変更が完了しました。	-	RAID モードの RAID 0(6 台) への変更が正常に完了した。	-	-	-	-	

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
RAID (つづき)	1800-0063	情報	RAID 0(4台)への変更が完了しました。	-	RAID モードの RAID 0(4台)への変更が正常に完了した。	-	-	-	-
	1800-0070	情報	設定を変更しました。	-	RAID に関する設定変更が正常に完了した。	-	-	-	-
	1800-0100	情報	拡張ボリューム (6台) への組込が完了しました。	-	拡張ボリューム (6台) への組込が正常に完了した。	-	-	-	-
	1800-0120	情報	拡張ボリューム (6台) への自動組込が完了しました。	-	拡張ボリューム (6台) への自動組込が正常に完了した。	-	-	-	-
	1804-0001	警告	RAID の強制復帰に失敗しました。	-	強制的な RAID の構成処理に失敗	-	-	-	-
	1804-0002	警告	USB3 ボリュームからミラーリングを開始できませんでした。	-	USB ポート 3 の USB HDD から内蔵ディスクへのミラーリング開始に失敗	-	-	-	-
	1804-0003	警告	USB3 ボリュームへのミラーリングを開始できませんでした。	ミラー開始失敗	内蔵ディスクから USB ポート 3 の USB HDD へのミラーリング開始に失敗	あり	-	-	あり
	1804-0004	警告	USB3 ボリュームの容量不足のため、ミラーリングを開始できませんでした。	ミラー開始失敗	USB ポート 3 の USB HDD の容量が小さく、ミラーリングを開始できず	あり	-	-	あり
	1804-0005	警告	USB3 ボリュームにデータが存在するため、ミラーリングを開始できませんでした。	ミラー開始失敗	USB ポート 3 の USB HDD にデータが存在し、ミラーリングを開始できず	あり	-	-	あり
	1804-0006	警告	USB3 ボリュームが故障のため、ミラーリングを開始できませんでした。	ミラー開始失敗	USB ポート 3 の USB HDD が故障のためミラーリングを開始できず	あり	-	-	あり
	1804-0030	警告	RAID6 への変更に失敗しました。	-	RAID 6 への変更に失敗	-	-	-	-
	1804-0031	警告	RAID5 への変更に失敗しました。	-	RAID 5 への変更に失敗	-	-	-	-
	1804-0032	警告	RAID0 への変更に失敗しました。	-	RAID 0 への変更に失敗	-	-	-	-
	1804-0033	警告	拡張ボリュームへの変更に失敗しました。	-	拡張ボリュームへの変更に失敗	-	-	-	-
	1804-0034	警告	モード変更を実行できません。内蔵ディスクが全て正常に接続されているか確認してください。	-	内蔵カートリッジの台数がそろっていないため RAID モードの変更に失敗	-	-	-	-
	1804-0035	警告	RAID1 への変更に失敗しました。	-	RAID モードの変更に失敗した。	-	-	-	-
	1804-0036	警告	モード変更に失敗しました。	-	RAID 1 への変更に失敗	-	-	-	-
	1804-0041	警告	拡張ボリューム (6台) への変更に失敗しました。	-	RAID モードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。	-	-	-	-
	1804-0043	警告	拡張ボリューム (4台) への変更に失敗しました。	-	RAID モードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。	-	-	-	-
	1804-0051	警告	RAID 6(6台)への変更に失敗しました。	-	RAID モードの RAID 6 への変更に失敗した。	-	-	-	-
	1804-0053	警告	RAID 6(4台)への変更に失敗しました。	-	RAID モードの RAID 6 への変更に失敗した。	-	-	-	-
	1804-0061	警告	RAID 5(6台)への変更に失敗しました。	-	RAID モードの RAID 5 への変更に失敗した。	-	-	-	-
	1804-0063	警告	RAID 5(4台)への変更に失敗しました。	-	RAID モードの RAID 5 への変更に失敗した。	-	-	-	-
	1804-0081	警告	RAID 0(6台)への変更に失敗しました。	-	RAID モードの RAID 0 への変更に失敗した。	-	-	-	-
	1804-0083	警告	RAID 0(4台)への変更に失敗しました。	-	RAID モードの RAID 0 への変更に失敗した。	-	-	-	-
	1804-0085	警告	RAID 0(2台)への変更に失敗しました。	-	RAID モードの RAID 0 への変更に失敗した。	-	-	-	-
	1804-0090	警告	設定変更に失敗しました。	-	RAID に関する設定変更に失敗した。	-	-	-	-
	1804-0100	警告	拡張ボリューム (6台) への組込に失敗しました。	-	拡張ボリューム (6台) への組込に失敗した。	-	-	-	-
	1804-0120	警告	拡張ボリューム (6台) への自動組込に失敗しました。	-	拡張ボリューム (6台) への自動組込に失敗した。	-	-	-	-
	1810-0000	エラー	RAID が崩壊しました。	崩壊	カートリッジの故障などにより、RAID を維持できない状態	あり	あり	あり	あり
	1810-0001	エラー	RAID の構成異常が発生しました。	構成異常	故障などにより一部カートリッジを利用できない状態	あり	あり	あり	あり
	1810-0002	エラー	RAID が異常状態になりました。	異常状態	USB ポート 3 の USB HDD のみで動作する状態	あり	あり	あり	あり
	1810-0023	警告	USB3 ボリュームの拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。	USB3 組込失敗	USB ポート 3 の USB HDD の拡張ボリュームへの組み込みに失敗	あり	-	あり	あり
	1810-0024	警告	USB3 ボリュームが容量不足のため、拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。	USB3 組込失敗	USB ポート 3 の USB HDD の容量が小さく、拡張ボリューム組込に失敗	あり	-	あり	あり

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
RAID (つづき)	1810-0025	警告	USB3 ボリュームがデータが存在するため、拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。	USB3 組込失敗	USB ポート 3 の USB HDD にデータがあり、拡張ボリューム組込に失敗	あり	-	あり	あり
	1810-0026	警告	USB3 ボリュームが故障のため、拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。	USB3 組込失敗	USB ポート 3 の USB HDD が故障のため拡張ボリューム組込に失敗	あり	-	あり	あり
	1810-0033	警告	USB4 ボリュームの拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。	USB4 組込失敗	USB ポート 4 の USB HDD の拡張ボリュームへの組み込みに失敗	あり	-	あり	あり
	1810-0034	警告	USB4 ボリュームが容量不足のため、拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。	USB4 組込失敗	USB ポート 4 の USB HDD の容量が小さく、拡張ボリューム組込に失敗	あり	-	あり	あり
	1810-0038	警告	USB4 ボリュームがデータが存在するため、拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。	USB4 組込失敗	USB ポート 4 の USB HDD にデータがあり、拡張ボリューム組込に失敗	あり	-	あり	あり
	1810-0036	警告	USB4 ボリュームが故障のため、拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。	USB4 組込失敗	USB ポート 4 の USB HDD が故障のため拡張ボリューム組込に失敗	あり	-	あり	あり
RAID ボリューム	1900-0000	情報	内蔵ボリュームをマウントしました。	-	内蔵ディスクのマウントが正常完了	あり	-	あり	あり
	1904-0000	エラー	内蔵ボリュームのマウントに失敗しました。	マウント失敗	内蔵ボリュームのマウントに失敗	あり	あり	あり	あり
ボリューム	2000-0000	情報	モード変更が完了しました。	-	モード設定のモード変更が正常完了	-	-	-	-
	2000-0001	情報	モード変更が完了しました。ミラーリングが開始されています。	-	モード変更が完了し、ミラーリングが開始	-	-	-	-
	2000-0002	情報	モード変更が完了しました。USB3 ボリュームの容量不足のため、ミラーリングは開始されていません。	-	モード変更は完了したが、USB ポート 3 の USB HDD の容量不足のためミラーリングは開始されなかった	-	-	-	-
	2000-0003	情報	モード変更が完了しました。USB3 ボリュームが未接続のため、ミラーリングは開始されていません。	-	モード変更は完了したが、USB ポート 3 の USB HDD が未接続のためミラーリングは開始されなかった	-	-	-	-
	2000-0004	情報	モード変更が完了しました。USB3 ボリュームにデータが存在するため、ミラーリングは開始されていません。	-	モード変更は完了したが、USB ポート 3 の USB HDD にデータが存在し、ミラーリングは開始されなかった	-	-	-	-
	2000-0005	情報	モード変更が完了しました。USB3 ボリュームが故障のため、ミラーリングは開始されていません。	-	モード変更は完了したが、USB ポート 3 の USB HDD が故障のためミラーリングは開始されなかった	-	-	-	-
	2000-0006	情報	モード変更が完了しました。ミラーリングは開始されていません。	-	モード変更は完了したが、何らかの原因によりミラーリングは開始されなかった	-	-	-	-
	2000-0007	情報	ミラーリング中の USB3 ボリュームの取り外しを開始しました。シャットダウンが完了したら、USB3 ボリュームを取り外してください。	-	ミラーリングモードの USB ポート 3 の USB HDD に対して取り外し処理を行った	-	-	-	-
	2000-0008	情報	モード変更が完了しました。USB ボリュームは拡張ボリュームに組み込まれました。	-	モード変更が完了し、USB HDD は拡張ボリュームに組み込まれた	-	-	-	-
	2000-0009	情報	モード変更が完了しました。USB ボリュームは容量不足のため、拡張ボリュームには組み込まれていません。	-	モード変更が完了したが、USB HDD の容量不足のため、拡張ボリュームに組み込まれなかった	-	-	-	-
	2000-0010	情報	モード変更が完了しました。USB ボリュームは未接続のため、拡張ボリュームには組み込まれていません。	-	モード変更が完了したが、USB HDD が未接続のため、拡張ボリュームに組み込まれなかった	-	-	-	-
	2000-0011	情報	モード変更が完了しました。USB ボリュームにデータが存在するため、拡張ボリュームには組み込まれていません。	-	モード変更が完了したが、USB HDD にデータが存在し、拡張ボリュームに組み込まれなかった	-	-	-	-
	2000-0012	情報	モード変更が完了しました。USB ボリュームが故障のため、拡張ボリュームには組み込まれていません。	-	モード変更が完了したが、USB HDD が故障のため、拡張ボリュームに組み込まれなかった	-	-	-	-
	2000-0013	情報	モード変更が完了しました。USB ボリュームは拡張ボリュームに組み込まれていません。	-	モード変更が完了したが、何らかの原因により、拡張ボリュームに組み込まれなかった	-	-	-	-
	2000-0020	情報	内蔵ボリュームのフォーマットを開始しました。	-	内蔵ディスクのフォーマットを開始	-	-	-	-
	2000-0021	情報	内蔵ボリュームのフォーマットが完了しました。	フォーマット完了	内蔵ディスクのフォーマットが正常完了	あり	-	-	-
2000-0022	情報	内蔵ボリュームのチェックディスクを開始しました。	-	内蔵ディスクのチェックディスクを開始	-	-	-	-	
2000-0023	情報	内蔵ボリュームのチェックディスクが完了しました。	-	内蔵ディスクのチェックディスクが正常完了	-	-	-	-	
2000-0110	情報	USB1 ボリュームのフォーマットを開始しました。	-	USB ポート 1 の USB HDD のフォーマットを開始	-	-	-	-	

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
ボリューム (つづき)	2000-0111	情報	USB1 ボリュームのフォーマットが完了しました。	-	USBポート1のUSB HDDのフォーマットが正常完了	-	-	-	-
	2000-0112	情報	USB1 ボリュームのチェックディスクを開始しました。	-	USBポート1のUSB HDDのチェックディスクが正常完了	-	-	-	-
	2000-0113	情報	USB1 ボリュームのチェックディスクが完了しました。	-	USBポート1のUSB HDDのチェックディスクが正常完了	-	-	-	-
	2000-0114	情報	USB1 ボリュームをマウントしました。	-	USBポート1のUSB HDDのマウントが正常完了	-	-	-	-
	2000-0115	情報	USB1 ボリュームの取り外し処理が完了しました。	-	USBポート1のUSB HDDの取り外し処理が正常完了	-	-	-	-
	2000-0120	情報	USB2 ボリュームのフォーマットを開始しました。	-	USBポート2のUSB HDDのフォーマットを開始	-	-	-	-
	2000-0121	情報	USB2 ボリュームのフォーマットが完了しました。	-	USBポート2のUSB HDDのフォーマットが正常完了	-	-	-	-
	2000-0122	情報	USB2 ボリュームのチェックディスクを開始しました。	-	USBポート2のUSB HDDのチェックディスクが正常完了	-	-	-	-
	2000-0123	情報	USB2 ボリュームのチェックディスクが完了しました。	-	USBポート2のUSB HDDのチェックディスクが正常完了	-	-	-	-
	2000-0124	情報	USB2 ボリュームをマウントしました。	-	USBポート2のUSB HDDのマウントが正常完了	-	-	-	-
	2000-0125	情報	USB2 ボリュームの取り外し処理が完了しました。	-	USBポート2のUSB HDDの取り外し処理が正常完了	-	-	-	-
	2000-0130	情報	USB3 ボリュームのフォーマットを開始しました。	-	USBポート3のUSB HDDのフォーマットを開始	-	-	-	-
	2000-0131	情報	USB3 ボリュームのフォーマットが完了しました。	-	USBポート3のUSB HDDのフォーマットが正常完了	-	-	-	-
	2000-0132	情報	USB3 ボリュームのチェックディスクを開始しました。	-	USBポート3のUSB HDDのチェックディスクが正常完了	-	-	-	-
	2000-0133	情報	USB3 ボリュームのチェックディスクが完了しました。	-	USBポート3のUSB HDDのチェックディスクが正常完了	-	-	-	-
	2000-0134	情報	USB3 ボリュームをマウントしました。	-	USBポート3のUSB HDDのマウントが正常完了	-	-	-	-
	2000-0135	情報	USB3 ボリュームの取り外し処理が完了しました。	-	USBポート3のUSB HDDの取り外し処理が正常完了	-	-	-	-
	2000-0140	情報	USB4 ボリュームのフォーマットを開始しました。	-	USBポート4のUSB HDDのフォーマットを開始	-	-	-	-
	2000-0141	情報	USB4 ボリュームのフォーマットが完了しました。	-	USBポート4のUSB HDDのフォーマットが正常完了	-	-	-	-
	2000-0142	情報	USB4 ボリュームのチェックディスクを開始しました。	-	USBポート4のUSB HDDのチェックディスクが正常完了	-	-	-	-
	2000-0143	情報	USB4 ボリュームのチェックディスクが完了しました。	-	USBポート4のUSB HDDのチェックディスクが正常完了	-	-	-	-
	2000-0144	情報	USB4 ボリュームをマウントしました。	-	USBポート4のUSB HDDのマウントが正常完了	-	-	-	-
	2000-0145	情報	USB4 ボリュームの取り外し処理が完了しました。	-	USBポート4のUSB HDDの取り外し処理が正常完了	-	-	-	-
	2003-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	2004-0000	警告	モード変更に失敗しました。	-	モード設定のモード変更に失敗	-	-	-	-
	2004-0020	警告	内蔵ボリュームのフォーマットに失敗しました。	-	内蔵ディスクのフォーマットに失敗	-	-	-	-
	2004-0021	警告	内蔵ボリュームのチェックディスクでエラーが発生しました。	-	内蔵ディスクのチェックディスクに失敗	-	-	-	-
2004-0110	警告	USB1 ボリュームのフォーマットに失敗しました。	-	USBポート1のUSB HDDのフォーマットに失敗	-	-	-	-	
2004-0111	警告	USB1 ボリュームのチェックディスクでエラーが発生しました。	-	USBポート1のUSB HDDのチェックディスクに失敗	-	-	-	-	
2004-0112	警告	USB1 ボリュームのマウントに失敗しました。	USB1: マウント 失敗	USBポート1のUSB HDDのマウントに失敗	あり	あり	-	あり	
2004-0113	警告	USB1 ボリュームの取り外し処理に失敗しました。	-	USBポート1のUSB HDDの取り外し処理に失敗	-	-	-	-	
2004-0120	警告	USB2 ボリュームのフォーマットに失敗しました。	-	USBポート2のUSB HDDフォーマットに失敗	-	-	-	-	
2004-0121	警告	USB2 ボリュームのチェックディスクでエラーが発生しました。	-	USBポート2のUSB HDDのチェックディスクに失敗	-	-	-	-	

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
ボリューム (つづき)	2004-0122	警告	USB2 ボリュームのマウントに失敗しました。	USB2: マウント 失敗	USB ポート 2 の USB HDD のマウン トに失敗	あり	あり	-	あり
	2004-0123	警告	USB2 ボリュームの取り外し処理に失敗 しました。	-	USB ポート 2 の USB HDD の取り 外し処理に失敗	-	-	-	-
	2004-0130	警告	USB3 ボリュームのフォーマットに失敗し ました。	-	USB ポート 3 の USB HDD フォー マットに失敗	-	-	-	-
	2004-0131	警告	USB3 ボリュームのチェックディスクで エラーが発生しました。	-	USB ポート 3 の USB HDD のチェッ クディスクに失敗	-	-	-	-
	2004-0132	警告	USB3 ボリュームのマウントに失敗しま した。	USB3: マウント 失敗	USB ポート 3 の USB HDD のマウ ントに失敗	あり	あり	-	あり
	2004-0133	警告	USB3 ボリュームの取り外し処理に失敗 しました。	-	USB ポート 3 の USB HDD の取り 外し処理に失敗	-	-	-	-
	2004-0140	警告	USB4 ボリュームのフォーマットに失敗し ました。	-	USB ポート 4 の USB HDD フォー マットに失敗	-	-	-	-
	2004-0141	警告	USB4 ボリュームのチェックディスクで エラーが発生しました。	-	USB ポート 4 の USB HDD のチェッ クディスクに失敗	-	-	-	-
	2004-0142	警告	USB4 ボリュームのマウントに失敗しま した。	USB4:マ ウント失 敗	USB ポート 4 の USB HDD のマウ ントに失敗	あり	あり	-	あり
	2004-0143	警告	USB4 ボリュームの取り外し処理に失敗 しました。	-	USB ポート 4 の USB HDD の取り 外し処理に失敗	-	-	-	-
	2010-0110	警告	USB1 ボリュームは未フォーマットです。	-	USB ポート 1 の USB HDD は未 フォーマット	-	-	-	-
	2010-0111	警告	USB1 ボリュームは専用フォーマット以外 のためチェックディスクできません。	-	USB ポート 1 の USB HDD が専 用フォーマット以外のためチェック ディスクできない	-	-	-	-
	2010-0120	警告	USB2 ボリュームは未フォーマットです。	-	USB ポート 2 の USB HDD は未 フォーマット	-	-	-	-
	2010-0121	警告	USB2 ボリュームは専用フォーマット以外 のためチェックディスクできません。	-	USB ポート 2 の USB HDD が専 用フォーマット以外のためチェック ディスクできない	-	-	-	-
	2010-0130	警告	USB3 ボリュームは未フォーマットです。	-	USB ポート 3 の USB HDD は未 フォーマット	-	-	-	-
	2010-0131	警告	USB3 ボリュームは専用フォーマット以 外のためチェックディスクできません。	-	USB ポート 3 の USB HDD が専 用フォーマット以外のためチェック ディスクできない	-	-	-	-
	2010-0140	警告	USB4 ボリュームは未フォーマットです。	-	USB ポート 4 の USB HDD は未 フォーマット	-	-	-	-
	2010-0141	警告	USB4 ボリュームは専用フォーマット以 外のためチェックディスクできません。	-	USB ポート 4 の USB HDD が専 用フォーマット以外のためチェック ディスクできない	-	-	-	-
	ディスク	2100-0010	情報	内蔵ディスク 1 が接続されました。	-	内蔵ディスク 1 が接続された	-	-	-
2100-0011		情報	内蔵ディスク 1 が取り外されました。	-	内蔵ディスク 1 が取り外された	-	-	-	-
2100-0012		情報	内蔵ディスク 1 を取り外しました。	-	内蔵ディスク 1 を取り外した	-	-	-	-
2100-0020		情報	内蔵ディスク 2 が接続されました。	-	内蔵ディスク 2 が接続された	-	-	-	-
2100-0021		情報	内蔵ディスク 2 が取り外されました。	-	内蔵ディスク 2 が取り外された	-	-	-	-
2100-0022		情報	内蔵ディスク 2 を取り外しました。	-	内蔵ディスク 2 を取り外した	-	-	-	-
2100-0030		情報	内蔵ディスク 3 が接続されました。	-	内蔵ディスク 3 が接続された	-	-	-	-
2100-0031		情報	内蔵ディスク 3 が取り外されました。	-	内蔵ディスク 3 が取り外された	-	-	-	-
2100-0032		情報	内蔵ディスク 3 を取り外しました。	-	内蔵ディスク 3 を取り外した	-	-	-	-
2100-0040		情報	内蔵ディスク 4 が接続されました。	-	内蔵ディスク 4 が接続された	-	-	-	-
2100-0041		情報	内蔵ディスク 4 が取り外されました。	-	内蔵ディスク 4 が取り外された	-	-	-	-
2100-0042		情報	内蔵ディスク 4 を取り外しました。	-	内蔵ディスク 4 を取り外した	-	-	-	-
2100-0050		情報	内蔵ディスク 5 が接続されました。	-	内蔵ディスク 5 が接続された	-	-	-	-
2100-0051		情報	内蔵ディスク 5 が取り外されました。	-	内蔵ディスク 5 が取り外された	-	-	-	-
2100-0052		情報	内蔵ディスク 5 を取り外しました。	-	内蔵ディスク 5 を取り外した	-	-	-	-
2100-0060		情報	内蔵ディスク 6 が接続されました。	-	内蔵ディスク 6 が接続された	-	-	-	-
2100-0061		情報	内蔵ディスク 6 が取り外されました。	-	内蔵ディスク 6 が取り外された	-	-	-	-
2100-0062		情報	内蔵ディスク 6 を取り外しました。	-	内蔵ディスク 6 を取り外した	-	-	-	-
2100-0110		情報	USB1 にディスクが接続されました。	-	USB1 にディスクが接続された	-	-	-	-
2100-0111		情報	USB1 からディスクが取り外されました。	-	USB1 からディスクが取り外された	-	-	-	-
2100-0112		情報	USB1 ディスクを取り外しました。	-	USB1 の USB HDD を取り外した	-	-	-	-
2100-0120		情報	USB2 にディスクが接続されました。	-	USB2 にディスクが接続された	-	-	-	-
2100-0121		情報	USB2 からディスクが取り外されました。	-	USB2 からディスクが取り外された	-	-	-	-
2100-0122		情報	USB2 ディスクを取り外しました。	-	USB2 の USB HDD を取り外した	-	-	-	-
2100-0130		情報	USB3 にディスクが接続されました。	-	USB3 にディスクが接続された	-	-	-	-

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
ディスク (つづき)	2100-0131	情報	USB3 からディスクが取り外されました。	-	USB3 からディスクが取り外された	-	-	-	-
	2100-0132	情報	USB3 ディスクを取り外しました。	-	USB3 の USB HDD を取り外した	-	-	-	-
	2100-0140	情報	USB4 にディスクが接続されました。	-	USB4 にディスクが接続された	-	-	-	-
	2100-0141	情報	USB4 からディスクが取り外されました。	-	USB4 からディスクが取り外された	-	-	-	-
	2100-0142	情報	USB4 ディスクを取り外しました。	-	USB4 の USB HDD を取り外した	-	-	-	-
	2108-0010	警告	内蔵ディスク 1 が故障しました。交換してください。	内蔵ディスク 1 故障	内蔵ディスク 1 が故障	あり	あり	あり	あり
	2108-0011	警告	内蔵ディスク 1 は容量不足です。	-	接続された内蔵ディスク 1 が容量不足のため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	2108-0012	警告	内蔵ディスク 1 は故障しています。	-	接続された内蔵ディスク 1 が故障しているため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	2108-0013	警告	内蔵ディスク 1 は取り外しできません。	-	内蔵ディスク 1 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0014	警告	RAID が正常ではないため内蔵ディスク 1 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 1 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0015	警告	RAID が構成異常のため内蔵ディスク 1 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 1 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0016	警告	RAID が崩壊しているため内蔵ディスク 1 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 1 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0020	警告	内蔵ディスク 2 が故障しました。交換してください。	内蔵ディスク 2 故障	内蔵ディスク 2 が故障	あり	あり	あり	あり
	2108-0021	警告	内蔵ディスク 2 は容量不足です。	-	接続された内蔵ディスク 2 が容量不足のため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	2108-0022	警告	内蔵ディスク 2 は故障しています。	-	接続された内蔵ディスク 2 が故障しているため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	2108-0023	警告	内蔵ディスク 2 は取り外しできません。	-	内蔵ディスク 2 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0024	警告	RAID が正常ではないため内蔵ディスク 2 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 2 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0025	警告	RAID が構成異常のため内蔵ディスク 2 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 2 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0026	警告	RAID が崩壊しているため内蔵ディスク 2 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 2 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0030	警告	内蔵ディスク 3 が故障しました。交換してください。	内蔵ディスク 3 故障	内蔵ディスク 3 が故障	あり	あり	あり	あり
	2108-0031	警告	内蔵ディスク 3 は容量不足です。	-	接続された内蔵ディスク 3 が容量不足のため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	2108-0032	警告	内蔵ディスク 3 は故障しています。	-	接続された内蔵ディスク 3 が故障しているため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	2108-0033	警告	内蔵ディスク 3 は取り外しできません。	-	内蔵ディスク 3 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0034	警告	RAID が正常ではないため内蔵ディスク 3 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 3 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0035	警告	RAID が構成異常のため内蔵ディスク 3 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 3 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0036	警告	RAID が崩壊しているため内蔵ディスク 3 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 3 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0040	警告	内蔵ディスク 4 が故障しました。交換してください。	内蔵ディスク 4 故障	内蔵ディスク 4 が故障	あり	あり	あり	あり
	2108-0041	警告	内蔵ディスク 4 は容量不足です。	-	接続された内蔵ディスク 4 が容量不足のため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	2108-0042	警告	内蔵ディスク 4 は故障しています。	-	接続された内蔵ディスク 4 が故障しているため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	2108-0043	警告	内蔵ディスク 4 は取り外しできません。	-	内蔵ディスク 4 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0044	警告	RAID が正常ではないため内蔵ディスク 4 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 4 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0045	警告	RAID が構成異常のため内蔵ディスク 4 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 4 を取り外せない	-	-	-	-
2108-0046	警告	RAID が崩壊しているため内蔵ディスク 4 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 4 を取り外せない	-	-	-	-	
2108-0050	警告	内蔵ディスク 5 が故障しました。交換してください。	内蔵ディスク 5 故障	内蔵ディスク 5 が故障	あり	あり	あり	あり	
2108-0051	警告	内蔵ディスク 5 は容量不足です。	-	接続された内蔵ディスク 5 が容量不足のため RAID に組み込めない	-	-	-	-	
2108-0052	警告	内蔵ディスク 5 は故障しています。	-	接続された内蔵ディスク 5 が故障しているため RAID に組み込めない	-	-	-	-	

ログ・お知らせ一覧（つづき）

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
ディスク (つづき)	2108-0053	警告	内蔵ディスク 5 は取り外しできません。	-	内蔵ディスク 5 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0054	警告	RAID が正常ではないため内蔵ディスク 5 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 5 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0055	警告	RAID が構成異常のため内蔵ディスク 5 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 5 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0056	警告	RAID が崩壊しているため内蔵ディスク 5 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 5 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0060	警告	内蔵ディスク 6 が故障しました。交換してください。	内蔵ディスク 6 故障	内蔵ディスク 6 が故障	あり	あり	あり	あり
	2108-0061	警告	内蔵ディスク 6 は容量不足です。	-	接続された内蔵ディスク 6 が容量不足のため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	2108-0062	警告	内蔵ディスク 6 は故障しています。	-	接続された内蔵ディスク 6 が故障しているため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	2108-0063	警告	内蔵ディスク 6 は取り外しできません。	-	内蔵ディスク 6 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0064	警告	RAID が正常ではないため内蔵ディスク 6 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 6 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0065	警告	RAID が構成異常のため内蔵ディスク 6 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 6 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0066	警告	RAID が崩壊しているため内蔵ディスク 6 は取り外しできません。	-	RAID 異常のため内蔵ディスク 6 を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0130	警告	USB3 ディスクが故障しました。交換してください。	USB3 ディスク故障	USB ポート 3 の USB HDD が故障	あり	あり	あり	あり
	2108-0131	警告	USB3 ディスクは取り外しできません。	-	USB ポート 3 の USB HDD を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0132	警告	RAID が正常ではないため USB3 ディスクは取り外しできません。	-	RAID 異常のため USB ポート 3 の USB HDD を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0133	警告	RAID が構成異常のため USB3 ディスクは取り外しできません。	-	RAID 異常のため USB ポート 3 の USB HDD を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0134	警告	RAID が崩壊しているため USB3 ディスクは取り外しできません。	-	RAID 異常のため USB ポート 3 の USB HDD を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0135	警告	USB3 ディスクは容量不足です。	-	USB ポート 3 の USB HDD が容量不足のため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	2108-0136	警告	USB3 ディスクは故障しています。	-	USB ポート 3 の USB HDD が故障のため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	2108-0140	警告	USB4 ディスクが故障しました。交換してください。	USB4 ディスク故障	USB ポート 4 の USB HDD が故障	あり	あり	あり	あり
	2108-0141	警告	USB4 ディスクは取り外しできません。	-	USB ポート 4 の USB HDD を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0142	警告	RAID が正常ではないため USB4 ディスクは取り外しできません。	-	RAID 異常のため USB ポート 4 の USB HDD を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0143	警告	RAID が構成異常のため USB4 ディスクは取り外しできません。	-	RAID 異常のため USB ポート 4 の USB HDD を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0144	警告	RAID が崩壊しているため USB4 ディスクは取り外しできません。	-	RAID 異常のため USB ポート 4 の USB HDD を取り外せない	-	-	-	-
	2108-0145	警告	USB4 ディスクは容量不足です。	-	USB ポート 4 の USB HDD が容量不足のため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	2108-0146	警告	USB4 ディスクは故障しています。	-	USB ポート 4 の USB HDD が故障のため RAID に組み込めない	-	-	-	-
	アクティブリペア	2200-0000	情報	設定を変更しました。	-	アクティブリペアの設定変更が正常完了	-	-	-
2200-0001		情報	開始しました。	-	アクティブリペアを開始	あり	あり	あり	あり
2200-0002		情報	停止しました。	-	アクティブリペアを停止	-	あり	あり	あり
2200-0003		情報	完了しました。	-	アクティブリペアが正常完了	あり	あり	あり	あり
2200-0004		情報	完了しました。	-	エラーが検出されてアクティブリペアが完了	-	-	-	-
2200-0010		情報	内蔵ボリューム - アクティブリペアを開始しました。	内蔵：開始	内蔵ディスクのアクティブリペアを開始	-	-	-	-
2200-0011		情報	内蔵ボリューム - アクティブリペア進捗 xx%	-	内蔵ディスクのアクティブリペアが進行中	-	-	-	-
2200-0012		情報	内蔵ボリューム - アクティブリペアを完了しました。	内蔵：完了	内蔵ディスクのアクティブリペアが完了	-	-	-	-
2200-0020		情報	ミラーリング - アクティブリペアを開始しました。	ミラー：開始	USB ポート 3 の USB HDD とのミラーリングのアクティブリペアを開始	-	-	-	-

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
アクティブリペア (つづき)	2200-0021	情報	ミラーリング - アクティブリペア進捗 xx%	-	USB ポート 3 の USB HDD とのミラーリングのアクティブリペアが進行中	-	-	-	-
	2200-0022	情報	ミラーリング - アクティブリペアを完了しました。	ミラー：完了	USB ポート 3 の USB HDD とのミラーリングのアクティブリペアが完了	-	-	-	-
	2203-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	2203-0001	警告	システムが処理中です。処理を中止しました。	システムビジー	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	あり	あり	あり	あり
	2204-0000	警告	設定変更 に失敗しました。	-	アクティブリペアの設定変更 に失敗	-	-	-	-
	2204-0001	警告	アクティブリペアの開始 に失敗しました。	開始失敗	アクティブリペアの開始 に失敗	あり	あり	あり	あり
	2204-0002	警告	アクティブリペアの停止 に失敗しました。	停止失敗	アクティブリペアの停止 に失敗	あり	あり	あり	あり
	2204-0003	警告	アクティブリペアの処理中にエラーが発生しました。	処理エラー	アクティブリペアの処理中にエラーが発生	あり	あり	あり	あり
	2208-0010	警告	内蔵ボリューム - 修復できないエラーが発生しました。何度か実行しても正常終了しない場合データをバックアップ後、システム初期化を「内蔵 HDD の完全消去を行う」オプションを付けて実行してください。	内蔵修復エラー	アクティブリペアを行った結果、内蔵ディスクで修復できないエラーが検出	あり	あり	あり	あり
	2208-0020	警告	ミラーリング - 修復できないエラーが発生しました。何度か実行しても正常終了しない場合データをバックアップ後、システム初期化を「内蔵 HDD の完全消去を行う」オプションを付けて実行してください。	ミラー修復エラー	アクティブリペアを行った結果、ミラーリングボリュームで修復できないエラーが検出	あり	あり	あり	あり
2208-0030	警告	システム - 修復できないエラーが発生しました。何度か実行しても正常終了しない場合データをバックアップ後、システム初期化を「内蔵 HDD の完全消去を行う」オプションを付けて実行してください。	システム修復エラー	アクティブリペアを行った結果、システム領域で修復できないエラーが検出	あり	あり	あり	あり	
ロックキー	2300-0000	情報	設定を変更しました。	-	ロックキーの設定変更が正常完了	-	-	-	-
	2300-0001	情報	削除が完了しました。	-	ロックキーの削除が正常完了	-	-	-	-
	2300-0002	情報	コピーが完了しました。	-	ロックキーのコピーが正常完了	-	-	-	-
	2300-0003	情報	セキュリティロックモードを解除しました。	内蔵ロック解除	内蔵ディスクのセキュリティロックを解除	あり	あり	あり	あり
	2300-0004	情報	対象変更が完了しました。	-	ロックキーの対象変更が正常に完了した。	-	-	-	-
	2300-0005	情報	キー登録が完了しました。	-	ロックキーのキー登録が正常に完了した。	-	-	-	-
	2300-0006	情報	キー生成が完了しました。	-	ロックキーのキー生成が正常に完了した。	-	-	-	-
	2300-0110	情報	USB1 ボリュームのセキュリティロックを解除しました。	USB1: ロック解除	USB ポート 1 の USB HDD のセキュリティロックを解除	あり	あり	-	あり
	2300-0120	情報	USB2 ボリュームのセキュリティロックを解除しました。	USB2: ロック解除	USB ポート 2 の USB HDD のセキュリティロックを解除	あり	あり	-	あり
	2300-0130	情報	USB3 ボリュームのセキュリティロックを解除しました。	USB3: ロック解除	USB ポート 3 の USB HDD のセキュリティロックを解除	あり	あり	-	あり
	2300-0140	情報	USB4 ボリュームのセキュリティロックを解除しました。	USB4: ロック解除	USB ポート 4 の USB HDD のセキュリティロックを解除	あり	あり	-	あり
	2303-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	2304-0000	警告	設定変更 に失敗しました。	-	ロックキーの設定変更 に失敗	-	-	-	-
	2304-0001	警告	削除 に失敗しました。	-	ロックキーの削除 に失敗	-	-	-	-
	2304-0002	警告	コピー に失敗しました。	-	ロックキーのコピー に失敗	-	-	-	-
	2304-0003	警告	セキュリティロックモードの解除に失敗しました。	ロック解除失敗	内蔵ディスクのセキュリティロックモードの解除に失敗	あり	あり	あり	あり
	2304-0004	警告	対象変更 に失敗しました。	-	ロックキーの対象変更 に失敗した。	-	-	-	-
2304-0005	警告	キー登録 に失敗しました。	-	ロックキーのキー登録 に失敗した。	-	-	-	-	
2304-0006	警告	キー生成 に失敗しました。	-	ロックキーのキー生成 に失敗した。	-	-	-	-	
2304-0110	警告	USB1 ボリュームのセキュリティロック解除に失敗しました。	-	USB ポート 1 の USB HDD のセキュリティロック解除に失敗	-	-	-	-	
2304-0120	警告	USB2 ボリュームのセキュリティロック解除に失敗しました。	-	USB ポート 2 の USB HDD のセキュリティロック解除に失敗	-	-	-	-	

ログ・お知らせ一覧（つづき）

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
ロックキー (つづき)	2304-0130	警告	USB3 ボリュームのセキュリティロック解除に失敗しました。	-	USBポート3のUSB HDDのセキュリティロック解除に失敗	-	-	-	-
	2304-0140	警告	USB4 ボリュームのセキュリティロック解除に失敗しました。	-	USBポート4のUSB HDDのセキュリティロック解除に失敗	-	-	-	-
	2305-0000	警告	キーサーバーへ接続が認証エラーになりました。(キーサーバー)	-	連携が許可されていないか、パスワードが間違っで設定されている。	-	-	-	-
	2306-0000	警告	鍵ファイルが見つかりません。	-	ロックキー内に鍵ファイルが存在しない	-	-	-	-
	2308-0000	警告	ロックキー用 USB メモリーが接続されていません。	-	暗号化で使うロックキー用 USB メモリーが接続されていない	-	-	-	-
	2308-0001	警告	ロックキー用 USB メモリーの容量が小さすぎます。	-	暗号化で使うロックキー用 USB メモリーの容量が 64MB 以下	-	-	-	-
	2308-0002	警告	接続されたロックキーは他の LAN DISK で使用されています。	-	他の機器のロックキーが接続されている	-	-	-	-
	2308-0003	警告	ロックキーが接続されていません。	-	ロックキーが接続されていない	-	-	-	-
	2309-0000	警告	キーサーバーと通信できません。(キーサーバー)	-	キーサーバーとの通信でエラーが発生した。	-	-	-	-
	2310-0000	エラー	セキュリティロックモードで起動しました。	ロックモード起動	内蔵ディスクがセキュリティロックモードで起動	あり	あり	あり	あり
	2310-0001	警告	キーサーバーが操作に対応していない古いバージョンです。(キーサーバー)	-	キーサーバーが古いバージョンのため操作を実行できない。	-	-	-	-
	2310-0110	警告	USB1 ボリュームはセキュリティロックされています。	USB1: ロック中	セキュリティロックされた USB ポート 1 の USB HDD が接続されたが、ロックキーが接続されていない	あり	あり	-	あり
	2310-0120	警告	USB2 ボリュームはセキュリティロックされています。	USB2: ロック中	セキュリティロックされた USB ポート 2 の USB HDD が接続されたが、ロックキーが接続されていない	あり	あり	-	あり
	2310-0130	警告	USB3 ボリュームはセキュリティロックされています。	USB3: ロック中	セキュリティロックされた USB ポート 3 の USB HDD が接続されたが、ロックキーが接続されていない	あり	あり	-	あり
2310-0140	警告	USB4 ボリュームはセキュリティロックされています。	USB4: ロック中	セキュリティロックされた USB ポート 4 の USB HDD が接続されたが、ロックキーが接続されていない	あり	あり	-	あり	
UPS	2400-0000	情報	設定を変更しました。	-	UPS の設定変更が正常完了	-	-	-	-
	2400-0001	情報	UPS が接続されていることを確認しました。	-	UPS 警告が有効な状態で UPS が接続	あり	あり	あり	あり
	2400-0002	情報	停電復旧により、通常動作に復帰しました。	停電復旧	UPS 警告が有効な状態で停電復旧により、通常動作に復帰	あり	あり	あり	あり
	2400-0003	情報	停電復旧により、通常動作に復帰しました。	-	UPS 警告が無効な状態で停電復旧により、通常動作に復帰	-	-	-	-
	2400-0004	情報	ネットワークシャットダウン要求を送信しました。 - 要求送信先	-	設定された機器に対してネットワークシャットダウン要求を送信	-	-	-	-
	2400-0010	情報	シリアルに UPS が接続されました。	-	起動時、シリアルポート 1 に UPS が接続されていることを検出	-	-	-	-
	2400-0110	情報	USB1 に UPS が接続されました。	-	USB ポート 1 に UPS が接続	-	-	-	-
	2400-0111	情報	USB1 から UPS が取り外されました。	-	USB ポート 1 から UPS が取り外された	-	-	-	-
	2400-0120	情報	USB2 に UPS が接続されました。	-	USB ポート 2 に UPS が接続	-	-	-	-
	2400-0121	情報	USB2 から UPS が取り外されました。	-	USB ポート 2 から UPS が取り外された	-	-	-	-
	2400-0130	情報	USB3 に UPS が接続されました。	-	USB ポート 3 に UPS が接続	-	-	-	-
	2400-0131	情報	USB3 から UPS が取り外されました。	-	USB ポート 3 から UPS が取り外された	-	-	-	-
	2400-0140	情報	USB4 に UPS が接続されました。	-	USB ポート 4 に UPS が接続	-	-	-	-
	2400-0141	情報	USB4 から UPS が取り外されました。	-	USB ポート 4 から UPS が取り外された	-	-	-	-
	2403-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	2404-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	UPS の設定変更失敗	-	-	-	-
	2404-0001	警告	状態取得に失敗しました。	-	UPS の状態取得に失敗	-	-	-	-
	2404-0002	警告	ネットワークシャットダウン要求の送信に失敗しました。 - 要求送信先	送信失敗	設定された機器に対するネットワークシャットダウン要求の送信に失敗	あり	-	-	あり
	2408-0000	エラー	UPS が接続されていません。	未接続	UPS 警告が有効な状態で UPS が取り外された	あり	あり	あり	あり

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
	2410-0000	エラー	停電のため、バッテリー動作を開始しました。	バッテリー動作開始	UPS 警告が有効な状態で、停電による UPS のバッテリー動作開始を確認	あり	あり	あり	あり
	2410-0001	警告	停電のため、バッテリー動作を開始しました。	バッテリー動作開始	UPS 警告が無効な状態で、停電による UPS のバッテリー動作開始を確認	あり	-	-	あり
	2410-0002	エラー	停電後、指定した時間経過しました。	指定時間経過	UPS 警告が有効な状態で、停電後、指定時間を経過	あり	あり	あり	あり
	2410-0003	警告	停電後、指定した時間経過しました。	指定時間経過	UPS 警告が無効な状態で、停電後、指定時間を経過	あり	-	-	あり
	2410-0004	エラー	UPS のバッテリーローを検出しました。	バッテリーロー	UPS 警告が有効な状態で、バッテリーローを検出	あり	あり	あり	あり
	2410-0005	警告	UPS のバッテリーローを検出しました。	バッテリーロー	UPS 警告が無効な状態で、バッテリーローを検出	あり	-	-	あり
	2410-0006	警告	UPS のバッテリー劣化を検出しました。	バッテリー劣化	UPS のバッテリー劣化を検出した。	あり	あり	あり	あり
プリンター	2500-0000	情報	バッファをクリアしました。	-	プリンター用バッファのクリアが正常完了	-	-	-	-
	2500-0110	情報	USB1 にプリンターが接続されました。	-	USB ポート 1 にプリンターが接続	-	-	-	-
	2500-0111	情報	USB1 からプリンターが取り外されました。	-	USB ポート 1 からプリンターが取り外し	-	-	-	-
	2500-0120	情報	USB2 にプリンターが接続されました。	-	USB ポート 2 にプリンターが接続	-	-	-	-
	2500-0121	情報	USB2 からプリンターが取り外されました。	-	USB ポート 2 からプリンターが取り外し	-	-	-	-
	2500-0130	情報	USB3 にプリンターが接続されました。	-	USB ポート 3 にプリンターが接続	-	-	-	-
	2500-0131	情報	USB3 からプリンターが取り外されました。	-	USB ポート 3 からプリンターが取り外し	-	-	-	-
プリンター (つづき)	2500-0140	情報	USB4 にプリンターが接続されました。	-	USB ポート 4 にプリンターが接続	-	-	-	-
	2500-0141	情報	USB4 からプリンターが取り外されました。	-	USB ポート 4 からプリンターが取り外し	-	-	-	-
	2503-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	2504-0000	警告	バッファのクリアに失敗しました。	-	プリンター用バッファのクリアに失敗	-	-	-	-
サービス	2600-0000	情報	設定を変更しました。	-	サービスの設定変更が正常完了	-	-	-	-
	2603-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	2604-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	サービスの設定変更失敗	-	-	-	-
メール	2700-0000	情報	設定を変更しました。	-	メールの設定変更が正常完了	-	-	-	-
	2700-0010	情報	テストメールを送信しました。 (メールアドレス)	-	テストメールの送信が正常完了	-	-	-	-
	2700-0011	情報	レポートメールを送信しました。 (メールアドレス)	-	レポートメールの送信が正常完了	あり	-	-	-
	2700-0012	情報	システムイベントメールを送信しました。 (メールアドレス)	-	システムイベントメールの送信が正常完了	あり	-	-	-
	2700-0013	情報	バックアップメールを送信しました。 (メールアドレス)	-	バックアップメールの送信が正常完了	あり	-	-	-
	2700-0014	情報	温度・FAN エラーメールを送信しました。 (メールアドレス)	-	温度・FAN エラーメールの送信が正常完了	あり	-	-	-
	2700-0015	情報	ディスク情報通知メールを送信しました。 (メールアドレス)	-	ディスク情報通知メールの送信が正常完了	あり	-	-	-
	2700-0016	情報	ボリューム使用量警告メールを送信しました。 (メールアドレス)	-	ボリューム使用量警告メールの送信が正常完了	あり	-	-	-
	2700-0017	情報	使用量制限警告メールを送信しました。 (メールアドレス)	-	使用量制限警告メールの送信が正常完了	あり	-	-	-
	2700-0018	情報	UPS 警告メールを送信しました。 (メールアドレス)	-	UPS 警告メールの送信が正常完了	あり	-	-	-
	2700-0019	情報	システムログをメール転送しました。 (メールアドレス)	-	システムログのメール転送が正常完了	あり	-	-	-
	2700-0020	情報	アクセスログをメール転送しました。 (メールアドレス)	-	アクセスログのメール転送が正常完了	あり	-	-	-
	2700-0030	情報	メールを再送しました。 (メールアドレス)	-	メールの再送が正常完了	あり	-	-	-
	2703-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	2704-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	メールの設定変更失敗	-	-	-	-

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
	2709-0000	警告	テストメールの送信に失敗しました。 (メールアドレス)		テストメールの送信に失敗	-	-	-	-
	2709-0001	警告	レポートメールの送信に失敗しました。 (メールアドレス)	レポート失敗	レポートメールの送信に失敗	あり	-	-	あり
	2709-0002	警告	システムイベントメールの送信に失敗しました。 (メールアドレス)	システム失敗	システムイベントメールの送信に失敗	あり	-	-	あり
	2709-0003	警告	バックアップメールの送信に失敗しました。 (メールアドレス)	バックアップ失敗	バックアップメールの送信に失敗	あり	-	-	あり
	2709-0004	警告	温度・FAN エラーメールの送信に失敗しました。 (メールアドレス)	温度 / FAN 失敗	温度・FAN エラーメールの送信に失敗	あり	-	-	あり
	2709-0005	警告	ディスク情報通知メールの送信に失敗しました。 (メールアドレス)	ディスク情報失敗	ディスク情報通知メールの送信に失敗	あり	-	-	あり
	2709-0006	警告	ポリウム使用量警告メールの送信に失敗しました。 (メールアドレス)	使用量失敗	ポリウム使用量警告メールの送信に失敗	あり	-	-	あり
	2709-0007	警告	使用量制限警告メールの送信に失敗しました。 (メールアドレス)	使用量失敗	使用量制限警告メールの送信に失敗	あり	-	-	あり
	2709-0008	警告	UPS 警告メールの送信に失敗しました。 (メールアドレス)	UPS 失敗	UPS 警告メールの送信に失敗	あり	-	-	あり
	2709-0009	警告	システムログのメール転送に失敗しました。 (メールアドレス)	システムログ失敗	システムログのメール転送に失敗	あり	-	-	あり
	2709-0010	警告	アクセスログのメール転送に失敗しました。 (メールアドレス)	アクセスログ失敗	アクセスログのメール転送に失敗	あり	-	-	あり
	2709-0020	警告	メールの再送に失敗しました。 (メールアドレス)	再送失敗	メールの再送に失敗	あり	-	-	あり
定期レポート	2800-0000	情報	設定を変更しました。	-	定期レポートの設定変更が正常完了	-	-	-	-
定期レポート (つづき)	2803-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
定期通知	2804-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	定期レポートの設定変更失敗	-	-	-	-
	2900-0000	情報	設定を変更しました。	-	定期通知の設定変更が正常完了	-	-	-	-
	2903-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	2904-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	定期通知の設定変更失敗	-	-	-	-
SNMP	3000-0000	情報	設定を変更しました。	-	SNMP の設定変更が正常完了	-	-	-	-
	3000-0001	情報	トラップを送信しました。	-	SNMP トラップを正常に送信	-	-	-	-
	3003-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	3004-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	SNMP の設定変更失敗	-	-	-	-
	3009-0000	警告	トラップの送信に失敗しました。	-	SNMP トラップの送信に失敗	-	-	-	-
NarSuS	3100-0000	情報	設定を変更しました。	-	NarSuS の設定変更が正常完了	-	-	-	-
	3100-0001	情報	定期通知を行いました。	-	NarSuS の定期通知を正常に送信	あり	-	-	-
	3103-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	3104-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	NarSuS の設定変更失敗	-	-	-	-
	3105-0000	警告	利用コードが不正です。	-	入力された利用コードが不正なコードだった	-	-	-	-
	3109-0000	警告	NarSuS サーバーへの接続に失敗しました。	サーバー接続失敗	NarSuS サーバーとの通信が正常完了しなかった	あり	-	-	あり
電源	3200-0000	情報	設定を変更しました。	-	電源の設定変更が正常完了	-	-	-	-
	3200-0001	情報	シャットダウンを開始しました。	-	Web 管理からシャットダウンを開始	-	-	-	-
	3200-0002	情報	再起動を開始しました。	-	Web 管理から再起動を開始	-	-	-	-
	3203-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	3204-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	電源の設定変更失敗	-	-	-	-
ボタン	3300-0000	情報	設定を変更しました。	-	スイッチの設定変更が正常完了	-	-	-	-
	3303-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	3304-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	スイッチの設定変更失敗	-	-	-	-
ランプ	3400-0000	情報	設定を変更しました。	-	ランプの設定変更が正常完了	-	-	-	-
	3403-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	3404-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	ランプの設定変更失敗	-	-	-	-
省電力	3500-0000	情報	設定を変更しました。	-	省電力の設定変更が正常完了	-	-	-	-

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
パッケージ	3503-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	3504-0000	警告	設定変更に失敗しました。	-	省電力の設定変更失敗	-	-	-	-
	3600-0000	情報	設定を変更しました。	-	パッケージの設定変更が正常完了	-	-	-	-
	3600-0001	情報	追加完了しました。	-	パッケージの追加が正常完了	-	-	-	-
	3600-0002	情報	更新完了しました。	-	パッケージの更新が正常完了	-	-	-	-
	3600-0003	情報	削除完了しました。	-	パッケージの削除が正常完了	-	-	-	-
	3600-0004	情報	新しいパッケージは公開されていません。	-	新しいパッケージは公開されていない	あり	-	-	-
	3600-0005	情報	ファームウェア更新が必要な新しいパッケージが公開されています。	-	ファームウェア更新が必要な新しいパッケージが公開された	あり	-	-	-
	3600-0010	情報	自動更新完了しました。(パッケージ名)	-	パッケージの自動更新が正常完了	-	-	-	-
	3603-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	3604-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	パッケージの設定変更失敗	-	-	-	-
	3604-0001	警告	追加に失敗しました。	-	パッケージの追加失敗	-	-	-	-
	3604-0002	警告	更新に失敗しました。	-	パッケージの更新失敗	-	-	-	-
	3604-0003	警告	削除に失敗しました。	-	パッケージの削除失敗	-	-	-	-
	3604-0010	警告	自動更新に失敗しました。(パッケージ名)	更新失敗	パッケージの自動更新に失敗	あり	-	-	あり
	3609-0000	警告	パッケージ公開サーバーへの接続に失敗しました。	サーバー接続失敗	パッケージ公開サーバーとの通信が正常完了しなかった	あり	-	-	あり
	3611-0000	警告	新しいパッケージが公開されています。	新パッケージ公開	新しいパッケージが公開された	あり	あり	あり	あり
ファームウェア	3700-0000	情報	設定を変更しました。	-	ファームウェアの設定変更が正常完了	-	-	-	-
	3700-0001	情報	更新を開始しました。	-	ファームウェアの更新を開始	-	-	-	-
	3700-0002	情報	ファームウェアは最新です。	-	現在のファームウェアは最新の状態	あり	-	-	-
ファームウェア (つづき)	3700-0003	情報	更新に成功しました。 : バージョン番号	-	ファームウェアの更新が正常完了	-	-	-	-
	3700-0010	情報	自動更新を開始しました。	-	ファームウェアの自動更新を開始	-	-	-	-
	3703-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	3704-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	ファームウェアの設定変更失敗	-	-	-	-
	3704-0001	警告	更新に失敗しました。	-	ファームウェアの更新失敗	-	-	-	-
	3704-0010	警告	自動更新の開始に失敗しました。	更新失敗	ファームウェアの自動更新の開始に失敗	あり	-	-	あり
	3706-0000	警告	ファームウェアファイルが破損しています。	-	ダウンロードしたファームウェアファイルが破損	-	-	-	-
	3709-0000	警告	ファームウェア公開サーバーへの接続に失敗しました。	サーバー接続失敗	ファームウェア公開サーバーとの通信が正常完了しなかった	あり	-	-	あり
	3711-0000	警告	新しいファームウェアが公開されています。	新ファーム公開	新しいファームウェアが公開された	あり	あり	あり	あり
	ログ	3800-0000	情報	フィルタリング設定を変更しました。	-	ログのフィルタリング設定変更が正常完了	-	-	-
3803-0000		警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
3804-0000		警告	フィルタリング設定変更失敗しました。	-	ログのフィルタリング設定変更失敗	-	-	-	-
お知らせ	3900-0000	情報	お知らせをクリアしました。	-	お知らせのクリアが正常完了	-	-	-	-
	3903-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	3904-0000	警告	お知らせのクリアに失敗しました。	-	お知らせのクリア失敗	-	-	-	-
プロキシ	4000-0000	情報	設定を変更しました。	-	プロキシの設定変更が正常完了	-	-	-	-
	4003-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	4004-0000	警告	設定変更失敗しました。	-	プロキシの設定変更失敗	-	-	-	-
システム	4100-0000	情報	システムを起動しました。	起動完了	システムの起動が正常完了	-	あり	あり	あり
	4100-0001	情報	システムをシャットダウンします。	シャットダウン	システムのシャットダウンを実行	-	あり	あり	あり
	4100-0002	情報	システムを再起動します。	再起動	システムの再起動を実行	-	あり	あり	あり
	4100-0010	情報	管理者ログインしました。 : IPアドレス	-	Web 管理へのログインが正常完了	-	-	-	-
	4100-0011	情報	管理者ログアウトしました。 : IPアドレス	-	Web 管理からログアウト	-	-	-	-
	4103-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	4105-0000	警告	管理者ログインに失敗しました。 : IPアドレス	-	管理者ログインに失敗	-	-	-	-

ログ・お知らせ一覧 (つづき)

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
	4105-0001	警告	ログイン中に他の PC からログインが実行されました。: IPアドレス	-	管理者がログイン中に他の PC からログインを実行	-	-	-	-
	4111-0000	警告	シャットダウンはキャンセルされました。	-	スケジュールシャットダウンが起動時間を過ぎたためキャンセル	-	-	-	-
温度・FAN	4210-0000	警告	装置温度が異常です。装置の設置環境を見直してください。システムを強制終了します。	温度異常	装置内温度が高温に達したため、シャットダウン	あり	あり	あり	あり
	4210-0001	警告	FANが停止しました。FANの状態を確認してください。装置が高温となり障害の原因となりますので、システムを強制終了します。	FAN 停止	FANが停止したため、シャットダウン	あり	あり	あり	あり
システム初期化	4300-0000	情報	初期化を開始しました。	-	システムの初期化を開始	-	-	-	-
	4300-0001	情報	初期化を完了しました。	-	システムの初期化が正常完了	-	-	-	-
	4303-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	4304-0000	警告	初期化に失敗しました。	-	システムの初期化に失敗	-	-	-	-
ツール	4400-0000	情報	設定取得を開始しました。	-	LAN DISK Restore で設定保存が開始	-	-	-	-
	4400-0001	情報	設定取得を完了しました。	-	LAN DISK Restore で設定保存が正常完了	-	-	-	-
	4400-0010	情報	設定を開始しました。	-	LAN DISK Restore で設定復元が開始	-	-	-	-
	4400-0011	情報	設定を完了しました。	-	LAN DISK Restore での設定復元が正常完了	-	-	-	-
	4400-0020	情報	ネットワークシャットダウン要求を受信したため、シャットダウンを開始します。	-	外部からのネットワークシャットダウン要求を受信したため、シャットダウンを開始	-	あり	あり	あり
	4403-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理を実行できない	-	-	-	-
	4404-0000	警告	設定取得中にエラーが発生しました。	-	LAN DISK Restore の設定保存に失敗	-	-	-	-
ツール (つづき)	4404-0001	警告	設定中にエラーが発生しました。	-	LAN DISK Restore の設定復元に失敗	-	-	-	-
	4404-0002	警告	カテゴリ名 - 設定中にエラーが発生しました。	-	LAN DISK Restore の設定復元で特定のカテゴリの復元に失敗	-	-	-	-

設定画面のリファレンス

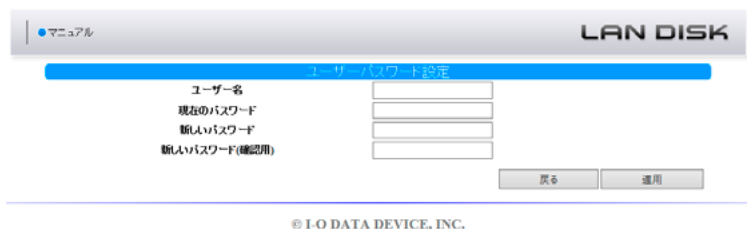
ログイン画面



初期設定で設定した管理者パスワードを入力

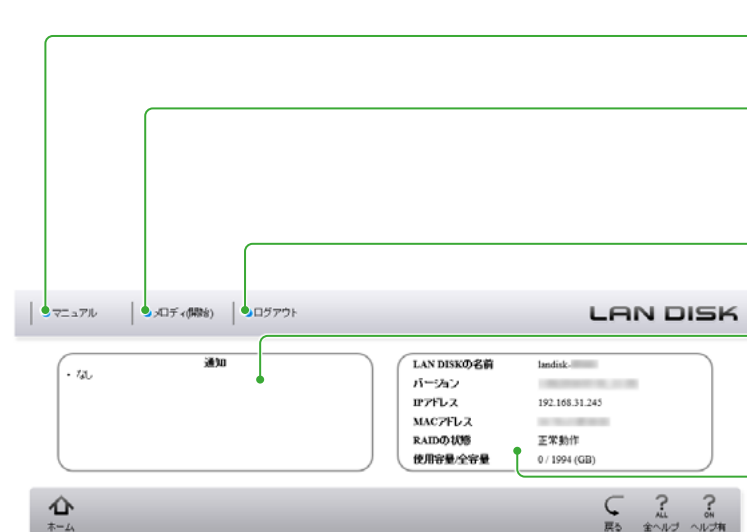
本製品に登録したユーザーのパスワードを変更
※管理者パスワードは変更できません。

ユーザーパスワード設定



ユーザー名	パスワードを変更するユーザー名を入力
現在のパスワード	現在のパスワードを入力
新しいパスワード	新しいパスワードを入力
新しいパスワード(確認用)	
戻る	適用せずに戻ります。
適用	入力した新しいパスワードを適用します。

メイン画面



画面で見るマニュアルを表示

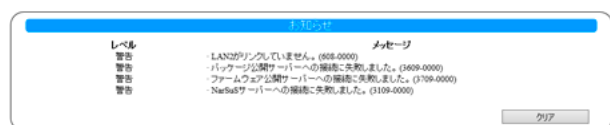
メロディーを流す / 止める
(複数台の本製品を設置した場合などの確認用にご利用ください。)

設定画面からログアウトする

お知らせを表示

本製品のステータスを表示

お知らせ



レベル	お知らせレベルを表示します。
エラー	何らかのエラーが発生しています。 エラー状態が解除されるまでクリアできません。
警告	警告を表示します。一度確認するとクリアされます。
情報	お知らせを表示します。一度確認するとクリアされます。
メッセージ	お知らせ内容を表示します。
クリア	クリックすると、内容を消去します。

[【ログ・お知らせ一覧】 \(15-140 ページ\) 参照](#)

システム情報



左の項目をクリックすると、その設定画面を表示します。

設定できる項目のみクリック可能になります。

製品	本製品の型番です。
システムのバージョン	本製品のファームウェアバージョンです。
時刻	現在の時刻です。
時刻の同期	本製品の時刻をタイムサーバーから取得するかどうかについて表示します。
有効なサービス	本製品が提供しているサービスを表示します。
RAID モード	本製品の RAID モードを表示します。
クイックコピー	クイックコピー機能の有効 / 無効を表示します。
バックアップスケジュール	バックアップスケジュールの有効 / 無効を表示します。
データコピースケジュール	データコピースケジュールの有効 / 無効を表示します。
省電力モード	省電力モードの有効 / 無効を表示します。
ランプの明るさ	現在のランプの明るさです。
起動スケジュール	起動スケジュールの有効 / 無効を表示します。
温度	本製品の温度を表示します。
FAN の回転数	FAN の回転数を表示します。
プリンター	プリンターの接続状態を表示します。
UPS 警告	UPS 警告機能の有効 / 無効を表示します。
UPS 接続状態	UPS の接続状態を表示します。
UPS バッテリー残量	UPS のバッテリー状態を表示します。

ネットワーク情報

ネットワーク情報			
LAN DISKの名前		lanDisk	
LAN DISKの説明		HDL-H series	
LAN DISKの設置場所			
LAN1	IPアドレス設定方式	自動で取得する(DHCP)	無効
	IPアドレス	192.168.	-
	サブネットマスク/プレフィックス長	255.255.255.0	-
	Wake On LAN	有効	-
	フレームサイズ	1500byte	-
	MACアドレス		-
	リンク状態	100Mbps	-
LAN2	IPアドレス設定方式	自動で取得する(DHCP)	無効
	IPアドレス	-	-
	サブネットマスク/プレフィックス長	-	-
	Wake On LAN	有効	-
	フレームサイズ	1500byte	-
	MACアドレス		-
	リンク状態	-	-
共通	設定方法	LAN1優先で自動で取得する	-
	デフォルトゲートウェイ	192.168.	-
	DNSサーバー	192.168.	-
プロキシ		使用しない	
Microsoft ネットワーク		ワークグループ	
ワークグループ名		WORKGROUP	
WINSサーバー			

左の項目をクリックすると、その設定画面を表示します。

設定できる項目のみクリック可能になります。

LAN DISK の名前	本製品に設定している名前です。この名前は、Windows ネットワークに接続しているクライアントから本製品を指定する場合などに利用します。		
LAN DISK の説明	本製品に設定している説明文です。ネットワークで本製品を詳細表示した際に表示されます。		
LAN DISK の設置場所	本製品の設置場所を入力できます。		
LAN1、LAN2	IP アドレス設定方式	本製品の IP アドレスを自動取得するか（DHCP 機能）を表示します。	
	IP アドレス	本製品に設定している IP アドレスです。 DHCP 機能が有効の場合は、DHCP サーバーから自動取得したアドレスが表示されます。 (LAN1 ポートの DHCP 取得失敗時) 192.168.0.200 (LAN2 ポートの DHCP 取得失敗時) 192.168.10.200	
	サブネットマスク / プレフィックス長	本製品に設定しているサブネットマスクです。IP アドレスとの組み合わせにより、通信できるネットワークが決まります。DHCP 機能を有効にしている場合は、DHCP サーバーから取得したサブネットマスク値が表示されます。 (DHCP 取得失敗時) 255.255.255.0	
	Wake On LAN	Wake On LAN の有効 / 無効を表示します。	
	フレームサイズ	本製品が通信する際に送り出す 1 回分のデータの最大値を指定します。 ※ネットワーク上すべての製品が 1000BASE-T でジャンボフレームに対応している場合のみご利用いただけます。 ※ネットワーク上のすべての機器が同一の値でないと通信できません。	
	MAC アドレス	本製品の MAC アドレスです。出荷時点で本製品に書き込まれており、変更はできません。	
	リンク状態	現在のリンクスピードを表示しています。	
共通	設定方法	デフォルトゲートウェイと DNS サーバーアドレスの情報取得方法を表示します。	
	デフォルトゲートウェイ	本製品に設定しているデフォルトゲートウェイです。	
	DNS サーバーアドレス	本製品に設定している DNS サーバーアドレスです。	
プロキシ	プロキシ設定の有効 / 無効を表示します。		

▼ Microsoft ネットワーク

ワークグループ設定時	ワークグループ名	本製品に設定しているワークグループ名です。
NT ドメイン設定時	ドメイン名	本製品で設定している NT ドメイン名です。
	ドメインコントローラーの名前	本製品で設定している NT ドメインコントローラーの名前です。
ActiveDirectory設定時	ドメイン名 (NetBIOS 名)	本製品で設定している Active Directory のドメイン名 (NetBIOS 名) です。
	ドメイン名 (フル DNS 名)	本製品で設定している Active Directory のドメイン名 (フル DNS 名) です。
	ドメインコントローラーの名前	本製品で設定している Active Directory のドメインコントローラーの名前です。
WINS サーバーアドレス	本製品に設定している WINS サーバーアドレスです。この設定により、ルーターで区切られたネットワークにおいても名前による Windows ネットワーク共有サービスが受けられます。通常、ご家庭でご利用になる場合は設定の必要はありません。	

ボリューム情報

ボリューム情報		
ディスク一覧		
内蔵ディスク USB1 USB2 USB3 USB4		
内蔵ディスク		
モード	記録ボリューム	
ステータス	正常動作	
ボリューム情報	全容量	2394116GB (2394116366784Byte)
	使用容量	5.89GB (591674112Byte) 0.25%
	フォーマット形式	専用フォーマット
ディスク	内蔵ディスク1	接続済 WDC WD30EFRX-68A 3000.59 GB
	内蔵ディスク2	接続済 WDC WD30EFRX-68A 3000.59 GB
トップへ戻る		
USB1		
モード	クイックコピーモード	
ステータス	未接続	
トップへ戻る		
USB2		
モード	共有モード	
ステータス	未接続	
トップへ戻る		
USB3		
モード	共有モード	
ステータス	未接続	
トップへ戻る		
USB4		
モード	共有モード	
ステータス	未接続	
トップへ戻る		

項目をクリックすると、その設定画面を表示します。

設定できる項目のみクリック可能になります。

モード	本製品の動作モードを表示します。
-----	------------------

▼内蔵ディスクのステータス

ステータス	内蔵ディスクの動作状態を表示します。状態により複数表示される場合があります。	
正常動作	内蔵ディスクは正常に動作しています。	
構成異常	一部の内蔵ディスクが故障か接続されていない状態です。 [ディスク] の表示を確認し、故障したディスクの交換をしてください。	
RAID 崩壊	内蔵ディスクを RAID として機能させることができない状態です。 [ディスク] の表示を確認し、故障したディスクを交換し、復旧作業をおこなってください。	
アクティブリペア中	内蔵ディスクがアクティブリペア中です。	
停止中	内蔵ディスクを停止した状態です。	
マウント失敗	内蔵ディスクのマウントに失敗した状態です。	
チェックディスク中	内蔵ディスクがチェックディスク中です。	
フォーマット中	内蔵ディスクがフォーマット中です。	
未フォーマット	内蔵ディスクは未フォーマット状態です。	
セキュリティロック中	内蔵ディスクがセキュリティロックされた状態です。ロックキーで解除されます。	
処理中	内蔵ディスクに対して他の操作中を実行中です。	

※各状態について再構築が実行されている場合、(再構築(*%))と進捗が表示されます。

ボリューム情報	全容量	内蔵ディスク全体の容量を表示します。 1Kbyte = 1000byte で算出しています。	
	使用容量	現在使っている容量を表示します。	
	フォーマット形式	内蔵ディスクのフォーマット形式を表示します。	
ディスク	状態	未接続	カートリッジが接続されていません。カートリッジの交換が可能な状態です。
		接続済	本製品で正常に認識されています。
		容量不足	内蔵ディスクに組み込むために必要なサイズより小さなサイズのカートリッジです。 適切な容量のカートリッジに交換する必要があります。
		故障	読み書きエラーや S.M.A.R.T. 診断エラーが発生したカートリッジです。 新しいカートリッジに交換する必要があります。
		異常	起動時に故障と判定されましたが、アクセスに成功したため、RAID 崩壊を防ぐため RAID に組み込まれたカートリッジです。(他にも故障したカートリッジがあります) まずデータをバックアップした後、このカートリッジおよび他の故障したカートリッジを新しいカートリッジに交換してください。
	ディスク名	ディスクのモデルナンバーを表示します。	
容量	ディスク容量を表示します。1Kbyte = 1000byte で算出しています。		

▼ USB のステータス

ステータス	USB 機器の動作状態を表示します。状態により複数表示される場合があります。	
未接続	USB HDD が接続されていないか、取り外し処理をおこなったか、あるいは正常に認識されていない状態です。USB 機器を接続していない場合、USB 機器を接続できます。	USB HDD が接続されていないか、取り外し処理をおこなったか、あるいは正常に認識されていない状態です。USB 機器を接続していない場合、USB 機器を接続できます。
使用中	USB HDD が正常にマウントされています。取り外す場合は、USB HDD の取り外し処理をおこなってください。	USB HDD が正常にマウントされています。取り外す場合は、USB HDD の取り外し処理をおこなってください。
取り外し済	USB HDD は取り外し処理済です。USB HDD の取り外しができます。	USB HDD は取り外し処理済です。USB HDD の取り外しができます。
ロックキー	暗号化用のロックキーが接続されています。ロックキーは本体から取り外すことができます。	暗号化用のロックキーが接続されています。ロックキーは本体から取り外すことができます。
セキュリティロック中	暗号化された USB HDD のセキュリティロックが解除されていない状態です。使うには暗号化フォーマット時に利用したロックキーを接続してください。	暗号化された USB HDD のセキュリティロックが解除されていない状態です。使うには暗号化フォーマット時に利用したロックキーを接続してください。
マウント失敗	USB HDD のマウントに失敗しています。USB HDD の取り外しは可能です。	USB HDD のマウントに失敗しています。USB HDD の取り外しは可能です。
待機中	ミラーに追加したボリュームにデータが入っているため、手動でのミラーリング開始操作を待っている状態です。USB HDD の取り外しは可能です。	ミラーに追加したボリュームにデータが入っているため、手動でのミラーリング開始操作を待っている状態です。USB HDD の取り外しは可能です。
容量不足	USB HDD が接続されており、正常に認識されていますが、RAID に組み込めない状態です。接続した USB HDD の容量がミラーリングするために必要な容量より小さい場合に表示されます。	USB HDD が接続されており、正常に認識されていますが、RAID に組み込めない状態です。接続した USB HDD の容量がミラーリングするために必要な容量より小さい場合に表示されます。
チェックディスク中	USB HDD をチェックしている状態です。取り外す場合は、USB HDD の取り外し処理をおこなってください。	USB HDD をチェックしている状態です。取り外す場合は、USB HDD の取り外し処理をおこなってください。
フォーマット中	USB HDD をフォーマットしている状態です。取り外す場合は、USB HDD の取り外し処理をおこなってください。	USB HDD をフォーマットしている状態です。取り外す場合は、USB HDD の取り外し処理をおこなってください。
故障	USB HDD が故障しています。USB HDD の取り外しは可能です。	USB HDD が故障しています。USB HDD の取り外しは可能です。
未フォーマット	USB HDD が未フォーマット状態です。USB HDD の取り外しは可能です。	USB HDD が未フォーマット状態です。USB HDD の取り外しは可能です。
ミラーリング	ミラーリングモードに設定され、正常に動作しています。USB HDD は取り外さないでください。	ミラーリングモードに設定され、正常に動作しています。USB HDD は取り外さないでください。
ミラーリング (異常)	ミラーリングモードに設定され、USB HDD のみで動作している状態です。故障したカートリッジを交換し、USB HDD からミラーリングをおこなってください。USB HDD は取り外さないでください。	ミラーリングモードに設定され、USB HDD のみで動作している状態です。故障したカートリッジを交換し、USB HDD からミラーリングをおこなってください。USB HDD は取り外さないでください。
ミラーリング (再構築中 (%))	ミラーリングモードに設定され、再構築を実行中です。USB HDD は取り外さないでください。	ミラーリングモードに設定され、再構築を実行中です。USB HDD は取り外さないでください。

システムログ

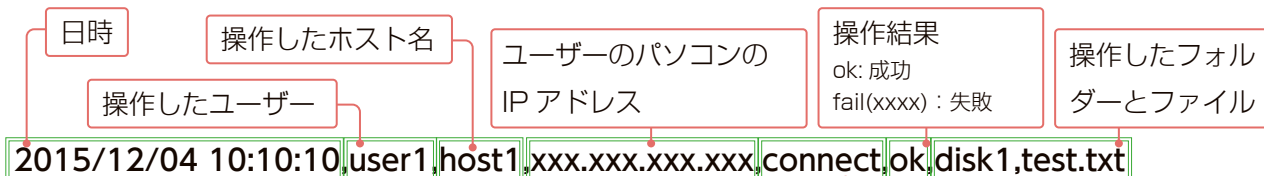
日時	レベル	カテゴリ	メッセージ
2013年11月26日11:19:09	情報	システム	管理画面ログインしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日11:18:14	情報	システム	管理画面ログアウトしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日11:18:03	情報	システム	管理画面ログインしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日11:17:57	情報	システム	管理画面ログアウトしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日11:17:40	警告	NarSub	NarSubサーバーへの接続に失敗しました。(1109-0000)
2013年11月26日11:12:32	情報	NarSub	設定を変更しました。
2013年11月26日11:09:50	情報	LAN1	LAN1: DHCP設定が完了。: 192.168.31.91 更新時間: 259200 秒
2013年11月26日11:09:46	警告	LAN2	LAN2がリンクしていません。(608-0000)
2013年11月26日11:09:44	情報	システム	管理画面ログインしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日11:09:40	情報	LAN1	LAN1がリンクしました。
2013年11月26日11:08:29	情報	システム	システムを起動しました。
2013年11月26日11:08:20	情報	RAIDボリューム	内蔵ボリュームをマウントしました。
2013年11月26日11:07:52	警告	ファームウェア	ファームウェア更新サーバーへの接続に失敗しました。(3708-0000)
2013年11月26日11:07:48	警告	バックアップ	バックアップジョブサーバーへの接続に失敗しました。(3469-0000)
2013年11月26日11:07:45	情報	日付と時刻	NTP サーバーと時刻を同期しました。
2013年11月22日16:45:51	情報	システム	システムをシャットダウンします。
2013年11月22日16:44:56	情報	システム	システムを起動しました。
2013年11月22日16:44:27	情報	RAIDボリューム	内蔵ボリュームをマウントしました。
2013年11月22日16:43:55	警告	ファームウェア	ファームウェア更新サーバーへの接続に失敗しました。(3708-0000)
2013年11月22日16:43:51	警告	バックアップ	バックアップジョブサーバーへの接続に失敗しました。(3469-0000)
2013年11月22日16:43:48	情報	日付と時刻	NTP サーバーと時刻を同期できませんでした。(3209-0000)
2013年11月22日16:43:15	警告	LAN2	LAN2がリンクしていません。(608-0000)
2013年11月22日16:43:08	警告	LAN1	LAN1がリンクしていません。(508-0000)

フィルタリング設定	フィルタリングの設定ができます。 [日時]、[レベル]、[カテゴリ] をそれぞれ設定し、[適用] をクリックすると保存されます。
ダウンロード	ログを .csv 形式でダウンロードします。
ソート	ログの並び替え方法を指定できます。
フィルタリング	設定したフィルタリングの有効 / 無効を設定します。
日時	ログを記録した日時を表示します。
レベル	ログの警告レベルを表示します。
カテゴリ	ログのカテゴリを表示します。
メッセージ	ログの内容を表示します。

アクセスログ

日時	ユーザー名	ホスト名	IPアドレス	操作	結果	共有フォルダー名	対象
2015/09/30 16:16:42	admin	rs11-2ba	192.168.	open	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	rs11-2ba	192.168.	close	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	rs11-2ba	192.168.	open	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	rs11-2ba	192.168.	close	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	rs11-2ba	192.168.	open	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	rs11-2ba	192.168.	connect	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:41	test	rs11-2ba	192.168.	disconnect	ok	LAN DISK Manual	LAN DISK Manual
2015/09/30 16:16:34	test	rs11-2ba	192.168.	connect	ok	LAN DISK Manual	LAN DISK Manual

アクセスログの読み方



操作内容

connect.....	クライアント PC が共有フォルダーに接続した	close.....	ファイルが閉じられた
disconnect.....	クライアント PC が共有フォルダーの接続を解除した	mkdir.....	フォルダー作成時
open_read.....	対象ファイルを読み込みモードで開いた	rmdir.....	フォルダー削除時
open_write.....	対象ファイルを書き込みモードで開いた	rename.....	ファイル / フォルダーの名前が変更された
		unlink.....	ファイル削除時

設定一覧

設定一覧		ダウンロード
名前設定		
LAN DISK の名前	lan001	
LAN DISK の説明		
LAN DISK の完全名		
時間設定		
同期	有効	
NTPサーバー	ntp.nict.jp	
同期のタイミング	有効	
	曜日	
管理者設定		
パスワード	証書正	
メールアドレス		
ログイン/ログアウト時間	10分	

本製品の全設定情報を表示します。Web ブラウザーのプリント機能などを利用して一括で情報を出力することができます。

ネットワーク

LAN 1 / LAN2

IPv4	IP アドレス設定方式	本製品の IP アドレスの設定方法を選択します。		
		自動で取得する	本製品の IP アドレスを DHCP サーバーから自動で取得します。	
		手で設定する	本製品の IP アドレスを手動で設定します。	
		無効 (LAN2 のみ)	IPv4 設定を無効にします。	
	IP アドレス	IP アドレスを入力します。		
	サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。		
	フレームサイズ	フレームサイズを設定できます。		
Wake On LAN	有効	Wake On LAN を有効にする場合に選択します。		
	無効	Wake On LAN を無効にする場合に選択します。		

IPv6	IP アドレス設定方式	本製品の IP アドレスの設定方法を選択します。		
		無効	IPv6 設定を無効にします。	
		自動で取得する	本製品の IP アドレスを DHCP サーバーから自動で取得します。	
		手で設定する	本製品の IP アドレスを手動で設定します。	
	IP アドレス	IP アドレスを入力します。		
	プレフィックス長	プレフィックス長を設定できます。		
	フレームサイズ	フレームサイズを設定できます。		

共通設定	設定方法	デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレスの設定方法を選択します。	
		自動で取得する	デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレスを DHCP サーバーから自動で取得します。
		手で設定する	デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレスを手動で設定します。
	優先インターフェイス	優先する LAN ポートを選択します。	
		LAN1	LAN1 ポートを優先にします。
		LAN2	LAN2 ポートを優先にします。
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。	
	DNS サーバー	DNS サーバーアドレスを入力します。	

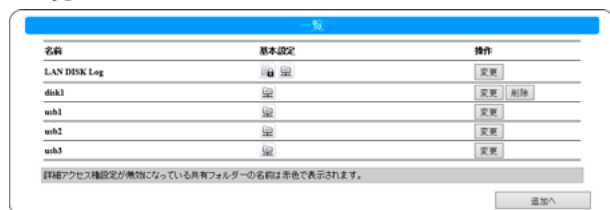
プロキシ設定

使用しない	プロキシ設定を利用しません。
自動設定スクリプトを利用する	自動設定スクリプトファイルの URL を入力します。 ※指定する URL については、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。
手動設定	プロキシサーバーの [アドレス] と [ポート] を入力します。 ※指定するアドレス、ポートについては、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。

共有

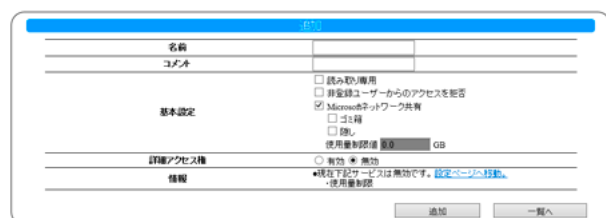
フォルダー

▼一覧

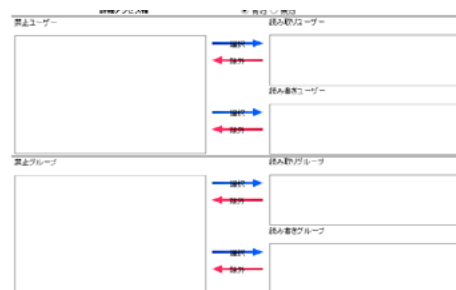


名前	共有フォルダーの名前を表示します。	
基本設定	基本設定で有効になっている項目がアイコンで表示されます。アイコンの意味はマウスオーバーで確認できます。	
操作	変更	フォルダーの設定を変更します。
	削除	フォルダーを削除します。
追加へ	共有フォルダーの追加画面を表示します。	

▼追加 / 変更



名前	共有フォルダーの名前を入力します。この名前が、ネットワーク上に表示される本製品の名前の下に表示されます。	
コメント	Windows 用です。ネットワーク上の共有フォルダーのコメントとして表示されます。	
基本設定	読み取り専用	共有フォルダーを読み取り専用に設定します。詳細アクセス権で「読み書き」で設定した場合でも、読み取り専用となります。
	非登録ユーザーからのアクセスを拒否	本製品に登録されていないユーザーからの共有フォルダーに対するアクセスを拒否します。
	Microsoft ネットワーク共有	Windows からこのフォルダーにアクセスする場合にチェックします。
	ゴミ箱	Windows (Microsoft ネットワーク共有) でのみ利用できます。ゴミ箱機能を使うかどうかを指定します。→ 【ゴミ箱機能】 (5-55 ページ)
	隠し	隠しを設定した共有フォルダーは、「¥¥LAN DISK 名」で検索してもエクスプローラーに表示されません。「¥¥LAN DISK 名 ¥ 共有フォルダー名」で検索すると表示されます。
	使用量制限値	共有フォルダーに対し、容量制限を設定することができます。出荷時設定は無効です。→ 【使用量制限】 (6-64 ページ)
詳細アクセス権設定	「読み取り」「読み書き」のアクセス権を個別に設定することができます。	
	<p>禁止ユーザーや禁止グループを選択し、[選択] をクリックすると、そのユーザーやグループが該当するアクセス権に追加されます。</p> <p>該当するアクセス権のユーザーやグループを選択し、[除外] をクリックすると、そのユーザーやグループが禁止ユーザー、禁止グループに追加されます。</p>	
情報	共有フォルダー追加に関する追加情報を表示します。	



▼削除



削除する共有フォルダー	左の欄のフォルダーを選択状態にし、[選択] をクリックすると右の欄に移動します。その後、[削除] をクリックすると削除されます。
-------------	--

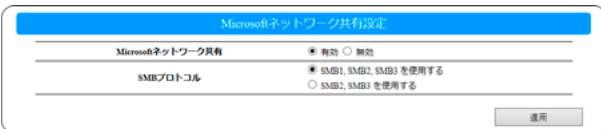
▼使用量制限



全てチェック / 全て解除	全てのフォルダーの [使用量制限値] を一括入力します。クリックすることによってチェックの入れる / 外すをします。全てチェック、かつ、使用量を入力した状態で [一括入力] をクリックします。
名前	共有フォルダーの名前です。
現在の使用量	共有フォルダーの現在の使用量です。
使用量制限値	使用量制限値を小数点第一位で入力します。

方式

▼ Microsoft ネットワーク共有設定



Microsoft ネットワーク共有	Windows からアクセスする場合に [有効] にします。
SMB プロトコル	使用する SMB プロトコルの種類を選びます。

ユーザー&グループ

ユーザー

▼一覧

ユーザーリスト	名前	ユーザー名を入力します。
	フルネーム	ユーザーのフルネームを表示します。
	操作	変更 ユーザーの設定を変更します。
		削除 ユーザーを削除します。
ドメインユーザーリスト	ドメインユーザーを表示します。	
追加へ	ユーザーの追加画面を表示します。	

▼追加 / 変更

ユーザー名	メモしたユーザー名を入力します。
パスワード	メモしたパスワードを入力します。 (確認)にも、同じパスワードを入力します。
フルネーム	追加するユーザーに関する情報を入力できます。
コメント	
プライマリグループ	指定したグループのメンバーとして追加されます。 また、使用量制限をする際、追加するユーザーの使用量を、指定したグループの使用量としてもカウントするようになります。
使用量制限値	使用量制限をする際の制限する値を指定できます。 出荷時設定は無効です。 → 【使用量制限】(6-64 ページ)
情報	ユーザー追加に関する追加情報を表示します。

▼削除

削除ユーザー	左の欄のユーザーを選択状態にし、[選択] をクリックすると右の欄に移動します。その後、[削除] をクリックすると削除されます。
--------	---

▼使用量制限

全てチェック / 全て解除	全てのユーザーの [使用量制限値] を一括入力します。 クリックするごとにチェックの入れる / 外すをします。全てチェック、かつ、使用量を入力した状態で [一括入力] をクリックします。
名前	ユーザーの名前です。
現在の使用量	ユーザーの現在の使用量です。
使用量制限値	使用量制限値を小数点第一位で入力します。

グループ

▼一覧

グループリスト	グループ名	グループ名を入力します。
	操作	変更 グループの設定を変更します。 削除 グループを削除します。
ドメイングループリスト	ドメイングループを表示します。	
追加へ	グループの追加画面を表示します。	

▼追加 / 変更

名前	作成するグループ名を入力します。
使用量制限値	登録するユーザーが「共有フォルダー上で使える容量」を制限できます。 出荷時設定は無効です。 → 【文字制限一覧】 (15-138 ページ)
ユーザー登録設定	作成するグループにユーザーを登録します。 [未登録ユーザーリスト] でユーザーを選び、[選択] をクリックすると、グループに登録されます。 ※登録したユーザーを選び、[除外] をクリックすると、グループから除外されます。
情報	グループ追加に関する追加情報を表示します。

▼削除

削除グループ	左の欄のグループを選択状態にし、[選択] をクリックすると右の欄に移動します。その後、[削除] をクリックすると削除されます。
--------	---

▼使用量制限

全てチェック / 全て解除	全てのグループの [使用量制限値] を一括入力します。 クリックするごとにチェックの入れる / 外すをします。全てチェック、かつ、使用量を入力した状態で [一括入力] をクリックします。
名前	グループの名前です。
現在の使用量	グループの現在の使用量です。
使用量制限値	使用量制限値を小数点第一位で入力します。

Microsoft ネットワーク設定

▼設定方法：ワークグループ

The screenshot shows the 'Microsoft ネットワーク設定' dialog box with the 'ワークグループ' (Workgroup) option selected. The 'ワークグループ名' (Workgroup name) field contains 'WORKGROUP' and the 'WINSサーバー' (WINS server) field is empty. A '適用' (Apply) button is at the bottom right.

設定方法 ワークグループ
 Active Directory

ワークグループ名 WORKGROUP

WINSサーバー

注意

- 管理者ユーザー名には、ActiveDirectoryのadministrator権限を持ったユーザー名を指定してください。
- ドメインで利用になる場合はワークグループに切替えないようにしてください。
- ドメインログオンした後にドメインユーザー、ドメイングループで作成した共有は、ワークグループに切替えると使用不可になりますので、事前にデータ保護し、共有を削除してください。
- また、異なるドメインにログオンした場合には以前のドメインユーザー、ドメイングループで作成した共有は使用できません。

ワークグループ名	ワークグループ名を入力します。
WINS サーバー	WINS サーバーがネットワーク内にある場合は、その WINS サーバーの IP アドレスを入力します。

▼設定方法：Active Directory

The screenshot shows the 'Microsoft ネットワーク設定' dialog box with the 'Active Directory' option selected. Fields for 'ドメイン名 (NetBIOS 名)', 'ドメイン名 (フル DNS 名)', 'ドメインコントローラーの名前', '管理者名', '管理者パスワード', and 'WINSサーバー' are present. A '適用' (Apply) button is at the bottom right.

設定方法 ワークグループ
 Active Directory

ドメイン名 (NetBIOS 名)

ドメイン名 (フル DNS 名)

ドメインコントローラーの名前

管理者名

管理者パスワード

WINSサーバー

注意

- 管理者ユーザー名には、ActiveDirectoryのadministrator権限を持ったユーザー名を指定してください。
- ドメインで利用になる場合はワークグループに切替えないようにしてください。
- ドメインログオンした後にドメインユーザー、ドメイングループで作成した共有は、ワークグループに切替えると使用不可になりますので、事前にデータ保護し、共有を削除してください。
- また、異なるドメインにログオンした場合には以前のドメインユーザー、ドメイングループで作成した共有は使用できません。

ドメイン名 (NetBIOS 名)	ドメイン名 (NetBIOS 名) を入力します。
ドメイン名 (フル DNS 名)	ドメイン名 (フル DNS 名) を入力します。
ドメインコントローラーの名前	ドメインコントローラーの名前を入力します。
管理者名	Active Directory の Administrator 権限を持ったユーザー名を入力します。
管理者パスワード	[管理者名] で指定したユーザーのパスワードを入力します。
WINS サーバー	WINS サーバーがネットワーク内にある場合は、その WINS サーバーの IP アドレスを入力します。

ボリューム

内蔵

▼フォーマット



ステータス	内蔵ディスクの接続状況を表示します。
RAID モード	RAID モードを選択します。
暗号化	暗号化の有効 / 無効を選択します。

▼チェックディスク



ステータス	チェックディスクの状況を表示します。
実行	チェックディスクを実行します。

▼アクティブリペア



ステータス	アクティブリペアの状況を表示します。
アクティブリペア停止	実行中のアクティブリペアを停止します。
アクティブリペア開始	ただちにアクティブリペアを実行します。
スケジュール機能	スケジュールで実行する場合に [有効] にします。その後、実行する [曜日] [時刻] を設定します。
曜日 (毎月最初)	
時刻	
適用	設定したスケジュールを適用します。

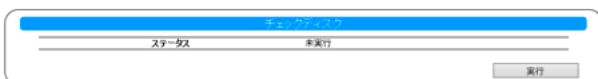
USB1 ~ 4

▼フォーマット



ステータス	USB の接続状況を表示します。
フォーマット形式	フォーマット形式を選択します。
実行	フォーマットを実行します。

▼チェックディスク



ステータス	チェックディスクの状況を表示します。
実行	チェックディスクを実行します。

▼モード設定



ポートモード	USB ポートのモードを選択します。
適用	選択したモードに設定します。

ロックキー

▼キーサーバー



キーサーバーについては、[【キーサーバー機能】\(3-37 ページ\)](#)をご覧ください。

データバックアップ

バックアップ → 追加



▼除外ファイル



▼バックアップ元の設定 … [対象種別] により設定内容が異なります。

対象種別	ローカル	本製品の内蔵ディスクまたは外付けディスクを選びます。
	ローカル (全ての共有フォルダー)	本製品の内蔵ディスク全体を選びます。 ※ただし、外付けディスクは対象外です。
	Microsoft ネットワーク共有	ネットワーク上のパソコンや他の LAN DISK の共有フォルダーなどを選びます。

バックアップ元の設定を追加する場合にクリックします。
 をクリックするとそのバックアップ元設定は削除されます。

▼バックアップ先の設定 … [対象種別] により設定内容が異なります。

対象種別	ローカル	本製品の内蔵ディスクまたは外付けディスクを選びます。
	Microsoft ネットワーク共有	ネットワーク上のパソコンや他の LAN DISK の共有フォルダーなどを選びます。

バックアップ先の設定を追加する場合にクリックします。
 をクリックするとそのバックアップ先設定は削除されます。

▼バックアップの基本設定

ジョブ名	バックアップ設定の名前を任意で入力します。			
履歴数	保存する履歴数を設定します。			
スケジュール	設定したスケジュールでバックアップをおこなう場合に [有効] をチェックします。			
	<table border="1"> <tr> <td>曜日指定</td> <td>バックアップする曜日を指定します。※複数の指定が可能です。</td> </tr> <tr> <td>時刻指定</td> <td>バックアップする時刻を指定します。24 時間制で指定します。 例) 午後 9 時 = [21] 時 [00] 分</td> </tr> </table>	曜日指定	バックアップする曜日を指定します。※複数の指定が可能です。	時刻指定
曜日指定	バックアップする曜日を指定します。※複数の指定が可能です。			
時刻指定	バックアップする時刻を指定します。24 時間制で指定します。 例) 午後 9 時 = [21] 時 [00] 分			
オプション	ゴミ箱もバックアップする	本製品のゴミ箱もバックアップします。		
	バックアップ後にシャットダウン	バックアップ後に本製品の電源を切ります。		
	強制フルコピー	すべてのファイルをコピーします。		
	多くのファイルに変更があった場合に通知する	単一フォルダー内のファイルが全て更新 / 削除された場合、または、各種類のファイルについて半数以上のファイルが更新 / 削除された場合、警告ログを保存します。		

除外ファイルの指定方法	後の指定方法によりファイル名やファイル名の一部を入力します。 例) .temp ([で終わる] の場合) この場合、xxx.temp という名前のファイルはバックアップされません。
	除外ファイルの設定を追加する場合にクリックします。
	をクリックするとその除外ファイル設定は削除されます。

・ [対象種別] が [ローカル] の場合

共有フォルダー	内蔵ディスク内の共有フォルダーを選びます。
サブフォルダー	サブフォルダー名を入力します。フォルダーを限定しない場合は、空欄にします。

・ [対象種別] が [Microsoft ネットワーク共有] の場合

UNC	共有フォルダーを以下のようにを入力します。 例) \\¥¥LANDISK-xxxxxx¥disk 1
ユーザー名*	バックアップ元がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているユーザー名を入力します。
パスワード*	バックアップ元がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているパスワードを入力します。

※ バックアップ元共有フォルダーにアクセス制限がかかっていない場合は、任意の文字列 (guest など) を入力してください。

・ [対象種別] が [ローカル] の場合

共有フォルダー	内蔵ディスク内の共有フォルダーを選びます。
サブフォルダー	サブフォルダー名を入力します。フォルダーを限定しない場合は、空欄にします。

・ [対象種別] が [Microsoft ネットワーク共有] の場合

UNC	共有フォルダーを以下のようにを入力します。 例) \\¥¥LANDISK-xxxxxx¥disk 1
ユーザー名*	バックアップ先がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているユーザー名を入力します。
パスワード*	バックアップ先がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているパスワードを入力します。

※ バックアップ先共有フォルダーにアクセス制限がかかっていない場合は、任意の文字列 (guest など) を入力してください。

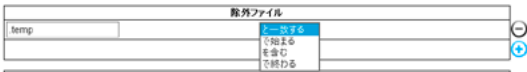
データコピー → 追加






▼データコピーの基本設定

ジョブ名	データコピー設定の名前を任意で入力します。	
履歴数	保存する履歴数を設定します。	
スケジュール	設定したスケジュールでデータコピーをおこなう場合に [有効] をチェックします。	
	曜日指定	データコピーする曜日を指定します。※複数の指定が可能です。
	時刻指定	データコピーする時刻を指定します。24 時間制で指定します。 例) 午後 9 時 = [21] 時 [00] 分
オプション	ゴミ箱もコピーする	本製品のゴミ箱もデータコピーします。
	データコピー後にシャットダウン	データコピー後に本製品の電源を切ります。
	強制フルコピー	すべてのファイルをコピーします。
	データコピー元のないファイルを削除する	コピー先にのみ存在するファイルを削除します。

▼除外ファイル



除外ファイルの指定方法	後の指定方法によりファイル名やファイル名の一部を入力します。 例) .temp ([で終わる] の場合) この場合、xxx.temp という名前のファイルはバックアップされません。
	除外ファイルの設定を追加する場合にクリックします。
	 をクリックするとその除外ファイル設定は削除されません。

▼データコピー元の設定 … [対象種別] により設定内容が異なります。

対象種別	ローカル	本製品の内蔵ディスクまたは外付けディスクを選びます。
	Microsoft ネットワーク共有	ネットワーク上のパソコンや他の LAN DISK の共有フォルダーなどを選びます。

・ [対象種別] が [ローカル] の場合

共有フォルダー	内蔵ディスク内の共有フォルダーを選びます。
サブフォルダー	サブフォルダー名を入力します。フォルダーを限定しない場合は、空欄にします。

・ [対象種別] が [Microsoft ネットワーク共有] の場合

UNC	共有フォルダーを以下のようにを入力します。 例) ¥¥LANDISK-xxxxxx¥disk 1
ユーザー名*	データコピー元がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているユーザー名を入力します。
パスワード*	データコピー元がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているパスワードを入力します。

※ データコピー元共有フォルダーにアクセス制限がかかっていない場合は、任意の文字列 (guest など) を入力してください。

▼データコピー先の設定 … [対象種別] により設定内容が異なります。

対象種別	ローカル	本製品の内蔵ディスクまたは外付けディスクを選びます。
	Microsoft ネットワーク共有	ネットワーク上のパソコンや他の LAN DISK の共有フォルダーなどを選びます。

・ [対象種別] が [ローカル] の場合

共有フォルダー	内蔵ディスク内の共有フォルダーを選びます。
サブフォルダー	サブフォルダー名を入力します。フォルダーを限定しない場合は、空欄にします。

・ [対象種別] が [Microsoft ネットワーク共有] の場合

UNC	共有フォルダーを以下のようにを入力します。 例) ¥¥LANDISK-xxxxxx¥disk 1
ユーザー名*	データコピー先がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているユーザー名を入力します。
パスワード*	データコピー先がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているパスワードを入力します。

※ データコピー先共有フォルダーにアクセス制限がかかっていない場合は、任意の文字列 (guest など) を入力してください。

一括登録

CSV 一括登録

名前指定	
LAN DISKの名前	landisk- <input type="text"/>
LAN DISKの説明	HDL-H series
LAN DISKの設置場所	<input type="text"/>

ステータス	一括登録の状況を表示します。
CSV ファイル	一括登録する CSV ファイルを入力します。

システム

名前設定

LAN DISK の名前	LAN DISK の名前を入力します。
LAN DISK の説明	任意で LAN DISK の説明を入力します。
LAN DISK の設置場所	任意で LAN DISK の設置場所を入力します。

時刻設定

時刻設定	時刻設定を手動でおこなうか、NTP サーバーと同期するかを選択します。 手動にした場合は、年月日時分を入力します。
NTP サーバー	NTP サーバーを入力します。
同期タイミン	NTP サーバーと同期するタイミンを設定します。

管理者設定

パスワード	新しいパスワードを入力します。
パスワード確認	※ 4 ~ 20 文字 (半角英数記号)
メール	必要に応じてメールアドレスを設定できます。 ここで設定したメールアドレスは、[システム] → [通知] → [メール] → [通知設定] の送信先メールアドレスの既定値となります。
ログインタイムアウト時間	操作がおこなわれなかった場合に、自動的にログアウトする時間を設定します。

電源

▼シャットダウン

シャットダウン	本製品をシャットダウンします。
再起動	本製品を再起動します。

▼スケジュール設定

スケジュール設定	それぞれ起動・終了を設定したい曜日をチェックし、時刻を設定します。
10分間共有フォルダーへアクセスがなくなるまで終了時刻を延期	以下の条件を満たすまでシャットダウンを延期する機能です。 ・過去 10 分間内蔵ディスクのデータ領域へのアクセスがない ・過去 10 分間 USB HDD へのアクセスがない ※クラウドサービスと同期設定していると、終了しない場合があります。

▼ AC 電源連動設定

AC 電源連動設定	停電などでコンセントからの電源供給が途絶え、復帰したときに自動的に電源 ON にするかどうか選択します。
-----------	--

▼ UPS 設定

UPS 警告	本製品と UPS の接続状態を監視し、次の状態を STATUS ランプやブザーでお知らせします。 ・システム起動時に、UPS がつながっていない状態 ・システム稼働中に、UPS 接続ケーブルが抜けた状態	
停電後のシャットダウン	停電後に LAN DISK をシャットダウンする時間を設定します。	
ネットワークシャットダウン設定	停電時にシャットダウンする LAN DISK を設定します。	
	有効	チェックをつけた LAN DISK について、上記の設定でシャットダウンをおこないます。
	シャットダウンする LAN DISK 名	LAN DISK の名前を入力します。
	管理者パスワード	LAN DISK の管理者パスワードを入力します。

▼ 省電力設定

時間設定	停止までの時間を設定します。
内蔵ボリューム USBx ボリューム	省電力設定を適用するボリュームで [有効] を選択します。

ボタン

FUNC ボタン	FUNC ボタンの機能の有効 / 無効を設定します。
----------	----------------------------

リセットボタン	リセットボタンの機能の有効 / 無効を設定します。
---------	---------------------------

ランプ設定

ランプの明るさ	ランプの明るさを設定します。
---------	----------------

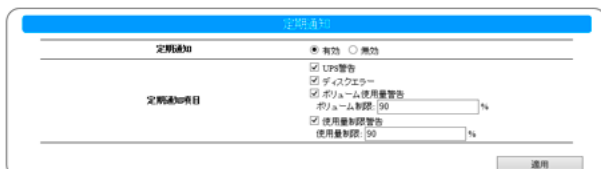
通知

▼ NarSuS



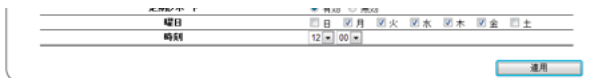
NarSuS	NarSuS 通知の有効・無効を設定します。
現在の状態を NarSuS に通知する	NarSuS サーバーへ定期通知します。これにより、疎通テストが可能です。NarSuS 上から定期通知がおこなわれた時間を確認することで、本製品から通知されたことが確認できます。

▼ 定期通知



定期通知	定期通知をおこなうかどうかを設定します。	
定期通知項目	UPS 警告	UPS の状態を確認します。
	ディスクエラー	ディスクエラーの状態を確認します。
	ボリューム使用量警告	ボリューム使用量が設定した値に達したかどうかを確認します。
	使用量制限警告	使用量制限が設定した値に達したかどうかを確認します。

▼ 定期レポート



定期レポート	定期レポートをおこなうかどうかを設定します。
曜日	定期レポートをおこなう曜日を設定します。
時刻	定期レポートをおこなう時刻を設定します。

▼ 基本設定



SMTP サーバー	メール送信に利用する SMTP サーバーを設定します。 プロバイダーや会社から指定されたサーバー名を入力してください。	
SMTP ポート	メール送信に利用する TCP ポート番号を指定します。(初期値：25) ご利用のプロバイダがセキュリティ上の理由で 25 番ポートでのメール送信を遮断している場合は、適切な番号に変更してください。	
SSL 暗号化通信	SSL 暗号化通信の有効 / 無効を設定します。 [有効] に設定すると、SMTPS でメールを送信します。([無効] の場合は SMTP)	
差出人メールアドレス	送信するメールアドレスの差出人を設定することができます。 送信メールサーバーが差出人チェックを実行している場合や、どこから送られてきているのかを明確にしたい場合などに設定します。	
メールエンコード	送信するメールのエンコードを選択します。受信するメールの設定に合わせてください。	
認証	指定する SMTP サーバーがサポートしている認証方式を設定してください。	
	認証なし	設定はありません。
	POP before SMTP	POP サーバー、POP ポート、ユーザー名、パスワードを入力します。
	SMTP AUTH(PLAIN)	ユーザー名、パスワードを入力します。
	SMTP AUTH(LOGIN)	ユーザー名、パスワードを入力します。
	SMTP AUTH(CRAM-MDS)	ユーザー名、パスワードを入力します。

※ Gmail をご利用の場合は、別の設定が必要です。[\[Gmail を利用する場合\] \(12-101 ページ\)](#) をご覧ください。

▼通知設定

有効	チェックをつけると、エラー発生時および定期通知時に、メールを送信します。
メールアドレス	送信先のメールアドレスを入力します。
詳細設定	チェックすると、[メール基本設定] の内容と同じ設定項目を設定できます。 この設定は、[メール基本設定] より優先されます。 (宛先によって異なる設定が必要な場合に使用します) ※設定を変更したい項目のみ設定してください。 空白項目は、[メール基本設定] のものとなります。
通知項目	チェックをつけた項目に該当するエラーが発生している場合、1時間ごとにブザー、STATUS ランプ、メールによる再通知をおこないます。エラーを解決すると警告は止まります。 エラー内容は、 【ログ・お知らせ一覧】(15-140 ページ) を確認してください。
テストメール送信	クリックするとテストメールが送信されます。

▼SNMP

SNMP トラップ	SNMP トラップをおこなうかどうかを設定します。
ポート番号	ポート番号を入力します。
連絡先ホスト	IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、コンピューター名のいずれかを入力します。

▼ポップアップ通知

通知レベル	LAN DISK コネクトやネットワーク管理ソフト IO Navi がインストールされたパソコンで表示させるログのレベルを選びます。
-------	--

自己診断

Ping	以下の形式で入力した送信先ホストへのネットワーク通信が可能かを確認します。 IPv4 アドレス or IPv6 アドレス (コロン区切り) or ホスト名
Traceroute	以下の形式で入力した送信先ホストへのネットワーク通信経路を確認します。 IPv4 アドレス or IPv6 アドレス (コロン区切り) or ホスト名
サービス	本製品の各サービス (ファイル共有 / NarSuS / UPS 警告等) の稼働状態を確認します。
デバイス	本製品に接続されている機器 (内蔵ディスク / USB HDD / USB UPS / シリアル UPS / USB プリンター) の各情報を確認します。
キーサーバー	本製品に設定したキーサーバーと接続 / 認識できることを確認します。
SNMP トラップ	本製品に設定した SNMP トラップ先ホストと接続 / 認識できることを確認します。
ネットワークシャットダウン	本製品に設定したネットワークシャットダウン相手ホストと接続 / 認識できることを確認します。
メール	本製品に設定したメール送信先アドレスへメール送信できることを確認します。
バックアップ	本製品に設定したバックアップジョブのバックアップ元 / 先と接続 / 認識できることを確認します。
データコピー	本製品に設定したデータコピージョブのデータコピー元 / 先と接続 / 認識できることを確認します。

パッケージ管理

▼追加

<input type="checkbox"/>	追加するパッケージをチェックします。
詳細	パッケージの詳細を表示します。
追加	選択したパッケージを追加します。
一覧	追加されているパッケージ一覧を表示します。

▼自動更新設定

自動更新	パッケージの自動更新の有効 / 無効を選択します。
時刻	自動更新の時刻を設定します。

▼更新通知設定

更新通知	パッケージの更新通知の有効 / 無効を選択します。
オプション	インストール済みのパッケージのみに適用する場合にチェックをつけます。
時刻	更新通知の時刻を設定します。

ファームウェア

▼更新

現バージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
接続方法	インターネットに接続できる場合は、[サーバーからダウンロードする]を選択します。 インターネットに接続できない場合は、他のパソコンなどで弊社サポートライブラリからファームウェアをダウンロードした後、この手順で「ファームウェアファイルを指定する」を選んで、ダウンロードしたファームウェアを指定してください。
更新	更新を実行します。

▼自動更新設定

自動更新	ファームウェアの自動更新の有効 / 無効を選択します。
時刻	自動更新の時刻を設定します。
適用	設定した内容を適用します。

▼更新通知設定

更新通知	パッケージの更新通知の有効 / 無効を選択します。
時刻	更新通知の時刻を設定します。
適用	設定した内容を適用します。

初期化

初期化

注意
 システム初期化を実行すると、全ての設定、及び内蔵HDDの全てのデータが消去されます。
 ※内蔵HDDの完全消去を行うにチェックをつけてシステム初期化も実行すると、内蔵HDDのデータ領域をゼロクリアします。完全消去には数時間かかる場合があります。

内蔵HDDの完全消去を行う。

実行

初期化については、[【出荷時設定に戻す】](#) (14-124 ページ) をご覧ください。

サービス設定

サービス設定

使用量制限	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
UPS警告	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
ファームウェア自動更新	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
ファームウェア更新通知	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
パッケージ自動更新	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
パッケージ更新通知	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
SNMPトラップ	設定されていません。設定ページへ移動。
アクセスログ	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
Microsoft ネットワーク	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効

適用

使用量制限	使用量制限の有効 / 無効を選びます。
UPS 警告	UPS 警告の有効 / 無効を選びます。
ファームウェア自動更新	ファームウェア自動更新の有効 / 無効を選びます。
ファームウェア更新通知	ファームウェア更新通知の有効 / 無効を選びます。
パッケージ自動更新	パッケージ自動更新の有効 / 無効を選びます。
パッケージ更新通知	パッケージ更新通知の有効 / 無効を選びます。
SNMP トラップ	SNMP トラップ設定を確認できます。
アクセスログ	アクセスログの有効 / 無効を選びます。
Microsoft ネットワーク	Microsoft ネットワークの有効 / 無効を選びます。

プリンターバッファークリア

プリンター

プリンターバッファークリアしますか？

実行

プリンターバッファークリア	プリンターバッファークリアします。
---------------	-------------------

困ったときには

最新の Q&A については、I-O DATA サポートページのよくあるお問い合わせをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/support/qa/landisk/hdl-h.htm>



ランプが赤く光ったら

「構成異常」と表示され、「ピッ、ピッ、ピッ」と鳴り続ける.....	17-182
「崩壊」と表示され、「ピーポーピーポー」と鳴り続ける.....	17-182
電源を入れたら、「DHCP 失敗」と表示され、「ピーピーピー」と鳴った.....	17-182
「USBx：マウント失敗」と表示され、「ピーピーピー」と鳴った.....	17-183
「ミラー開始失敗」と表示され、「ピーピーピー」と鳴った.....	17-183
「時刻同期失敗」と表示された.....	17-183
「ファームウェア サーバー接続失敗」と表示された.....	17-183
「パッケージ サーバー接続失敗」と表示された.....	17-183
カートリッジの取り付け後に、HDD ランプが赤く点滅している.....	17-184
USB HDDをつなぐと、STATUS ランプが赤く点灯し、ブザーが「ピーピーピー」と鳴る.....	17-184
クイックコピーを実行するとブザーが鳴りエラーとなる.....	17-184
エラーのログが表示された、バックアップ（データコピー）を実行するとブザーが鳴りエラーとなる.....	17-184
STATUS ランプが赤点滅、ブザーがピーピーと鳴り続ける.....	17-184

セットアップ時のトラブル

macOS と Windows が混在している環境では、どのパソコンから設定すればいい?.....	17-185
現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない.....	17-185
【方法 1】パソコンの IP アドレスの設定で確認.....	17-185
Windows 10、8 の場合.....	17-185
Windows 7、Vista の場合.....	17-186
【方法 2】Windows 標準のコマンドを使って確認する.....	17-187
【Magical Finder】で本製品が検索されない.....	17-188
Windows ファイアウォール機能の除外設定.....	17-188
(macOS) パソコンに直接つないだ後、本製品の設定画面が表示されない.....	17-189
macOS でプロキシサーバー設定を無効にする設定.....	17-190
LAN DISK の名前を変更したい.....	17-190
ACT/LINK ランプが点灯あるいは点滅していない.....	17-191
ファイアウォールソフトで、LAN DISK に対してアクセスを許可させたい場合、どのポート番号で設定すればよいかかわからない.....	17-191
パソコンの IP アドレスがわからない.....	17-191
【ミラーディスクの取り外し】をおこなった USB HDD から起動できない.....	17-191

本製品へのアクセス時のトラブル

「landisk-xxxxxx」のアイコンを開いたり、共有フォルダーを開こうとすると、「アクセス権限が無い」とエラーが表示されたり、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される.....	17-192
macOS から書き込んだファイルを Windows から削除すると、本製品の共有へ macOS からファイル保存ができなくなる.....	17-192
本製品にネットワーク経由で接続するパソコンの台数に制限はありますか?.....	17-192
LAN DISK にアクセスできないパソコンがある.....	
(他のパソコンからはすでに LAN DISK にアクセスできている場合).....	17-193
● Windows の場合.....	
【コンピューターの検索】で「landisk-xxxxxx」が見つからない.....	17-194

Windows 上から本製品を参照した場合に、見覚えのないフォルダーやファイルがある.....	17-195
ユーザー権限共有フォルダーにログオンしようとすると、エラーメッセージが出てきてログオンができない.....	17-195
LAN DISK を検索すると「プリンタと FAX」（「プリンタ」）のアイコンが出ますが削除はできますか？.....	17-195
共有フォルダーを開こうとすると、「組織のセキュリティポリシーによって非認証のゲストアクセスがブロックされているため…」と表示される.....	17-195
● macOS の場合	
[landisk-xxxxxx] が見つからない、もしくは、接続できない.....	17-195

設定画面に関するトラブル

(Windows) ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない.....	17-196
(macOS) ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない.....	17-197
設定画面で一部表示されない項目がある.....	17-197
空き容量が実際より少なく見える.....	17-198
設定画面で文字が入力できない.....	17-198
設定画面上から入力できる文字制限について.....	17-198
設定画面にログインするためのパスワードがわからない.....	17-198
次のメッセージが表示された「現在システムは処理中です。しばらく待ってから操作してください。」.....	17-198
設定画面上のハードディスク使用領域が、ドライブのプロパティと異なる.....	17-199
設定画面の動作が遅い.....	17-199
ほとんど使っていないのに使用容量が多い.....	17-199

本製品の IP アドレスについて

本製品に設定した IP アドレスを忘れた（本製品の IP アドレスを調べたい）.....	17-200
--	--------

ファイルの保存について

本製品に保存したファイルに、「読み込みのみ」「読み書き可能」のような属性設定ができない.....	17-200
ファイル名やフォルダー名の制限について.....	17-200
ファイルを削除するとゴミ箱にいったん入りますか？.....	17-200
共有フォルダーにファイルをコピーする際のサイズの制限はありますか？.....	17-200

カートリッジ取り付け・取り外し時のトラブル

カートリッジの取り付け後に、すべての HDD ランプが速く青点滅を開始している.....	17-201
カートリッジの取り付け後に、HDD ランプが赤く点滅している.....	17-201

USB HDD とミラーリング使用時のトラブル

USB HDD をつなぐと、STATUS ランプが赤く点灯し、ブザーが「ピーピーピー」と鳴る.....	17-202
USB HDD を接続しても認識されない.....	17-202

クイックコピー機能について

コピー後にデータを参照したい.....	17-203
コピーにかかる時間について.....	17-203
ログにクイックコピーのエラーが表示された.....	17-203
クイックコピーを実行するとブザーが鳴りエラーとなる.....	17-203
コピーデータを見せないようにできますか？.....	17-203

バックアップ、データコピー機能について

バックアップ、データコピー後にデータを参照したい.....	17-204
バックアップ、データコピーにかかる時間について.....	17-204
スケジュール設定をした場合、更新されたデータのみバックアップされますか？.....	17-204
バックアップログメールが送信されない.....	17-204
バックアップ、データコピー先のデータを見せないようにできますか？.....	17-204
エラーのログが表示された、バックアップ（データコピー）を実行するとブザーが鳴りエラーとなる.....	17-205

内蔵ディスク、USB HDD について

[USB ポート 1] に USB HDD をつないでも利用できない	17-206
USB HDD をつなぐとブザーが「ピーピーピー」と鳴り、STATUS ランプが赤く点灯したままとなる	17-206
つないでいた USB HDD をパソコンで使う場合は？	17-206
ハードディスクの不良でカートリッジ交換が必要な場合は？	17-206
本製品につなぐことができる USB HDD について	17-206
デフラグ機能はありますか？	17-206
省電力機能が働かない	17-206

タイムサーバー機能使用時のトラブル

タイムサーバーとの同期が行われぬ	17-207
--	--------

NT ドメイン・Active Directory 使用時のトラブル

NT ドメインへの参加ができない	17-208
Active Directory への参加ができない	17-208
ドメインモードに切り替えると共有にアクセスできなくなった	17-208

メール送信でのトラブル

自己診断のメール送信テストでエラーとなる	17-209
--	--------

CSV 一括登録でのトラブル

CSV 一括登録でエラーが表示される	17-210
--	--------

パソコンのネットワーク設定について

パソコンの IP アドレスがわからない	17-211
Windows パソコンの [ワークグループ名] がわからない	17-211
(Windows) ネットワークドライブの割り当て方法がわからない	17-211
(Windows) [ローカルエリア接続] アイコンに×マークが付いている	17-211
パソコンに固定の IP アドレスを設定するには	17-212
パソコンに固定の IP アドレスを設定する方法	17-212
Windows 10、8 の場合	17-212
Windows 7 の場合	17-213
Windows Vista の場合	17-214
macOS の場合	17-215

ランプが赤く光ったら

STATUS ランプが赤く点灯・点滅したら、何らかのお知らせがあります。

[【STATUS ランプが赤く点灯・点滅したら…】 \(18-213 ページ\)](#) をご覧になり、状況を確認してください。

「構成異常」と表示され、「ピッ、ピッ、ピッ」と鳴り続ける

対処 一部のカートリッジに異常があり、内蔵ディスクにエラーが発生したおそれがあります。
ボリューム情報画面で、内蔵ディスクの状態を確認してください。
故障や異常と表示されたカートリッジは、速やかに正常なカートリッジと交換してください。

「崩壊」と表示され、「ピーポーピーポー」と鳴り続ける

対処 RAID 崩壊の状態です。
SELECT ボタンを押してブザーを止めた後、RAID の再構成をおこなってください。
([【RAID が崩壊していたら…】 \(19-216 ページ\)](#) 参照)

電源を入れたら、「DHCP 失敗」と表示され、「ピーピーピー」と鳴った

対処 本製品が正しくつながれていないおそれがあります。
いったん本製品の POWER ボタンを押して電源を切り、以下を確認してください。

- LAN ケーブルが本製品の **LAN1 ポート** につながれていること
- ブロードバンドルーター等の LAN ポートにつながれていること

対処 DHCP サーバーから本製品の IP アドレスを取得できていないおそれがあります。以下をご確認ください。

- つないだネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していること

※ DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、以下の IP アドレスが設定されます。

LAN1 ポートの IP アドレス：192.168.0.200
LAN2 ポートの IP アドレス：192.168.10.200

- つなぐ LAN ポートが間違っていないこと（ケーブルをつなぎ直してみる）
- DHCP サーバーの割り当てリスト（リースアドレスプール）に余裕があること
（DHCP サーバーの設定画面をご覧ください）
- DHCP サーバーがあること（パソコンと本製品を直接つないだ場合を含む）
DHCP サーバーがない環境などでは、本製品の IP アドレスを手動で設定してください。
([【設定画面を開く】 \(1-8 ページ\)](#) 参照)

「USBx : マウント失敗」と表示され、「ピーピーピー」と鳴った

対処 USB ポートにつないだ USB 機器が、本製品が取り扱えない USB 機器、あるいは、本製品が取り扱えないフォーマット形式のおそれがあります。
該当する USB 機器を取り外してください。

「ミラー開始失敗」と表示され、「ピーピーピー」と鳴った

対処 USB ポート 3 につないだ USB HDD に以下のおそれがあります。
[情報・ログ表示] → [ボリューム情報] をクリックし、状況を確認してください。
・本製品の容量よりも容量が小さい..... [【ミラーリングに使える USB HDD】 \(9-87 ページ\)](#)
・フォーマットされ、内部にデータが存在する..... 内部のデータを確認し、問題無ければ [【ミラーリングする】 \(9-88 ページ\) の操作をしてください。](#)
・故障している..... 新しい USB HDD と交換してください。

「時刻同期失敗」と表示された

対処 インターネットにつなげられず、時刻を NTP サーバーと同期できませんでした。
本製品をつないでいる環境が、インターネットにつなげられることをご確認ください。
※常時インターネットにつなげられない環境の場合は、「時刻設定」を [手動] に設定してください。
[【日付と時刻を設定する】 \(13-107 ページ\) 参照](#)

「ファームウェア サーバー接続失敗」と表示された

対処 インターネットにつなげられず、ファームウェアの確認を実行できませんでした。
本製品をつないでいる環境が、インターネットにつなげられることをご確認ください。
※常時インターネットにつなげられない環境の場合は、「自動更新」を [無効] にしてください。
[【ファームウェアの自動更新設定をする】 \(13-115 ページ\) 参照](#)

「パッケージ サーバー接続失敗」と表示された

対処 インターネットにつなげられず、パッケージの確認を実行できませんでした。
本製品をつないでいる環境が、インターネットにつなげられることをご確認ください。
※常時インターネットにつなげられない環境の場合は、「自動更新」を [無効] にしてください。
[【パッケージの自動更新設定をする】 \(11-99 ページ\) 参照](#)

カートリッジの取り付け後に、HDD ランプが赤く点滅している

対処 [【カートリッジの取り付け後に、HDD ランプが赤く点滅している】\(17-201 ページ\) 参照](#)

USB HDDをつなぐと、STATUSランプが赤く点灯し、ブザーが「ピーピーピー」と鳴る

対処 ●ミラーリング使用時

[【USB HDDをつなぐと、STATUSランプが赤く点灯し、ブザーが「ピーピーピー」と鳴る】\(17-202 ページ\) 参照](#)

●共有モード使用時

[【USB HDDをつなぐとブザーが「ピーピーピー」と鳴り、STATUSランプが赤く点灯したままとなる】\(17-206 ページ\) 参照](#)

クイックコピーを実行するとブザーが鳴りエラーとなる

対処 [【クイックコピーを実行するとブザーが鳴りエラーとなる】\(17-203 ページ\) 参照](#)

エラーのログが表示された、バックアップ (データコピー) を実行するとブザーが鳴りエラーとなる

対処 [【エラーのログが表示された、バックアップ \(データコピー\) を実行するとブザーが鳴りエラーとなる】\(17-205 ページ\) 参照](#)

STATUSランプが赤点滅、ブザーがピッピッと鳴り続く

対処 ● ロックキーが見つからない (セキュリティロックモード)

⇒ ロックキーを製品につなぐか、キーサーバーを起動してください。

[【暗号化ボリュームにアクセスする】\(3-34 ページ\) 参照](#)

セットアップ時のトラブル

macOS と Windows が混在している環境では、どのパソコンから設定すればいい？

対処 本製品は、本製品と同一ネットワーク内のすべてのパソコン（Windows/macOS）から、すべての設定ができます。

また、添付ソフト「Magical Finder」を使うと、かんたんに本製品の IP アドレスを設定できます。

現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない

対処 お使いのネットワーク環境に、「ブロードバンドルーター」「ルーター機能付きの ADSL モデムや光ケーブル終端装置」「Windows NT 系のサーバー」などがある場合は、これらの DHCP サーバー機能を使っている可能性があります。

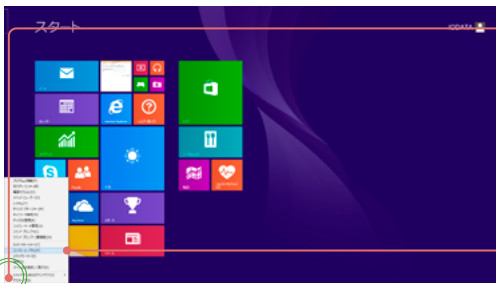
以下の【方法1】あるいは【方法2】などの手順で確認できます。

【方法1】 パソコンの IP アドレスの設定で確認

すでにネットワーク内にあるインターネットなどに正常にアクセスできるパソコンの IP アドレスの設定で確認できます。（IP アドレスの設定が“DHCP サーバーから取得する”設定になっていて正常に LAN 内で使えている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあります。）

Windows 10、8 の場合

1

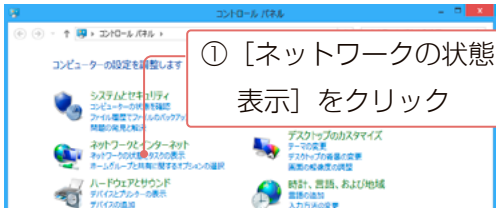


①画面の左下を右クリック

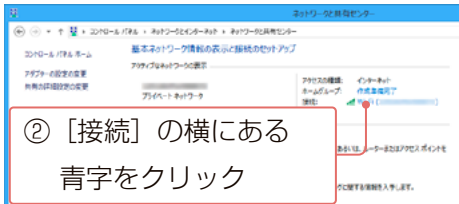
メニューが表示される

② [コントロールパネル] をクリック

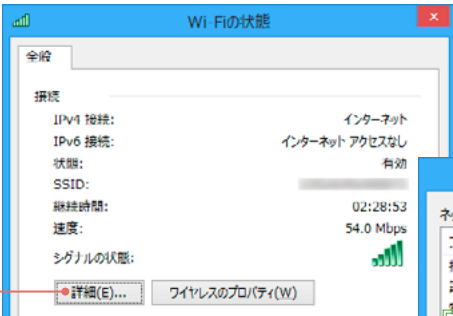
2



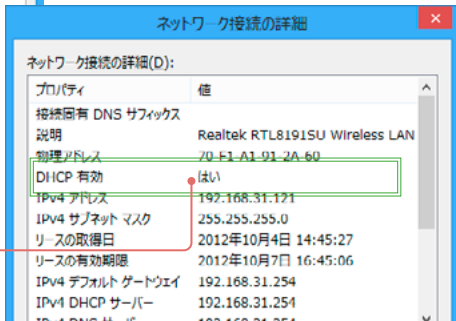
① [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリック



② [接続] の横にある青字をクリック



③ [詳細] をクリック



④ [DHCP 有効] が [はい] なら DHCP サーバーがある

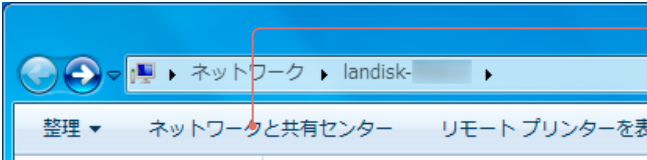
プロパティ	値
接続固有の DNS サフィックス	
説明	Realtek RTL8191SU Wireless LAN
物理アドレス	70-E1-A1-91-2A-60
DHCP 有効	はい
IPv4 アドレス	192.168.31.121
IPv4 サブネット マスク	255.255.255.0
リースの取得日	2012年10月4日 14:45:27
リースの有効期限	2012年10月7日 16:45:06
IPv4 デフォルト ゲートウェイ	192.168.31.254
IPv4 DHCP サーバー	192.168.31.254
IPv4 DNS サーバー	192.168.31.254

Windows 7、Vista の場合

1 **Windows 7 の場合** [スタート] → [コンピューター] → [ネットワーク] をクリック

Windows Vista の場合 [スタート] → [ネットワーク] をクリック

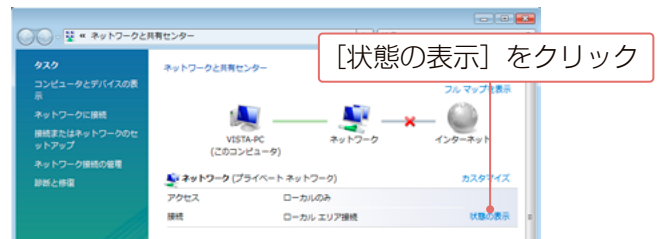
2 [ネットワークと共有センター] をクリック



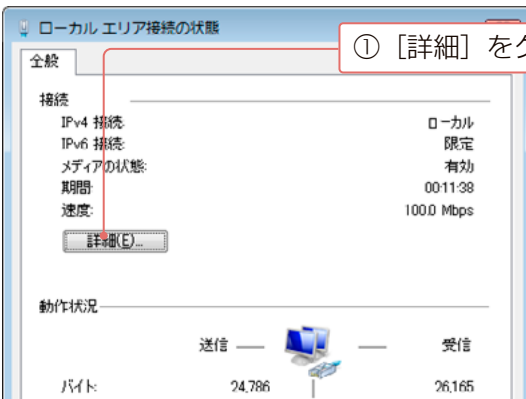
3 **Windows 7 の場合**



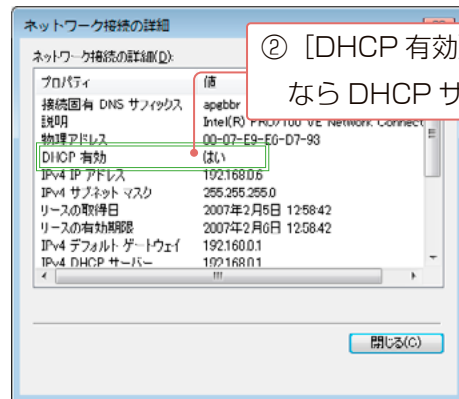
Windows Vista の場合



4 ① [詳細] をクリック



② [DHCP 有効] が [はい] なら DHCP サーバーがある



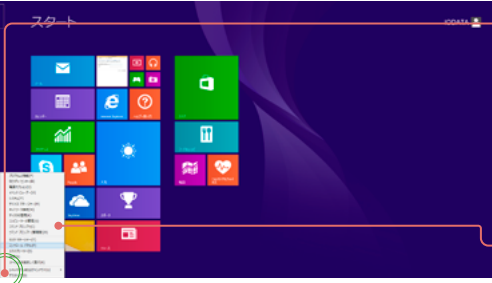
セットアップ時のトラブル（つづき）

【方法2】 Windows 標準のコマンドを使って確認する

Windows 標準のコマンド「コマンドプロンプト」で DHCP サーバーを利用しているかを確認できます。

1

Windows 10、8 の場合



①画面の左下を右クリック

メニューが表示される

② [コマンドプロンプト] をクリック


Windows 7、Vista の場合

[スタート] → [(すべての) プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] をクリック

2

"ipconfig /all" (、はスペース) と入力して、[Enter] キーを押す

3



[DHCP サーバー] (または [DHCP Server]) 欄にアドレス (DHCP サーバーのアドレス) が表示されていれば、DHCP サーバーがある

【Magical Finder】で本製品が検索されない

対処 本製品が正しくつながっていないおそれがあります。以下を確認してください。

- 本製品の電源が入っていること（POWER ランプが緑色に点灯）
- LANケーブルが**LAN1ポート**につながれていること（LAN1ポートのACT/LINKランプが点灯/点滅）
- 本製品をつないだブロードバンドルーター等のLANポートのランプが点灯または点滅していること

対処 本製品が起動中の場合、起動するまで（STATUS ランプが緑色に点灯*）お待ちください。

※ DHCP サーバーの無いネットワークにはじめて接続した場合は、赤く点灯します。

対処 セキュリティー関連のソフトウェアが制限しているおそれがあります。

詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

- セキュリティ関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。
- 一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、ファイアウォールソフトの除外設定をすると、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。

Windows ファイアウォール機能の除外設定

1

あらかじめ「Magical Finder」をインストールする

2

コントロールパネルを開く

コントロールパネルの開き方

- Windows 10、8 の場合
【[方法1](#)】パソコンのIPアドレスの設定で確認【17-185ページ】を参考にしてください。
- Windows 7、Vista の場合
[スタート] → [コントロールパネル] をクリック

3

「Windows ファイアウォール」で「Magical Finder」を除外する

Windows ファイアウォールの除外設定

- Windows 10 の場合
 - ①コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォール」と入力
 - ② [Windows ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可] をクリック
 - ③ [設定の変更] をクリック
 - ④ [Magical Finder] をチェックし、[OK] ボタンをクリック
- Windows 8 の場合
 - ①コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォール」と入力
 - ② [Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可] をクリック
 - ③ [設定の変更] をクリック
 - ④ [Magical Finder] をチェックし、[OK] ボタンをクリック
- Windows 7 の場合
 - ①コントロールパネルの検索に [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] と入力
 - ②画面内の [設定の変更] をクリック
 - ③ [Magical Finder] をチェックし、[OK] ボタンをクリック
- Windows Vista の場合
 - ①コントロールパネルの [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] を開く
 - ② [例外] タブの [プログラムの追加] をクリック
 - ③ [Magical Finder] をチェックし、[OK] ボタンをクリック

（macOS） パソコンに直接つないだ後、本製品の設定画面が表示されない

対処 本製品が正しくつながれていないおそれがあります。以下を確認してください。

- 本製品の電源が入っていること（POWER ランプが緑色に点灯）
- LAN ケーブルが **LAN1 ポート** につながれていること（LAN1 ポートの ACT/LINK ランプが点灯 / 点滅）
- 本製品をつないだブロードバンドルーター等の LAN ポートのランプが点灯または点滅していること

対処 本製品とパソコンの IP アドレスが合っていないおそれがあります。

パソコンと本製品を直接つないで設定画面を開くには、以下の設定にする必要があります。

①本製品の STATUS ランプを確認してください。

赤色に点灯している場合

本製品の LAN1 ポートの IP アドレスは 192.168.0.200 に設定されています。

緑色に点灯している場合

本製品の IP アドレスは、設定画面で設定した値に設定されています。

本製品の IP アドレスが分からない場合は、[【本製品に設定した IP アドレスを忘れた（本製品の IP アドレスを調べたい）】（17-200 ページ）](#) をご覧ください。

②パソコンの IP アドレスを設定します。

本製品の IP アドレスと同じセグメントのアドレスに設定します。

例) 本製品が 192.168.0.200 の場合…パソコンは 192.168.0.123 などに設定します。

パソコンの IP アドレスの設定方法がわからない場合は、[【パソコンに固定の IP アドレスを設定する方法】（17-212 ページ）](#) をご覧ください。

③ IP アドレスを設定できましたら、Web ブラウザーを起動し、アドレス欄に以下を入力して開きます。

http://192.168.0.200/ ※本製品の IP アドレスが 192.168.0.200 の場合

本製品の IP アドレスを変更されている場合は、変更した IP アドレスを入力してください。

対処 セキュリティー関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）が制限しているおそれがあります。

詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

- ファイアウォールソフトの動作を一時的に停止していただき、設定画面を表示してください。
- 設定画面が表示された場合は、ファイアウォールソフトの除外設定をすると、ファイアウォールソフトを動作させたまま、設定画面を表示できるようになります。

対処 Web ブラウザーがプロキシ経由でインターネット接続する設定の場合、プロキシサーバーを使わない設定にしてください。本製品の設定終了後は、プロキシ設定を元に戻してください。

[【macOS でプロキシサーバー設定を無効にする設定】（17-190 ページ）](#) をご覧ください。

対処 以前に設定した本製品の IP アドレスが正しくないおそれがあります。

RESET ボタンで、LAN1 ポートの IP アドレスを出荷時設定（192.168.0.200）に戻してください。


[【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（14-124 ページ）](#)

出荷時設定に戻した後、再度、最初から本製品の IP アドレスの設定をやり直してください。

[【設定画面を開く】（1-8 ページ）](#) 参照

macOS でプロキシサーバー設定を無効にする設定


1



①アップルメニューをクリック

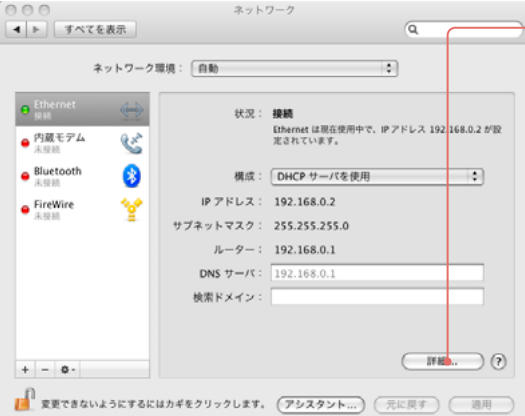
② [システム環境設定] をクリック

2



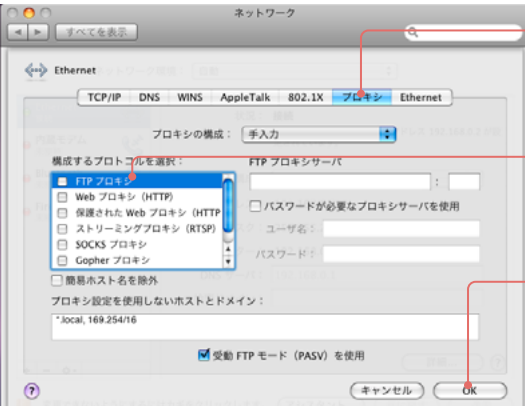
[ネットワーク] を開く

3



[詳細] をクリック

4



① [プロキシ] タブをクリック

② [FTP プロキシ] の **チェックを外す**

③ [OK] をクリック

LAN DISK の名前を変更したい

対処 [\[LAN DISK の名前を変更する\]](#) (13-107 ページ) をご覧ください。

ACT/LINK ランプが点灯あるいは点滅していない

対処 本製品が正しくつながれていないおそれがあります。以下を確認してください。

- 本製品の電源が入っていること（POWER ランプが緑色に点灯）
- 本製品をつないだブロードバンドルーター等の LAN ポートのランプが点灯または点滅していること

ファイアウォールソフトで、LAN DISK に対してアクセスを許可させたい場合、どのポート番号で設定すればよいかわからない

対処 ファイアウォールソフト側で、以下を許可するように設定してください。

UDP…51054 番、51065 番のポート

TCP…137～139 番、445 番、51055 番のポート

パソコンの IP アドレスがわからない

対処 添付ソフト「Magical Finder」の「IP 設定」で確認できます。

【ミラーディスクの取り外し】をおこなった USB HDD から起動できない

対処 USB HDD の電源が入っていないおそれがあります。

USB HDD の電源ケーブルをご確認ください。

対処 USB HDD が USB ポート 3 につないでいることをご確認ください。

対処 つないでいる USB HDD が、ミラーディスクの取り外しをおこなった USB HDD かご確認ください。

本製品へのアクセス時のトラブル

「landisk-xxxxxx」のアイコンを開いたり、共有フォルダーを開こうとすると、「アクセス権限が無い」とエラーが表示されたり、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される

- 対処 ネットワークログオン時に入力するユーザー名/パスワードと本製品に登録したユーザーのユーザー名/パスワードが一致するように、本製品とパソコンの設定をご確認ください。
パソコンの設定については、次を確認してください。
- ▼ Windows の場合
OS 側にユーザー登録しなおします。
ユーザー登録されていない場合には、本製品に登録したユーザー名/パスワードと同じユーザーアカウントを作成してください。
 - ▼ macOS の場合
[移動] → [サーバへ接続...] で本製品の IP アドレスを設定後、[接続] ボタンをクリックした際に表示される画面で、[登録ユーザー] を選択し、[名前] と [パスワード] に本製品に登録したユーザー名/パスワードを入力してください。

macOS から書き込んだファイルを Windows から削除すると、本製品の共有へ macOS からファイル保存ができなくなる

- 対処 macOS のデスクトップ上にマウントした共有をゴミ箱へ捨て、再度 Finder から本製品の共有へアクセスしてください。

本製品にネットワーク経由で接続するパソコンの台数に制限はありますか？

- 対処 本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数について、Windows では制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。

Windows	推奨する同時接続台数は 50 台まで（ネットワークドライブの割り当ても同様です。） ※ Windows では制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。
macOS	推奨する同時接続台数は 8 台まで（最大 16 台まで） ※ AppleShare パッケージの追加が必要です。

LAN DISK にアクセスできないパソコンがある (他のパソコンからはすでに LAN DISK にアクセスできている場合)

対処 すでに別のパソコンが LAN DISK にアクセスできている場合、LAN DISK 自体の動作、設定には問題がありません。そのため、LAN DISK 自体の設定変更をする必要はありません。
LAN DISK にアクセスできないパソコンで以下の点をご確認ください。

▼ Windows の場合

「コンピューターの検索」にて LAN DISK の名前ではなく、本製品に設定されている IP アドレスで検索を行ってみてください。

● IP アドレスの検索で見つかる場合

TCP/IP で正しく通信できていますので、IP アドレス設定は正常です。

また、検索の結果表示された共有フォルダーへのアクセスをお試しくささい。

● IP アドレスの検索で見つからない場合

検索した IP アドレスが LAN DISK に設定されたものではない、または IP アドレスが正しく設定されていない可能性があります。以下の点をご確認ください。

① [コマンドプロンプト] を起動します。

[【方法2】Windows 標準のコマンドを使って確認する】\(17-187 ページ\)](#)の手順1を参考に起動します。

② “ping 192.168.0.200”（ はスペース）と入力して、[Enter] キーを押します。

※上記は、本製品の IP アドレスが 192.168.0.200 の場合です。

③ 応答メッセージが表示されますので、メッセージ内容によりそれぞれの対処をご確認ください。

< 「Reply from . . .」 と応答があった場合 >

OS のファイル共有サービスが正しく動作していない可能性があります。

お使いの LAN アダプターのドライバーを再インストールしてみてください。

< 「Request time out」 と応答があった場合 >

・本製品の IP アドレスが、パソコンの IP アドレスと同じセグメントの IP アドレスになっているかを確認してください。[Magical Finder] より確認することができます。

・ファイアウォールソフトがインストールされている場合には、一時的に機能を無効にしてみてください。

▼ macOS の場合

[【\[\[landisk-xxxxxx\] が見つからない、もしくは、接続できない】\(17-195 ページ\)](#)

● Windows の場合

【コンピューターの検索】 で 【landisk-xxxxxx】 が見つからない

対処 サービスが有効になっていないおそれがあります。

- 設定画面の [システム] → [サービス設定] で、[Microsoft ネットワーク] にチェックが入っていますか？
- 設定画面の [共有] → [フォルダー] → [一覧] より、アクセスしたい共有フォルダーの [変更] をクリックし、[Microsoft ネットワーク共有] が有効になっていますか？

対処 表示に時間がかかっていることが考えられます。

エクスプローラーの [表示] メニュー → [最新の情報に更新] をクリックしてください。

対処 本製品が正しくつながれていないおそれがあります。以下を確認してください。

- 本製品の電源が入っていること（POWER ランプが緑色に点灯）
- LANケーブルが**LAN1ポート**につながれていること（LAN1ポートのACT/LINKランプが点灯/点滅）
- 本製品をつないだブロードバンドルーター等の LAN ポートのランプが点灯または点滅していること

対処 セキュリティー関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）が制限しているおそれがあります。

詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

[出荷時 コンピューター名 landisk-xxxxxx* IP アドレス (LAN1 ポート) 192.168.0.200]

※ xxxxxx は、LAN1 ポートの MAC アドレス下 6 桁です。

対処 Windows が保持している情報が古いおそれがあります。

パソコンを一度再起動してください。

対処 ネットワークに問題があるおそれがあります。以下を確認してください。

- 本製品の設定画面を開けること
- LAN アダプターが正常に認識されていること（詳しくは、LAN アダプターの取扱説明書をご覧ください。）

対処 本製品で設定した LAN1 ポートの IP アドレス (出荷時 192.168.0.200) を入力して検索してください。

※本製品の IP アドレスは、「Magical Finder」で確認することができます。

対処 本製品の IP アドレスが正しくないおそれがあります。以下をご確認ください。

- ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーをお使いの環境の場合
いったん本製品の電源を入れ直して、再度検索できるかどうかお試しください。
- DHCP サーバーがない環境などでは、本製品の IP アドレスを手動で設定してください。
（[【設定画面を開く】（1-8 ページ）](#) 参照）

対処 本製品の [LAN DISK の名前] を、お使いの LAN DISK と重複しないように変更してください。

対処 本製品とパソコンのワークグループ名を一致するように設定してください。

- 本製品側の確認方法.....設定画面の [情報・ログ表示] → [ネットワーク情報]
- パソコン側の確認方法.....[【Windows パソコンの \[ワークグループ名\] がわからない】（17-211 ページ）](#)

Windows 上から本製品を参照した場合に、見覚えのないフォルダーやファイルがある

対処 アプリケーションによっては、作業ファイルを作成・削除するものがあります。
そのため、[trashbox] フォルダーにファイルやフォルダーがある場合があります。

ユーザー権限共有フォルダーにログオンしようとする、エラーメッセージが出てきてログオンができない

対処 LAN DISK に登録したユーザー名・パスワードを、Windows でも作成し、Windows へログオン時にそのユーザー名・パスワードを使ってログオンしてください。

LAN DISK を検索すると「プリンタとFAX」（「プリンタ」）のアイコンが出ますが削除はできますか？

対処 削除はできません。

共有フォルダーを開こうとすると、「組織のセキュリティポリシーによって非認証のゲストアクセスがブロックされているため…」と表示される

対処 Windows 10 Enterprise や Windows 10 Education、Windows Server 2016 などでは、セキュリティの観点から詳細アクセス権が無効の共有フォルダーにアクセスできない場合があります。
共有フォルダーに詳細アクセス権を設定してお使いいただくことをおすすめいたします。
※どうしても詳細アクセス権が無効の共有フォルダーにアクセスしたい場合
ローカルグループポリシーエディターでセキュリティを下げるように設定すると、アクセスできるようになります。
①画面左下の検索欄に「gpedit」と入力し、「グループポリシーの編集」を開く
② [コンピューターの構成] → [管理用テンプレート] → [ネットワーク] → [Lanman ワークステーション] を開く
③ [安全でないゲストログオンを有効にする] をダブルクリック
④ [有効] を選び、[OK] をクリック

● macOS の場合

[landisk-xxxxxx] が見つからない、もしくは、接続できない

対処 AppleShare パッケージをインストールします。（[\[パッケージ（追加機能）\]（11-96 ページ）](#) 参照）

設定画面に関するトラブル

(Windows) ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない

対処 添付の CD-ROM 内の Magical Finder を起動し、本製品を検索してください。

([【設定画面を開く】\(1-8 ページ\)](#) 参照)

対処 セキュリティー関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）が制限しているおそれがあります。

詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

- ファイアウォールソフトの動作を一時的に停止していただき、設定画面を表示してください。
- 設定画面が表示された場合は、ファイアウォールソフトの除外設定をすると、ファイアウォールソフトを動作させたまま、設定画面を表示できるようになります。

Windows ファイアウォール機能の除外設定

● Windows 10 の場合

- ①画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックします。
- ②メニューが表示されたら、[コントロールパネル] をクリックします。
- ③コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォール」と入力します。
- ④「Windows ファイアウォール」の [Windows ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可] をクリックし、画面内の [設定の変更] をクリックします。
- ⑤一覧から [Magical Finder] を選択し、チェックボックスにチェックをつけた後、[OK] をクリックします。

● Windows 8 の場合

- ①画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックします。
- ②メニューが表示されたら、[コントロールパネル] をクリックします。
- ③コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォール」と入力します。
- ④「Windows ファイアウォール」の [Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可] をクリックし、画面内の [設定の変更] をクリックします。
- ⑤一覧から [Magical Finder] を選択し、チェックボックスにチェックをつけた後、[OK] をクリックします。

● Windows 7 の場合

- ①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。
- ②[スタート]→[コントロールパネル]を開き、コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」と入力します。
- ③「Windows ファイアウォール」→[許可されたプログラム]の画面が開いたら、画面内の [設定の変更] をクリックします。
- ④一覧から [Magical Finder] を選択し、チェックボックスにチェックをつけた後、[OK] をクリックします。

● Windows Vista の場合

- ①あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。
- ②[スタート] → [コントロールパネル] → [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] を開きます。
※ユーザアカウント制御の確認画面が表示された場合は [続行] をクリックします。
- ③ [例外] タブをクリックし、[プログラムの追加] をクリックします。
- ④一覧から [Magical Finder] を選択し、[OK] をクリックします。
- ⑤「プログラムまたはポート」の一覧に [Magical Finder] が追加されることを確認し、[OK] をクリックします。

（macOS） ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない

- 対処 本製品が正しくつながっていないおそれがあります。以下を確認してください。
- 本製品の電源が入っていること（POWER ランプが緑色に点灯）
 - LANケーブルが**LAN1ポート**につながれていること（LAN1ポートのACT/LINKランプが点灯/点滅）
 - 本製品をつないだブロードバンドルーター等の LAN ポートのランプが点灯または点滅していること
- 対処 セキュリティー関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）が制限しているおそれがあります。詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- ファイアウォールソフトの動作を一時的に停止していただき、設定画面を表示してください。
 - 設定画面が表示された場合は、ファイアウォールソフトの除外設定をすると、ファイアウォールソフトを動作させたまま、設定画面を表示できるようになります。
- 対処 Web ブラウザーがプロキシ経由でインターネット接続する設定の場合、プロキシサーバーを使わない設定にしてください。本製品の設定終了後は、プロキシ設定を元に戻してください。
- [【macOS でプロキシサーバー設定を無効にする設定】（17-190 ページ）](#) をご覧ください。
- 対処 以前に設定した本製品の IP アドレスが正しくないおそれがあります。RESET ボタンで、LAN1 ポートの IP アドレスを出荷時設定（192.168.0.200）に戻してください。
- [（【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（14-124 ページ）参照）](#)
- 出荷時設定に戻した後、再度、最初から本製品の IP アドレスの設定をやり直してください。
- [（【設定画面を開く】（1-8 ページ）参照）](#)

設定画面で一部表示されない項目がある

- 対処 セキュリティー関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）が制限しているおそれがあります。詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- ファイアウォールソフトの動作を一時的に停止していただき、設定画面を表示してください。
 - 設定画面が表示された場合は、ファイアウォールソフトの除外設定をすると、ファイアウォールソフトを動作させたまま、設定画面を表示できるようになります。
- 対処 Web ブラウザーのセキュリティレベルが高く設定されていることが考えられます。本製品の設定時のみセキュリティレベルを「中」に設定してください。設定後は、元の「高」設定に戻してください。

例：Internet Explorer 8 の設定方法

- ①コントロールパネルの「インターネット オプション」を開きます。（「表示方法：」がカテゴリ以外の場合）
- ②「セキュリティ」タブを表示し、「このゾーンのセキュリティのレベル」を「中高」に設定します。
- ③ [OK] をクリックします。

空き容量が実際より少なく見える

対処 各共有フォルダー内の [trashbox] フォルダー内のファイルを削除してください。

設定画面で文字が入力できない

対処 一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。

対処 入力できる文字かを確認してから入力してください。
[【文字制限一覧】（15-138 ページ）](#) をご覧ください。

設定画面上から入力できる文字制限について

対処 [【文字制限一覧】（15-138 ページ）](#) をご覧ください。

設定画面にログインするためのパスワードがわからない

対処 再度パスワードをご確認いただき、入力しなおしてください。

※パスワードを忘れてしまった場合は、[【IPアドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（14-124 ページ）](#) をご覧になり、出荷時状態に戻してください。

次のメッセージが表示された 「現在システムは処理中です。しばらく待ってから操作してください。」

対処 設定処理実行中に他の設定をしようとしたおそれがあります。
他の設定処理が実行中でないかご確認ください。

対処 ファームウェアが正しく動作していないおそれがあります。

①いったん、本製品の電源を入れ直して、同様の操作を試みてください。

②本製品の初期化をおこなってください。詳しくは、[【出荷時設定に戻す】（14-124 ページ）](#) をご覧ください。

設定画面上のハードディスク使用領域が、ドライブのプロパティと異なる

対処 ハードディスクに問題はありません。本製品が使うファームウェアの制限です。

設定画面の動作が遅い

対処 処理が終了するまでお待ちください。

以下の動作中は、本製品の操作・動作が遅くなる場合があります。

- ・バックアップ中
- ・データコピー中
- ・アクティブリペア中
- ・RAID 再構築中
- ・ファイル共有サービス転送中 / 再生中
- ・スピンドアアップ中

ほとんど使っていないのに使用容量が多い

対処 本製品のシステム用に、約 6GB を使っています。

そのため、使用容量が実際にお使いの容量よりも多くなってしまいます。ご了承ください。

本製品の IP アドレスについて

本製品に設定した IP アドレスを忘れた（本製品の IP アドレスを調べたい）

ご注意

DHCP サーバーのあるネットワークで確認する場合は、毎回以下の手順をおこなうことをおすすめします。

DHCP サーバーは常に固定の IP アドレスを割り当てるわけではありません。

下記手順でいったん確認できた IP アドレスも、本製品の電源を入れなおした後や DHCP サーバーを再起動した場合などには、本製品やパソコンに割り当てられた IP アドレスが変更されている場合もあります。

対処 添付ソフト Magical Finder を起動してください。
表示されている [IP アドレス] が本製品の IP アドレスです。

対処 (DHCP サーバーのあるネットワークの場合)
ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバー内の情報から確認します。
詳しくは、DHCP サーバーとなっている機器の取扱説明書などをご覧ください。

ファイルの保存について

本製品に保存したファイルに、「読み込みのみ」「読み書き可能」のような属性設定ができない

対処 製品の仕様上、ファイルごとのセキュリティー設定はできません。
ファイルやフォルダーに属性やセキュリティー設定は行わないでください。

ファイル名やフォルダー名の制限について

対処 本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、文字制限があります。以下をご覧ください。
[【文字制限一覧】\(15-138 ページ\)](#) をご覧ください。

ファイルを削除するとゴミ箱にいったん入りますか？

対処 本製品のゴミ箱機能を有効(出荷時は無効)に設定した場合は、その共有フォルダーの中の [trashbox] フォルダーにいったん削除したファイルが入ります。
各 OS のごみ箱へは入らないのでご注意ください。
ゴミ箱機能を無効にして削除した場合は、そのまま削除されます。

共有フォルダーにファイルをコピーする際のサイズの制限はありますか？

対処 [【USB HDD に関するご注意】\(4-41 ページ\)](#) をご覧ください。

カートリッジ取り付け・取り外し時のトラブル

カートリッジの取り付け後に、すべての HDD ランプが速く青点滅を開始している

対処 RAID を再構築している状態です。

本製品では、RAID 再構築中でも通常通りに使うことができますので、そのままお使いください。

※ RAID 再構築中は、操作および処理が遅くなる場合があります。

※ RAID 再構築中に [POWER] ボタンを押すなどシャットダウンを行った場合は、再起動後にまた最初から RAID 再構築しますのでご注意ください。RAID の再構築の状態は、設定画面で確認することができます。

カートリッジの取り付け後に、HDD ランプが赤く点滅している

対処 [情報・ログ表示] → [ボリューム情報] 画面を開き、[内蔵ディスク] の [ディスク] の状態をご確認ください。

●取り付けたカートリッジの状態が、[容量不足] と表示されている場合

RAID に組み込むために必要なディスク容量に満たないカートリッジを取り付けています。

取り付けたカートリッジは RAID を構成するディスクとして使えないため、適切なディスク容量を持つカートリッジと交換してください。

●取り付けたカートリッジの状態が、[故障] と表示されている場合

取り付けたカートリッジから読み書きエラーや S.M.A.R.T. 診断エラーが発生しています。

取り付けたカートリッジは使われません。

新しいカートリッジを準備し、交換してください。

USB HDD とミラーリング使用時のトラブル

USB HDD をつなぐと、STATUS ランプが赤く点灯し、ブザーが「ピーピーピー」と鳴る

対処 USB ポート3につないだ USB HDD にデータが入っているおそれがあります。
消去しても問題なければ、USB HDD をつないだまま、[ボリューム] → [USB 3] → [モード設定] を開き、[ミラーリングモード] を選んで [適用] をクリックしてください。

※つないだ USB HDD が FAT/NTFS/ 専用フォーマット形式**以外**の場合
データが入っているかどうか判別できないため、ミラーリングを開始します。ご注意ください。

対処 USB ポート3につないだ USB HDD がミラーリング構成に必要な容量に満たないおそれがあります。
その場合は、適切なディスク容量を持つ USB HDD に交換してください。
必要な容量については、[【ミラーリングに使える USB HDD】\(9-87 ページ\)](#) をご覧ください。

対処 USB ポート3につないだ USB HDD は、エラーが多発し、ミラーリング構成に使えないおそれがあります。
その場合は、別の適切な USB HDD に交換してください。

USB HDD を接続しても認識されない

対処 USB HDD の電源を入れてください。

対処 複数インターフェイス対応の USB HDD の場合、本製品以外のパソコンなどにつながないでください。

クイックコピー機能について

コピー後にデータを参照したい

対処 以下をご覧ください。

[【コピーしたデータを確認する】\(8-85 ページ\)](#)

コピーにかかる時間について

対処 目安として 1GB あたり約 100 秒かかります。

コピー元・コピー先のアクセス速度やファイル構成などにより、さらに多くの時間を要する場合があります。

ログにクイックコピーのエラーが表示された クイックコピーを実行するとブザーが鳴りエラーとなる

対処 コピー先が USB HDD の場合は、接続されていること、電源が入っていること、書き込み可能なフォーマットでフォーマットされていること、ポート設定が共有モードに設定されていることをご確認ください。

対処 コピー先のディスクに空きが不足しているおそれがあります。

ディスクの使用量をご確認ください。

空き容量が不足している場合は不要なファイルを削除するなどして十分な空きを確保する必要があります。

対処 システムログの内容にエラー原因が表示されている場合がありますので、内容を確認してください。

[【システムログを確認する】\(13-116 ページ\)](#) 参照)

対処 [QuickCopy] フォルダ内の「_hdl-h_backup_log」以下に「(クイックコピー実行日時)_failed.log」というファイル名のログファイルが生成されますので、内容を確認してください。

コピーデータを見せないようにできますか？

対処 見せないようにできます。

すべてのサービスを無効にした共有フォルダーをコピー先に指定してください。

バックアップ、データコピー機能について

バックアップ、データコピー後にデータを参照したい

対処 [【バックアップしたデータを確認する】 \(8-80 ページ\)](#)、[【コピーしたデータを確認する】 \(8-85 ページ\)](#) をご覧ください。

バックアップ、データコピーにかかる時間について

対処 バックアップ（データコピー）元および先が本製品上の場合、目安として 1GB あたり約 100 秒かかります。
バックアップ（データコピー）元または先がネットワーク上の場合、ネットワークの負荷状況などにより変動しますが、さらに多くの時間を要します。

スケジュール設定をした場合、更新されたデータのみバックアップされますか？

対処 下の2つは、更新されたデータのみバックアップ（履歴差分バックアップ）となります。
・この装置上の内蔵ディスク ・専用フォーマットされた USB HDD
上記以外の共有は、更新されていないデータについてもバックアップ・データコピーされます。

バックアップログメールが送信されない

対処 [【自己診断のメール送信テストでエラーとなる】 \(17-209 ページ\)](#) をご覧ください。

バックアップ、データコピー先のデータを見せないようにできますか？

対処 対象先の共有フォルダーが本製品上にある場合は、見せないようにできます。
すべてのサービスを無効にした共有フォルダーをバックアップ先に指定してください。
対象先の共有フォルダーがネットワーク上の場合は、見せないようにすることはできません。

エラーのログが表示された、バックアップ（データコピー）を実行するとブザーが鳴りエラーとなる

対処 下の表を参考に、確認してください。

USB HDD		● USB HDD がつながっていること
		● USB HDD の電源が入っていること
	元	● 読み取り可能であること
ネットワーク上	先	● 書き込み可能なフォーマットでフォーマットされていること
		● 正しくファイルが読めること
		● ポート設定が共有モードに設定されていること
ネットワーク上		● 本製品がネットワークに接続されていること
		● ネットワーク上の装置がネットワークに接続されていること
		● ユーザー名とパスワードが正しいこと
	元	● 設定したユーザーに読み取り権限があること
	先	● 設定したユーザーに書き込み権限があること

対処 バックアップ(データコピー)先の空きが不足しているおそれがあります。ディスクの使用量を確認してください。空き容量が無い場合はバックアップ（データコピー）先に管理者（admin）でアクセスし、不要なファイルを削除する必要があります。

対処 バックアップ（データコピー）元または先のファイルシステムに異常がある可能性があります。チェックディスクにより、ファイルシステムに異常がないかご確認ください。

対処 システムログの内容にエラー原因が表示されている場合がありますので、内容を確認してください。
([【システムログを確認する】 \(13-116 ページ\)](#))

対処 [LAN DISK Log] 共有の [Backup] ([DataCopy]) の [ジョブ名] 以下に「(実行日時)_failed.log」というファイル名のログファイルが生成されますので、内容を確認してください。
([【バックアップの結果を確認する】 \(8-80 ページ\)](#))
([【データコピーの結果を確認する】 \(8-85 ページ\)](#))

内蔵ディスク、 USB HDD について

【USB ポート 1】 に USB HDD をつないでも利用できない

対処 出荷時設定では、前面の [USB ポート 1] は、クイックコピー用に設定されています。
【[USB ポート 1 \(前面\) の設定](#)】 (4-42 ページ) をご覧になり、USB ポート 1 を共有モードに変更してください。

USB HDD をつなぐとブザーが「ピーピーピー」と鳴り、STATUS ランプが赤く点灯したままとなる

対処 本製品で使えないフォーマット形式の USB HDD をつないでいます。
●いったんケーブルを抜き、パソコンなどで FAT/NTFS 形式にフォーマットしてから再度つなぐ。
●本製品でフォーマットする。(【[USB HDD をフォーマットする](#)】 (4-45 ページ) 参照)

つないでいた USB HDD をパソコンで使う場合は？

対処 FAT32 や NTFS 形式の USB HDD は、そのまま Windows でご利用になれます。
再度パソコンでフォーマットする場合は、お使いの USB HDD の取扱説明書を参照してください。
※ LAN DISK をパソコンに直接つないで、FAT32 や NTFS 形式にフォーマットすることはできません。

ハードディスクの不良でカートリッジ交換が必要な場合は？

対処 [情報・ログ表示] → [ボリューム情報] 画面を開き、[内蔵ディスク] の [ディスク] の状態をご確認ください。
取り付けたカートリッジの状態が、[故障] と表示されている場合、カートリッジの交換が必要です。

本製品につなぐことができる USB HDD について

対処 弊社 Web ページをご覧ください。 <https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm>

デフラグ機能はありますか？

対処 本製品にデフラグ機能はありませんが、本製品に採用しているファイルシステムの仕様により、フラグメンテーション（断片化）が起こりにくくなっています。

省電力機能が働かない

対処 USB HDD によっては、省電力に対応していない場合があります。
最新の対応機器については、以下のサイトをご覧ください。
<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm>

対処 本製品のシステムが必要なファイルにアクセスしています。処理が終わるまでお待ちください。

タイムサーバー機能使用時のトラブル

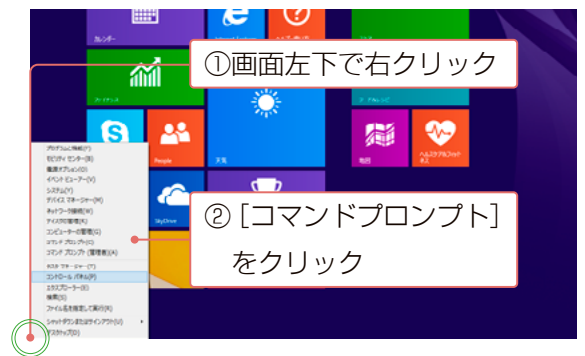
タイムサーバーとの同期が行われない

原因	正しく設定されていない。
対処	ネットワーク設定で「デフォルトゲートウェイ」と「DNS サーバー」を DHCP サーバーから自動で取得していない場合は、以下を確認してください。 設定画面の [ネットワーク] で、「デフォルトゲートウェイ」と「DNS サーバー」を正しく設定してください。 入力するデフォルトゲートウェイと DNS サーバーの IP アドレスは、パソコンで設定されているものと同じ値に設定してください。 以下の手順で確認した IP アドレスを、本製品の [ネットワーク] に入力してタイムサーバーとの同期とメール通知テストで送信ができるかどうかご確認ください。

【デフォルトゲートウェイと DNS サーバーの確認方法】

● Windows 10、8 の場合

- ①画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックします。
- ②メニューが表示されたら、
[コマンドプロンプト] をクリックします。
- ③ ipconfig /all と入力して Enter キーを押します。
- ④ [デフォルトゲートウェイ] と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。



● Windows 7、Vista の場合

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] をクリックします。
- ② ipconfig /all と入力して Enter キーを押します。
- ③ [デフォルトゲートウェイ] と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。

● macOS の場合

- ① [アップルメニュー] → [システム環境設定] で [ネットワーク] を開きます。
- ② [Ethernet] を選択し、表示された [ルーター] [DNS サーバ] の IP アドレスを確認します。

NT ドメイン ・ Active Directory 使用時のトラブル

NT ドメインへの参加ができない

- 対処 設定画面の [ユーザー & グループ] → [Microsoft ネットワーク設定] で、[ドメイン名] および [ドメインコントローラーの名前] が正しく設定されている事を確認してください。
- 対処 サーバーに本製品の名前と同じコンピューターがすでに登録されていた場合は、登録されているコンピューターをいったん削除してから再度設定を行ってください。
- 対処 設定画面の [ユーザー & グループ] → [Microsoft ネットワーク設定] で、一度ワークグループモードに設定を戻してから、再度 NT ドメインモードに設定してください。
- 対処 本製品を再起動してから、再度 NT ドメインモードに設定してください。
- 対処 ご利用のネットワークに BDC(バックアップドメインコントローラー)がある場合、以下をご確認ください。
 - ①設定画面の [ユーザー & グループ] → [Microsoft ネットワーク設定] の参加方法の設定で、[ワークグループ] を選んで設定します。
 - ② PDC(プライマリードメインコントローラー)を再起動します。
 - ③手順①を参考に、本製品を再度 NT ドメインモードに設定します。

Active Directory への参加ができない

- 対処 設定画面の [ネットワーク] → [LAN1] → [IPv4] ([IPv6]) から [DNS サーバー] を正しく設定してください。
- 対処 設定画面の [ユーザー & グループ] → [Microsoft ネットワーク設定] を正しく設定してください。
- 対処 指定の管理者ユーザーがドメインコントローラー上で Administrator 権限を有することを確認してください。また、Active Directory の仕様により、ドメインコントローラーの Administrator パスワードが一度も変更されていない場合、ログオンは失敗します。Administrator パスワードを変更してから、再度設定してください。
- 対処 ドメインコントローラーの時刻設定と LAN DISK の時刻設定が 5 分以上離れているとログオンは失敗します。その場合、両者の時刻設定を合わせてから再度設定を行ってください。
- 対処 サーバーに本製品の名前と同じコンピューターがすでに登録されていた場合は、登録されているコンピューターをいったん削除してから再度設定を行ってください。
- 対処 設定画面の [ユーザー & グループ] → [Microsoft ネットワーク設定] で、一度ワークグループモードに設定を戻してから、再度 Active Directory モードに設定してください。
- 対処 本製品を再起動してから、再度 Active Directory モードに設定してください。
- 対処 ご利用のネットワークに BDC (バックアップドメインコントローラー)がある場合、以下をご確認ください。
 - ①設定画面の [ユーザー & グループ] → [Microsoft ネットワーク設定] の参加方法の設定で、[ワークグループ] を選んで設定します。
 - ② PDC(プライマリードメインコントローラー)を再起動します。
 - ③本製品を再度 Active Directory モードに設定します。

ドメインモードに切り替えると共有にアクセスできなくなった

- 対処 ドメインモードとワークグループモードでは、ユーザー認証の方法が異なります。そのため、ドメインモードとワークグループモードを切り替えると、共有にアクセスできなくなります。

メール送信でのトラブル

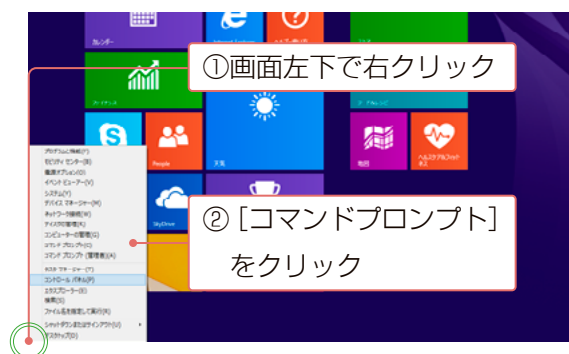
自己診断のメール送信テストでエラーとなる

対処 「デフォルトゲートウェイ」と「DNS サーバー」が正しく設定されていないおそれがあります。
(DHCP サーバーから自動で取得していない場合)
設定画面の [ネットワーク] で、「デフォルトゲートウェイ」と「DNS サーバー」をパソコンで設定されているものと同じ値に設定してください。
以下の手順で確認した IP アドレスを、設定画面の [ネットワーク] に入力してタイムサーバーとの同期とメール通知テストで送信ができるかどうかご確認ください。

【デフォルトゲートウェイと DNS サーバーの確認方法】

● Windows 10、8 の場合

- ①画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックします。
- ②メニューが表示されたら、[コマンドプロンプト] をクリックします。
- ③ ipconfig /all と入力して Enter キーを押します。
- ④ [デフォルトゲートウェイ] と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。



● Windows 7、Vista の場合

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] をクリックします。
- ② ipconfig /all と入力して Enter キーを押します。
- ③ [デフォルトゲートウェイ] と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。

● macOS の場合

- ① [アップルメニュー] → [システム環境設定] で [ネットワーク] を開きます。
- ② [Ethernet] を選択し、表示された [ルーター] [DNS サーバ] の IP アドレスを確認します。

対処 メール送信時の認証が正しくないおそれがあります。
[システム] → [通知] → [メール] → [基本設定] の [認証] で、適切な認証方式を選択し設定します。
※メール送信時の認証については、プロバイダーやメール送信サーバーの管理者にご確認ください。

対処 プロバイダーが迷惑メール送信防止措置 (OP25B) を実施しているおそれがあります。
以下のいずれかの方法を試してください。

- プロバイダーから指定された SMTP サーバーを [SMTP サーバー] に指定する。
- プロバイダー外部の SMTP サーバーを指定する場合は SMTP AUTH を使い、25 番ポートでのメール送信を行わないようにする。(SMTP サーバーが SMTP AUTH に対応している場合にに限られます。)

対処 Active Directory に参加している場合、ドメインコントローラーの DNS サーバーに転送設定がないとエラーとなります。Windows のヘルプをご覧ください、DNS サーバーの転送設定を行ってください。

CSV一括登録でのトラブル

CSV一括登録でエラーが表示される

表示 「ファイルサイズが 20MB を超えています。」

対処 20MB 以下のファイルを使ってください。

原因 「ファイルが不正です。」

対処 CSV 形式のファイルを使ってください。

原因 「設定が不正です。」

対処 設定値として以下の例のような不正な値が設定されています。CSV ファイルを修正してください。

例 1：文字制限に違反している。(【[文字制限一覧](#)】(15-138 ページ) 参照)

例 2：使用量制限が 0～99999 の範囲で、かつ小数点第 1 位以上で設定されていない。

例 3：バックアップ先に指定されている共有を非読み取り専用で設定している。

例 4：USB 共有フォルダーに対して使用量制限を 0.1 以上で設定している。

原因 「項目は対応外です。」

対処 ●設定項目定義を CSV ファイルに記述していない場合

弊社製 HDL-XR などとの互換性のための表示です。対処の必要はありません。

●設定項目定義を CSV ファイルに記述している場合

以下の例のような対応外の項目が設定されています。

例 1：項目のスペルミスがあります。→内容が正しいかご確認ください。

例 2：項目に対応するパッケージをインストールしていない。→該当のパッケージを追加してください。

原因 「Name の項目が設定されていない箇所があります。」

対処 対象の名前を指定してください。

例 1：名前の項目が空で設定されている。

例 2：設定項目定義を CSV ファイルに記述している場合、一番目(一番左)の項目に Name を定義していない。

パソコンのネットワーク設定について

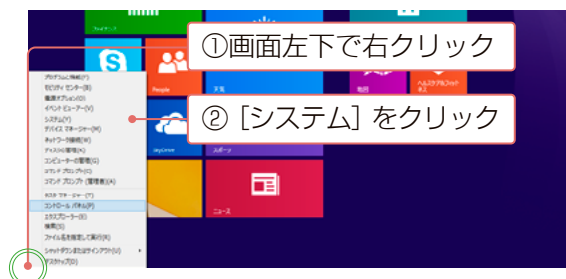
パソコンの IP アドレスがわからない

対処 添付ソフト「Magical Finder」の「IP 設定」で確認できます。

Windows パソコンの【ワークグループ名】がわからない

対処 ● Windows 10、8 の場合

- ①画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックします。
- ②メニューが表示されたら、[システム] をクリックします。
- ③「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」のワークグループの欄で確認できます。



● Windows 7 の場合

- ① [スタート] をクリック後、[コンピューター] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- ②「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」のワークグループの欄で確認できます。

● Windows Vista の場合

- ① [スタート] をクリック後、[コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- ②「コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定」のワークグループの欄で確認できます。

(Windows) ネットワークドライブの割り当て方法がわからない

対処 ①本製品の共有フォルダーにアクセスします。(【共有にアクセスする】(1-20 ページ)を参照)

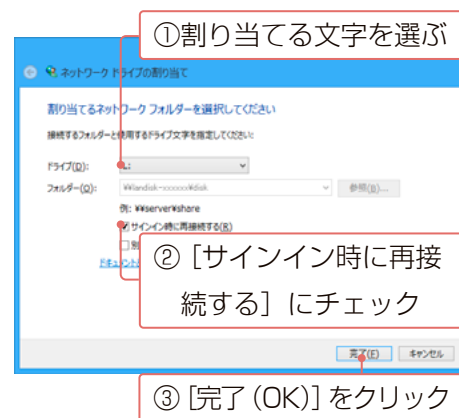
②ネットワークドライブを割り当てたい共有フォルダーを右クリックし、表示されたメニューの [ネットワークドライブの割り当て] をクリックします。

③ネットワークドライブを割り当てます。

1. [ドライブ] で本製品に割り当てる文字を選びます。
2. [サインイン時に再接続する] (または [ログオン時に再接続する]) にチェックを付けます。
3. [完了] (または [OK]) をクリックします。

※ドライブの割り当てが完了すると、割り当てられたドライブのウィンドウが表示されます。

- ④ [コンピューター] を開いて、割り当てられたドライブが認識されていることをご確認ください。ネットワークドライブは、パソコンに直接接続されたハードディスクと同様にアクセスできます。



(Windows) 【ローカルエリア接続】アイコンに×マークが付いている

対処 パソコンやネットワーク機器 (ルーターやハブ) に LAN ケーブルが繋がれているかご確認ください。

対処 LAN ケーブルに問題があるおそれがあります。LAN ケーブルを交換してお試しください。

パソコンのネットワーク設定について（つづき）

パソコンに固定の IP アドレスを設定するには

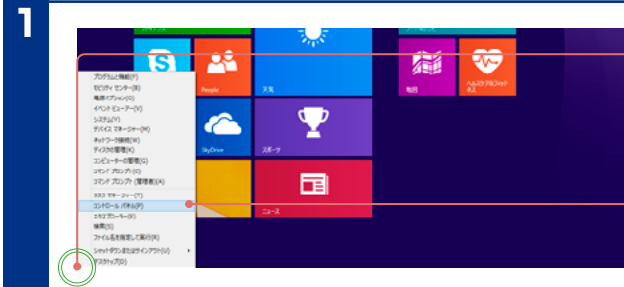
対処 以下の【パソコンに固定の IP アドレスを設定する方法】をご覧ください。

パソコンに固定の IP アドレスを設定する方法

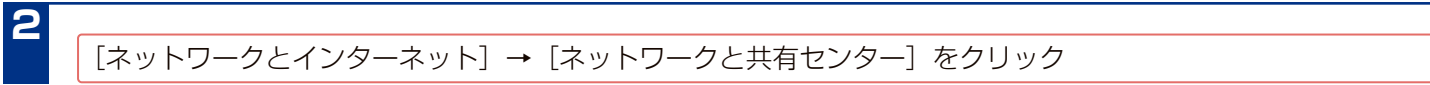
以下は、パソコンに固定の IP アドレス（例は「192.168.0.3」）を設定する場合の例です。


一時的に変更する場合などは、必ず以前の [IP アドレス] [サブネットマスク] [デフォルトゲートウェイ] などのアドレスはメモしてください。

Windows 10、8 の場合

- 

①画面左下で右クリック

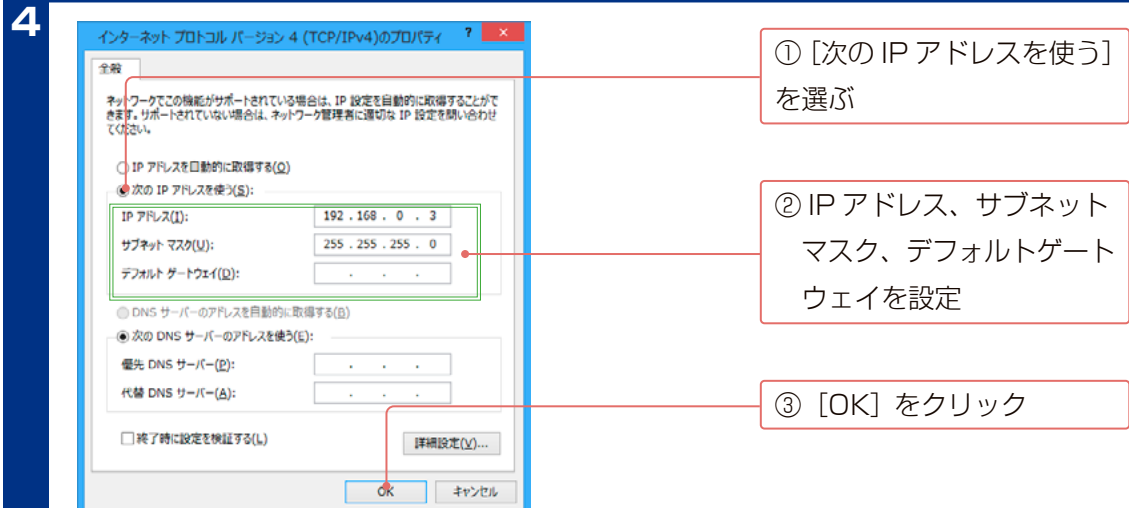
② [コントロールパネル] をクリック
- 

[ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] をクリック
- 

① [接続] 右の青字をクリック

② [プロパティ] をクリック

③ [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選ぶ

④ [プロパティ] をクリック
- 

① [次の IP アドレスを使う] を選ぶ

② IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定

③ [OK] をクリック

Windows 7 の場合

1

[スタート] → [コントロールパネル] をクリック

2

[ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] をクリック

3

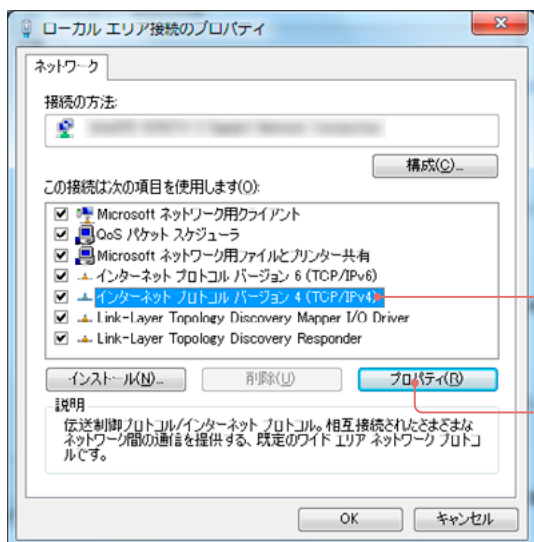


① [接続] 右の青字をクリック



② [プロパティ] をクリック

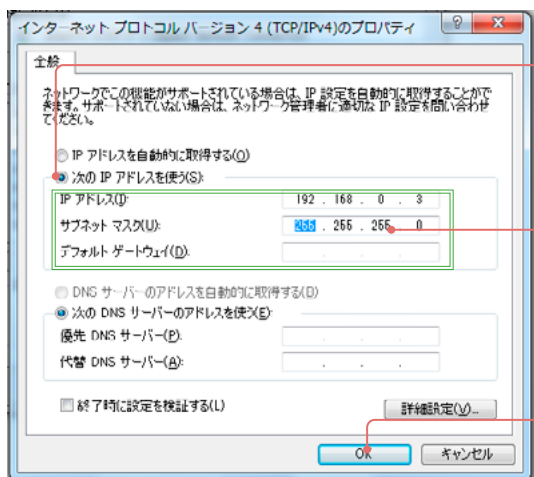
4



① [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選ぶ

② [プロパティ] をクリック

5



① [次の IP アドレスを使う] を選ぶ

② IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定

③ [OK] をクリック

Windows Vista の場合

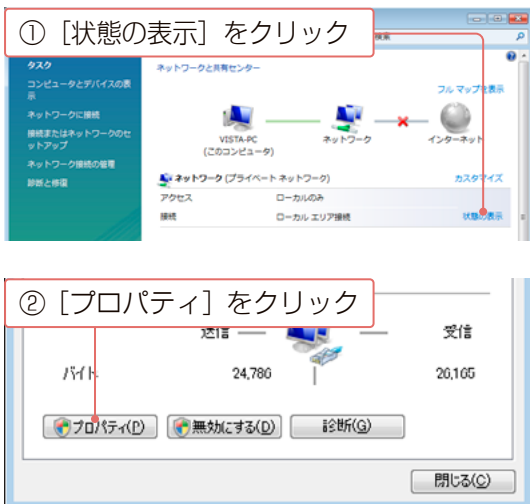
1

[スタート] → [コントロールパネル] をクリック

2

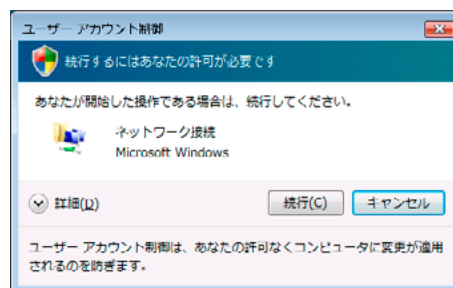
[ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] をクリック

3

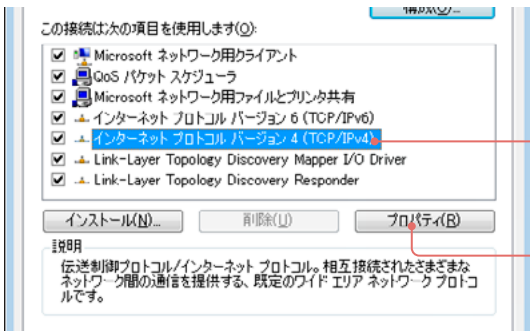


確認画面が表示されたら

[続行] をクリックします。



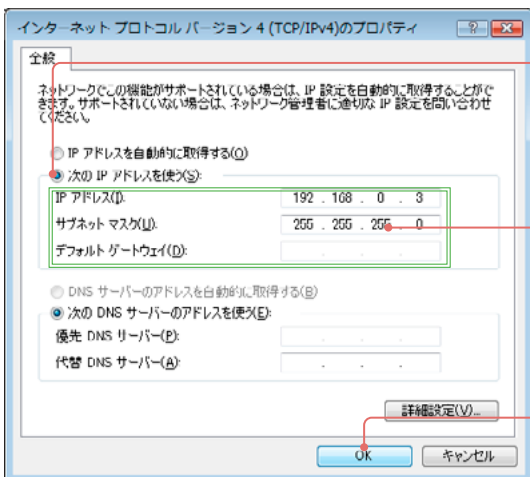
4



① [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選ぶ

② [プロパティ] をクリック

5



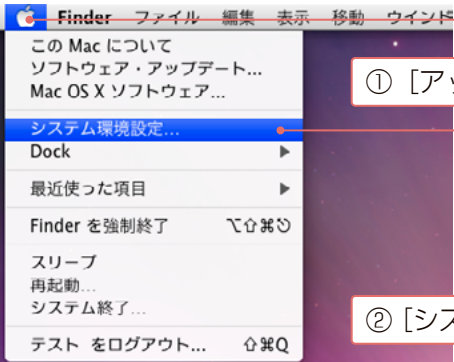
① [次の IP アドレスを使う] を選ぶ

② IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定

③ [OK] をクリック

macOS の場合


1




① [アップルメニュー] を選ぶ

② [システム環境設定] をクリック

③ [ネットワーク] をクリック



2



① [Ethernet] を選ぶ

② 「構成」で [手入力] を選ぶ

③ IP アドレス、サブネットマスク、ルーターを設定

④ [適用] をクリック

構成	手入力
IP アドレス:	192.168.0.3
サブネットマスク:	255.255.255.0
ルーター:	192.168.0.1
DNS サーバ:	192.168.0.1
検索ドメイン:	

ランプが赤く光った時の対応

本内容は本製品添付の『管理マニュアル』にも記載されています。

万が一に備えて、定期的にバックアップしてください

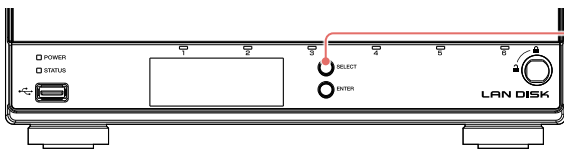
RAID 構成が崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。
バックアップして、万が一の RAID 崩壊に備えてください。

STATUS ランプが赤く点灯・点滅したら…

STATUS ランプが赤く点灯・点滅し、ブザーが鳴った場合は、状況を確認する必要があります。

1

HDL6-H (HDL4-HEX)

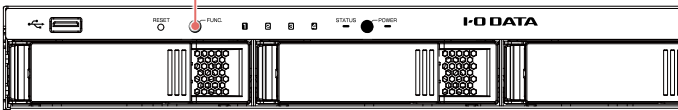


※ HDL6-H (HDL4-HEX) の例。HDL2-H のボタンは液晶表示の左側にあります。

HDL2-H

ブザーが鳴り続く場合は、SELECT ボタンを押し、
ブザーを止める
※問題が解消されていない場合は、またブザーが鳴り出すことが
あります。

HDL4-HR



ブザーが鳴り続く場合は、FUNC ボタンを押し、
ブザーを止める
※問題が解消されていない場合は、またブザーが鳴り出すことが
あります。

ログを確認する場合

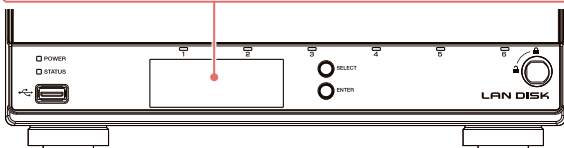
本製品の設定画面を開き、[情報・ログ表示] → [システムログ] を
クリックします。

HDL4-HR の場合、液晶表示はありませんので、
ランプの表示を確認します。

[ランプの状態] (15-134 ページ) 参照

2

「お知らせ あり」と表示されていることを確認

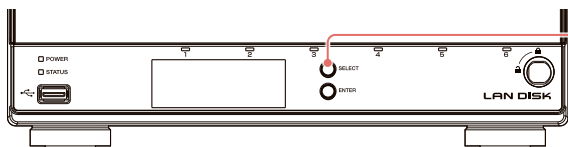


他の表示の場合

SELECT ボタンを“ピッ”と鳴るまで押します。
「お知らせ あり」が表示されるまで、これを繰り返します。
※状況によっては、お知らせ内容が表示されていることがあり
ます。(構成異常、崩壊など)
その場合は手順4にお進みください。

STATUSランプが赤く点灯・点滅したら… (つづき)

3



※ HDL6-H (HDL4-HEX) の例。HDL2-H のボタンは液晶表示の左側にあります。

ENTER ボタンを“ピッ”と鳴るまで押す

お知らせの内容が消えてしまった

本製品の設定画面を開き、[情報・ログ表示] → [システムログ] をクリックします。

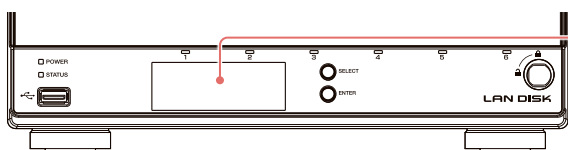
そこで、ログの内容をご覧ください。

お知らせの内容が表示されます。

お知らせが複数ある場合、SELECT ボタンで切り替わります。

ENTER ボタンで表示を終わります。

4



先ほど確認したお知らせ表示の2段目から、状況を確認する



確認したお知らせ	状況	対処
DHCP失敗	DHCPサーバーからIPアドレスを取得できなかった	【電源を入れたら、「DHCP失敗」と表示され、「ピーピー」と鳴った】 (17-179 ページ) 参照
FAN停止	ファンが停止したため、シャットダウンする	—
UPS失敗	UPS警告メールの送信に失敗	インターネット接続、 【通知機能】 (12-100 ページ) 参照
USBx組込失敗	USB HDDを拡張ボリュームに組み込めなかった	USB HDDの容量、データ、故障を確認
USBxディスク故障	USB HDDが故障	【故障と思ったら…】 (19-216 ページ) 参照
USBx: マウント失敗	USB HDDが正しくマウントしなかった	USB HDDの取り付けや故障などを確認
USBx: ロック中	暗号化されたUSB HDDがロックされている	ロックキーをUSBポート1につなぐ
アクセスログ失敗	アクセスログのメール転送に失敗	インターネット接続、 【通知機能】 (12-100 ページ) 参照
異常状態	RAIDが崩壊し、ミラーディスクだけで動作	【ミラーリング】 (9-87 ページ) 参照
温度/FAN失敗	温度・FANエラーメールの送信に失敗	インターネット接続、 【通知機能】 (12-100 ページ) 参照
温度異常	本製品内部の温度が高温に達したため、シャットダウンする	—
開始失敗	アクティブレピアの開始に失敗	—
共有使用率超過	共有フォルダーの使用率が使用量制限の警告値を超えた	—
グループ使用率超過	(ドメイン) グループの使用率が使用量制限の警告値を超えた	—
警告使用率超過	使用量制限対象の使用率が警告値を超えた	—
更新失敗	パッケージ/ファームウェアの自動更新に失敗	インターネット接続を確認
構成異常	取り外したか、故障などにより、一部HDDが利用できない	【故障と思ったら…】 (19-216 ページ) 参照
サーバー接続失敗	パッケージ公開サーバーなどの通信に失敗	インターネット接続を確認
再送失敗	送信・転送に失敗したメールの再送に失敗	インターネット接続、 【通知機能】 (12-100 ページ) 参照
時刻同期失敗	NTPサーバーにアクセスできなかった	【「時刻同期失敗」と表示された】 (17-180 ページ) 参照
システム失敗	システムイベントメールの送信に失敗	インターネット接続、 【通知機能】 (12-100 ページ) 参照
システム修復エラー	アクティブレピアにより、システム領域に修復できないエラーを検出	対象のカートリッジを交換 【カートリッジの交換方法】 (19-218 ページ) 参照
システムビジー	処理中のため、処理を実行できない	他の処理が終わるのを待ってから、再度操作
システムログ失敗	システムログのメール転送に失敗	インターネット接続、 【通知機能】 (12-100 ページ) 参照
失敗	処理に失敗	本製品につないだ対象のUSB HDDを確認
指定時間経過	停電後、指定した時間経過	—
使用量失敗	使用量に関するメールの送信に失敗	インターネット接続、 【通知機能】 (12-100 ページ) 参照

次ページに続く

STATUS ランプが赤く点灯・点滅したら… (つづき)

4 (続き)

確認したお知らせ	状況	対処
情報取得失敗	使用量/使用率の情報を取得できなかった	セキュリティロックモード、異常、RAID崩壊がないか確認
ジョブ失敗	ジョブの一部に失敗	データを確認 【バックアップしたデータを確認する】(8-80 ページ) 【コピーしたデータを確認する】(8-85 ページ)
処理エラー	アクティブリペアの処理中にエラーが発生した	—
新パッケージ公開	新しいパッケージが公開された	—
新ファーム公開	新しいファームウェアが公開された	—
送信失敗	ネットワークシャットダウン要求送信に失敗	ネットワーク、シャットダウンするLAN DISKを確認
停止失敗	アクティブリペアの停止に失敗	—
ディスク情報失敗	ディスク情報通知メールの送信に失敗	インターネット接続、【通知機能】(12-100 ページ) 参照
内蔵ディスクx故障	内蔵ディスクが故障した	【故障と思ったら…】(19-216 ページ) 参照
内蔵修復エラー	アクティブリペアにより、内蔵ボリュームに修復できないエラーを検出	—
バックアップ失敗	バックアップメールの送信に失敗	インターネット接続、【通知機能】(12-100 ページ) 参照
バッテリー動作開始	UPSがバッテリー動作した (UPS警告が有効)	—
バッテリーロー	UPSのバッテリーローを検出	—
崩壊	RAIDが崩壊した	【故障と思ったら…】(19-216 ページ) 参照
マウント失敗	内蔵ボリュームが正しくマウントしなかった	カートリッジの取り付けや故障などを確認
未接続	UPSが取り外された (UPS警告が有効)	—
ミラー開始失敗	ミラーリングを開始できなかった	【「ミラー開始失敗」と表示され、「ピーピーピー」と鳴った】(17-180 ページ) 参照
ミラー修復エラー	アクティブリペアにより、ミラーディスクに修復できないエラーを検出	—
ユーザー使用率超過	(ドメイン) ユーザーの使用率が使用量制限の警告値を超えた	—
要設定確認	バックアップ元が指定されていない状態でバックアップが開始された	バックアップの設定を再度確認
リンクなし	ネットワークにつながっていない	ネットワーク状況やLANケーブルにつながっているか確認
レポート失敗	レポートメールの送信に失敗	インターネット接続、【通知機能】(12-100 ページ) 参照
ロック解除失敗	セキュリティロックモードの解除に失敗	ロックキー、つなぎ方を確認
ロックモード起動	セキュリティロックモードで起動した	ロックキーをUSBポート1につなぐ

HDD 故障時の対応

保守サービスのご案内

アイオー・セーフティ・サービス (ISS) は、本製品をより長く安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。設置から、故障時の交換、ハードディスクのデータ復旧まで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。

詳しくは以下をご確認ください。

<https://www.iodata.jp/biz/iss/tokusetsu/>

故障と思ったら…

どの HDD が故障しているか、RAID 構成は無事なのかを確認する必要があります。

[【STATUS ランプが赤く点灯・点滅したら…】 \(18-213 ページ\)](#) をご覧になり、故障の状況を確認してください。

RAID が崩壊していたら…

本製品内部のデータの一部または全部が壊れています。

故障した HDD を交換する前に、データを少しでも取り出せないか試します。

[【RAID が崩壊したときには】 \(19-223 ページ\)](#) をご覧になり、無事なデータを本製品以外の HDD などにコピーしてください。

※取り出したデータについては保証されません。

内蔵ディスクが故障していたら…

内蔵ディスクが故障している場合は、カートリッジの交換が必要です。

[【カートリッジの交換方法】 \(19-221 ページ\)](#) をご覧になり、新しいカートリッジに交換してください。

※カートリッジが完全に交換されるまで、データの冗長性は低くなっているか、失われています。

速やかにカートリッジを交換してください。

USB HDD が故障していたら…

USB HDD が故障している場合は、USB HDD の交換が必要です。

故障した USB HDD を取り外し、新しい USB HDD をつないでください。

USB HDD を「共有」や「拡張ボリュームモード」で使っていた場合

下のような場合に USB HDD が故障すると、USB HDD 内のデータを完全に失ってしまうおそれがあります。

- ・ USB ポートを「共有モード」にし、USB HDD をつないでいた場合（共有モードに冗長性はありません。）
- ・ USB ポート3/4を「拡張ボリュームモード」にし、1台だけ USB HDD をつないでいた場合
（拡張ボリュームモードは USB HDD を2台つなぐと、ペアを構成し、ファイル単位でミラーリングされます。）

そのような場合は、本製品の電源をいったん完全に切り、再び電源を入れてください。

場合によっては、USB HDD に保存されたデータにアクセスできることがあります。

なお、アクセスできた場合でも、取り出したデータについては保証されません。

カートリッジの交換方法

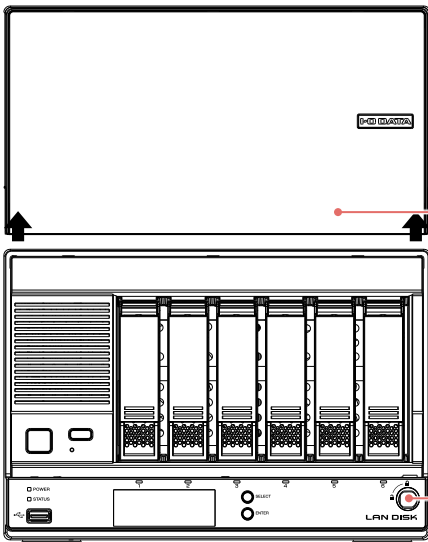
ご注意

- 本製品のカートリッジは、障害発生時以外には取り外さないでください。不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 構成が崩壊してすべてのデータを失う危険性があります。
※拡張ボリュームの容量を増やす際は、記載された手順に従ってください。(【本製品の容量を増やす】(2-30 ページ) 参照)
- 本製品の電源が入っている状態で、カートリッジの取り付け/取り外しができます。ただし、STATUS ランプの点灯状況や、該当カートリッジの HDD ランプが赤点滅もしくは消灯していることを確認した上で取り外してください。
- カートリッジの取り付け・取り外しは、必ず1台ずつ、以下の説明通りにおこなってください。
- 交換時には、各ランプの状況と設定画面の「ボリューム情報」を確認し、間違いのないよう充分ご注意ください。(【ランプの状態】(15-134 ページ) 参照)

交換可能なカートリッジ

- 交換可能なカートリッジについては、弊社サイトをご覧ください。https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm

- 1 ※ HDL6-H (HDL4-HEX)、HDL2-H のみの操作です。HDL4-HR は手順2へお進みください。



①添付のロックキーを使って、アンロックする



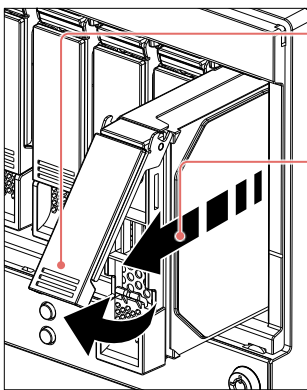
②フロントパネルを上スライドして外す

※ HDL6-H (HDL4-HEX) の例。

2

HDL6-H (HDL4-HEX)

HDL2-H



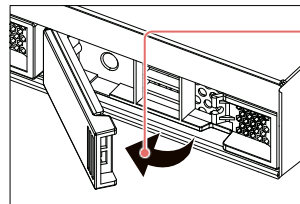
①取り外すカートリッジの着脱レバーを上げる

②カートリッジを手前に引き、取り出す

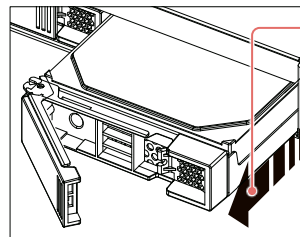
※ HDL6-H の例。

HDL2-H では一番右のカートリッジ挿入位置は使いません。

HDL4-HR



①取り外すカートリッジの着脱レバーを上げる



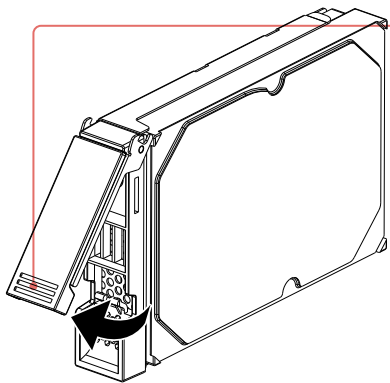
②カートリッジを手前に引き、取り出す

3

本製品の電源が ON であることを確認する
電源が入っていない場合は、電源 ON にしてください。

カートリッジの交換方法 (つづき)

4



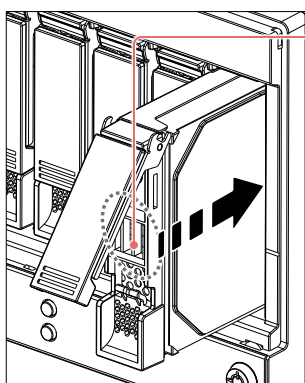
取り付けるカートリッジの着脱レバーを固定されるまで上げる

5

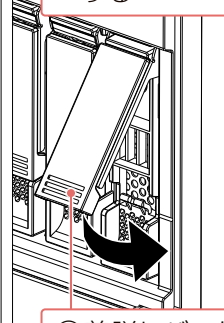
HDL6-H (HDL4-HEX)

HDL4-HR

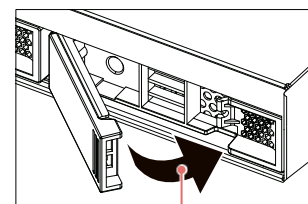
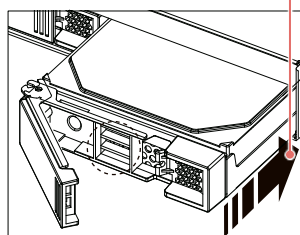
HDL2-H



① ● を押し、カートリッジをスロットの奥まで挿入する



② 着脱レバーが「カチッ」となるまで下ろす



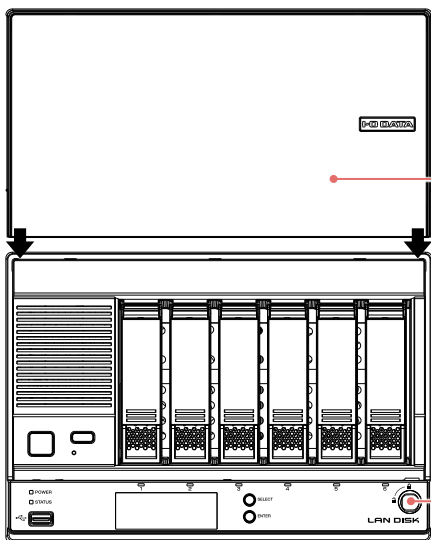
※ HDL6-H の例。HDL2-H では一番右のカートリッジ挿入位置は使いません。

必要以上の力を加えない

カートリッジを押しこむ際は、必要以上の力を加えないでください。故障の原因となります。

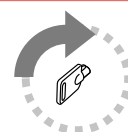
6

※ HDL6-H (HDL4-HEX)、HDL2-H のみの操作です。



① フロントパネルを下にスライドして取り付ける

② 添付のロックキーを使って、
ロックする



RAID が崩壊したときには

RAID 崩壊モード

内蔵ディスクに異常が発生し、RAID が崩壊した状態となっています。

RAID 崩壊モードの状態では、内蔵ディスクに保存されたデータの一部またはすべては失われているおそれがあります。

▼ RAID 崩壊モードの状態

ランプやブザー	状態	補足	
STATUS ランプ	赤点滅	-	
HDD ランプ	赤点灯または赤点滅	赤点滅	故障したカートリッジです。 交換が必要です。
		赤点灯	そのまま使えるカートリッジです。
		消灯	使えないカートリッジです。 正しいカートリッジを取り付けてください。
ブザー	「ピーポーピーポー」と鳴り続けている	SELECT ボタンを押すとブザーは停止します。	

RAID 崩壊モードへの対処

RAID 崩壊モードとなった場合、以下の対処をおこなってください。

対処 1 データをできるだけ回収する

本製品の電源をいったん完全に切り、再び電源を入れます。
場合によっては、内蔵ディスクに保存されたデータにアクセス
できることがあります。

この場合でも取り出したデータについては保証されません。
データをバックアップした後は、速やかに故障したカートリッジ
を交換してください。

再起動してもアクセスできない

[【RAID 強制復帰】\(19-224 ページ\)](#) を試す手もあります。
ただし、データ復旧業者に依頼してもデータを回復できなくな
る場合があります。

対処 2 RAID 構成を正常な状態に戻す

- ①故障したカートリッジを確認します。[\(18-213 ページ\)](#)
- ②故障したカートリッジを交換します。[\(19-221 ページ\)](#)
- ③ RAID を再設定します。[\(19-225 ページ\)](#)

データはすべて失われます

内蔵ディスク上の共有フォルダーの設定、共有フォルダー内の
データは失われます。(ユーザー、グループの設定をはじめとす
る各種設定は引き継ぎます。)

出荷時の状態に近づけるには

[システム] → [初期化] をクリックし、[内蔵 HDD の完全消去を行う。]
にチェックを付け、[実行] をクリックしてください。
操作について、詳しくは [【本製品のすべての設定を出荷時設定に戻す】](#)
[\(14-125 ページ\)](#) をご覧ください。

ミラーディスクがある場合

事前にミラーディスクを作成してある場合には、そのミラーディ
スクからシステムを復旧することができます。
手順は、[【保管したミラーディスクから復旧する】\(9-90 ペ
ージ\)](#) をご覧ください。

RAID 強制復帰

RAID が崩壊した時点で、内蔵ディスク上に保存されたデータの一部または全部は、すでに失われています。

RAID 強制復帰をすると、崩壊した RAID の復帰処理を試みます。

成功した場合は、一部データが破損した状態で、内蔵ディスクに保存されたデータに再びアクセスできる場合があります。この場合でも取り出したデータについては保証されません。

データ復旧業者に依頼する場合は、この操作をしないでください

この操作をすると、データ復旧業者に依頼してもデータを回復できなくなる場合があります。

データ復旧をおこなう場合は、RAID 強制復帰の実行をおこなわず、データ復旧業者へご依頼ください。

1



ボリューム



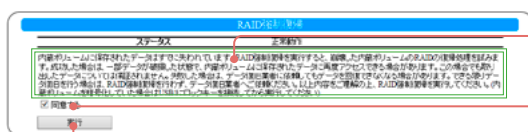
内蔵



RAID強制復帰

[ボリューム] → [内蔵] → [RAID 強制復帰] をクリック

2



①内容をよく読む

② [同意する] をチェック

③ [実行] をクリック

完了画面が表示されたら、RAID 強制復帰は完了です。

正常に強制復帰できた場合は、復旧した内蔵ディスクをご確認ください。

取り出したデータについては、保証されません。

※強制復帰できた場合でも共有フォルダーにアクセスできない場合があります。

その場合、データを取り出すことはできません。

速やかに故障したカートリッジを交換してください

RAID 強制復帰に成功した場合でも、故障したカートリッジが残っていると、また異常および RAID 崩壊のおそれがあります。

速やかに故障したカートリッジを正常なものと交換し、RAID を再設定してください。

(【RAID 再設定 (再フォーマット)】 (19-225 ページ) 参照)

RAID 再設定 (再フォーマット)

RAID が崩壊した時点で、内蔵ディスク上に保存されたデータの一部または全部は、すでに失われています。

RAID 強制復帰をすると、崩壊した RAID の復帰処理を試みます。

成功した場合は、一部データが破損した状態で、内蔵ディスクに保存されたデータに再びアクセスできる場合があります。

この場合でも取り出したデータについては保証されません。

データはすべて失われます

RAID 再設定をすると、内蔵ディスクを再度作成し直します。

そのため、内蔵ディスク上に作成した共有フォルダーや、共有フォルダー内のデータはすべて失われます。

※ユーザー、グループの設定をはじめとする各種設定は引き継ぐことができます。

1

故障したカートリッジをすべて正常なカートリッジに交換する

①故障したカートリッジを確認する.....【STATUS ランプが赤く点灯・点滅したら...】(18-213 ページ)

②故障したカートリッジを交換する.....【カートリッジの交換方法】(19-221 ページ)

2



ボリューム



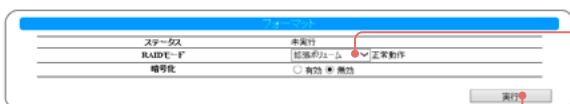
内蔵



フォーマット

[ボリューム] → [内蔵] → [フォーマット] を
クリック

3



① [RAID モード] を選ぶ

② [実行] をクリック

4

「フォーマットしますか?」と
表示されたら

[OK] をクリック

フォーマットを開始します。
しばらくお待ちください。

ご注意

内蔵ディスク上の共有フォルダー等は削除されています。再度設定してください。

【技術動向、導入事例などについて】

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク（NAS）「LAN DISK シリーズ」に関するホワイトペーパーを掲載しています。必要に応じてご確認ください。

<https://www.iodata.jp/solutions/whitepaper/>

【保守サービスのご案内】

アイオー・セーフティ・サービス（ISS）は、本製品をより長く安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。設置から、故障時の交換、ハードディスクのデータ復旧まで充実のサービスをご用意。

ワンストップでのサービスをご提供いたします。

<https://www.iodata.jp/biz/iss/tokusetsu/>

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。

したがって、別段の定めのない限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

※本製品には、GNU General Public License Version3（GPLv3）に基づいた、ソフトウェアが含まれています。

変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下の Web ページをご確認ください。

<https://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html>

これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作権者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

※本製品には、OpenSSL Project が、OpenSSL Toolkit (<https://www.openssl.org>) での使用のために開発したソフトウェアが含まれています。

本製品には Eric Young (eay@cryptsoft.com) により作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

本製品には Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) により作成されたソフトウェアが含まれています。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<https://www.openssl.org/>)

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

HDL-H シリーズ HDL-HR シリーズ 画面で見るマニュアル
株式会社アイ・オー・データ機器
(C) I-O DATA DEVICE, INC.